

星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事

図面リスト							
図面番号	図面種別	図面番号	図面種別	図面番号	図面種別	図面番号	図面種別
A-01	タイトル・図面リスト	A-37	R階・PH階平面図(1)(X1-12)	A-74	事務室 平面詳細図(改修前・改修後)	A-111	誘導標識及び消火器等4階
A-01	タイトル・図面リスト	A-38	R階・PH階平面図(2)(X13-24)	A-75	事務室 展開図(改修前・改修後)	A-112. 1	1階 天井伏図(改修後)
A-02	建築工事特記仕様書 5-1	A-39	立面図(1)(X1-12)	A-76	校長室 平面詳細図(改修前・改修後)	A-112. 2	2階 天井伏図(改修後)
A-03	建築工事特記仕様書 5-2	A-40	立面図(2)(X1-12)	A-77	校長室 展開図(改修前・改修後)	A-112. 3	3階 天井伏図(改修後)
A-04	建築工事特記仕様書 5-3	A-41	立面図(3)(X13-24)	A-78	(X9-X12)職員室 印刷室 更衣室 平面詳細図(改修前・改修後)	A-112. 4	4階 天井伏図(改修後)
A-05	建築工事特記仕様書 5-4	A-42	立面図(4)(X13-24)	A-79	(X9-X12)職員室 展開図(改修前)	A-113. 1	建具配置平面図(改修前)
A-06	建築工事特記仕様書 5-5	A-43	断面図(1)(改修前)(X1-12)	A-80	(X9-X12)印刷室・更衣室 展開図(改修後)	A-113. 2	建具配置平面図(改修前)
A-07	外壁改修工事特記仕様書(1)	A-44	断面図(2)(改修前)(X13-24)	A-81	(X13-15)職員更衣室 放送室・普通(特支援)平面詳細図(改修前・改修後)	A-113. 3	建具表(W1)
A-08	外壁改修工事特記仕様書(2)	A-45	断面図(3)(改修後)(X1-12)	A-82	(X13-15)職員更衣室 放送室・普通(特支援)展開図(改修前・改修後)	A-113. 4	建具表(w1)2
A-09	工事概要・工事区分・石綿含有材撤去時特記仕様書	A-46	断面図(4)(改修後)(X13-24)	A-83	(X15-17)印刷室 普通教室(特別支援)平面詳細図(改修前・改修後)	A-113. 5	建具表(w1)3
A-10	付近見取図・配置図	A-47	断面詳細図(1)(改修前)(X1-12)	A-84	(X15-17)印刷室 普通教室(特別支援)展開図(改修前・改修後)	A-113. 6	建具表(w1)4
A-11	敷地求積図・建築面積求積図	A-48	断面詳細図(2)(改修後)(X1-12)	A-85	普通教室(特別支援)(2階(X17-19)普通教室(特別支援) 平面詳細図(改修前・改修後)	A-113. 7	建具表(w1)5
A-12	床面積求積図(改修前)	A-49	1階階段平面詳細図(1)(X1-12)	A-86	普通教室(特別支援)(2階(X17-19)普通教室(特別支援) 展開図(改修前・改修後)	A-113. 8	建具表(D1)
A-13	床面積求積図(改修後)	A-50	2階階段平面詳細図(2)(X1-12)	A-87	昇降口(X17ー19) 平面詳細図(改修前・改修後)	A-113. 9	建具表(D1)2
A-14	仕上表(1)	A-51	3・4階階段平面詳細図(3)(X1-12)	A-88	昇降口(X17ー19) 展開図(改修前・改修後)	A-113. 10	建具表(D1)3
A-15	仕上表(2)	A-52	R階階段平面詳細図(4)(X1-12)	A-89	1階(X22-24)特別支援学級 平面詳細図(改修前・改修後)	A-113. 11	建具表(D1)4
A-16	仕上表(3)	A-53	階段断面詳細図(1)(改修前)(X1-12)	A-90	1階(X22-24)特別支援学級 展開図(改修前・改修後)	A-113. 12	建具表(D1)5
A-17	仕上表(4)	A-54	階段断面詳細図(2)(改修後)(X1-12)	A-91	(X20-24)普通教室(特別支援) 図書室 平面詳細図(改修前・改修後)	A-113. 13	建具平面図(改修後)
A-18	仕上表(5)	A-55	1階階段平面詳細図(5)(X13-24)	A-92	(X20-24)図書室 展開図(改修後)	A-113. 14	建具平面図(改修後)
A-19	1階平面図(全体)	A-56	2階階段平面詳細図(6)(X13-24)	A-93	トイレ(1階 X20-21) 平面詳細図(改修前・改修後)	A-113. 15	建具表(W1)(改修後)
A-20	2階平面図(全体)	A-57	3・4階階段平面詳細図(7)(X13-24)	A-94	トイレ(2・3・4階 X20-21) 平面詳細図(改修前・改修後)	A-113. 16	建具表(W1)2(改修後)
A-21	3階平面図(全体)	A-58	階段断面詳細図(3)(改修前)(X13-24)	A-95	トイレ 展開図(改修前・改修後)	A-113. 17	建具表(W1)3(改修後)
A-22	4階平面図(全体)	A-59	階段断面詳細図(4)(改修後)(X13-24)	A-96	1階廊下 展開図(X1-12)(改修前)	A-113. 18	建具表(W1)4(改修後)
A-23	R階_PH階平面図(全体)	A-60	保健室(1階)平面詳細図(改修前・改修後)	A-97	1階廊下 展開図(X1-12)(改修後)	A-113. 19	建具表(W1)5(改修後)
A-24	工事ローテーション図(1期)	A-61	保健室(1階)展開図(改修前・改修後)	A-98	2階廊下 展開図(X1-12)(改修前)	A-113. 20	建具表(D1)(改修後)
A-25	工事ローテーション図(2期)	A-62	主事室(1階)平面詳細図(改修前・改修後)	A-99	2階廊下 展開図(X1-12)(改修後)	A-113. 21	建具表(D1)2(改修後)
A-26	工事ローテーション図(3期)	A-63	主事室(1階)展開図(改修前・改修後)	A-100	3・4階廊下 展開図(X1-12)(改修前)	A-113. 22	建具表(D1)3(改修後)
A-27	仮設計画図(1期)	A-64	昇降口(X6-8)平面詳細図(改修前・改修後)	A-101	3・4階廊下 展開図(X1-12)(改修後)	A-113. 23	建具表(D1)4(改修後)
A-28	仮設計画図(2・3期)	A-65	昇降口(X6-8)展開図(改修前・改修後)	A-102	1階廊下 展開図(X13-24)(改修前)	A-113. 24	建具表(D1)5(改修後)
A-29	1階平面図(1)(X1-12)	A-66	普通教室(1・3・4階X1ー12) 平面詳細図(改修前・改修後)	A-103	1階廊下 展開図(X13-24)(改修後)	A-113. 25	設備パネル位置
A-30	1階平面図(2)(X13-24)	A-67	普通教室 展開図(改修前・改修後)	A-104	2階廊下 展開図(X13-24)(改修前)	A-114. 1	部分詳細図(1)
A-31	2階平面図(1)(X1-12)	A-68	(X1-X5)図書室 職員室 放送室 平面詳細図(改修前・改修後)	A-105	2階廊下 展開図(X13-24)(改修後)	A-114. 2	部分詳細図(2)
A-32	2階平面図(2)(X13-24)	A-69	(X1-X5)図書室 展開図(改修前)	A-106	3・4階廊下 展開図(X13-24)(改修前)	A-114. 3	部分詳細図(3)
A-33	3階平面図(1)(X1-12)	A-70	(X1-X5)職員室 放送室 展開図(改修後)	A-107	3・4階廊下 展開図(X13-24)(改修後)	A-114. 4	部分詳細図(4)
A-34	3階平面図(2)(X13-24)	A-71	トイレ(1階X6-7) 平面詳細図(改修前・改修後)	A-108	誘導標識及び消火器等1階	A-114. 5	部分詳細図(5)
A-35	4階平面図(1)(X1-12)	A-72	トイレ(2・3・4階X6-7) 平面詳細図(改修前・改修後)	A-109	誘導標識及び消火器等2階	A-114. 6	部分詳細図(6)
A-36	4階平面図(2)(X13-24)	A-73	トイレ 展開図(改修前・改修後)	A-110	誘導標識及び消火器等3階	A-114. 7	部分詳細図(7)

星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事

[illegible]

建 築 工 事 特 記 仕 様 書			適用	特 記 事 項	適用	特 記 事 項			
Ⅰ.工 事 概 要									
1. 工 事 名 称 星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事 2. 工 事 場 所 鹿児島市星ヶ峯4丁目9番1号 3. 工 事 種 目 (・ 新 築 ② 増 築 ・ 改 築 ④ 改 修 ・ その他) 4. 工 事 期 間 令和 8 年 12 月 18 日まで				○ 14. 産業廃棄物収集運搬車に係る表示及び書面備え付けについて 両側面に「産業廃棄物の収集又は運搬に供する運搬車である旨」及び「排出事業者名」を表示するとともに、その運搬車に「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面」を備え付けること。 [表示例] <table><tr><td>産業廃棄物収集運搬車</td><td>←140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字</td></tr><tr><td>〇〇株式会社</td><td>←90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字</td></tr></table> なお、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託して収集又は運搬させる場合には、別途「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく、表示規定によること。	産業廃棄物収集運搬車	←140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字	〇〇株式会社	←90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字	○ 26. ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当っては、以下の項目を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、棲息状況等の調査報告書を監督員に提出し、まん延防止対策を講ずること。(※発生地については、鹿児島市ホームページで確認すること。) 1) 原則、土・樹木等は、発生地区からの搬出を極力おさえ、廃棄木材については、産業廃棄物の取扱いが可能な焼却施設にて、焼却処理を行うこと。 2) 工事区域周辺部への拡散防止のため、周辺部に薬物散布等の措置を行うこと。 3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合は、薬剤処理・薫蒸後、搬出を行うこと。 4) 発生地区に搬入した建設機材等は、付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出を行うこと。 5) 未発生地区においても、発生地区からの土・樹木等の搬入や、建設機材の移動等があった場合は、1)～4)の措置が講じられているかを確認すること。
産業廃棄物収集運搬車	←140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字								
〇〇株式会社	←90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字								
Ⅱ.建 築 工 事 仕 様				○ 15. 内装仕上りに使用する材料等の選定について 1) ホルムアルデヒドを発散する建材については、F☆☆☆☆の規格に適合すること。 ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議し、承諾を得ること。 対象となる材料(居室に使用する内装材、並びに、造り付け木製家具) 木質建材(合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等)、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、接着剤、仕上塗材等 2) クロルピリホスについて クロルピリホスを添加しないこと。 クロルピリホスを添加した材料でないこと。 3) 建築材料の種別、種類、数量、及び面積等について 必要書類等 ア) 施工計画書提出時に、JIS、JASの表示、又は、国土交通大臣認定書の写し等を添付し監督員の承諾を得ること。 イ) 材料搬入時に表示等の確認をし、記録写真を提出すること。 ウ) 工事終了後、内装仕上部分を写した写真を提出すること。 ※ 塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものである。(水廻り及び湿度の高い箇所を除く) ただし、有機溶剤系塗料を使用する場合は、トルエンやキシレンの放散が極力小さいものとする。	○ 27. 本工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、道路交通法及び建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令等に従い適切に処理すること。また、必要な届出等は滞りなく行うこと。 ○ 28. 工事現場及びその周囲は危険防止に十分注意し工事を行い、現場周辺の公共物(特に側溝等)の維持管理及び地域住民、通行人への危害防止に万全を期すること。万一事故の起きた場合、受注者が復旧し、又、補償をするものとする。 ○ 29. 工事現場への通行、諸運搬にあたっては、特に現場周辺の住民・通行人及び児童・生徒等への危害防止に万全を期すること。 ○ 30. 工事現場内での火気責任者を定め、火気の取扱いには十分注意すること。 ○ 31. 工事において支障物件がある場合は、その処理方法等は監督員との協議による。 ○ 32. 工事現場の快適な作業環境を確保するため、受注者事務所、監督員事務所、従業員休憩所、便所等は関係法令に従い、適切な材料・構造などのものとすること。 ○ 33. 本工事の施工に際しては、地場産業育成の立場から、できるだけ市内の専門業者や作業員を活用し、資材についても市内業者から購入し、使用するよう努めること。				
Ⅲ.一 般 事 項									
適用	特 記 事 項								
○ 1. 本工事は鹿児島市建設工事請負契約書に基づき、施工するものとする ○ 2. 前払金 ※請求することができる ④令和7年度中に請求すること ○ 3. 中間前払金 1) 請負金額が100万円以上で年度内に完成する工事は、契約時において中間前払金か部分払かのいずれかを選択すること。 ただし、令和7年度中に請求することはできない。なお、契約に当たり部分払をすることを選択した場合には、中間前払金は行わない。 2) 中間前払金を受けるための要件(全て満たすこと。) ア) 請負金額の10分の4の前払金がなされていること。 イ) 工期の2分の1を経過していること。 ウ) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施するべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。 エ) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。 3) 中間前払金の割合について 請負代金の10分の2以内とする。ただし、中間前払金を支出した後の前払金の合計額が請負代金の額の10分の6を超えてはならないものとする。 ○ 4. 部分払 部分払については、鹿児島市契約規則による。 ○ 5. 部分払対象品目 工事の出来形部分並びに、工事現場に搬入した工事材料のうち、次の工事に含まれるものは部分払いの対象とする。ただし、監督員の検査に合格したものであって確認写真及び出来高等の確認ができるものに限る。 1.仮設工事 2.土工事 3.地業工事 4.鉄筋工事 5.コンクリート工事 6.鉄骨工事 7.コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 8.防水工事 9.石工事 10.タイル工事 11.木工事 12.屋根及びびい工事 13.金属工事 14.左官工事 15.建具工事 16.カーテンホル工事 17.塗装工事 18.内装工事 19.ユニット及びその他の工事 20.排水工事 21.舗装工事 22.植栽及び屋上緑化工事 ○ 6. 火災保険等 請負契約締結後速やかに次の工事保険に加入し、証券又はこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。 保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 ※ 火災保険等(工事目的物及び工事材料(支給材料を含む)等)に生じる損害を填補) (※ 火災等 ※ 工事材料等の盗難等 ・ その他())に対応したものを含むこと。) ※ 請負業者賠償責任保険(工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補) なお、上記の保険内容が含まれる火災保険、建設工事保険、組立保険等でも可とする。 その場合、保険証券等により保険内容が確認できるものであること。 ○ 7 住宅瑕疵担保履行法について 受注者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」(平成19年法律第66号)に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うものとする。なお、保険加入の場合は、着工前に保険法人に申し込む必要があるのに注意すること。 ○ 8. 契約不適合担保責任検査 契約不適合担保責任(鹿児島市建設工事請負契約書第41条)の確実な履行を図るため、受注者は、契約不適合責任期間の満了前に、受注者の負担で、契約不適合担保責任検査を実施すること。受注者は、発注者から契約不適合担保責任検査実施の通知を受けた場合は、発注者の指定する方法により速やかに契約不適合担保責任検査の実施日及び報告書提出日を回答したうえで、契約不適合担保責任検査を実施し、その結果を報告すること。なお、履行の追完方法は発注者と協議のうえ、実施すること。 ○ 9. 施工体制台帳の提出等 1) 建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。 2) 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。 (1)伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務 (2)土砂やコンクリート敷等の運搬のみを行う業務 (3)工事現場の警備(交通誘導を含む)を行う業務 (4)その他監督職員が記載を指示した業務等 ○ 10. 環境基本計画 1) 本工事に伴う環境への影響を抑制するため、工事車両両通行往復ルートの分別、交通整理員の配置、走行速度の制限、ルートの設定等の対策を講じること。 2) 本工事に使用する建設機械については、原則として、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針に適合するものを使用すること。 3) 本工事に伴い提出する関係書類については、可能な限り、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針適合製品又はエコマーク製品、グリーンマーク製品などの環境ラベリング製品を使用すること。 4) 本工事に伴い提出する関係書類については、写真やメーカー提出の資料等、両面印刷では支障を生ずるものは除き、可能な限り、両面印刷すること。 5) 工事に伴い発生する廃棄物については、缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器類を搬出しやすいような分別ボックスの設置スペース又は分別ヤードを設置するなどして、分別の徹底及びリサイクルに努めること。 ○ 11. 排出ガス対策型建設機械の使用について 本工事において以下の対象機種を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用を原則とする。 ただし、①リース業者等が対策型建設機械を供給できない場合、②自社で未対策型建設機械を保有し対策型建設機械を使用することが妥当でない場合等は、監督員との協議により、未対策型建設機械を使用してもよいものとする。 (1)バックホウ (2)ホイールローダ (3)ブルドーザ (4)発電発電機 (5)空気圧縮機 (6)油圧ユニット (7)ローラ類 (8)ラフテレーンクレーン なお、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。 ○ 12. 低騒音型建設機械の使用の原則化について 本工事は「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」(昭和62年建設省経機発第58号)に基づき「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平成9年建設省告示第1536号)により指定された低騒音型建設機械の使用を原則とする。 なお、低騒音型建設機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。 ○ 13. ダンプトラック等による過積載等の防止について 1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。 2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。 4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。 5) 「土砂等」を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等との設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 7) 1)から6)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。	○ 16. 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合について 1) 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下の要件を満たす場合には、工事請負契約第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないものとして取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や、現場保全の義務(現場の巡回等)」があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。 ア) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 イ) 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間 ウ) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間 エ) 前3号に掲げる期間のほか、受注者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等の期が残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間 2) 発注者への報告 上記1)の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。 17. 現場代理人の兼任について 1) 現場代理人の兼任を認める工事 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項(請負代金の変更、契約の解除等を除く。)を処理する受注者の代理人であるが、次の ア)から ウ)の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。 ア) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の当初請負金額の合計が8,000万円未満であること。 ※設計変更により、兼任する工事の請負金額の合計が8,000万円以上となった場合においては、受注者の都合により現場代理人を変更できるものとする。(現場代理人の負担軽減措置) その場合は、「現場代理人等変更通知書」により現場代理人の変更手続きを行うこと。 イ) 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡が取れること。 ロ) 兼任する工事は、同一市町村内又は工事現場の相互の間隔が概ね10km以内の範囲 ハ) 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。 ニ) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。 2) 手続き 現場代理人の兼任を行う場合には、兼任(変更)申請書を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、現場代理人等変更通知書により、発注者に通知すること。なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。 3) 受注者に対する措置請求 安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置を取るべきことを請求するものとする。 ○ 18. 低入札価格調査に基づく措置について 低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。 1) 施工体制の強化 ア) 低入札価格調査の対象となった工事(以下「調査対象工事」という。))には、専任の主任技術者等を配置すること。 イ) 調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事に關し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置すること。 a) 65点未満の工事成績評定を通知された場合 b) 工事請負契約書に基づき修補又は損害賠償を請求された場合 c) 品質管理・安全管理に関し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合 d) 自ら起因して工期を大幅に遅らせた場合 2) 監督体制の強化 ア) 受注者は、施工体制台帳を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。 イ) 受注者は、特記仕様書に基づき施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。 ○ 19. 「快適トイレ」の試行について 1) 本工事は、建設現場における「快適トイレ」設置の試行対象工事である。 2) 受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。 3) 快適トイレを設置する場合は、「建設現場における「快適トイレ」設置の試行の改定について(令和3年7月26日付け鹿児島市建設局通知)」に基づき行うものとする。なお、通知は鹿児島市ホームページから入手できる。 ○ 20. 枠組足場の設置について 枠組足場の設置を必要とする場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)によるものとする。 なお、これにより難しい場合は、監督員と協議の上、決定することとする。 ○ 21. 交通誘導員について 本工事の交通誘導員の編成人員は、見積閲覧書によるものとするが、交通管理者等との協議の結果、又は現場条件等により変更が生じた場合は別途協議する。 また、受注者は工事着手前に、実施工程に対応した配置予定図と配置予定時間を施工計画書に記載しなければならない。 22. 地下工事について 地下室等(地下工作物)がある場合等は、周辺地盤や地下水への影響について、建設場所や建物の規模などを考慮した上で観測体制を含めた施工をすること。施工の際は周辺環境に配慮しながら地下水等の観測を行い、異常が生じた場合は必要な措置を行うこと。建設場所毎の事前調査等は事前に打合せを行い遺漏のないようにすること。 23. 杭打ち・地盤改良工事について 地下水汚濁への影響などについては事前調査を行い(近隣に井戸がある場合や中間に透水層がある場合)、工法について施工計画段階で検討し、施工の際は十分に注意しながら施工を行い異常が生じた場合には必要な措置を行うこと。	○ 34. 再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出するとともに、工事現場の見やすいところに掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)して公衆の閲覧に供することとし、あわせてインターネットに公表するよう努めるものとする。また、その実施状況を記録した実施書を完成書類に含めて提出するものとする。 ○ 35. 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。 ○ 36. 暴力団関係者等による不当介入を受けた場合の措置 暴力団関係者等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。また、暴力団関係者等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、発注者と協議を行うこと。 ○ 37. 駐車場は建設業者の責任において確保し、周辺道路上への駐車は絶対に行わないこと。 ○ 38. 工事現場隣接家屋について、事前に状況調査(建物の実情)を実施し写真等記録に残すこと。調査範囲は監督員と打合せをすること。 また、工事完了後家屋、構造物に被害不具合等の申出があった場合は、速やかな対応をすること。 39. 本工事に伴いスラップに設ける墨出し用の開口部については、建築基準法を満足する工法で確実に塞ぐこと。 ○ 40. 工事完成写真の仕様について 1) インク、用紙等は普通の使用条件のもとで、5年程度で顕著な劣化が生じないものとする。 2) カラー写真(ネガフィルムタイプ)と電子媒体による写真の混合管理は行わないこと。 3) 完成検査者しくは、工事目的物引渡完了後5年間写真管理に利用した電子媒体を保管すること。 ○ 41. 再生資材(再生クラッシュラン等)については、再資源化施設製造のものを使用すること。 ○ 42. 法定外労災保険の付保等について 1) 法定外の労災保険の付保 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。 なお、当該保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。 保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 2) 墜落制止用器具の使用について 高さが2m以上の作業床がない箇所、または作業床の端・開口部等で囲い・手すり等の設置が困難な箇所における作業については、労働者の危険を防止する手段として、墜落制止用器具の使用を講じること。 ○ 43. 営繕工事における週休2日試行工事について 1) 本工事は、営繕工事における週休2日試行工事の対象である。 2) 試行に当たっては、「営繕工事における週休2日試行工事実施要領(令和6年5月7日施行)」(以下、「実施要領」という。))に基づき行うものとする。なお、実施要領は鹿児島市ホームページから入手できる。 ○ 44. 電子納品 1) 本工事は、電子納品試行対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「鹿児島市電子納品運用ガイドライン(案)【建築・設備編】」(以下、ガイドラインという。))に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。 2) ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体(CD-R又はDVD-R)で正本1部、副本1部の計2部提出する。電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。 ○ 45. 架空線の防護措置について 架空線の防護措置における防護管設置については、受注者が架空線管理者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。 ○ 46. 施工体制点検等への協力 請負代金額が4,000万円(建築一式工事は8,000万円)以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づく点検を、また請負代金額が4,000万円(建築一式工事は8,000万円)未満の建設工事の下請契約を締結した工事においては、同要領の枠組外における「一括下請負に関する確認」を実施するので、受注者はこれに協力すること。 ○ 47. 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の提出 工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録(E票の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表)を工事完成図書に添付すること。なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。 ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。 電子マニフェストの場合は、受渡確認表の写しを添付すること。 ○ 48. 監理技術者等の途中交代 監理技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、疾病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。 1) 受注者の責にやらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合 2) 橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点 3) ダム、トンネル等大規模な工事で1つの契約工期が多年に及び場合 上記の場合にあっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。 ○ 49. 監理技術者等の途中交代の試行について 本工事は、工程上一定の区切りと認められる時点で、監理技術者又は主任技術者の途中交代を認める試行工事である。 1) 工程上一定の区切りと認められる時点とは、品質管理・出来形管理が必要な工事目的物の施工が完了した時点とし、仮設備の撤去、後片付け及び検査等を行う期間は、監理技術者等の途中交代を認めることとする。 2) 受注者と発注者が協議し、工事の継続性、安全管理、工程等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。なお、総合評価落札方式の場合は、当該工事の入札契約手続きにおける競争参加資格を満足する者を配置しなければならない。 ○ 50. 公共工事における現場一斉閉所の実施について 受注者は、公共工事における現場一斉閉所の実施に協力するものとする。なお、現場閉所の実施への協力は、受注者の判断によるもの(任意)とし、実施の有無等について発注者への報告は必要ないものとする。なお、県ホームページに本取組みに係るチラシを掲載しているので確認のこと。							
				株式会社ixrea 一級建築士 第 331861 号 吉田 浩司	星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事 建築工事特記仕様書 5-1 鹿児島市建設局建築部建築課	A-02			

Ver.680507

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																			
1	○ 1. 適用基準等	◎ 建築工事標準詳細図： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 敷地調査共通仕様書： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和元年版) ・ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ◎ 営繕工事写真撮影要領(平成31年版)・同解説 ◎ 工事写真撮影ガイドブック(建築工事及び解体工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施方針： 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定 ・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領： 関東地方建設局営繕部作成	○ 18. 品質計画	建築基準法により定められた風速 V_0 (※38 ・) 地表面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV 適用工種 ・ コンクリートブロック ・ ALCパネル ・ 押出成形セメント板工事 ・ 防水工事 ・ 石工事 ・ 屋根及びとい工事 ・ 金属工事	6 コン クリ ート 工 事	○ 1. 一般事項	コンクリートの種類 ※I類 ・ II類 気乾単位容積質量による種類 ※普通コンクリート ・ 軽量コンクリート (6.2.1) 設計基準強度(F_c) ※普通コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²) (6.2.2) <table><tr><th>種別</th><th>15</th><th>18</th><th>21</th><th>24</th><th>27</th><th>30</th><th>36</th></tr><tr><td>部品</td><td></td><td></td><td>土間</td><td>基礎</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 軽量コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²) ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 24 ・ 27 ・ () (6.2.2) ※ 構造体強度補正値(普通ボルトランドセメント) その他のセメント種類は(表6.3.2)による コンクリート打込みから材齢28日までの予想平均気温 θ の範囲(℃) $0 \leq \theta < 8$ $8 \leq \theta$ (6.3.2) <table><tr><td colspan="2">構造体強度補正値(N/mm²)</td><td>6</td><td>3</td></tr></table>	種別	15	18	21	24	27	30	36	部品			土間	基礎				構造体強度補正値(N/mm ²)		6	3	○ 2. コンクリートの品質	普通コンクリート気乾単位容積質量 ※2.3t/m ³ 程度 ・ () (6.2.3) スラブ (6.2.4) <table><tr><th></th><th>打込み箇所</th><th>基礎、基礎梁、土間スラブ</th><th>柱、梁、スラブ、壁</th></tr><tr><td>所要スラブ(cm)</td><td>※15 ・ 18</td><td>※18 ・</td><td></td></tr></table> 部材の位置及び断面寸法の許容差並びにその測定方法 ※6.2.5(1) ・ () (6.2.5) 合板使用打直し仕上り種別 (6.2.5)(6.8.2) <table><tr><th>種別</th><th>適用箇所</th><th>JAS種別</th><th>合板厚さ</th><th>塗装</th></tr><tr><td>・ A種</td><td></td><td>※表面加工品</td><td>・ B-C</td><td>※12 ・ 15</td><td>※有 ・ 無</td></tr><tr><td>・ B種</td><td></td><td>・ 表面加工品</td><td>※B-C</td><td>※12 ・ 15</td><td>・ 有 ・ 無</td></tr><tr><td>・ C種</td><td></td><td>・ 表面加工品</td><td>※B-C</td><td>※12 ・ 15</td><td>・ 有 ・ 無</td></tr></table> 平たんさ ※表6.2.5 ・ () (6.2.5)		打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁	所要スラブ(cm)	※15 ・ 18	※18 ・		種別	適用箇所	JAS種別	合板厚さ	塗装	・ A種		※表面加工品	・ B-C	※12 ・ 15	※有 ・ 無	・ B種		・ 表面加工品	※B-C	※12 ・ 15	・ 有 ・ 無	・ C種		・ 表面加工品	※B-C	※12 ・ 15	・ 有 ・ 無	○ 3. コンクリートの材料	セメント ※普通ボルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・ () (6.3.1)(表6.3.1) ・ () (適用箇所:) ・ 普通ボルトランドセメントは、JIS R 5210ボルトランドセメントに示された規定の他、右の規定に適合しなければならない。全アルカリの算出は、JIS R 5210ボルトランドセメント(低アルカリ形)による。 骨材 フェロニッケルスラグ骨材及び銅スラグ骨材 (・ 使用する ・ 使用しない) (6.3.1) アルカリシリカ反応性区分(※A ・ B) 混和材料 ・ 混和剤(・ AE剤 ・ AE減水剤 ・ 高性能AE減水剤 ・) ・ 混和材(・ フライアッシュI種 ・ フライアッシュII種 ・ 高炉スラグ微粉末 ・ コンクリート用膨張材 ・) (6.3.1)	○ 4. 型枠	外部コンクリート打直し仕上り打増し厚さ ※20mm ・ () ひび割れ誘発目地位置等 ※図示による ・ () 床型枠用鋼製デッキプレート 建築技術評価「鉄筋コンクリートの建築物等における床型枠用鋼製デッキプレートの開発」において評価を取得したもの又は、評価名簿によるもの。 MCR工法用シート ・ 使用する ・ 使用しない スリーブ材種 ・ 鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ つば付き鋼板 (6.8.2)(表6.8.1)	5. 軽量コンクリート	種別 ・ 1種 ・ 2種 スラブ ※21cm以下 ・ () (6.10.1)(表6.10.1) 気乾単位容積質量() (6.10.2)	○ 6. 無筋コンクリート	適用箇所() (6.14.1) 設計基準強度 ※18N/mm ² ・ () (6.14.1) スラブ ※15cm ・ 18cm ・ ()	7. 防水剤入コンクリート	施工箇所(屋根スラブ) スラブ(cm) ・ 15 ・ () 混和剤(活性進化防水剤) 製造所 (監督員の承諾を得るものとする)	○ 1. 鉄骨製作工場	※製作工場(グレード ・ H ・ M ・ R ・ J ◎指定なし) (7.1.3) 施工管理技術者 ※適用する ・ 適用しない (7.1.4)	○ 2. 材料	鋼材 (7.2.1)(表7.2.1) <table><tr><th>種類の記号</th><th>使用箇所</th><th>規格等</th></tr><tr><td>SS400</td><td>図面による</td><td>※JIS規格</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※JIS規格</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※JIS規格</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※JIS規格</td></tr></table> 高力ボルト (7.2.2) ※トルシアン形高力ボルト(セットの種類2種(S 10 T)) ・ JIS形高力ボルト(セットの種類2種(F 10 T)) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト(セットの種類1種(F 8 T相当)) 径() 普通ボルト (7.2.3)(表7.2.3) ボルト(※六角ボルト ・) ナット(※六角ナット ・) ボルト径() アンカーボルト (7.2.4) 構造用材質 (※SNR400 ・) 建方用材質 (※SS400 ・) 形状及び寸法() ターンバックル (7.2.6) ターンバックル胴の種類: ※割枠式 ・ () ターンバックルボルトの種類: ※羽子板ボルト ・ () デッキプレート (7.2.7) 構造用材質() 形状及び寸法() スタッド (7.2.8) 種類() 柱底均しモルタル (7.2.9) ・ 無収縮モルタル(製造所:評価名簿による) スカラップ ※改良型(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」別図3.11) ・ () 材料試験 (7.2.10) ※規格品証明書を提出	種類の記号	使用箇所	規格等	SS400	図面による	※JIS規格			※JIS規格			※JIS規格			※JIS規格	○ 3. 工作一般	仮組 ・ 実施する ※実施しない (7.3.10) 高力ボルト及び普通ボルトのゲージ、ピッチ、ヘリあき等(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による)
	種別	15	18	21	24	27	30	36																																																																																			
	部品			土間	基礎																																																																																						
	構造体強度補正値(N/mm ²)		6	3																																																																																							
		打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁																																																																																							
	所要スラブ(cm)	※15 ・ 18	※18 ・																																																																																								
	種別	適用箇所	JAS種別	合板厚さ	塗装																																																																																						
	・ A種		※表面加工品	・ B-C	※12 ・ 15	※有 ・ 無																																																																																					
	・ B種		・ 表面加工品	※B-C	※12 ・ 15	・ 有 ・ 無																																																																																					
	・ C種		・ 表面加工品	※B-C	※12 ・ 15	・ 有 ・ 無																																																																																					
	種類の記号	使用箇所	規格等																																																																																								
	SS400	図面による	※JIS規格																																																																																								
		※JIS規格																																																																																									
		※JIS規格																																																																																									
		※JIS規格																																																																																									
○ 2. 電気保安技術者	※適用する (1.3.3)	○ 2. 監督員事務所	※設ける(規模: ・ 1号(10㎡程度) ・ 2号(20㎡程度) ・ 3号(35㎡程度) ・ 4号(65㎡程度) (2.3.1) ・ 5号(100㎡程度) ・ 設けない ・ 仮設便所 ・ 工事用電話 ・ 設置する備品等の種類及び数量(監督員との協議による) 仕上りは下表を標準とする。 <table><tr><th>部位等</th><th>仕 上 げ</th></tr><tr><td>床</td><td>合板張り又はビニル床シート張り</td></tr><tr><td>内壁、天井</td><td>合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td></tr><tr><td>屋根</td><td>塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td></tr></table>	部位等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニル床シート張り	内壁、天井	合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り	屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り	2 仮 設 工 事	○ 2. 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ・ 利用できる (※有償 ・ 無償) 構内既存の給水設備を利用する場合は、水道局へ随時給水の申請を行い、水道メーターを設置すること。	○ 3. 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ・ 利用できる (※有償 ・ 無償)	○ 4. 敷地調査	平板、周辺設備マンホール等の取り合い。	○ 5. その他	※表示板の大きさ等: ※下図による。 設置位置は監督員との協議による。また、取付けは、強風等に対し安全な工法とする。 (参考例) <table><tr><td>市章 150*150程度</td><td>シボマーク 150*150程度以上</td></tr><tr><td colspan="2">工事名 ○○○○○○○○新築本体工事</td></tr><tr><td colspan="2">発注者 鹿児島市長</td></tr><tr><td colspan="2">設計者 鹿児島市○○局○○部○○課</td></tr><tr><td colspan="2">監理者 鹿児島市○○局○○部○○課</td></tr><tr><td colspan="2">施工者 ○○○○建設株式会社 連絡先 ○○</td></tr><tr><td colspan="2">工 期 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日</td></tr></table>	市章 150*150程度	シボマーク 150*150程度以上	工事名 ○○○○○○○○新築本体工事		発注者 鹿児島市長		設計者 鹿児島市○○局○○部○○課		監理者 鹿児島市○○局○○部○○課		施工者 ○○○○建設株式会社 連絡先 ○○		工 期 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		3 土 工 事	○ 1. 埋戻し及び盛土	種別 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3)(表3.2.1) 各層厚さ ※300mm程度ごとに締め固める	2. 地均し	工事完了後の整地は建物周囲2m程度の範囲について水はけよく地均しを行う。 ただし、仮設等で使用した範囲については原形に復する。	○ 3. 建設発生土の処理	※()処分場へ搬出するものとする。その他処分場にて投棄処分を行う場合は、 必ず処理場変更願承諾申請書を提出し、監督員にその承諾を得るものとする。 ・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構内指示の場所に敷き均し	4. 山留め	・ 存置する ※存置しない (3.3.3)	○ 1. 砂利地業	材料 ・ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利及び切込碎石 (4.6.2) 厚さ ※60 ・ () (4.6.3)	○ 2. 砂地業	厚さ ※30 ・ () (4.6.3)	○ 3. 捨コンクリート地業	厚さ ※50 ・ () (4.6.2)(4.6.4)	○ 4. 床下防湿層	施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) (4.6.2)(4.6.5) 材料 ※ポリエチレンフィルム ・ () 厚さ ※0.15 ・ () 重ね合せ及び基礎梁際の折り下がり、は、250mm程度とする。	○ 1. 鉄筋の種類	※JISG3112 ・ JIS3117 (5.2.1)(表5.2.1) <table><tr><th>種類の記号呼び名(mm)</th></tr><tr><td>・ SD295 D16以下</td></tr><tr><td>・ SD345 D19以上</td></tr><tr><td>・ SD390 D29以下</td></tr><tr><td>・</td></tr></table> ・高強度せん断補強筋(建築基準法第37条認定を受けたもの、種別、使用部位、加工: () ※図面による	種類の記号呼び名(mm)	・ SD295 D16以下	・ SD345 D19以上	・ SD390 D29以下	・	○ 2. 溶接金網	・鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径: ※図示による (5.2.2)	○ 3. 継手及び定着	柱及び梁の主筋 (※D19以上 ・) ・重ね継手 ※ガス圧接 (5.3.4) その他の鉄筋 (※D16以下 ・) ※重ね継手 ・ ()	○ 4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	かぶり厚さは目地底から算定する。 (5.3.5) ※(表5.3.6)による ・構造特記仕様書による ・図示による ・耐久上不利な箇所及び鉄筋のかぶり厚さ <table><tr><th>施 工 箇 所</th><th>鉄筋のかぶり厚さ(mm)</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	施 工 箇 所	鉄筋のかぶり厚さ(mm)			○ 5. 帯筋	形の種別 ・ H形 ・ W-1形 ・ SP形(スパイラル筋) ・ 丸形 (別図2.2)	6. 最上階柱頭補強	※行う ・ 行わない	7. 壁開口部の補強	一般壁 ・ A形 ※B形 ・ 図示 (別図4.3)(表4.3)(表4.4) 耐震壁 ※B形 ・ 図示	8. 土間コンクリート補強	補強箇所 ・ 土間 ・ 大走り ・ ()	9. 梁貫通孔の補強形式	補強形式 ※H形 ・ (別図7.1)(表7.1〜3)	○ 10. 圧接完了後の試験	検査方法 ・ 引張試験 ※超音波探傷試験 ※外観試験 (5.4.10)	○ 11. 各部配筋	図示のないものは、各部配筋参考図による。									
部位等	仕 上 げ																																																																																										
床	合板張り又はビニル床シート張り																																																																																										
内壁、天井	合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り																																																																																										
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																																																										
市章 150*150程度	シボマーク 150*150程度以上																																																																																										
工事名 ○○○○○○○○新築本体工事																																																																																											
発注者 鹿児島市長																																																																																											
設計者 鹿児島市○○局○○部○○課																																																																																											
監理者 鹿児島市○○局○○部○○課																																																																																											
施工者 ○○○○建設株式会社 連絡先 ○○																																																																																											
工 期 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日																																																																																											
種類の記号呼び名(mm)																																																																																											
・ SD295 D16以下																																																																																											
・ SD345 D19以上																																																																																											
・ SD390 D29以下																																																																																											
・																																																																																											
施 工 箇 所	鉄筋のかぶり厚さ(mm)																																																																																										
○ 4. 技能士	・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・ コンクリート圧送施工 ・ 型枠施工 ◎ とび ・ ブロック建築 (1.5.2) ・ 鉄工(・ 構造物鉄工作业 ・ 製缶作業) ・ エーメル・パネル施工 ・ 石材施工(石張り作業) ◎ 防水施工(◎ ウレタン系塗膜防水工事業 ◎ シーリング防水工事業 ・ 合成ゴム系シート防水工事業 ・ アスファルト防水工事業 ・ アクリルゴム系塗装防水工事業) ・ タイル張り ・ 建築大工 ・ かわらぶき ・ 建築板金(内外装板金作業) ◎ 左官 ◎ サッシ施工 ◎ ガラス施工 ・ カーテンウォール施工 ◎ 建具製作(◎ 木製建具 手加工作業 ・ アルミ製室内建具製作作業 ・ 木製建具 機械加工作業) ◎ 内装仕上げ施工(◎ ボード仕上げ工事業 ◎ 鋼製下地工事業 ◎ フラスチック系床仕上げ工事業 ・ カーペット系床仕上げ工事業) ◎ 塗装(建築塗装作業) ・ 畳製作 ・ 表装 ・ 造園 ・ 熱絶縁施工(吹付硬質ウレタンフォーム断熱工事業) ◎ 樹脂接着剤注入施工	○ 5. 工事実績情報の登録	受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、 (1.1.4) 工事実績情報システム(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「通知書」を作成し 監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内 に、完成時は工事完成後10日以内に、(一財)日本建設情報総合センターに登録しなければならない。 また、登録完了後は、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を、監督員に提出しなければ ならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。 (ただし、期間には、行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日は含まない)	○ 6. 建築材料等	本工事に使用する建築材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと 同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。なお、「評価名簿による」と特記さ れたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料 等評価名簿(最新版)」による。また、評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その 確認をもって、品質・性能の確認があったものとして行うことができる。	○ 7. 特別な材料の工法	建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。	○ 8. 発生材の処理等	建設副産物の処理 (1.3.11) 1. 本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資 源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建 設リサイクル法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するととも に、マニフェストシステムにより適正処理を行うこと。 2. 建設発生土及び建設廃棄物にあつては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。 3. 建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。 4. 建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。 5. 建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるコンクリート・アスファルト塊、金属くず、木くず等については、最 寄りの再資源化施設(許可を受けた施設)へ搬出すること。 6. マニフェスト(管理票)の備考欄にせつこうボードの有無を明記するとともに、せつこうボードが含まれている場合 は製造会社名等を明記すること。 7. 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は図示による。	○ 9. 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	○ 10. 設備工事との取合い	施工範囲 図示した鉄筋コンクリート梁の貫通孔及び鉄筋コンクリート部で、補強を必要とする貫通孔、開口部の補強、 壁、天井の仕上材、下地材の補強、駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ並び に自動開閉装置取付け箇所の切込み及び補強は標準詳細図などのとおりとし、本工事とする。 なお、細部については監督員と協議する。 施工図 設備機器の位置、取合いなどの検討のできる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。	○ 11. 完成図等	・ 完成図等を提出する。 (1) データデータ i) データ提出媒体:「CD-R」又は「DVD-R」とする。 ii) データ保存形式: CADデータ(国土交通省の「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン〔営繕業務 編〕」のCADデータ交換標準に対応したもの)及び画像データ。 ただし、原則に依りがたい場合は、事前に監督員の承諾を得るものとする。 (2) 2つ折製本(A3判)2部を監督員に提出する。装丁や文字の仕上げについては監督員と協議。 ・ 保全に関する資料 部数1部(監督員の指定する様式) ・ 取扱い説明書 部数部(建設戸数+2戸分)	○ 12. 工事写真	<table><tr><th>区 分</th><th>分類</th><th>規格</th><th>撮影枚数</th><th>部数</th><th>原画の大きさ</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※ 着工前</td><td>※ カラー</td><td>※ L版程度</td><td></td><td>※ 1部</td><td>24×36以上</td><td></td></tr><tr><td>※ 工事中</td><td>※ カラー</td><td>※ L版程度</td><td></td><td>※ 1部</td><td>24×36以上</td><td></td></tr><tr><td>※ 完成時</td><td>※ カラー</td><td>※ L版程度</td><td>枚</td><td>※ 1部</td><td>・ 60×90以上 ・ 24×36以上</td><td>外観4面 主要内部</td></tr></table> ・ 実績報告用写真(2部)を監督員に提出する。 着工前と完成時の外観4面及び完成時の主要内部その他監督員の指示する工種の状況及び完成写真、そ の他監督員の指示する工種の状況及び完成写真	区 分	分類	規格	撮影枚数	部数	原画の大きさ	備 考	※ 着工前	※ カラー	※ L版程度		※ 1部	24×36以上		※ 工事中	※ カラー	※ L版程度		※ 1部	24×36以上		※ 完成時	※ カラー	※ L版程度	枚	※ 1部	・ 60×90以上 ・ 24×36以上	外観4面 主要内部	13. 竣工写真	竣工写真は下記業者の撮影とし、箇所及び方法については監督員の指示による。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。) ・ 完成後(解体工事の場合は、着工前及び完成後)の航空写真及びその電子データを提出すること。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。)	○ 14. 既存建物との取合い	工事中、取合部その他本工事範囲外の部分に汚損又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受け て現状に準じて補修する。	○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。 また、指針値を上回った場合は、引渡しをするまでの間、換気の繰り返し又はベークアウト等により濃度の低下に 努め、指針値以下になるようにすること。なお、住宅については「住宅の品質確保の促進等に関する法律」 の評価方法基準第5の6-3の(3)の定めにより測定等を行うこと。 測定対象 ・ 住宅(建設戸数の1割以上(10戸未満の場合は1戸以上)で、各住戸2室以上) ◎ 非住宅(測定対象室(1〜4階普通教室(4室)、1・2F特別支援、保健室、職員室、図書室)) 測定項目 ・ 5項目(ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン) ◎ 6項目(上記5項目及びパラジクロロベンゼン)	16. 部分使用	・ 有(部分使用の場所等)	○ 17. 指定部分	◎ 有(範囲、時期については監督員の指示による)																																				
区 分	分類	規格	撮影枚数	部数	原画の大きさ	備 考																																																																																					
※ 着工前	※ カラー	※ L版程度		※ 1部	24×36以上																																																																																						
※ 工事中	※ カラー	※ L版程度		※ 1部	24×36以上																																																																																						
※ 完成時	※ カラー	※ L版程度	枚	※ 1部	・ 60×90以上 ・ 24×36以上	外観4面 主要内部																																																																																					

章		適用		項 目		特 記 事 項		章		適用		項 目		特 記 事 項																													
7 鉄骨工事	○	4. 溶 接 接 合	開先形状(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による) ・レ形 ・K形 ・() (7. 6. 4) 余盛り高さ ※ 鉄骨精度検査基準による ・() (7. 6. 7) ・鋼製エンドタブを切断する箇所及び範囲 () (7. 6. 12) 溶接部の試験 ※ 外観試験 (a)() (b)() ※ 超音波探傷試験 ※行う AOQL(工場溶接) ※ 4.0% ・ 2.5% 検査水準 ※第6水準 ・()						11 タイル工事		1. 共 通 事 項	伸縮調整目地及びびびり割れ誘発目地 (11. 1. 3) 位置 外壁(※ 表11. 1. 1 ・ 図示による) 屋内(・) 寸法 ※ 9. 7. 3 ・ ()																															
	○	5. 錆 止 め 塗 装	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲() (7. 8. 2) 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲() 種別 鋼製スリープ内面(※ A種 ・ B種) (7. 8. 4)(表18. 3. 1) 耐火被覆材の接着面 () (7. 8. 4)						○	2. 施 工 後 の 確 認 及 び 試 験	※ 外観の確認 ※ 打診による確認 ・ 引張接着試験 (11. 1. 7)																																
	○	6. 耐 火 被 覆	種類 () (7. 9. 2) 材料 () 工法 () 耐火性能() (7. 9. 3)						○	3. 材 料	タイルの種類 (11. 2. 2)(11. 3. 2) <table><tr><td>施工箇所</td><td>形状・寸法</td><td>耐凍害性</td><td>耐滑り性</td><td>役物</td><td>色</td></tr><tr><td>トイレ</td><td>汚垂タイル</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 標準 ・ 特注</td></tr><tr><td>昇降口</td><td>100角</td><td>・ 有 ◎ 無</td><td>◎ 有 ・ 無</td><td>◎ 有 ・ 無</td><td>◎ 標準 ・ 特注</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 標準 ・ 特注</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 標準 ・ 特注</td></tr></table> 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。) タイル試験張り (・ 実施する ・ 実施しない) タイル見本焼き(・ 実施する ・ 実施しない)			施工箇所	形状・寸法	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	トイレ	汚垂タイル	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注	昇降口	100角	・ 有 ◎ 無	◎ 有 ・ 無	◎ 有 ・ 無	◎ 標準 ・ 特注			・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注			・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注
	施工箇所	形状・寸法	耐凍害性	耐滑り性	役物	色																																					
	トイレ	汚垂タイル	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注																																					
昇降口	100角	・ 有 ◎ 無	◎ 有 ・ 無	◎ 有 ・ 無	◎ 標準 ・ 特注																																						
		・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注																																						
		・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注																																						
○	7. 工 事 現 場 施 工	建方精度 ※ 鉄骨精度検査基準による ・ () (7. 10. 2) アンカーボルト ・ 構造用アンカーボルト 形状() 寸法() (7. 10. 3) ・ アンカーフレーム 形状() 寸法() ・ 建方用アンカーボルト 保持及び埋込工法(・ A種 ※ B種 ・ C種) (表7. 10. 1) 柱底均しモルタル工法 工法(※ A種 ・ B種) 厚さ()						○	4. セメントモルタルによる タ イ ル 張 り	・ 既調合モルタル() (11. 2. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ (・ MCR工法 ・ 目荒し工法(高圧水洗)) (11. 2. 7)(表11. 2. 3) タイル張りの種別 () ・ () 工法 () ・ ()																																	
○	8. 軽 量 形 鋼 溶 融 亜 鉛 め っ き 工	ボルト接合 ※ 普通ボルト接合 ・ () (7. 11. 2) 亜鉛めっき (7. 12. 4)(表14. 2. 2) <table><tr><td>亜鉛めっき種別</td><td>材 料</td><td>適 用 部 位</td></tr><tr><td>A 種</td><td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td>B 種</td><td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td>C 種</td><td>最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr></table> 普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類 高力ボルト接合摩擦面 ・ プラスト処理 ・ () (7. 12. 5)			亜鉛めっき種別	材 料	適 用 部 位	A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類		B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類		C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類					○	5. 有 機 系 接 着 剤 による タ イ ル 張 り	◎ 外装タイルにおける目地詰め (◎ 行う ・ 行わない) (11. 3. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ (・ MCR工法 ・ 目荒し工法) (11. 3. 5)																					
亜鉛めっき種別	材 料	適 用 部 位																																									
A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類																																										
B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類																																										
C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類																																										
8 コンクリートブロック工事	1.	補 強 コ ン ク リ ー ト フ ロ ッ ク 造	ブロックの種類 () (8. 2. 2) モジュール呼び寸法() 正味厚さ () 各部の配筋 ※図示による (8. 2. 5)						12 I 1 軸組構造(壁構造系)工事		2.	木 材	※ 公共建築木造工事標準仕様書(平成31年版)5章の規定による。 ※ 建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる軸組を用いて、同4項の壁量を満たす建築物 木標仕(5. 1. 1) 部材寸法、その他 木標仕(5. 2. 2) 柱 : (120*120) @ 950 間柱 : (120*60) @ 455 胴縁 : (13*45) @ 455 木摺 : (13*75) @ 455 天井 吊木受 : (45*120～150) @ 950 吊木 : (45*45) @ 950 野縁受 : (45*45) @ 950 野縁 : (45*45) @ 455 ※ 但し、下地材の間隔は、使用材料の規格寸法にあわせる。																														
	2.	コ ン ク リ ー ト フ ロ ッ ク 帳 壁 及 び 塀	ブロックの種類 ※ 表8. 3. 1 (8. 3. 2) 配筋 (8. 3. 4) <table><tr><td>縦 筋</td><td>横 筋</td><td>開口補強筋(縦横)</td><td>端部補強筋</td></tr><tr><td>D10－400@</td><td>D10－400@</td><td>1－D13</td><td>1－D13</td></tr></table>			縦 筋	横 筋	開口補強筋(縦横)			端部補強筋	D10－400@	D10－400@	1－D13	1－D13				3.	接 合 金 物 ・ 接 合 具 等	構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等 木標仕(5. 2. 4) ※ 木標仕5章の規定以外は図示による。 ボルトの径 (※ 図示 ・ ()) ※ 木標仕5章の規定以外は図示による。 ボルトが受ける応力の種類 ・ 引張りを受けるボルト (※ 図示 ・ ()) ・ せん断力を受けるボルト (※ 図示 ・ ()) 複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数 ※ 図示及び木標仕5章各節の規定による。 ・ () ※ 構造金物は2マーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。																						
	縦 筋	横 筋	開口補強筋(縦横)	端部補強筋																																							
	D10－400@	D10－400@	1－D13	1－D13																																							
	○	3. A L C パ ネ ル	壁鉄筋の継手() 定着() 末端部折り曲げ形状() 区分() 単位荷重() 厚さ() 幅() 長さ() (8. 4. 2) 耐火性能() 外壁パネル構法 構法の種別:(・ A種 ・ B種) 工法() 目地幅() (8. 4. 3) 耐火目地材()								4.	仕 口 及 び 継 手 の 工 法	※ 「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1460号) 木標仕(5. 4. 2)による。																														
4.	押 出 成 形 セ メ ン ト 板	種類()形状()厚さ()幅() (8. 5. 2) 外壁パネル工法 工法の種別:(・ A種 ・ B種) 工法() 目地幅() (8. 5. 3) 間仕切壁パネル工法 工法の種別:(・ B種 ・ C種) (8. 5. 4)						○	1. 長 尺 金 属 板 葺	(13. 2. 2)(13. 2. 3)(表13. 2. 1) <table><tr><td>屋根葺き形式</td><td>材 種 (板・コイル)</td><td>表 面 処 理</td><td>板厚(mm)</td></tr><tr><td>・ 心木なし瓦葺葺</td><td>・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)</td><td>◎ フッソ樹脂塗装</td><td>※ 0.4 ・ 0.5</td></tr><tr><td>◎ 立て平葺</td><td>・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)</td><td>・ 亜鉛めっき塗装</td><td>・ 0.6 ・ 0.8</td></tr><tr><td>・ 横葺</td><td>・ 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)</td><td>・ 焼付塗装</td><td>・ 0.8 ・ 1.0</td></tr><tr><td></td><td>・ 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>◎ 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 鼻隠し・ケラバ</td><td>・</td><td></td><td>※ 0.6</td></tr></table> 専門工事業者は製造所の指定業者とする 塗膜の耐久性の種類 表面 ・ 1類 ・ 2類 ・ 3類 裏面 ・ 1類 ・ 2類 ・ () めっき付着量 ・ () 下葺材料 ※ アスファルトルーフィング940 ・ 改質アスファルトルーフィング下葺材 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による 横葺きの場合のけらば納め ・ つかみ込み納め ・ けらば納め			屋根葺き形式	材 種 (板・コイル)	表 面 処 理	板厚(mm)	・ 心木なし瓦葺葺	・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)	◎ フッソ樹脂塗装	※ 0.4 ・ 0.5	◎ 立て平葺	・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)	・ 亜鉛めっき塗装	・ 0.6 ・ 0.8	・ 横葺	・ 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)	・ 焼付塗装	・ 0.8 ・ 1.0		・ 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)				◎ 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)			・ 鼻隠し・ケラバ	・		※ 0.6			
屋根葺き形式	材 種 (板・コイル)	表 面 処 理	板厚(mm)																																								
・ 心木なし瓦葺葺	・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)	◎ フッソ樹脂塗装	※ 0.4 ・ 0.5																																								
◎ 立て平葺	・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)	・ 亜鉛めっき塗装	・ 0.6 ・ 0.8																																								
・ 横葺	・ 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)	・ 焼付塗装	・ 0.8 ・ 1.0																																								
	・ 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)																																										
	◎ 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)																																										
・ 鼻隠し・ケラバ	・		※ 0.6																																								
9 防水工事	1.	合 成 高 分 子 系 ルーフィングシート防水	(9. 4. 2～3)(表9. 4. 1) <table><tr><td>工 程 種 別</td><td>適 用 箇 所</td><td>仕 上 げ 塗 料 塗 り</td><td>厚 さ</td></tr><tr><td>・ S－F1</td><td rowspan="2">・ カラー</td><td rowspan="2">・ シルバー</td><td>※ 1.2mm ・</td></tr><tr><td>・ S－F2</td><td>※ 1.5mm ・</td></tr><tr><td>・ S－M1</td><td rowspan="2">・ カラー</td><td rowspan="2">・ シルバー</td><td>※ 1.5mm ・</td></tr><tr><td>・ S－M2</td><td>※ 1.5mm ・</td></tr></table> 機械的固定方法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること (9. 4. 4) 可塑性移行防止用シート ※ 発泡ポリエチレンシート ・ ()			工 程 種 別	適 用 箇 所	仕 上 げ 塗 料 塗 り	厚 さ	・ S－F1	・ カラー	・ シルバー	※ 1.2mm ・	・ S－F2	※ 1.5mm ・	・ S－M1	・ カラー	・ シルバー	※ 1.5mm ・	・ S－M2	※ 1.5mm ・				13 屋根及び とい工事		2.	折 板 葺	材料 ※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (板厚(mm) ・ 0.6 ・ 0.8) (13. 3. 2)(13. 3. 3) ・ (板厚(mm) ・) 寸法 山高 ()mm 山ピッチ ()mm 形式 ※ 重ね形 ・ はぜ締め形 ・ かん合形 直接外気の影響を受けない屋内のタイトフレームに使用する材料 ※ 図示による 軒先面戸板 ※ 有り ・ 無し 断熱材張り (種別: 厚さ: 防火性能:) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による														
工 程 種 別	適 用 箇 所	仕 上 げ 塗 料 塗 り	厚 さ																																								
・ S－F1	・ カラー	・ シルバー	※ 1.2mm ・																																								
・ S－F2			※ 1.5mm ・																																								
・ S－M1	・ カラー	・ シルバー	※ 1.5mm ・																																								
・ S－M2			※ 1.5mm ・																																								
○	2. 塗 膜 防 水	ウレタンゴム系塗膜防水 (9. 5. 3)(表9. 5. 1～2) <table><tr><td>工 程 種 別</td><td>施 工 箇 所</td><td>備 考</td></tr><tr><td>・ X-1 (絶縁工法)</td><td>※ 屋根</td><td></td></tr><tr><td>◎ X-2 (密着工法)</td><td>※ 屋根</td><td></td></tr></table> ゴムアスファルト系塗膜防水 <table><tr><td>工 程 種 別</td><td>施 工 箇 所</td><td>備 考</td></tr><tr><td>・ Y-1</td><td>地下外壁</td><td></td></tr><tr><td>・ Y-2</td><td>屋内</td><td>保護層 ・ 適用する ・ 適用しない</td></tr></table>			工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考	・ X-1 (絶縁工法)	※ 屋根		◎ X-2 (密着工法)	※ 屋根		工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考	・ Y-1	地下外壁		・ Y-2	屋内	保護層 ・ 適用する ・ 適用しない				○	3. と い	とい (13. 5. 2)(表13. 5. 1) 材種等 ※ 図示による 外部縦どい受け金物 ※ ステンレス製 ・ 鋼製(亜鉛めっき) (13. 5. 2) 形状・取付間隔 ※ 図示による															
工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考																																									
・ X-1 (絶縁工法)	※ 屋根																																										
◎ X-2 (密着工法)	※ 屋根																																										
工 程 種 別	施 工 箇 所	備 考																																									
・ Y-1	地下外壁																																										
・ Y-2	屋内	保護層 ・ 適用する ・ 適用しない																																									
○	3. シ ー リ ン グ	シーリングの種類は、表9. 7. 1による (9. 7. 2)(表9. 7. 1) 目地寸法 ※ 9. 7. 3(1)(7～ウ) ・ () (9. 7. 3) 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 (9. 7. 5)						○	4. 保 証 書 及 び 期 間	屋根工事の施工については、10年保証書を提出すること。なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする。 保証書の必要な屋根工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。																																	
○	4. 屋 根 コ ン ク リ ー ト 防 水	屋上等の活性進化防水剤入りコンクリートタンピング金こて押え(防水剤は6章 コンクリート工事による)																																									
○	5. 保 証 書 及 び 期 間	防水工事の施工については、10年保証書を提出すること。 なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする(シーリングを除く)。 保証書の必要な防水工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。																																									
10 石工事	1.	共 通 事 項	石の割付け ・ () ・ 図示による (10. 1. 3) 石材の加工 粗面仕上げの場合 ・ 監督員と協議 ・ 図示による ワックスの使用 ・ 使用する ・ 使用しない (10. 1. 5)								株式会社ixrea 一級建築士 第 331861 号 吉田 浩司		星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事 建築工事特記仕様書 5－3 鹿児島市建設局建築部建築課																														
	2.	材 料	テラゾ 種類及び大きさ ※ 大理石(15～12mm) ・ () テラゾブロック 形状 ・ 平物 ・ 役物 仕上げ面 ・ 片面 ・ 両面 寸法 (図示による) 表面仕上げ ・ 粗磨き ・ 水磨き ・ 本磨き			接合具等 (12. 2. 2) 造作材の化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭埋し 諸金物の形状、寸法、材質 ※ 12. 2. 2(2)(ア)による ・ () ・ 図示による 諸金物の形状、寸法、材質 ※ 12. 2. 2(2)(ア)による ・ () ・ 図示による																																					

項 目		特 記 事 項																																										
○ 1. 一 般 事 項	あと施工アンカー施工後の確認引張試験 ・ 実施する ・ 実施しない (14. 1. 3)																																											
○ 2. 表 面 処 理	○ アルミニウム及びアルミニウム合金 (14. 2. 1)(表14. 2. 1) <table><tr><th>種 類</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ AB－1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・ AB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・ AC－1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・ AC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・ BA－1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・ BA－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>※BB－1種(無着色)</td><td>アルミ建具</td></tr><tr><td>・ BB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・ BC－1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・ BC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・ C種</td><td></td></tr></table> 陽極酸化皮膜着色方法 ※二次電解着色 (色合:) ・ () ○ 鉄鋼の亜鉛めっき (14. 2. 2)(表14. 2. 2～4) <table><tr><th>表面処理方法</th><th>種 類</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td><td>・ A種</td><td></td></tr><tr><td>・ B種</td><td></td></tr><tr><td>・ C種</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td><td>・ D種</td><td></td></tr><tr><td>・ E種</td><td></td></tr><tr><td>・ F種</td><td></td></tr></table>	種 類	施 工 箇 所	・ AB－1種(無着色)		・ AB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・ AC－1種(無着色)		・ AC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・ BA－1種(無着色)		・ BA－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		※BB－1種(無着色)	アルミ建具	・ BB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・ BC－1種(無着色)		・ BC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・ C種		表面処理方法	種 類	施 工 箇 所	溶融亜鉛めっき	・ A種		・ B種		・ C種		電気亜鉛めっき	・ D種		・ E種		・ F種			
種 類	施 工 箇 所																																											
・ AB－1種(無着色)																																												
・ AB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																												
・ AC－1種(無着色)																																												
・ AC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																												
・ BA－1種(無着色)																																												
・ BA－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																												
※BB－1種(無着色)	アルミ建具																																											
・ BB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																												
・ BC－1種(無着色)																																												
・ BC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																												
・ C種																																												
表面処理方法	種 類	施 工 箇 所																																										
溶融亜鉛めっき	・ A種																																											
	・ B種																																											
	・ C種																																											
電気亜鉛めっき	・ D種																																											
	・ E種																																											
	・ F種																																											
○ 3. 軽 量 鉄 骨 天 井 下 地	野縁等の種類 屋内 ※19形 ・ 25形 (14. 4. 2)(表14. 4. 1) 屋外 ・ 19形 ※25形 ・ 野縁受、吊ボルト及びインサート間隔(屋外) () (14. 4. 3)(表14. 4. 2) ・ 野縁の間隔(屋外) () ・ ダクト等により吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示による ・ () (14. 4. 4) ・ 天井ふところがい.5mm以上の補強方法 ※図示による ・ () ・ 屋外の軒・ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 ※図示による ・ ()																																											
○ 4. 軽 量 鉄 骨 壁 下 地	スタッド、ランナーの種類 (14. 5. 1～14. 5. 4)(表14. 5. 1) <table><tr><th>種 類</th><th>部 材</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ 50形</td><td>・ スタッド ・ ランナ</td><td></td></tr><tr><td>○ 65形</td><td>○ スタッド ○ ランナ</td><td>図示</td></tr><tr><td>・ 90形</td><td>・ スタッド ・ ランナ</td><td></td></tr><tr><td>○ 100形</td><td>○ スタッド ○ ランナ</td><td>図示</td></tr></table>	種 類	部 材	施 工 箇 所	・ 50形	・ スタッド ・ ランナ		○ 65形	○ スタッド ○ ランナ	図示	・ 90形	・ スタッド ・ ランナ		○ 100形	○ スタッド ○ ランナ	図示																												
種 類	部 材	施 工 箇 所																																										
・ 50形	・ スタッド ・ ランナ																																											
○ 65形	○ スタッド ○ ランナ	図示																																										
・ 90形	・ スタッド ・ ランナ																																											
○ 100形	○ スタッド ○ ランナ	図示																																										
5. 金 属 成 形 板 張 り	(14. 6. 2)(14. 6. 3) <table><tr><th>形 状</th><th>製 法</th><th>材 種</th><th>寸法(mm)</th><th>厚 さ(mm)</th><th>表面処理</th></tr><tr><td rowspan="3">・ スパンドレル形</td><td>・ 押出し</td><td rowspan="3">※アルミニウム製</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">(14.2.1～3、表14.2.1～2による)</td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・ ロール</td><td></td></tr><tr><td>・ パネル形</td><td>※プレス</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 伸縮調整継手 ※設けない ・ 設ける(施工箇所は図示)	形 状	製 法	材 種	寸法(mm)	厚 さ(mm)	表面処理	・ スパンドレル形	・ 押出し	※アルミニウム製			(14.2.1～3、表14.2.1～2による)	・		・ ロール		・ パネル形	※プレス																									
形 状	製 法	材 種	寸法(mm)	厚 さ(mm)	表面処理																																							
・ スパンドレル形	・ 押出し	※アルミニウム製			(14.2.1～3、表14.2.1～2による)																																							
	・																																											
	・ ロール																																											
・ パネル形	※プレス																																											
○ 6. アルミニウム製 笠 木	(14. 7. 2)(14. 7. 3) <table><tr><th>種 類</th><th>表 面 処 理</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ 250形</td><td>・ AB-1種 ・ AB-2種 ・ AC-1種 ・ AC-2種</td><td>・ 隅角部及び突当たり部等</td></tr><tr><td>・ 300形</td><td>・ BA-1種 ・ BA-2種 ※BB-1種 ・ BB-2種</td><td>の役物は本体製造所の仕様による</td></tr><tr><td>・ 350形</td><td>・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ C種</td><td></td></tr></table> ※工法は建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること	種 類	表 面 処 理	備 考	・ 250形	・ AB-1種 ・ AB-2種 ・ AC-1種 ・ AC-2種	・ 隅角部及び突当たり部等	・ 300形	・ BA-1種 ・ BA-2種 ※BB-1種 ・ BB-2種	の役物は本体製造所の仕様による	・ 350形	・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ C種																																
種 類	表 面 処 理	備 考																																										
・ 250形	・ AB-1種 ・ AB-2種 ・ AC-1種 ・ AC-2種	・ 隅角部及び突当たり部等																																										
・ 300形	・ BA-1種 ・ BA-2種 ※BB-1種 ・ BB-2種	の役物は本体製造所の仕様による																																										
・ 350形	・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ C種																																											
○ 1. モ ル タ ル 塗 り	材料 (15. 3. 2) モルタル ・ 現場調査合材料 ・ 既調査合材料(材料は監督員の承諾による) 防水モルタルの防水剤 製造所(監督員の承諾を得るものとする。) ・既製目地材 形状()																																											
○ 2. 仕 上 塗 材 仕 上 げ	材料 (15. 6. 2)(表15. 6. 1～2) JIS A 6909(建築用仕上塗材) <table><tr><th>種 類</th><th>呼 び 名</th><th>仕 上 げ 形 状 等</th></tr><tr><td>・ 薄付け仕上塗材</td><td>※外装薄塗材E</td><td>・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状</td></tr><tr><td>・ 複層仕上塗材</td><td>※複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E</td><td>※ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶 媒 ※水系 ・ 溶剤系 樹 脂 ※アクリル系 外 観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック</td></tr></table>	種 類	呼 び 名	仕 上 げ 形 状 等	・ 薄付け仕上塗材	※外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状	・ 複層仕上塗材	※複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E	※ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶 媒 ※水系 ・ 溶剤系 樹 脂 ※アクリル系 外 観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック																																		
種 類	呼 び 名	仕 上 げ 形 状 等																																										
・ 薄付け仕上塗材	※外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状																																										
・ 複層仕上塗材	※複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E	※ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶 媒 ※水系 ・ 溶剤系 樹 脂 ※アクリル系 外 観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック																																										
○ 1. アルミニウム製 建 具	(16. 2. 2,4,5)(表16. 2. 1, 2) <table><tr><th>種 別</th><th>外 部 に 面 す る 建 具</th><th>内 部 建 具</th><th>検 見 込 み(mm)</th></tr><tr><td>※普通ドア</td><td>※コンクリート系</td><td>・ A種 ・ B種</td><td>※70 ・</td></tr><tr><td>セット、サッシ</td><td>鉄骨下地</td><td>・ C種</td><td>※100 ・ 図示</td></tr><tr><td>・</td><td>・ 木下地</td><td>・ D種 ・ E種</td><td>※70</td></tr><tr><td>・ 防音ドアセット</td><td>遮音性の等級()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 断熱ドアセット</td><td>断熱性の等級()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 耐震ドアセット</td><td>面内変形追従性の等級()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>表面処理(表14.2.1による)</td><td>※BB-1種 ・</td><td>※AC-1種 ・</td><td></td></tr></table> 網戸防虫網 ※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 (16. 2. 3) 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)	種 別	外 部 に 面 す る 建 具	内 部 建 具	検 見 込 み(mm)	※普通ドア	※コンクリート系	・ A種 ・ B種	※70 ・	セット、サッシ	鉄骨下地	・ C種	※100 ・ 図示	・	・ 木下地	・ D種 ・ E種	※70	・ 防音ドアセット	遮音性の等級()			・ 断熱ドアセット	断熱性の等級()			・ 耐震ドアセット	面内変形追従性の等級()			表面処理(表14.2.1による)	※BB-1種 ・	※AC-1種 ・												
種 別	外 部 に 面 す る 建 具	内 部 建 具	検 見 込 み(mm)																																									
※普通ドア	※コンクリート系	・ A種 ・ B種	※70 ・																																									
セット、サッシ	鉄骨下地	・ C種	※100 ・ 図示																																									
・	・ 木下地	・ D種 ・ E種	※70																																									
・ 防音ドアセット	遮音性の等級()																																											
・ 断熱ドアセット	断熱性の等級()																																											
・ 耐震ドアセット	面内変形追従性の等級()																																											
表面処理(表14.2.1による)	※BB-1種 ・	※AC-1種 ・																																										
○ 2. 鋼 製 建 具	(16. 4. 2,4,5)(表16. 4. 1,2) <table><tr><th>種 別</th><th>簡易気密型ドアセットの性能</th><th>外部に面する建具の耐風圧性</th><th>鋼 板 類 の 厚 さ</th></tr><tr><td rowspan="2">・ 標準型建具</td><td>・ 表16. 4. 1を適用する</td><td>・ S-4 ・ S-5</td><td>※表16. 4. 2による</td></tr><tr><td>・ 適用しない</td><td>・ S-6 ・</td><td>・ 適用しない</td></tr><tr><td rowspan="2">・ 標準型建具</td><td>・ 表16. 4. 1を適用する</td><td>・ S-4 ・ S-5</td><td>※表16. 4. 2による</td></tr><tr><td>以外の建具</td><td>・ 適用しない</td><td>・ S-6 ・</td><td>・ 適用しない</td></tr></table> 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)	種 別	簡易気密型ドアセットの性能	外部に面する建具の耐風圧性	鋼 板 類 の 厚 さ	・ 標準型建具	・ 表16. 4. 1を適用する	・ S-4 ・ S-5	※表16. 4. 2による	・ 適用しない	・ S-6 ・	・ 適用しない	・ 標準型建具	・ 表16. 4. 1を適用する	・ S-4 ・ S-5	※表16. 4. 2による	以外の建具	・ 適用しない	・ S-6 ・	・ 適用しない																								
種 別	簡易気密型ドアセットの性能	外部に面する建具の耐風圧性	鋼 板 類 の 厚 さ																																									
・ 標準型建具	・ 表16. 4. 1を適用する	・ S-4 ・ S-5	※表16. 4. 2による																																									
	・ 適用しない	・ S-6 ・	・ 適用しない																																									
・ 標準型建具	・ 表16. 4. 1を適用する	・ S-4 ・ S-5	※表16. 4. 2による																																									
	以外の建具	・ 適用しない	・ S-6 ・	・ 適用しない																																								
3. ステンレス製建具	材料 ※ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・ () (16. 6. 3) 表面仕上げ ※ HL ・ No.8(鏡面) ・ #400 ・ No.2B ・ () (16. 6. 4) 曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16. 6. 5) 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)																																											
○ 4. 木 製 建 具	建具材の含水率 ※A種 ・ B種 ・ C種 (16. 7. 2)(表16. 7. 1) かまち戸の樹種 かまち () 鏡板 () ふすま紙の上張り ・ 新鳥の子 ・ 鳥の子 ・ ビニル紙 ・ 雲花紙 枠 ・ 木製枠 ・ 鋼製枠 () くつずり ・ ステンレス製(HL仕上げ) ・ () フラッシュ戸 表面板の厚さ ※表16.7.6 ・ () (16. 7. 3) 見込み寸法 かまち戸(※36mm ・) ふすま戸(※19.5 ・ 21 ・ 18) (16. 7. 3) 戸ぶすま(※30mm ・) 紙張り障子(※30mm ・)																																											
○ 5. 建 具 用 金 物	※ 建具製作所の仕様による ・ 図示による (16. 8. 1,2,3)(表16. 8. 1) マスターキー ※製作する ・ 製作しない 鍵箱 ※必要 (組用) ・ 不要																																											
6. 重 量 シ ャ ッ タ ー	(16. 11. 2～5) <table><tr><th>種 類</th><th>耐 風 圧 性 能</th><th>開 閉 機 能</th><th>シャッターケースの設置</th><th>危 害 防 止 機 構</th></tr><tr><td>・ 管理用シャッター</td><td>・ 50 ・ 80</td><td>※ 上部電動式</td><td>・ 有 ・ 無</td><td rowspan="4">※ 危険防止措置 ・ シャッターの二段降下方式</td></tr><tr><td>・ 外壁用防火シャッター</td><td>・ 120 ・</td><td>(手動併用)</td><td></td></tr><tr><td>・ 屋内用防火シャッター</td><td></td><td>・ 上部手動式</td><td>※ 有</td></tr><tr><td>・ 防煙シャッター</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種 類	耐 風 圧 性 能	開 閉 機 能	シャッターケースの設置	危 害 防 止 機 構	・ 管理用シャッター	・ 50 ・ 80	※ 上部電動式	・ 有 ・ 無	※ 危険防止措置 ・ シャッターの二段降下方式	・ 外壁用防火シャッター	・ 120 ・	(手動併用)		・ 屋内用防火シャッター		・ 上部手動式	※ 有	・ 防煙シャッター																								
種 類	耐 風 圧 性 能	開 閉 機 能	シャッターケースの設置	危 害 防 止 機 構																																								
・ 管理用シャッター	・ 50 ・ 80	※ 上部電動式	・ 有 ・ 無	※ 危険防止措置 ・ シャッターの二段降下方式																																								
・ 外壁用防火シャッター	・ 120 ・	(手動併用)																																										
・ 屋内用防火シャッター		・ 上部手動式	※ 有																																									
・ 防煙シャッター																																												
7. 軽 量 シ ャ ッ タ ー	開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用) (16. 12. 2) 耐風圧性能 ・ 50 ・ 65 ・ 80 ・ スラットの材質 ※ 塗装亜鉛めっき鋼板又は鋼帯 ・ () (16. 12. 3) スラットの形状 ・ インターロック形 ・ オーバーラッピング形 (16. 12. 4)																																											
○ 8. ガ ラ ス	JIS規格品 (16. 14. 2) ※ 材料、厚みは図示による																																											
○ 9. ガ ラ ス 留 め 材	アルミニウム製建具 ※ シーリング(SR-1) (16. 14. 2,3) ・ ガスケット(グレイジングチャンネル形)(窓に適用) 鋼製・ステンレス製建具 ※ シーリング(SR-1) 木製建具 ※ シーリング(SR-1) (表 9. 7. 1)																																											
10. ガ ラ ス フ ロ ッ ク 積 み	JIS A 5212(ガラスブロック(中空)) (16. 14. 5) 表面形状() 呼び寸法() 厚さ() 壁用金属枠及び補強材 () カ骨 <table><tr><th>材 質</th><th>寸 法</th><th>形 状</th></tr><tr><td>※ ステンレス鋼(SUS304)</td><td>※ 径5.5mm</td><td>※ はしご形状腹筋及び単筋</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> シーリング材 () 金属製化粧カバー 材質() 寸法() 形状() ガラスブロックの目地幅の寸法 平積み ※8～15mm ・ () 曲面積み ※ 外側15mm以下、内側6mm以上 ・ () 伸縮調整目地位置 ※6m以下 ・ () 目地部のカ骨の補強方法 ※ 製造所の仕様 ・ ()	材 質	寸 法	形 状	※ ステンレス鋼(SUS304)	※ 径5.5mm	※ はしご形状腹筋及び単筋	・	・	・																																		
材 質	寸 法	形 状																																										
※ ステンレス鋼(SUS304)	※ 径5.5mm	※ はしご形状腹筋及び単筋																																										
・	・	・																																										
○ 1. 材 料	※ 屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、防火材料の指定がある場合は建築基準法に基づき、指定又は認定を受けたものとする。基材同等の認定表示のあるものとする。																																											
○ 2. 素 地 ご し ら え	○ 木部 不透明塗料塗り (※A種 ・ B種) (18. 2. 2)(表 18. 2. 1) 透明塗料塗り (・ A種 ※B種) ○ 鉄鋼面 (・ A種 ・ B種 ※C種) (18. 2. 3)(表 18. 2. 2) (耐候性塗料塗り(DP)の場合は、B種とする) ・ 亜鉛めっき鋼面 (・ A種 ・ B種) (18. 2. 4)(表 18. 2. 3) ○ モルタル及びせっこうプaster面 (・ A種 ※B種) (18. 2. 5)(表 18. 2. 4) ○ コンクリート及びALC/パネル及び押出成形セメント板面 (・ A種 ※B種) (18. 2. 6)(表 18. 2. 5) (耐候性塗料塗り(DP)、2液形ホリウレタンエナル塗り、アクリルシオン樹脂エナル塗り、 常温乾燥形ふっ素エナル塗りについては、表18. 2. 6による) ○ せっこうボード及びその他ボード面 継目処理工法 (※A種 ・ B種) (18. 2. 7)(表 18. 2. 7) その他 (・ A種 ※B種)																																											
○ 3. 塗 料 塗 り	○ 錆止め塗料塗り (18. 3. 2～3)(表 18. 3. 1～6) <table><tr><th>下 地</th><th>塗 料 種 別</th><th>塗 り 種 別</th></tr><tr><td rowspan="4">鉄鋼面</td><td>SOP ※A種</td><td>見え掛り部分 ※A種 ・ B種</td></tr><tr><td>EP-G ・ A種 ※B種</td><td>見え隠れ部分 ・ A種 ※B種</td></tr><tr><td>DP 1回目 ※C種</td><td>表18. 3. 4</td></tr><tr><td>2・3回目 ※D種</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">亜鉛めっき鋼面</td><td>SOP ※A種 ・ B種</td><td>鋼製建具 ※A種 ・ B種</td></tr><tr><td>EP-G ※C種</td><td>その他 ・ A種 ※B種</td></tr><tr><td>DP ※B種</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> ○ 合成樹脂調査ペイント塗り(SOP) 塗料種類 ※1種 ・ 2種 (18. 4. 2) 木部塗り種別 (屋外) ※A種 ・ B種 (18. 4. 3) (屋内) ・ A種 ※B種 (多孔質広葉樹の場合を除く) 鉄鋼面塗り種別 ・ A種 ※B種 (18. 4. 4) ○ クリヤラッカー塗り(CL) (18. 5. 2)(表 18. 5. 1) 塗り種別 ・ A種 ※B種 ・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) (18. 6. 2)(表 18. 6. 1) 塗り種別 ・ A種 ※B種	下 地	塗 料 種 別	塗 り 種 別	鉄鋼面	SOP ※A種	見え掛り部分 ※A種 ・ B種	EP-G ・ A種 ※B種	見え隠れ部分 ・ A種 ※B種	DP 1回目 ※C種	表18. 3. 4	2・3回目 ※D種		亜鉛めっき鋼面	SOP ※A種 ・ B種	鋼製建具 ※A種 ・ B種	EP-G ※C種	その他 ・ A種 ※B種	DP ※B種																									
下 地	塗 料 種 別	塗 り 種 別																																										
鉄鋼面	SOP ※A種	見え掛り部分 ※A種 ・ B種																																										
	EP-G ・ A種 ※B種	見え隠れ部分 ・ A種 ※B種																																										
	DP 1回目 ※C種	表18. 3. 4																																										
	2・3回目 ※D種																																											
亜鉛めっき鋼面	SOP ※A種 ・ B種	鋼製建具 ※A種 ・ B種																																										
	EP-G ※C種	その他 ・ A種 ※B種																																										
	DP ※B種																																											
○ 耐 候 性 塗 料 塗 り (DP)	○ 鉄鋼面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ○ 3級 (18. 7. 2)(表 18. 7. 1) ・ 亜鉛めっき鋼面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 3)(表 18. 7. 2) ○ コンクリート面・押出成形セメント板面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ○ 3級 (18. 7. 4)(表 18. 7. 3) ○ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) (18. 8. 2～5)(表 18. 8. 1～4) ・ 塗り種別(下地:コンクリート、モルタル、プaster、せっこうボード等) ・ A種 ※B種 ・ 塗り種別(下地:鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面) ・ A種 ※B種 ・ 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) (18. 9. 2)(表 18. 9. 1) 塗り種別 ・ A種 ※B種 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) (18. 10. 2)(表 18. 10. 1) 木部塗り種別(一般木部及びフローリングは1液形) ・ A種 ※B種 ・ オイルステイン塗り(OS) (18. 11. 2)(表 18. 11. 1) 塗料 ・ () ・ 図示による ・ 木材保護塗料塗り(WP) (18. 12. 2)(表 18. 12. 1) 塗り別 ・ A種 ※B種																																											
○ 1. ビニル床シート、 ビニル床タイル及び ゴム床タイル張り	接着剤 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル幅木に使用する接着剤は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)。 ビニル床シート <table><tr><th>種 類</th><th>色 柄</th><th>厚 さ</th><th>工 法</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※FS</td><td>・ 無地</td><td>※2.0</td><td>※熱溶接</td><td>○ 防滑性ビニル床シート</td></tr><tr><td>・</td><td>○模様</td><td>・</td><td>・突付け</td><td>・</td></tr></table> ビニル床タイル <table><tr><th>種 類</th><th>色 柄</th><th>厚 さ(mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ 単層ビニル床タイル(TT)</td><td>・ 無地</td><td>※ 2</td><td>・ 防滑性床タイル</td></tr><tr><td>・ 複層ビニル床タイル(FT)</td><td>・ 模様</td><td>・ 3</td><td></td></tr><tr><td>・ コンポジションビニル床タイル(KT)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 特殊機能床材 帯電防止床シート又は床タイル 種類() 性能() 厚さ() 視覚障害者用床タイル 種類() 形状() 耐動荷重性床シート 種類() 厚さ() ビニル幅木 厚さ(※1.5mm以上 ・) 高さ(※60mm ・ 100mm) 種類 () ゴム床タイル 種類() 厚さ() 色柄() 寸法() 下地がセメント系及び木質系以外の場合の接着剤種別 ビニル床シート、タイル() ゴム床タイル()	種 類	色 柄	厚 さ	工 法	備 考	※FS	・ 無地	※2.0	※熱溶接	○ 防滑性ビニル床シート	・	○模様	・	・突付け	・	種 類	色 柄	厚 さ(mm)	備考	・ 単層ビニル床タイル(TT)	・ 無地	※ 2	・ 防滑性床タイル	・ 複層ビニル床タイル(FT)	・ 模様	・ 3		・ コンポジションビニル床タイル(KT)				・											
種 類	色 柄	厚 さ	工 法	備 考																																								
※FS	・ 無地	※2.0	※熱溶接	○ 防滑性ビニル床シート																																								
・	○模様	・	・突付け	・																																								
種 類	色 柄	厚 さ(mm)	備考																																									
・ 単層ビニル床タイル(TT)	・ 無地	※ 2	・ 防滑性床タイル																																									
・ 複層ビニル床タイル(FT)	・ 模様	・ 3																																										
・ コンポジションビニル床タイル(KT)																																												
・																																												
2. カーベツト敷き	・ 織じゅうたん 種類 (・ A種 ・ B種 ・ C種) 織り方() (19. 3. 2～3)(表19. 3. 1～2) バイル形状 (・ カットバイル ・ ループバイル ・) 帯電性(人体帯電圧 ※3kv以下 ・) ・ タフテッドカーベツト バイル形状 (・ カットバイル ・ ループバイル ・) バイル長 () 帯電性(人体帯電圧 ※3kv以下 ・) 工法 (・ グリッパバー ・ 全面接着) ・ タイルカーベツト 種類 (※第1種 ・) バイル形状(※ループバイル ・) 寸法 (※500mm角 ・) 総厚さ(※6.5mm ・) 平場敷き方 (※市松敷き ・) 階段敷き方 (※模様流し ・) 下敷き材 (※JIS L 3204 第2種2号 呼び厚さ8mm ・) 取付け用付属品 見切り 材質 () 種類() 形状() 押え金物 材質 () 種類() 形状()																																											
3. 合 成 樹 脂 塗 床	(19. 4. 2～3)(表19. 4. 4～8) <table><tr><th>材 料</th><th>種 類</th><th>仕 上 げ の 種 類</th></tr><tr><td rowspan="2">・ 厚膜型塗床材</td><td>・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材</td><td>※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</td></tr><tr><td>・ エポキシ樹脂系塗床材</td><td>・ 薄膜流しのペ工法 (※平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流しのペ工法 (※平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル工法 (※平滑 ・ 防滑)</td></tr><tr><td>・ 薄膜型塗床材</td><td>・ エポキシ樹脂系塗床材</td><td>・ 平滑仕上げ</td></tr></table>	材 料	種 類	仕 上 げ の 種 類	・ 厚膜型塗床材	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 薄膜流しのペ工法 (※平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流しのペ工法 (※平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル工法 (※平滑 ・ 防滑)	・ 薄膜型塗床材	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 平滑仕上げ																																
材 料	種 類	仕 上 げ の 種 類																																										
・ 厚膜型塗床材	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																																										
	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 薄膜流しのペ工法 (※平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流しのペ工法 (※平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル工法 (※平滑 ・ 防滑)																																										
・ 薄膜型塗床材	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 平滑仕上げ																																										
4. フローリング張り	(19. 5. 2～7)(表19. 5. 1～5) <table><tr><th>工 法</th><th>フ ロー リ ン グ 種 類</th><th>寸 法 等</th><th>樹 種</th></tr><tr><td rowspan="4">※ 釘留め工法 (接着剤併用)</td><td rowspan="2">※ 根太張り工法</td><td>単層 ※フローリングボード</td><td>表19. 5. 1</td></tr><tr><td>複合 ・ A種 ・ B種 ※C種</td><td>表19. 5. 2</td></tr><tr><td rowspan="2">・ 直張り工法</td><td>単層 ※フローリングボード</td><td>表19. 5. 3</td></tr><tr><td>複合 ・ A種 ・ B種 ・ C種</td><td>表19. 5. 4</td></tr><tr><td rowspan="4">・ 接着工法</td><td rowspan="2">単層</td><td>・ フローリングブロック</td><td>※図示による</td></tr><tr><td>・ フローリングボード</td><td>表19. 5. 5</td></tr><tr><td rowspan="2">複合</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td><td>表19. 5. 6</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	工 法	フ ロー リ ン グ 種 類	寸 法 等	樹 種	※ 釘留め工法 (接着剤併用)	※ 根太張り工法	単層 ※フローリングボード	表19. 5. 1	複合 ・ A種 ・ B種 ※C種	表19. 5. 2	・ 直張り工法	単層 ※フローリングボード	表19. 5. 3	複合 ・ A種 ・ B種 ・ C種	表19. 5. 4	・ 接着工法	単層	・ フローリングブロック	※図示による	・ フローリングボード	表19. 5. 5	複合	・ A種 ・ B種 ・ C種	表19. 5. 6																			
工 法	フ ロー リ ン グ 種 類	寸 法 等	樹 種																																									
※ 釘留め工法 (接着剤併用)	※ 根太張り工法	単層 ※フローリングボード	表19. 5. 1																																									
		複合 ・ A種 ・ B種 ※C種	表19. 5. 2																																									
	・ 直張り工法	単層 ※フローリングボード	表19. 5. 3																																									
		複合 ・ A種 ・ B種 ・ C種	表19. 5. 4																																									
・ 接着工法	単層	・ フローリングブロック	※図示による																																									
		・ フローリングボード	表19. 5. 5																																									
	複合	・ A種 ・ B種 ・ C種	表19. 5. 6																																									
5. 畳 敷 き	畳の種別 (和室) ・ A種 ・ B種 ・ C種 (19. 6. 2)(表 19. 6. 1) ・ D種 (・ KT-I ・ KT-II ・ KT-Ⅲ ・ KT-K ・ KT-N) (柔道場) 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)																																											
株式会社ixrea 一級建築士 第 331861 号 吉田 浩司		星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事 建築工事特記仕様書 5－4 鹿児島市建設局建築部建築課 A-05																																										

19
内装工事

6. せっこうボード、その他ボード及び合板張り

せっこうボード、その他ボード類

(19. 7. 2～3)(表 19. 7. 1～5)

種 類	種 別	張 り 方	厚 さ	備 考
○ せっこうボード	GB-R GB-S GB-F GB-L	天井 ※ 突付け ・ 継目処理 壁 ○ 突付け ・ 突付けV目地 ○ 継目処理 ・ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・ ・ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・	
	GB-D	天井 ※ 突付け ・ 継目処理 壁 ・ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ※ 目透し	※ 9.5 ○ 12.5 ・ 15.0 ・ ・ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・	
○ 化粧せっこうボード	トラバーチン模様 (GB-D) 木目模様 (裏棧付) (GB-D)	直 張 り	※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	※ 9.5 ※ 不燃 ・ 準不燃 ※ 455×910 ・ 910×910
	無石綿けい酸カルシウム板		・ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ※ 目透し	※ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12 ・ JIS A5430に準拠したノンアスベストのもの
・ 木毛セメント板	難燃木毛セメント板 (2級以上) 断熱木毛セメント板	・ 30分耐火以上 ・ 準不燃	継目用金物	・ 15 ・ 20 ※ 25 ・ 30 ・ 40 ・ 50 監督員の承諾による工場

合板類

材 種	樹 種 など	厚 さ(mm)	工 法
○ 普通合板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合 (・ ラウン ・ しな ・) 不透明塗料塗りの場合 (・ ラウン ・ しな ・)	・ 5.5 ・ 9 ・ 12 ・ 5.5 ・ 9 ・ 12	・ A種 ※ B種 ・ A種 ※ B種
	天然木化粧合板の化粧単板 (・ ラウン ・ しな ・) 特殊加工化粧合板の仕上の種類 (・)	化粧単板厚 ・ 0.3未満 板厚 ・ 4.2 板厚 ・ 4.0	・ A種 ※ B種 ・ A種 ※ B種

下地 ○ 軽量鉄骨下地 ○ 木下地 ・

7. 壁紙張り

(19. 8. 2～3)

施 工 箇 所	壁 紙 の 種 類				防火性能の級別	素地ごしえ
	紙	織 物	ビニル	化学繊維	無 機 質	
掲示板	・	・	○	・	・	※ 1級 ・ 級 ・ A種 ※ B種
	・	・	・	・	・	※ 1級 ・ 級 ・ A種 ※ B種
	・	・	・	・	・	※ 1級 ・ 級 ・ A種 ※ B種

8. 断熱・防露

(19. 9. 2～3)

種 類	施 行 箇 所	厚 さ(mm)	品 質 等
・ 押出ポリスチレンフォーム保温材	※ 2種b	・ 一般部 ・	・ 20 ・ 45.50
	※ 3種b	・ 屋根 ・ ビット上部	・ 20 ・ 45.50
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材)	※ 断熱材補修部分		特定フロンを使用しないもの
	・ 一般部 ・ 熱橋部	・ 15 ・ 25.40	難燃性 (※ 3級 ・) ※ A種 1 ・ A種 1H 製造所 : 監督員の承諾する製造所

9. その他

○ メラミン樹脂化粧板 厚さ(mm) ※ 1.2 ・ 1.6 ○ 3.0
・ 内装プレハブ工法: 製造所の仕様による

20
ユニット及びその他の工事

1. フリーアクセスフロア

(20. 2. 2)

床面から仕上材材端までの寸法 ※ 100 ・ 110 ・
表面仕上材 ※ カーペット ・ 帯電防止ビニル床タイル (・ 置敷タイプ ・ パネル一体タイプ)
床パネルの材質 ※ アルミ合金ダイカスト製 ・ スチール製又は複合材等 ・
寸法 ※ 450角以上、600角以下 ・
適用地震時水平震度(Ks) (1階及び地階) ※ 0.6以上 ・
(中間階) ※ 0.6以上、1.0以下 ・
(最上階) ※ 1.0以上 ・
耐荷重性能 ※ 3,000N(製造所は評価名簿による) ・ 5,000N ・
空調用孔あきパネル 枚数 () 材質 ()
コンセント開口 適用室 ()
コンセント部分以外にフリーアクセスフロア内からフロア面上へ配線取り出し開口を全パネルに有すること。
試験方法は、JIS A 1450(フリーアクセスフロア試験方法)による。
特記以外の仕様は製造所の仕様とする。

2. 可動間仕切り (既製間仕切り)

(20. 2. 3)

構 造 形 式	表面板及び厚さ	パ ネ ル 仕 上 げ	パ ネ ル 見 込 み
※ パネル式	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上 ・	※ 焼付塗装(常備色程度)	※ 60以上
・ スタッド式		・	・ 50
・ スタッドパネル式	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上 ・	※ 焼付塗装(常備色程度)	※ 30以上
	スタッド アルミニウム製 40角	・	・

品質 JIS A 6512 又は 評価名簿による

3. 移動間仕切り (スライディングウォール)

(20. 2. 4)

パネル操作方法 ()
パネル表面材の材質 (※ 鋼板 ・)
パネル表面材仕上げ (・ 焼付け塗装 ・ 壁紙張り ・)
パネル圧接装置操作方法 () 遮音性能 (・ 一般タイプ(36dB未満) ・ 遮音タイプ(36dB以上))
ハンガーレール 取付下地補強方法 (※ 20. 2. 4(3)ウ) ・
固定方法 (・ あと施工アンカー(材質: ・ 寸法:) ・
製造所 評価名簿による

4. トイレブース

(20. 2. 5)

表面仕上材 ※ メラミン樹脂系化粧板同等品以上(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き)
・ ポリエステル樹脂系化粧板
脚部 ※ 幅木タイプ ・ 足金物型
製造所 評価名簿による

5. 手すり及びタラップ

(20. 2. 6)(20. 2. 12)

種 類	材 料 の 種 別	表面処理(14.2.1～3、表14.2.1～2 による)
・ 手すり	※ ステンレスSUS304 ・ 鉄(亜鉛めっき) ・ アルミ	※ HL程度 (外部) ※ C種 (内部) ・ (外部) ・ (内部) ・
	※ ステンレスSUS304 ・ 鉄(亜鉛めっき)	※ 研磨無し (内外部) ※ C種 ・

ステンレスSUS430を使用する箇所 ()

6. 階段滑り止め

材種 ※ SUS ・ () (20. 2. 7)
形状 ※ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ ゴムタイヤなし
両端フラットエンド ・ 無 ※ 有
幅(mm) ・ 35 ※ 40
取付け工法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法(溶接)

7. 床目地棒

床仕上の異なる箇所には目地棒を入れる。 (20. 2. 8)
・ 黄銅製 4×12 ・ ステンレス製 4×12 ※ ステンレス製 H 型 (幅40 内外厚さ2)

8. 黒板及びホワイトボード

(20. 2. 9)

	種 類	寸 法(mm)	色 彩	備 考
○ 黒板	※ 研出し ○ 焼付け		※ 緑 ・ 黒 ※ 緑 ・ 黒	※ 曲面 ・ スクリーン付引分け
	・ ホワイトボード	※ ほうろう白板	※ 白 ※ 白	・ 曲面 ・ スクリーン付引分け

黒板及びホワイトボードについて5年保証書を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。
(製品には、製造年月、製作所記名プレートを取り付ける。)

9. 鏡

厚さ ※ 5mm ・ (20. 2. 10)

10. 表示

・ 対人衝突防止表示 ※ 図示(市販品 ※ ステンレス製 径約30mm ・) ・ 無し
○ 誘導標識、非常用進入口等の表示は消防法に適合する市販品とし、その他は共通詳細図による。 (20. 2. 11)
○ 室名表示 ※ 図示による

11. ブラインド

(20. 2. 13)

形 式	スラットの材種	開 閉 方 式	スラットの幅 (mm)	ヘッドボックス及びボトムレール
・ 横形	※ アルミニウム合金	※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ 25 ・	※ 鋼製
・ 縦形	・ アルミスラット ・ クロススラット	※ 2本操作コード式	・ 80 ・ 100	

12. カーテン及びカーテンレール

レール、ブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 ・ () (20. 2. 16)(表 20. 2. 1)
カーテンレール ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成型材(アルマイト仕上げ)
・ ステンレス製
工法 暗幕用カーテン両端、上部及び召合せ重なり ※ 300mm以上 ・

21
排水工事

1. 屋外雨水排水

材料 ※ 図示による

2. 縁石及び側溝

材料 ※ 図示による

22
舗装工事

1. 路盤

・ 厚さ: ※ 図面による (22. 3. 2)
・ 材料: ※ 再生クラッシュランRC-40 ・ クラッシュランC-40 ・ 図面による (22. 3. 3)

2. アスファルト舗装

・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 4. 2)
・ 再生アスファルトの種類 ・ 60～80 ・ 80～100 ・ ()
・ シールコートの適用: ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 3)
・ 表層の加熱アスファルトの混合物の種類: () (22. 4. 4)
・ 切取り検査: ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 6)
・ アスファルト混合物等の抽出試験: ・ 行う ※ 行わない

3. コンクリート舗装

・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 5. 2)
・ 寒冷期に施工する場合で早強セメントを用いる場合: ※ 用いない ・ 用いる (22. 5. 3)
・ 注入目地材料のタイプ: ※ 低弾性タイプ ・ ()
・ 溶接金網の網目の形状寸法、鉄線の径: ※ 鉄線径 6mm 網目 150mm

4. 透水性アスファルト舗装

・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 7. 2)
・ 路盤材料: フィルター層は良質なシラスとする

5. ブロック系舗装

・ 種類: ・ コンクリート平板舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 舗石舗装 (22. 8. 1)
・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 8. 2)
・ ブロックの敷設パターン: ※ 監督員の指示による ・ ()

6. 砂利敷き

・ 構成及び厚さ: ※ 図面による
・ 種別: ・ A種 ・ B種 (22. 9. 2)

株式会社ixrea

一級建築士 第 331861 号

吉田 浩司

星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事

建築工事特記仕様書 5－5

鹿児島市建設局建築部建築課

A-06

Ver.B60507

外壁改修工事特記仕様書

I. 外 壁 仕 上 塗 材 除 去 工 事

1. 分 析 状 況

- 既存仕上塗材における石綿含有の有無
- ・ 未調査(以下の既存仕上塗材について石綿含有の分析調査を行い、監督員に結果を報告すること。石綿が含有されている場合は、施工範囲や工法等について監督員と協議すること。) 調査箇所()
 - 調査済
 - ・ 有 【使用箇所】 外壁・上裏:() 庇の天端・見付:()
 - 無

2. 適 用 範 囲

コンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁における浮き、欠損、爆裂、ひび割れ、の劣化改修工事に先立ち行う石綿含有仕上塗材の除去工事に適用する。

3. 法 令 等 の 遵 守

大気汚染防止法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守するとともに、関係機関等と協議を行い、必要に応じて手続き等を遺漏なく適正に行うこと。
大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を掲示板により公衆及び作業員のしやすい箇所に掲示すること。また、必要に応じて周辺住民等へ掲示等で周知すること。

4. 事前調査

除去作業に先立ち、事前調査を実施し、結果について工事現場に備え置くとともに、発注者へ書面により説明を行うこと。

5. 施 工 計 画

除去作業に先立ち、施工計画書(除去作業管理組織図、除去作業方法、掲示方法、産業廃棄物処理方法等)を作成して監督員に提出すること。
施工計画にあたり、令和3年3月厚労省及び環境省作成「建築物等の解体等作業に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。
作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないよう留意すること。

6. 除 去 作 業

1) 共通事項

- ① 石綿作業主任者・・・処理作業にあたって石綿障害予防規則に基づき選任すること。
- ② 処理作業従事者・・・石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者とする。
- ③ 作業箇所に近接する室内の開口部等に粉塵が入らないよう窓を閉め、養生及び立入禁止措置を講ずること。
- ④ 作業箇所は、作業環境に応じてプラスチックシート等で適切に養生を行うこと。
- ⑤ 除去作業後、石綿作業主任者が目視により取り残しがないことを確認すること。
- ⑥ 除去完了後、作業箇所及びその周辺(ベランダ内部を含む)をHEPAフィルター付真空掃除機で清掃すること。
- ⑦ 除去した仕上塗材及び養生材、保護衣等は、排出形態に応じて適切に保管・運搬・処分を行うこと。

2) 除去作業

- ① 除去工法は、以下の石綿障害予防規則第6条の2第2項ただし書きに基づく隔離養生及び湿潤化と同等以上の効果を有すること。それ以外の工法とする場合は監督員と協議すること。
 - 剥離剤併用手工具ケレン工法
 - ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
- ② 使用する剥離剤については環境配慮型とし、使用前に事前試験を行い、適正条件を確認してから本施工すること。

II. 一 般 事 項

1. 適 用 範 囲

本特記の範囲は、設計図書に示した外壁のうちコンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁を対象とし、これらの浮き、欠損、爆裂、ひび割れの劣化を改修する工事に適用する。その他の仕上げ外壁については、監督員と協議し、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編)(令和4年版)に基づき施工する。

※ **仕上塗材が石綿含有の場合は、各工法において下線部分を遵守すること。**

2. 打診調査及び調査報告書

外壁の改修範囲については、施工前に建築仕上診断技術者(ビルディングドクター)による全面打診調査を行い、その結果に基づき、数量表及び図面(A3サイズ紙とJW-CADデータ)で構成する「調査報告書」を作成し、監督員に提出すること。
なお、調査にあたってはマーキングを行い、監督員の打診検査後、全ての改修箇所について番号を表示すること。

3. 検 査

施工数量調査のマーキング後、監督員による打診検査を受けること。また、外壁改修完了後は吹付工事前に監督員の完了検査を受けること。
なお、施工中に、設計図書に明示のない箇所又は判断出来ない箇所が発見された場合は、監督員と協議を行い、施工すること。

4. 試 験

ポリマーセメントモルタル充填工法による改修箇所のうち監督員の指示する箇所について、表面引張り試験を監督員立会いのうえ実施し、その試験成績書を完成書類に添付すること。

5. 工 事 施 工

浮き部、ひび割れ部の樹脂注入工事に際しては、樹脂接着剤注入施工技能士を1名以上選任し、当該工事作業中自ら作業をするとともに他の技能者の作業指導を行い、施工品質の向上に努めるものとする。左官、塗装工事は技能士を適用する。

6. 施 工 報 告 書

改修工事完了後、施工数量表及び施工図面(A3)で構成する「施工報告書」を作成し、完成書類に添付すること。

7. 工 事 写 真

改修工事を行った部分については、工程(工法・状態別に各2ヶ所)、完了後の写真を提出すること。
工事写真はすべてカラーとし、サイズはL版程度とする。
※ 撮影箇所及び方法等は、監督員と協議の上、決定すること。

8. 電子ファイリングデータ

- 1) 提出データ : 施工報告書、工事写真(完了後)
 - 2) データ提出媒体: データ提出用は、「CD-R」または「DVD-R」とする。
 - 3) データ保存形式: 図面データは、国土交通省の「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕業務編】」の標準形式とする。
写真データは、JPEG(写真帳等にまとめる場合はPDF)とする。
- ※ 原則に依りがたい場合は、事前に監督員の承諾を得るものとする。

9. 保 証 書

改修工事の施工については、保証書(3年)を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。
※ マーキング、調査報告書、施工報告書、完成写真に付与する番号(面毎の通し番号)は統一すること。

III. 特 記 事 項

1. ポリマーセメントモルタル充填工法

① 適 用 範 囲

コンクリート打放しの欠損、爆裂の改修で全ての部位に適用し、モルタル塗り仕上げ面の欠損、爆裂、落下の恐れのある浮き(※1)の補修で下記の部位に適用する。ただし、0.25㎡未満で塗厚が30mmを超える場合は、監督員と協議の上、工法を決定すること。

イ) パラペット ロ) 庇鼻 ハ) 窓面台及び笠木 ニ) 揚裏 ホ) 全ての部位の爆裂部
ヘ) 柱壁、だき、まぐさの0.25㎡未満の部分

※ **改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。(補修範囲及び周囲5cm部分)**

② 材 料

- 1) ポリマーセメントモルタルは、合成ゴム系、アクリル系とし既調合とする。なお、製品については次の品質基準に適合するものとする。
曲げ強さ: 6N/mm²、 圧縮強さ: 20N/mm²、 接着強さ: 1N/mm²
- 2) 被着面に塗布するプライマーは、ポリマーセメントモルタルの製造所の指定する製品とし、ポリマーセメントモルタルの付着に支障のないものとする。
- 3) 防錆材等は、製造所の指定する製品とする。
- 4) 鉄筋及びコンクリート面に塗布する防錆材等は、ポリマーセメントモルタルの付着に支障のないものとする。

③ 工 法

- 1) テストハンマーの打撃により、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認し、補修範囲について監督職員と協議する。
- 2) 欠損部及び塗替部周辺の脆弱部は、健全部にカッターを入れ、他の部分の浮きを誘発することのないよう内側のモルタルをハンマー等により除去し、欠損部の状況を目視で確認する。
- 3) 下地部分はワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去、清掃を行う。又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり落とし、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、防錆材等を塗布して防錆処理を行う。
- 4) プライマーを被着面に刷毛を用いて塗布する。
- 5) 各層の塗り厚は7mm程度とし、養生期間は1週間以上とする。ただし、製造所の仕様等により期間を短縮する場合は、資料を監督員に提出し承諾を受けること。
- 6) ポリマーセメントモルタルの面積が0.25㎡以上で塗厚が厚い(厚さ25mm以上)場合は、ポリマーセメントモルタルの下塗りに先立ち、ステンレスアンカーピンを縦横200mm間隔程度に躯体コンクリートに固定し、ステンレスなまし線を張り、足がかりをよくしてからポリマーセメントモルタル塗りを行う。ステンレスアンカーピンは塗厚に応じて長さを変えること。
- 7) 表面は金コテ又は刷毛引き仕上げとする。
- 8) 各層とも急激な乾燥を避け、適切に養生する。
- 9) 各工程に伴う作業は、製造所の仕様を準用する。

④ 確 認

下地の脆弱部分の除去と堅固な下地を確認する。

2. モルタル塗替工法

① 適 用 範 囲

モルタル塗り仕上げ面の欠損、落下の恐れのある浮き(※1)の改修で下記の部位及び他工法により施工ができない部分に適用する。

イ) 柱壁、だき、まぐさの0.25㎡以上の部分 ロ) 庇天端

※ **改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。(改修範囲及び周囲5cm部分)**

② 材 料

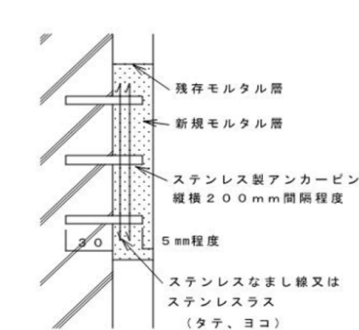
- 1) ポリマーセメントモルタル、ポリマーセメントペースト用の混和材料は、JIS A 6203(セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂)の規格に適合したもので監督員の承諾を受けたものとする。
- 2) 保水剤は、メチルセルロースの類とし、使用量等の資料を監督員に提出し承諾を受けること。

③ 工 法

- 1) テストハンマーの打撃により、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認し、補修範囲について監督員と協議する。
- 2) 欠損部及び塗替部周辺の脆弱部は、健全部にカッターを入れ、他の部分の浮きを誘発することのないよう内側のモルタルをハンマー等により除去し、欠損部の状況を目視で確認する。
- 3) コンクリート面等の下地及び各塗り層は、清掃のうえ適度の水湿しを行った後、次の層を塗る。
- 4) 下地部分はワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去、清掃を行う。又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり落とし、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、防錆材等を塗布して防錆処理を行う。
- 5) コンクリート下地には、モルタルとの付着力を大きくするためにセメントペースト(1mm程度、保水剤使用)又は、製造所の指定する吸水調整材を薄く塗付け、引き続き下塗りを行う。
- 6) モルタルの塗厚が厚い(厚さ25mm以上)場合は、モルタルの下塗りに先立ち、ステンレスアンカーピンを縦横200mm間隔程度に躯体コンクリートに固定し、ステンレスなまし線を張り、足がかりをよくしてから接着剤混入モルタル塗りを行う。ステンレスアンカーピンは塗厚に応じて長さを変えること。
- 7) 現場調査ポリマーセメントモルタルの調査は、公共建築改修工事標準仕様書「4. 4. 9」による。
- 8) 各層の塗厚は、7mm程度とし、下塗りの養生期間は2週間以上とること。(中塗り以降は乾燥次第随時塗付け可)

④ 確 認

下地の脆弱部分の除去と堅固な下地を確認する。



図一 塗厚が25mmを超える場合



図一 鉄筋露出の場合 (ポリマーセメントモルタル充填工法)

星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事		
外壁改修工事特記仕様書(1)		A-07
鹿児島市建設局建築部建築課		
Ver.B60507		

3. アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

① 適用範囲

モルタル塗り仕上げ面で落下の恐れのない(※2)浮き部に適用する。

② 材料

- 1) エポキシ樹脂は、JISA6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に適合するものとする。
2) アンカーピンの材質は、ステンレス鋼(SUS304)とし、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

③ 工法

- 1) テストハンマーを用いて浮き部を確認し、チョーク等で明示の上、注入範囲について監督員と協議すること。
2) 浮き部分に対するアンカーピン本数は、一般部分(壁面等)は16本/㎡、指定部分(揚裏、パラペット)は25本/㎡、狭幅部は幅中央に5本/㎡とする。又、所定の本数が浮き部分に対して均等に配置されるよう穿孔位置をマーキングする。
3) 穿孔はコンクリート用ドリルを用い、使用するアンカーピンの直径より約2mm大きい直径とし、壁面に対し直角に穿孔する。穿孔はマーキングに従って行い、構造体コンクリート中に30mm程度の深さに達するまで行う。穿孔後は、十分孔内を清掃して、接着の妨げとなる切粉等を除去する。(清掃は電気ブロー器具同等以上の清掃器具を使用すること。)
※石綿含有仕上塗材の穿孔にあたっては、粉じん飛散防止のため、水循環式ドリル又は集じん装置(HEPAフィルター)ドリル使用とすること。
4) アンカーピン固定用エポキシ樹脂を手動式注入器を用い、注入口の最深部より徐々に充填する。充填量は、挿入孔1箇所当たり25mlとする。
5) アンカーピンを挿入孔最深部まで挿入し、パテ状エポキシ樹脂等で仕上げる。
6) 注入部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し、清掃する。

④ 確認

アンカーピン固定部のエポキシ樹脂の広がり、固着状況について全数をテストハンマーの打診により確認する。

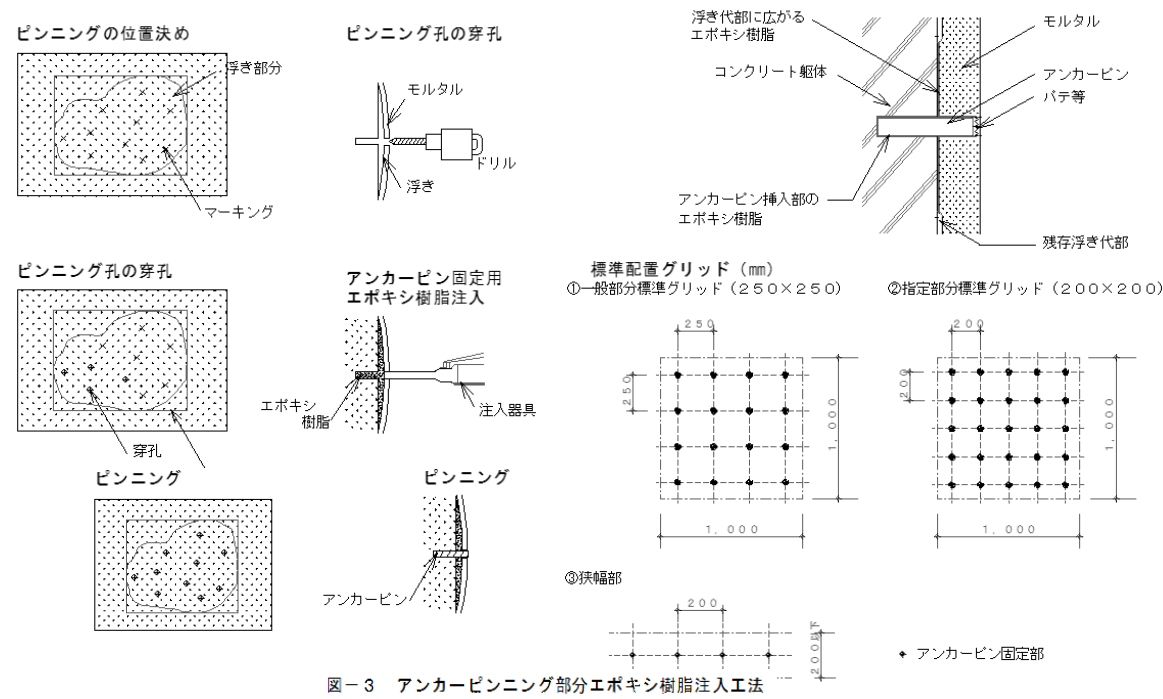


図-3 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

4. 防水モルタル塗替工法

① 適用範囲

モルタル塗り仕上げ面の改修で監督員の指定する部分。

※改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。(改修範囲及び周囲5cm部分)

② 材料

防水剤は、JISA1404に適合するものとする。

③ 工法

- 1) テストハンマーの打撃により、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認し、補修範囲について監督員と協議する。
2) 欠損部及び塗替部周辺の脆弱部は、健全部にカッターを入れ、他の部分の浮きを誘発することのないよう内側のモルタルをハンマー等により除去し、欠損部の状況を目視で確認する。
3) コンクリート面等の下地及び各塗り層は、清掃のうえ適度の水湿しを行った後、次の層を塗る。
4) 下地部分はワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去、清掃を行う。又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり落とし、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、防錆材等を塗布して防錆処理を行う。
5) コンクリート下地には、モルタルとの付着力を大きくするためにセメントペースト(1mm程度 保水剤使用)を薄く塗付け、引き続き下塗りを行う。
6) 防水モルタルの塗厚が厚い(厚さ25mmを超える)場合は、防水モルタルの下塗りに先立ち、ステンレスアンカーピンを縦横200mm間隔程度に躯体コンクリートに固定し、ステンレスなまし線を張り、足がかりをよくしてから防水モルタル塗りを行う。
ステンレスアンカーピンは塗厚に応じて長さを変えること。
7) 防水モルタルの調合は、防水剤製造所の仕様による。
8) 各層の塗厚は、15mm以下とし、下塗りの養生期間は2週間以上とすること。(中塗り以降は乾燥次第随時塗付け可)

④ 確認

下地の脆弱部分の除去と堅固な下地を確認する。

5. 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

① 適用範囲

コンクリート打放し仕上げ及びモルタル塗り仕上げのひび割れ幅が、0.2～1.0mm以下のひび割れ部について適用する。

② 材料

- 1) エポキシ樹脂はJISA6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に適合するものとする。
2) シール材は、注入材料製造所の指定する製品とし、既存の塗材、塗料等又は新規の塗材、塗料等に支障のないものとする。

③ 工法

- 1) ひび割れに沿って幅50mm程度の汚れを除去し、清掃する。
※石綿含有仕上塗材の清掃にあたっては、粉じん飛散防止のため、飛散の恐れがあるワイヤブラシ等によるケレンは行わないこと。
※コケ等汚れにより清掃が困難な場合は、監督員と協議を行い、改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。
2) 注入孔位置をスケール等で測定し、チョーク等でその位置のマーキングを行う。
3) 注入孔間隔は250mm程度とする。
4) 注入器具又は台座をひび割れが中心にくるようにして、仮止めシール材等で取り付ける。
5) 混練りしたエポキシ樹脂を注入器具に入れ、ゴム、パネ、空気圧等により注入圧を0.4N/mm²以下として注入する。
6) 注入時は、台座やシール部からの漏れをチェックし、注入器具内のエポキシ樹脂の減量状態を確認して、足りない場合は補充する。なお、注入完了後は、注入器具を取り付けたまま硬化養生をする。
7) エポキシ樹脂注入材の硬化を見計らい、仮止めシール材及び注入器具を適切な方法で撤去し、清掃を行う。

④ 確認

注入時の確認は一つ上の注入器具から漏出することを確認する。注入後の確認は注入が行われたか否かを目視する。

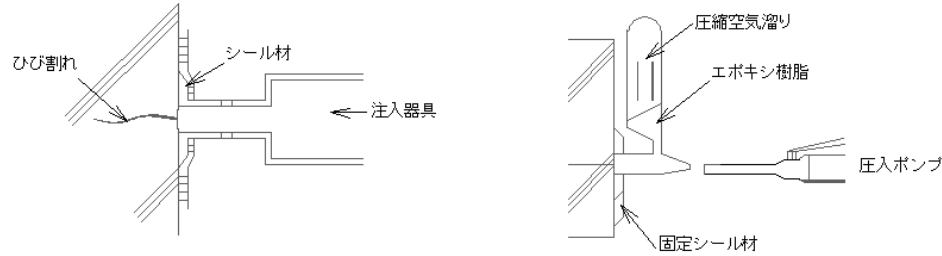


図-4 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

6. Uカットシーリング材充填工法

① 適用範囲

コンクリート打放し仕上げ及びモルタル塗り仕上げのひび割れ幅が1.0mmを超え、かつ挙動されるひび割れ部をUカットシーリング用材を充填しポリマーセメントモルタルを塗り込む場合に適用する。

※改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。(ひび割れ沿いの幅5cm部分)

② 材料

- 1) シーリング材は、JISA5758(建築用シーリング材)に適合するものとする。
2) プライマーは、主材製造所の製品とし、被着体(塗装してある場合は塗料)に適したものとする。
3) バックアップ材は、合成樹脂又は合成ゴム製でシーリング材と接着しないものとし、使用箇所に適した形状で大きさが目地幅より2mm程度広いものとする。

③ 工法

- 1) ひび割れ状況について確認し、補修範囲について監督員と協議すること。
2) ひび割れ部に沿って電動カッター等を用いて幅10mm程度、深さ10～15mm程度にU字型の溝を設ける。
3) Uカット溝内部に付着している切片、粉塵等はワイヤーブラシ、はけ等で除去する。
4) 被着体に適したプライマーを溝内部に塗残しのないよう均一に塗布する。
5) プライマー塗布後、ごみ・ほこり等が付着した場合又は当日充填が出来ない場合は再清掃し、プライマーを再塗布する。
6) プライマー塗布後、シーリング材を隅々まで行きわたるようにコーキングガンノズルをUカット溝に当て、加圧しながら空隙、打残しがないように充填し、コンクリート表面から3～5mm程度低めに充填し、充填後はへらで押え、下地と密着させて表面を平滑に仕上げる。
7) ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込む。

④ 確認

シーリング材の充填状況を目視により確認する。

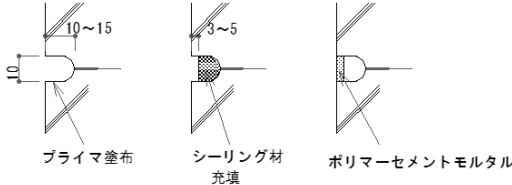


図-5 Uカットシーリング材充填工法

7. その他

① 以下の場合については、監督員と協議の上工法を決定すること。

- イ) 構造耐力に関するコンクリートの劣化ある場合
ロ) 漏水がある場合
ハ) その他、施工方法について、判断出来ない箇所が発見された場合

② 発注時の外壁改修数量は推計値によるものである。

③ **石綿含有仕上塗材の高圧洗浄にあたっては、粉じん飛散防止のため、高圧水洗工法(15MPa以下)とすること。**

※1 通常レベルの打撃力によってはく落する恐れのあるモルタル浮き

※2 通常レベルの打撃力によってはく落する恐れのないモルタル浮き

星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事		
外壁改修工事特記仕様書(2)		A-08
鹿児島市建設局建築部建築課		

Ver.B60507

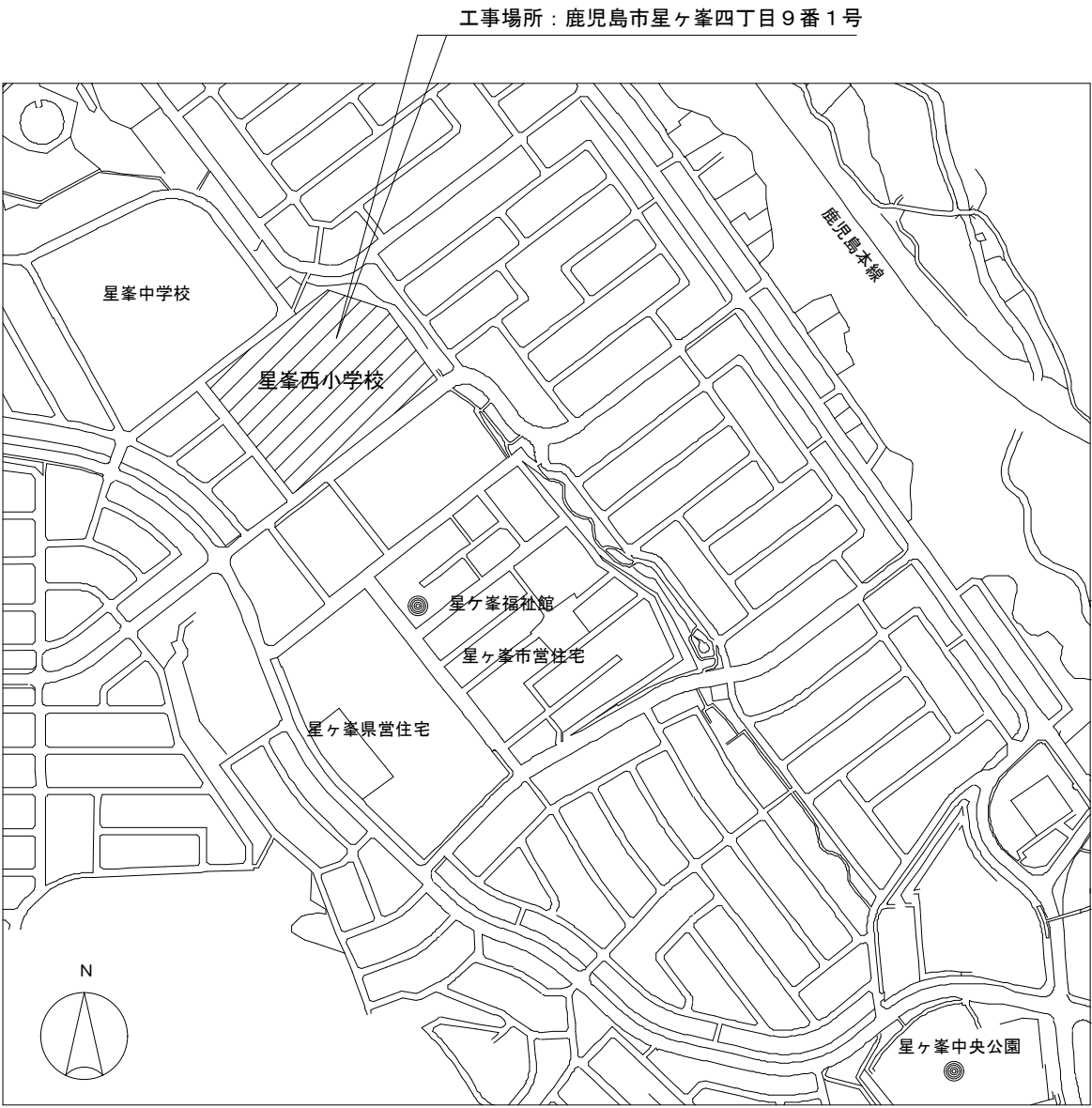
既 存 建 物 概 要		
工事名称	星峯西小学校校舎 1 号棟長寿命化改良その他本体工事	
工事場所	鹿児島市星ヶ峯四丁目 9 番 1 号	
用途地域	第一種中高層住居専用地域	
防火地域	法22条地域	
主要用途	小学校	
構造/階数	鉄筋コンクリート造 4階建	
改修面積	3, 714.46㎡	
増築面積	122.76㎡	
工事概要		
□長寿命化改良工事		□バリアフリー工事
外部	： 外壁改修工事（劣化部の補修・塗装全面塗替え）	エレベーター・バリアフリースイレ棟増築工事
屋上防水改修工事（ウレタン塗膜防水 X-2）		
内部	： 内装（床・壁・天井・各下地）の改修工事	
内部間仕切り壁、家具等の改修工事		
各階トイレ改修工事		
階段上裏の打診調査		
開口部： 窓ガラスの取替え（7タッチメント付ﾊﾞｰｱｶﾞﾗｽの採用）		
※大規模の修繕、大規模の模様替えには該当せず		
※設備工事は別途		

工事区分（電気設備、給排水設備、冷房設備工事は別途工事）					
	工事項目	建築工事	電気設備工事	給排水設備工事	冷房設備工事
1	仮囲い	○			
2	仮設仕切壁	○			
3	外部仮設足場	○			
4	外壁改修・塗装	○			
5	室内仕切壁	○			
6	天井改修	○			
7	天井点検口	○			
8	天井点検口・埋込天井開口補強	○			
9	1階土間ハツリ・復旧			○	
10	衛生器具面台	○			
11	屋上防水	○			
12	アルミパネル改修	○			
13	衛生器具（補強裏板共）			○	
14	給湯器（リモコン無し）			○	
15	発信機・表示灯・消火ポンプ起動スイッチ		○		
16	発信機・表示灯・消火ポンプ起動スイッチ撤去後穴埋め補修	○			
17	分電盤類撤去後の穴埋め補修	○			
18	シャワーユニット（排水トラップ共）		○		
19	シャワーユニット用換気扇	○			
20	シャワーユニット用ダクト		○	○	○
21	シャワーユニット用シャワー水栓				
22	換気設備				
23	既設配管撤去後の配管貫通部穴埋め				
24	屋外配管用犬走コンクリート及びアスファルトハツリ・復旧				

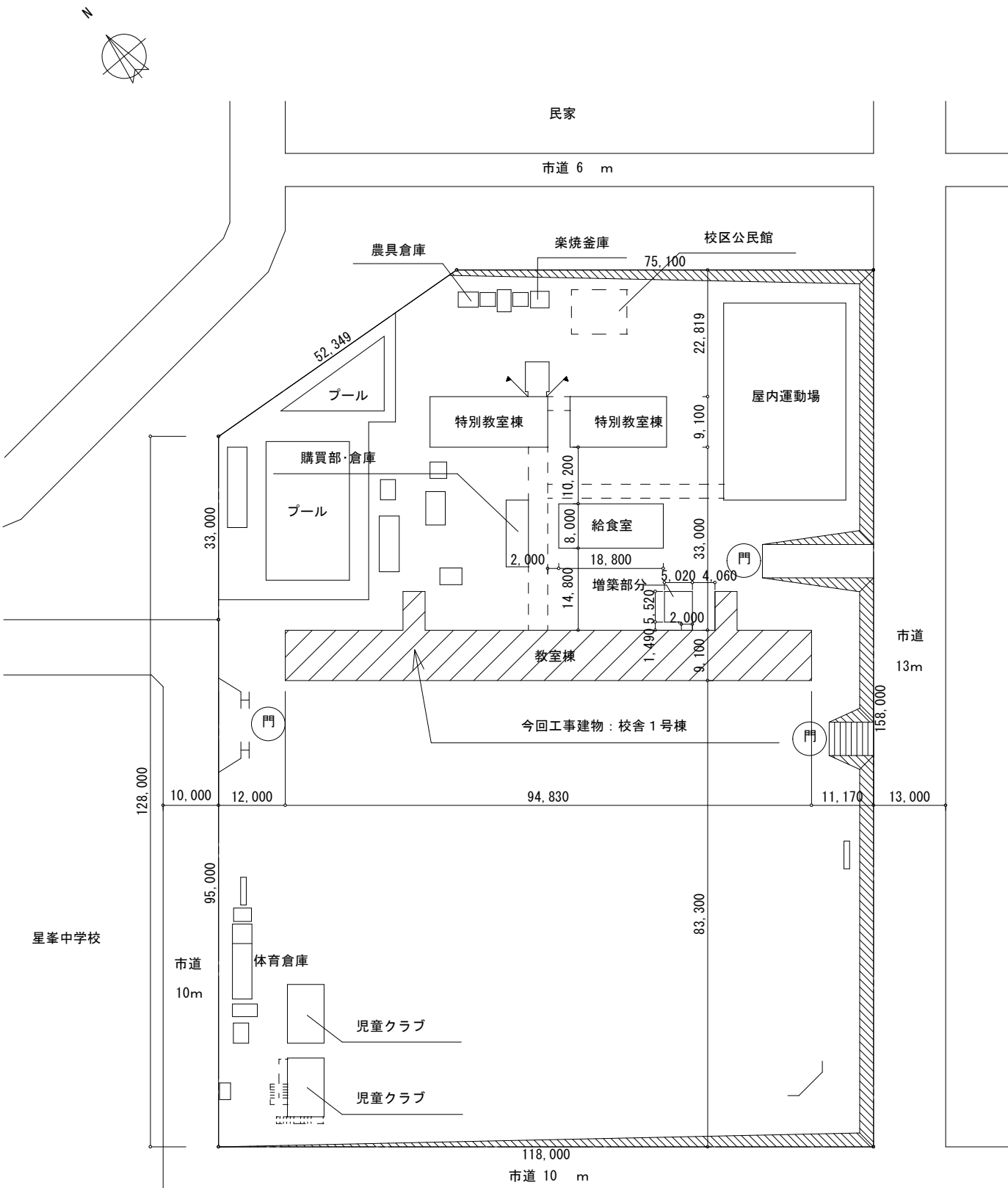
石綿含有建材の対象物及び処理方法について	
<p>◎石綿含有建材の除去作業について</p> <p>1. 既存建材における石綿含有の有無</p> <p>・ 未調査（以下の既存仕上材について石綿含有の分析調査を行い、監督員に結果を報告すること。石綿が含有されている場合は、施工範囲や工法等について監督員と協議すること。）</p> <p>調査箇所（ ）</p> <p>○ 調査済（ ○有 ・無 ）</p> <p>【使用箇所】</p> <p>1階X20-X24通り長尺シート、壁・梁型仕上塗材、階段 2 上裏仕上塗材</p> <p>※使用箇所のとりこわし及び改修工事に先立ち、石綿含有仕上塗材の除去工事を行うこと。</p> <p>2. 法令等の遵守</p> <p>大気汚染防止法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守するとともに、関係機関等と協議を行い、必要に応じて手続き等を遺漏なく適正に行うこと。</p> <p>大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を掲示板により公衆及び作業員の見やすい箇所に掲示すること。</p> <p>また、必要に応じて周辺住民等へ掲示等で周知すること。</p> <p>3. 事前調査</p> <p>除去作業に先立ち、事前調査を実施し、結果について工事現場に備え置くとともに、発注者へ書面により説明を行うこと。</p> <p>4. 施工計画</p> <p>除去作業に先立ち、施工計画書（除去作業管理組織図、除去作業方法、掲示方法、産業廃棄物処理方法等）を作成して監督員に提出 すること。</p> <p>施工計画にあたり、令和3年3月厚労省及び環境省作成「建築物等の解体等作業に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。</p> <p>作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないよう留意すること。</p> <p>5. 除去作業</p> <p>1) 共通事項</p> <p>① 石綿作業主任者・・・処理作業にあたって石綿障害予防規則に基づき選任すること。</p> <p>② 処理作業従事者・・・石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者とするこ</p> <p>③ 作業箇所に近接する室内の開口部等に粉塵が入らないよう窓を閉め、養生及び立入禁止措置を講ずること。</p> <p>④ 作業箇所は、作業環境に応じてプラスチックシート等で適切に養生を行うこと。</p> <p>⑤ 除去作業後、石綿作業主任者が目視により取り残しがないことを確認すること。</p> <p>⑥ 除去した石綿含有成形品及び養生材、保護衣等は、排出形態に応じて適切に保管・運搬・処分を行うこと。</p> <p>2) 除去作業（けい酸カルシウム板第 1 種を除く石綿含有成形品）</p> <p>① 切断、破砕等することなくそのまま取り外すこと。</p> <p>② 切断等以外の方法により作業実施が技術上困難なときは、薬液等により湿潤化すること。</p> <p>3) 除去作業（下地調整材）</p> <p>① 除去工法は、以下の処理工法とすること。それ以外の工法とする場合は監督員と協議すること。</p> <p>・ 剥離剤併用手工具ケレン工法</p> <p>・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法</p> <p>② 使用する剥離剤については環境配慮型とし、使用前に事前試験を行い、適正条件を確認してから本施工すること。</p>	

防火材料・不燃材料等一覧表		
名称		品質・規格・寸法など
1 時間耐火間仕切り壁		認定番号
不燃・準不燃材料	ケイ酸カルシウム板（ケイカル板）	LGS(W=100)下地 強化石膏ボード t=12.5の上、ケイ酸カルシウム板 t=6.0 NM-2773（同等品以上）
	石膏ボード（不燃）	t=6.0、t=8.0 （無石綿） NM-8619（同等品以上）
	石膏ボード（準不燃）	t=12.5 QM-9828（同等品以上）
	耐水石膏ボード（準不燃）	t=9.5 QM-9826（同等品以上）
塗料		EP、EPG、SOP 基材同等 第0001号

一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号 株式会社ixrea 一級建築士 第 331861 号 吉田 浩司	星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事		
	工事概要・工事区分 石綿含有材撤去特記仕様書	-	A-09
	鹿児島市建設局建築部建築課		

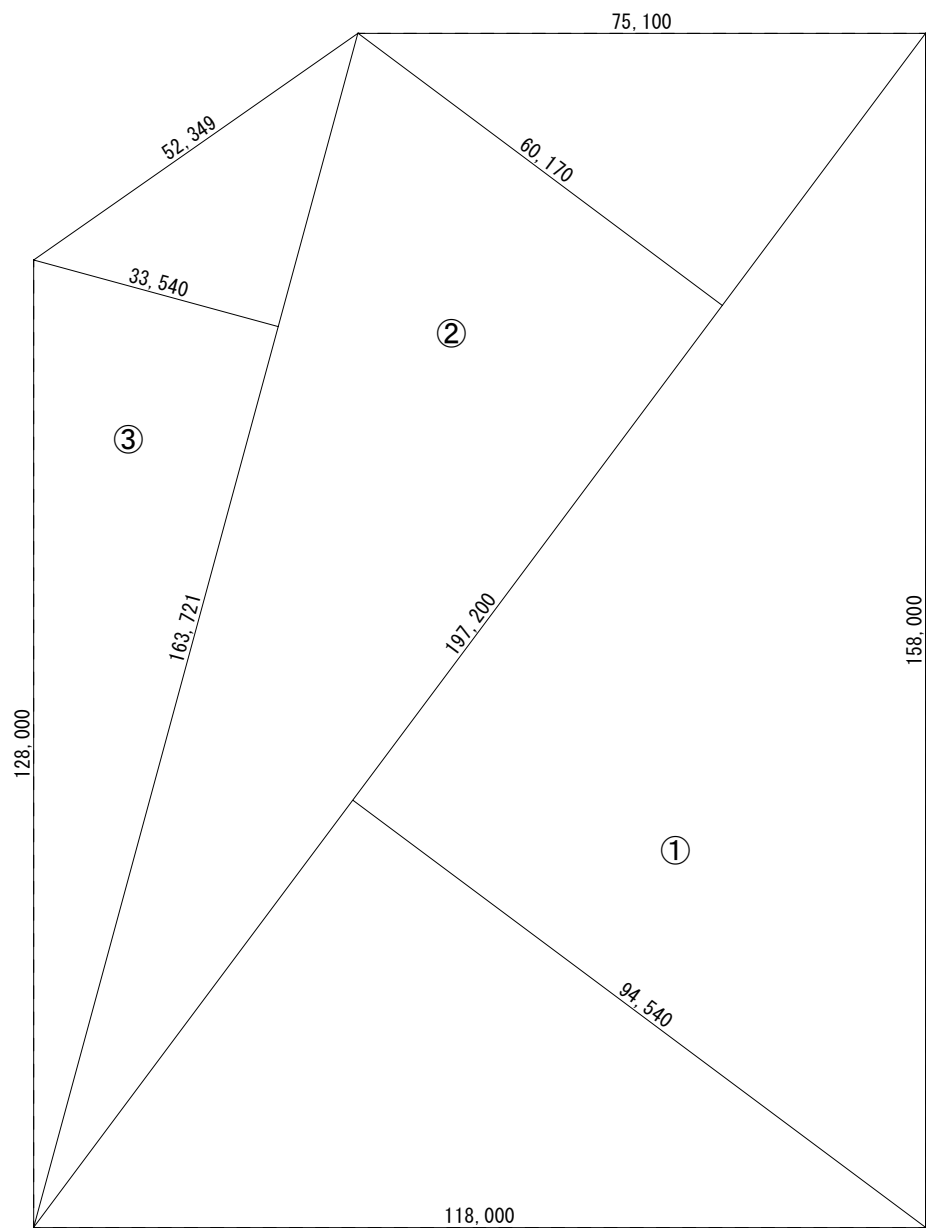
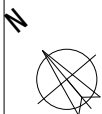


付 近 見 取 図

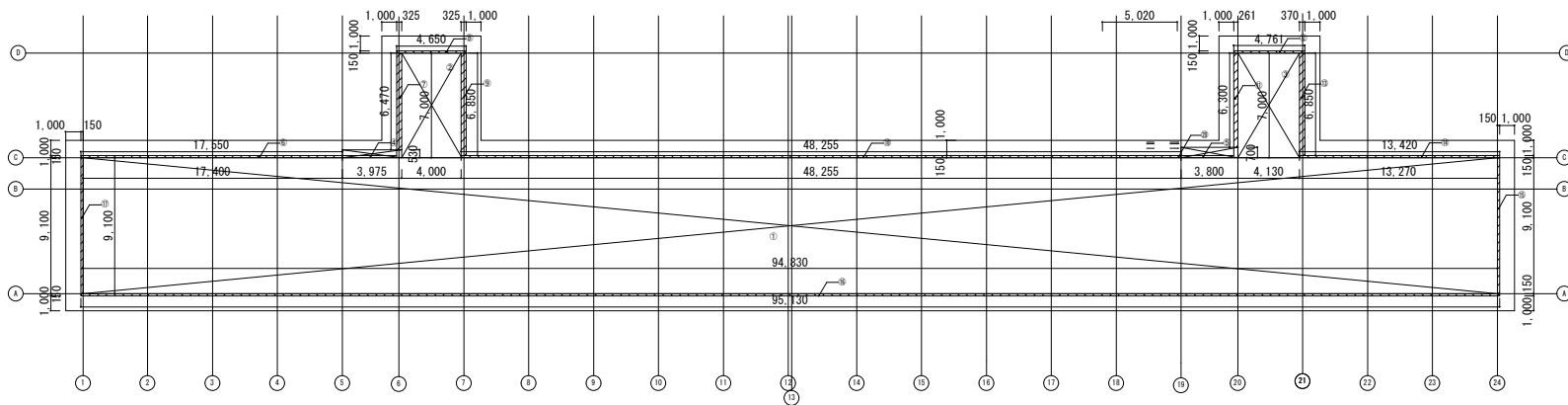


配置図

1:1000

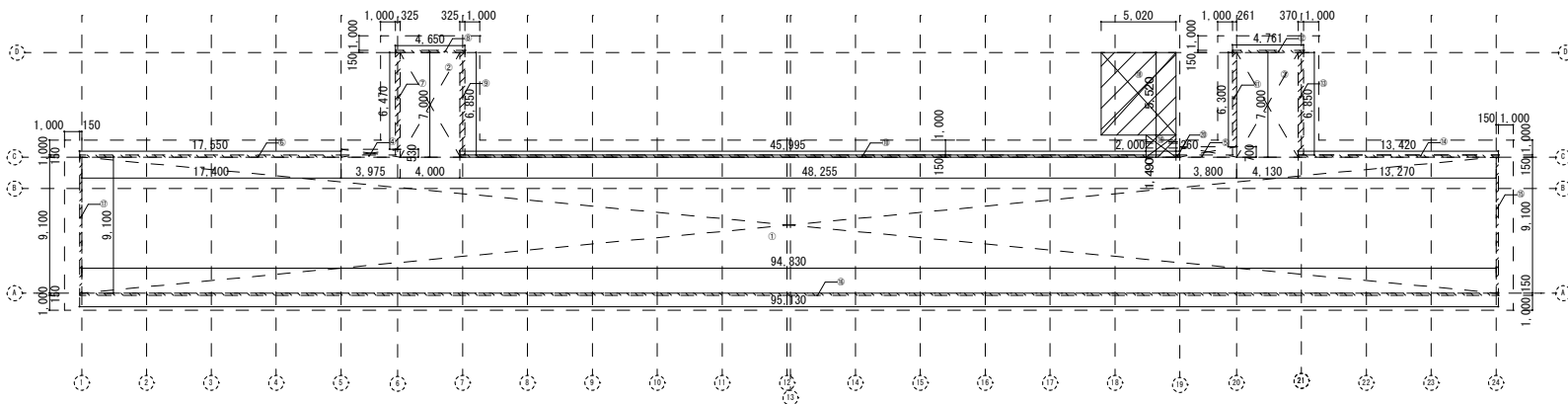


敷地面積		計算式		単位：㎡	
①	197.2000	×	94.5400 ÷ 2	9321.6440	
②	197.2000	×	60.1700 ÷ 2	5932.7620	
③	163.7210	×	33.5400 ÷ 2	2745.6012	
計				18000.0072	
合計				18000.00	



建築面積（改修前）		
番号	計算式	面積値
①	94.830 × 9.100	862.953
②	4.000 × 7.000	28.000
③	4.130 × 7.000	28.910
④	3.975 × 0.530	2.107
⑤	3.800 × 0.700	2.660
⑥	17.550 × 0.150	2.633
⑦	6.470 × 0.325	2.103
⑧	4.650 × 0.150	0.698
⑨	6.850 × 0.325	2.226
⑩	48.255 × 0.150	7.238
⑪	6.300 × 0.261	1.644
⑫	4.761 × 0.150	0.714
⑬	6.850 × 0.370	2.535
⑭	13.420 × 0.150	2.013
⑮	9.100 × 0.150	1.365
⑯	95.130 × 0.150	14.270
⑰	9.100 × 0.150	1.365
合計		963.432
建築面積		963.43 ㎡
建ぺい率		5.35 %

改修前 S=1:500

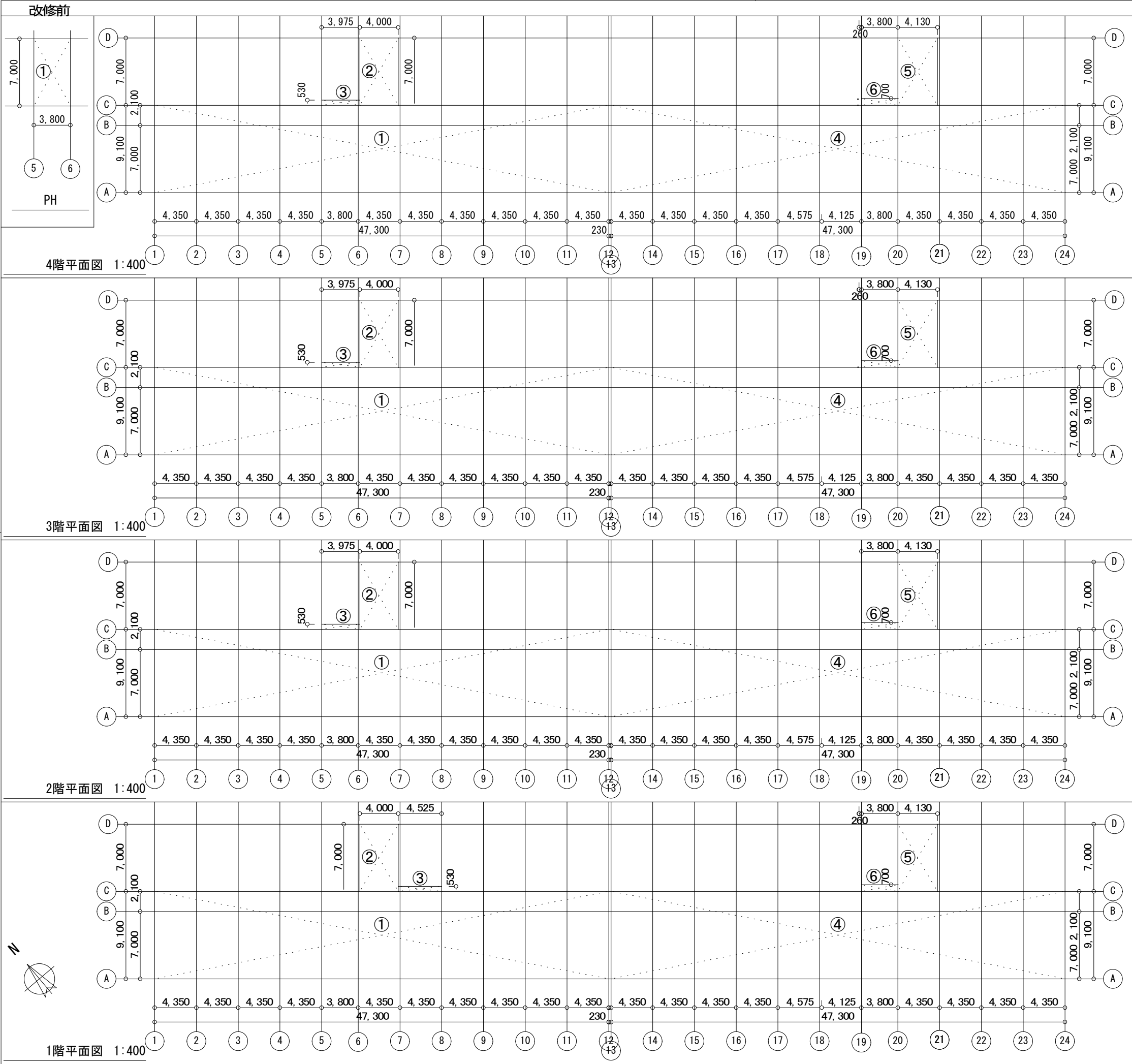


建築面積（改修後）		
番号	計算式	面積値
①	94.830 × 9.100	862.953
②	4.000 × 7.000	28.000
③	4.130 × 7.000	28.910
④	3.975 × 0.530	2.107
⑤	3.800 × 0.700	2.660
⑥	17.550 × 0.150	2.633
⑦	6.470 × 0.325	2.103
⑧	4.650 × 0.150	0.698
⑨	6.850 × 0.325	2.226
⑩	48.255 × 0.150	7.238
⑪	6.300 × 0.261	1.644
⑫	4.761 × 0.150	0.714
⑬	6.850 × 0.370	2.535
⑭	13.420 × 0.150	2.013
⑮	9.100 × 0.150	1.365
⑯	95.130 × 0.150	14.270
⑰	9.100 × 0.150	1.365
⑱	5.020 × 5.520	27.710
⑲	2.000 × 1.490	2.980
⑳	0.260 × 0.150	0.039
合計		994.162
建築面積		994.16 ㎡
建ぺい率		3438.81 %

改修後 S=1:500

増築部分

一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号 株式会社ixrea 一級建築士 第 331861 号 吉田 浩司	星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事		
	敷地求積図・建築面積求積図		A3:1:1000 A1:1:500
	鹿児島市建設局建築部建築課		A-11



法定床面積			
階	番号	計算式	内部改修床面積 (㎡)
1階	①	47.300 × 9.100	430.430
	②	4.000 × 7.000	28.000
	③	4.525 × 0.530	2.39825
	④	47.300 × 9.100	430.430
	⑤	4.130 × 7.000	28.910
	⑥	3.800 × 0.700	2.660
	1階床面積 (①+②+③+④+⑤+⑥)		922.82825≒922.82㎡
2階	①	47.300 × 9.100	430.430
	②	4.000 × 7.000	28.000
	③	3.975 × 0.530	2.10675
	④	47.300 × 9.100	430.430
	⑤	4.130 × 7.000	28.910
	⑥	3.800 × 0.700	2.660
	2階床面積 (①+②+③+④+⑤+⑥)		922.53675≒922.53㎡
3階	①	47.300 × 9.100	430.430
	②	4.000 × 7.000	28.000
	③	3.975 × 0.530	2.10675
	④	47.300 × 9.100	430.430
	⑤	4.130 × 7.000	28.910
	⑥	3.800 × 0.700	2.660
	3階床面積 (①+②+③+④+⑤+⑥)		922.53675≒922.53㎡
4階	①	47.300 × 9.100	430.430
	②	4.000 × 7.000	28.000
	③	3.975 × 0.530	2.10675
	④	47.300 × 9.100	430.430
	⑤	4.130 × 7.000	28.910
	⑥	3.800 × 0.700	2.660
	3階床面積 (①+②+③+④+⑤+⑥)		922.53675≒922.53㎡
PH階	①	3.800 × 7.000	26.600
	PH階床面積 (①)		26.60㎡
床面積合計 (1FL:922.82㎡+2FL:922.53㎡+3FL:922.53㎡ +4FL:922.53㎡+PH:26.60㎡)			3717.01㎡
一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号		星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事	
株式会社ixrea		床面積求積図(改修前)	A3:1:400
一級建築士 第 331861 号		A-12	
吉田 浩司		鹿児島市建設局建築部建築課	

外装仕上げ表					
屋根		巾木	改修前：モルタル金コテ押エ		1. 階段上裏は全面打診調査を行い、改修の必要性について監督員と協議すること。
	改修後：高圧水洗浄 (15MPa) ・脆弱部補修後重ね塗り用プライマーの上ウレタン塗膜防水 (X-2)		改修後：高圧水洗浄 (15MPa) の上DP塗装		
庇	防水モルタル塗装仕上 高圧水洗浄 (15MPa) の上シリコン系可とう形改修塗材 E (フラット仕上)	木下板	改修前：φ100鋼鉄製コールタール焼付の上DP塗装		2. 床下地調整はポリマーセメントモルタルとする。
	モルタル塗りシン吹付 高圧水洗浄 (15MPa) の上アクリル系軒天用仕上塗材		改修後：下地調整 (RB種) の上DP (ポリウレタン系) 塗替		
軒天	モルタル剛毛引きの上アクリルシン吹付	壁 種	改修前：φ100硬質塩化ビニルパイプ		3. 防滑性ビニル床シート：フラットタイプ (粒子入り)
	高圧水洗浄 (15MPa) の上アクリル系軒天用仕上塗材		改修後：下地調整の上DP塗装、掘み金物：既存のまま		
外壁	モルタル剛毛引きの上アクリルシン吹付	その他			4. 腰壁杉板張り：(7) 12.0杉羽目板 (本実) 縦張り
	高圧水洗浄 (15MPa) の上シリコン系可とう形改修塗材 E				
					5. 教室間のLGS (W=100) 及び木下地壁部には、(7) 100グラスウール (24kg/m3) を充填すること。
					6. トイレ・シャワユニット部のLGS (W=65) には、(7) 50グラスウール (24kg/m3) を充填すること。
					7. ケイカル板：ケイ酸カルシウム板

[illegible][illegible]

一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号 株式会社 ixrea 一級建築士 第 331861 号 吉田 浩司	星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事		
	仕上表(1)	A3:1:1	A-14
	鹿児島市建設局建築部建築課		

内部仕上表 【*】印は石綿含有建材を示す（図面A-09参照）

階	番号	室名	改修後/ 改修前	FL	SL	床		巾木		壁				天井			天井高	備考 【 】は別途工事を示す。
						下地	仕上	材質	高さ	下地	腰壁	腰壁高さ	仕上	下地	仕上	廻縁		
9		倉庫	改修後	+30/ 玄関部分 FL-100	±0/ 玄関部分 ?80	既存RC	既存のまま	既存のまま	90	既存のまま	-		既存のまま	既存RC	既存のまま		階段下	
		倉庫	改修前	+30/ 玄関部分 FL-110	±0/ 玄関部分 ?80		モタタコテ押え：モタタコ	モタタコテ押え	90	モタタコテ押え	-		モタタコテ押え	LGS	モタタコテ押え		階段下	
10		廊下 (X1-X20)	改修後	+30	±0	モタタコテ押え	既存下地調整の上 防滑性ビニル床シート張		90 75	モタタコテ押え	-		耐水PB (直貼工法) (7) 9.5+ ケイム板 (7) 6目 透し張+EPG塗装	LGS	(7) 9.5化粧PB (準不燃)		2.500	面台：タタ；流し台：掲示板；消火器BOX；誘導標識
		廊下 (X1-X20)	改修前	+30	±0	コンクリート打設+モタタコ下地	有機質系塗床 (撤去)	モタタコテ押さえ AEP 【*】	100	既存RC、LGS (W=100)	-		モタタコテ押え AEP塗装【*】	LGS	化粧PB t=9.5		2.600	面台：タタ；流し台：掲示板；消火器；誘導標識
11		階段 1	改修後	+30	±0	モタタコテ押え	防滑性ビニル床シート張	モタタコ巾木EPG	90	モタタコテ押え	-		既存下地調整+EPG塗装	LGS	(7) 9.5化粧PB (準不燃)			掲示板：塩ビ手摺り；ステンレスノスリッパ（接着工法）
		階段 1	改修前	+30	±0	モタタコテ押え	(7) 2.0㎜リレタンスリ床 (踏面)、モタタコテ押えリレタンス装仕上 (蹴込) (撤去)	モタタコテ押さえ AEP 【*】	90	既存モタタコテ押え【*】 (撤去)	-		モタタコテ押え AEP塗装【*】		モタタコテ押え AEP塗装【*】			ビニル手摺り；ノスリッパ (ステンレス)；通行区分帯色分け
12		昇降口 2	改修後	+30/ 昇降口部分 FL-110	±0/ 昇降口部分 ?80	モタタコテ押え	モザイクタイル (45角)：(7) 2.0 ビニル床シート貼 (撤去)	モタタコ巾木EPG		モタタコテ押え	-		既存下地調整+EPG塗装	LGS	(7) 9.5化粧PB (準不燃)		2.600	下足入れ：傘立て；ステンレスマット
		昇降口 2	改修前	+30/ 昇降口部分 FL-110	±0/ 昇降口部分 ?80	モタタコテ押え	モザイクタイル (45角)：(7) 2.0 ビニル床シート貼 (撤去)	モタタコテ押さえ AEP 【*】		モタタコテ押え	-		モタタコテ押え AEP塗装【*】	LGS	(7) 9.5化粧PB (準不燃)		2.500	下足入れ：傘立て；ステンレスマット
13		階段 2	改修後	+30	±0	モタタコテ押え	防滑性ビニル床シート張	下地調整の上EPG 塗装、ビニル巾木	90	モタタコテ押え	-		既存下地調整+EPG塗装	LGS	(7) 9.5化粧PB (準不燃) (4階)			掲示板：塩ビ手摺り；ステンレスノスリッパ（接着工法）
		階段 2	改修前	+30	±0	モタタコテ押え	有機質系塗床 (撤去)	モタタコテ押さえ AEP 【*】	90	既存モタタコテ押え	-		モタタコテ押え AEP塗装【*】		モタタコ刷毛引きアクリルシン吹付【*】			掲示板：ビニル手摺り；ノスリッパ (ステンレス)；通行区分帯色分け；黒板
14		廊下 (X20-X24)	改修後	+30	±0	既存撤去、下地調整	防滑性ビニル床シート張	下地調整の上EPG 塗装、ビニル巾木	75； 90	モタタコテ押え・学校間仕切	-		既存下地調整+EPG塗装	LGS	(7) 9.5化粧PB (準不燃)		2.600	天井点検口 (450角)；流し台 (トラップ 共)；誘導避難標識；ステンレス床見切
		廊下 (X20-X24)	改修前	+30	±0	モタタコテ押え：モタタコ	ビニル床シート撤去【*】 (撤去)	モタタコテ押え AEP 【*】 (一部、学校間仕切)	90	既存モタタコテ押え【*】、学校間仕切 (撤去)	-		一部学校間仕切、モタタコテ押え AEP【*】	LGS	(7) 9吸音テックス貼 (撤去)、一部モタタコテ押え AEP塗装【*】		2.600	通行区分帯色分け
15		男子WC	改修後	+30	±0	モタタコ下地+乾式二重床 (7) 1-707同等品)	防滑性・抗菌性ビニル床シート張 (トイレ用) (7) 2張 (耐水合板 (7) 12+構造用合板 (7) 15)	ビニル床シート 巻き 上げH=100	100	既存RC、LGS (W=100)	-		耐水PB (直貼工法) (7) 9.5+ ケイム板 (7) 6目 透し張+EPG塗装	LGS	化粧PB t=9.5		2.600	面台：ビニルタタ；掃除用具入れ (トイレットペーパー・スリッパ 棚付)；トイレ・ス；天井点検口 (600)
		男子WC	改修前	?30	?80	モタタコ	モザイクタイル (45角)	100角タイル貼	100	既存モタタコテ押え【*】 (撤去)	-		モタタコ金コテ押え AEP塗装【*】	LGS	(7) 9吸音テックス貼 (撤去)、一部モタタコテ押え AEP塗装【*】		2.600	掃除用具入；面台：手洗い：パナーション (7) 707) (撤去)
16		女子WC	改修後	+30	±0	モタタコ下地+乾式二重床 (7) 1-707同等品)	防滑性・抗菌性ビニル床シート張 (トイレ用) (7) 2張 (耐水合板 (7) 12+構造用合板 (7) 15)	ビニル床シート 巻き 上げH=100	100	既存RC、LGS (W=100)	-		耐水PB (直貼工法) (7) 9.5+ ケイム板 (7) 6目 透し張+EPG塗装	LGS	化粧PB t=9.5		2.600	面台：ビニルタタ；掃除用具入れ (トイレットペーパー・スリッパ 棚付)；トイレ・ス；天井点検口 (600)
		女子WC	改修前	?30	?80	モタタコ	モザイクタイル (45角)	100角タイル貼	100	既存モタタコテ押え【*】 (撤去)	-		モタタコ金コテ押え AEP塗装【*】	LGS	(7) 9吸音テックス貼 (撤去)、一部モタタコテ押え AEP塗装【*】		2.600	掃除用具入；面台：手洗い：パナーション (7) 707) (撤去)
17		バリアフリートイレ	増築	+30	±0	モタタコテ押え	ビニル床シート張	ビニル床シート 巻き 上げH=100	100	ALC、LGS	-		耐水PB (直貼工法) (7) 9.5+ ケイム板 (7) 6目 透し張+EPG塗装	LGS	(7) 9.5化粧PB (準不燃)		2.600	面台：天井点検口 (450角)；ビニルタタ；トイレ・ペーパー・スリッパ 棚；【洗面、鏡、手摺】
18		通路	増築	+30	±0	モタタコテ押え	防滑性ビニル床シート張	ビニル巾木	75	ALC、LGS	-		ケイム板 (7) 6目 透し張+EPG塗装	LGS	(7) 9.5化粧PB (準不燃)		2.600/2.420	誘導避難標識

【*】印は石綿含有を示す (アスベスト含有)

内部仕上表 【*】印は石綿含有建材を示す（図面A-09参照）																		
階	番号	室名	改修後/ 改修前	FL	SL	床		巾木		壁				天井			天井高	備考 ＜ ＞は設備工事を示す。 【 】は別途工事を示す。
						下地	仕上	材質	高さ	下地	腰壁	腰壁高さ	仕上	下地	仕上	廻縁		
2FL																		
1		職員室	改修後	+30	±0	既存撤去、下地調整	(7)2.0㍑ニ床シート貼	ビニル巾木	75	モルタル押え・学校間仕切・木胴縁下地・LGS	-		(7)9.5PB+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装、(7)9.5PB(直張工法)+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.850	室名札：掃除用具入：天井点検口(450角)；7ﾒﾐ製ｶｰﾃﾞﾝBOX；ｼﾝｸﾞﾙｶｰﾅｰﾙ
		放送室	改修後	+30	±0	既存撤去、下地調整	(7)2.0㍑ニ床シート貼	ビニル巾木	75	木胴縁下地、LGS(W65) ※GW厚50mm充填、寒冷紗裏打ち	-		木胴縁下地+有孔ｼﾅｲ合板(7)9.0目透し張り+OL塗装 LGS下地+(7)12.5強化PB+(7)9.5ﾌﾗｲﾋﾞｰﾙ+木胴縁+有孔ｼﾅｲ合板OL	LGS	(7)9.5 PB+(7)9.0岩面吸音板		2.850 一部2.450	室名札：掃除用具入：天井点検口(450角)；※壁内：ｸﾞﾗｽｳｰﾙ厚50mm(24Kg/m3 充填 7ﾒﾐ製ｶｰﾃﾞﾝBOX；ｼﾝｸﾞﾙｶｰﾅｰﾙ
		図書室	改修前	+110	780	木製床組下地+(7)12構造用合板(撤去)	(7)15集成材ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ貼(撤去)	モルタルコテ押えAEP【*】（一部、学校間仕切）	90	既存モルタル押え【*】、学校間仕切(撤去)、木胴縁下地(撤去)	-		(7)5.5ﾌﾞﾗｳﾝﾊﾞｰﾆｰｯﾌﾟ塗装(撤去)、一部学校間仕切、モルタル押えAEP【*】	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装【*】		2.970	掃除用具入：落下防止手すり(塗替え)；木製ｶｰﾃﾞﾝﾌﾞｯｸｽ(撤去)；窓下棚(撤去)
2		事務室	改修後	+30	±0	既存撤去、下地調整	(7)2.0㍑ニ床シート貼	ビニル巾木	75	モルタル押え・学校間仕切・木胴縁下地・LGS下地	-		(7)9.5PB+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装、(7)9.5PB(直張工法)+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装、既存下地調整の上EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.850	室名札：掃除用具入：洗面器(設備工事)；行事黒板(枠塗替え)；面台：掲示板(新設)；学校用間仕切(新設)；落下防止手すり(塗替え)；7ﾒﾐ製ｶｰﾃﾞﾝBOX；ｼﾝｸﾞﾙｶｰﾅｰﾙ
		事務室	改修前	+30	±0	モルタルコテ押え；既存RC	有機質系塗床(撤去)	モルタルコテ押えAEP【*】	90	既存モルタル押え【*】、学校間仕切(撤去)、木胴縁下地(撤去)	-		(7)5.5ﾌﾞﾗｳﾝﾊﾞｰﾆｰｯﾌﾟ塗装(撤去)、一部学校間仕切、モルタル押え、ｼﾞｬｸｳｴｰﾝ吹付(撤去)、一部100角ﾀｲﾙ(撤去)	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装【*】		3.050	掲示板：掃除用具入：行事黒板（一時撤去、復旧、張替え、枠塗替え）；学校用間仕切(撤去)；木製ｶｰﾃﾞﾝﾌﾞｯｸｽ(撤去)
3		校長室	改修後	+30	±0	既存撤去、下地調整	(7)2.0㍑ニ床シート貼(木目調)	木製巾木 H=90 OL塗装	90	モルタル押え・学校間仕切・木胴縁下地・LGS下地	木胴縁下地新設+杉板張りOL塗装	900	(7)9.5PB+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装、(7)9.5PB(直張工法)+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装、既存下地調整の上EPG塗装、(7)12.5強化PB+(7)9.5ﾌﾗｲﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.850	室名札：掃除用具入：落下防止手すり(塗替え)；行事黒板（一時撤去、復旧、張替え、枠塗替え）；学校用間仕切(新設)；7ﾒﾐ製ｶｰﾃﾞﾝBOX；ｼﾝｸﾞﾙｶｰﾅｰﾙ
		校長室	改修前	+30	±0	モルタルコテ押え；既存RC	有機質系塗床(撤去)	モルタルコテ押えAEP塗装【*】	90	既存モルタル押え【*】、学校間仕切(撤去)、木胴縁下地(撤去)	-		(7)5.5ﾌﾞﾗｳﾝﾊﾞｰﾆｰｯﾌﾟ塗装(撤去)、一部学校間仕切、モルタル押え、ｼﾞｬｸｳｴｰﾝ吹付(撤去)、一部100角ﾀｲﾙ(撤去)	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装【*】		3.050	掲示板：掃除用具入：行事黒板（一時撤去、復旧、張替え、枠塗替え）；学校用間仕切(撤去)；木製ｶｰﾃﾞﾝﾌﾞｯｸｽ(撤去)
4		印刷室	改修後	+30	±0	既存撤去、下地調整	(7)2.0㍑ニ床シート貼	ビニル巾木	： 75	モルタル押え・学校間仕切・木胴縁下地	-		(7)9.5PB+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装、(7)9.5PB(直張工法)+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.850	室名札：落下防止手すり(塗替え)；棚：7ﾒﾐ製ｶｰﾃﾞﾝﾌﾞｯｸｽ(W=ﾙ) (新設)；ｼﾝｸﾞﾙｶｰﾅｰﾙ
		職員更衣 1	改修後	+30	±0	既存撤去、下地調整	(7)2.0㍑ニ床シート貼	ビニル巾木	75	モルタル押え・学校間仕切・木胴縁下地	-		(7)9.5PB+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装、(7)9.5PB(直張工法)+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.850	室名札：落下防止手すり(塗替え)；面台：7ﾒﾐ製ｶｰﾃﾞﾝﾌﾞｯｸｽ(W=ﾙ) (新設)；ｼﾝｸﾞﾙｶｰﾅｰﾙ
		脱衣 1	改修後	+230	±0	既存撤去、下地調整	(7)2.0㍑ニ床シート貼	ビニル巾木	75	LGS(W=100)	-		(7)9.5PB+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装、(7)9.5PB(直張工法)+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.650	ｼｮｳｰﾚｯﾄ；脱衣棚 ※壁内：ｸﾞﾗｽｳｰﾙ厚100mm(24Kg/?) 充填
		職員更衣 2	改修後	+30	±0	既存撤去、下地調整	(7)2.0㍑ニ床シート貼	ビニル巾木	75	モルタル押え・学校間仕切・木胴縁下地	-		(7)9.5PB+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装、(7)9.5PB(直張工法)+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.850	室名札：落下防止手すり(塗替え)；面台：7ﾒﾐ製ｶｰﾃﾞﾝﾌﾞｯｸｽ(W=ﾙ) (新設)；ｼﾝｸﾞﾙｶｰﾅｰﾙ
		脱衣 2	改修後	+230	±0	既存撤去、下地調整	(7)2.0㍑ニ床シート貼	ビニル巾木	75	LGS(W=100)	-		(7)9.5PB+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装、(7)9.5PB(直張工法)+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.650	ｼｮｳｰﾚｯﾄ；脱衣棚 ※壁内：ｸﾞﾗｽｳｰﾙ厚100mm(24Kg/?) 充填
		職員室	改修前	+30	±0	モルタルコテ押え；既存RC	有機質系塗床(撤去)	モルタルコテ押えAEP塗装【*】	90	既存モルタル押え【*】、学校間仕切(撤去)、木胴縁下地(撤去)	-		(7)5.5ﾌﾞﾗｳﾝﾊﾞｰﾆｰｯﾌﾟ塗装(撤去)、一部学校間仕切、モルタル押え、ｼﾞｬｸｳｴｰﾝ吹付(撤去)、一部100角ﾀｲﾙ(撤去)	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装【*】		3.050	掲示板：掃除用具入：行事黒板（一時撤去、復旧、張替え、枠塗替え）；学校用間仕切(撤去)；木製ｶｰﾃﾞﾝﾌﾞｯｸｽ(撤去)
5		普通教室	改修後	+30	±0	既存撤去、下地調整	(7)2.0㍑ニ床シート貼(木目調)	木製巾木 H=90 OL塗装	90	モルタル押え・学校間仕切・木胴縁下地	木胴縁下地新設+杉板張りOL塗装	900	(7)9.5PB+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装、(7)9.5PB(直張工法)+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.850	室名札：曲面黒板（一時撤去、復旧、張替え、枠塗替え）；落下防止手すり(塗替え)；教師用ｵｰｶｰ(新設)；掲示板(新設)；掃除用具入れ(新設)；児童用ｵｰｶｰ(新設)；学校用間仕切(新設)；7ﾒﾐ製ｶｰﾃﾞﾝﾌﾞｯｸｽ(W=ﾙ) (新設)；ｼﾝｸﾞﾙｶｰﾅｰﾙ
		職員更衣室	改修前	+30	±0	モルタルコテ押え；既存RC	有機質系塗床(撤去)	モルタルコテ押えAEP塗装【*】	90	既存モルタル押え【*】、学校間仕切(撤去)、木胴縁下地(撤去)	-		(7)5.5ﾌﾞﾗｳﾝﾊﾞｰﾆｰｯﾌﾟ塗装(撤去)、一部学校間仕切、モルタル押え、ｼﾞｬｸｳｴｰﾝ吹付(撤去)、一部100角ﾀｲﾙ(撤去)	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装【*】		3.050	掃除用具入：学校用間仕切(撤去)；木製ｶｰﾃﾞﾝﾌﾞｯｸｽ(撤去)
		放送室	改修前	+30	±0	モルタルコテ押え；既存RC	有機質系塗床(撤去)	モルタルコテ押えAEP塗装【*】	90	既存モルタル押え【*】、学校間仕切(撤去)、木胴縁下地(撤去)	-		(7)5.5ﾌﾞﾗｳﾝﾊﾞｰﾆｰｯﾌﾟ塗装(撤去)、一部学校間仕切、モルタル押え、ｼﾞｬｸｳｴｰﾝ吹付(撤去)、一部100角ﾀｲﾙ(撤去)	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装【*】		3.050	掃除用具入：学校用間仕切(撤去)；木製ｶｰﾃﾞﾝﾌﾞｯｸｽ(撤去)
6		普通教室	改修後	+30	±0	既存撤去、下地調整	(7)2.0㍑ニ床シート貼(木目調)	木製巾木 H=90 OL塗装	90	モルタル押え・学校間仕切・木胴縁下地	木胴縁下地新設+杉板張りOL塗装	900	(7)9.5PB+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装、(7)9.5PB(直張工法)+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.850	室名札：曲面黒板（一時撤去、復旧、張替え、枠塗替え）；落下防止手すり(塗替え)；教師用ｵｰｶｰ(新設)；掲示板(新設)；掃除用具入れ(新設)；児童用ｵｰｶｰ(新設)；学校用間仕切(新設)；7ﾒﾐ製ｶｰﾃﾞﾝﾌﾞｯｸｽ(W=ﾙ) (新設)；ｼﾝｸﾞﾙｶｰﾅｰﾙ
		普通教室	改修前	+30	±0	モルタルコテ押え；既存RC	有機質系塗床(撤去)	モルタルコテ押えAEP塗装【*】	90	既存モルタル押え【*】、学校間仕切(撤去)、木胴縁下地(撤去)	-		(7)5.5ﾌﾞﾗｳﾝﾊﾞｰﾆｰｯﾌﾟ塗装(撤去)、一部学校間仕切、モルタル押え、ｼﾞｬｸｳｴｰﾝ吹付(撤去)、一部100角ﾀｲﾙ(撤去)	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装【*】		3.050	掃除用具入：学校用間仕切(撤去)；木製ｶｰﾃﾞﾝﾌﾞｯｸｽ(撤去)
7		特別支援 2・3	改修後	+30	±0	既存撤去、下地調整	(7)2.0㍑ニ床シート貼(木目調)	木製巾木 H=90 OL塗装	90	モルタル押え・学校間仕切・木胴縁下地	木胴縁下地新設+杉板張りOL塗装	900	(7)9.5PB+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装、(7)9.5PB(直張工法)+(7)6.0㍑ｲﾙﾋﾞｰﾙ板+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.850	室名札：曲面黒板（一時撤去、復旧、張替え、枠塗替え）；落下防止手すり(塗替え)；教師用ｵｰｶｰ(新設)；掲示板(新設)；掃除用具入れ(新設)；児童用ｵｰｶｰ(新設)；学校用間仕切(新設)；7ﾒﾐ製ｶｰﾃﾞﾝﾌﾞｯｸｽ(W=ﾙ) (新設)；ｼﾝｸﾞﾙｶｰﾅｰﾙ
		普通教室	改修前	+110	780	木製床組下地+(7)12構造用合板(撤去)	(7)15集成材ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ貼(撤去)	モルタルコテ押えAEP塗装（一部、学校間仕切）	90	既存モルタル押え【*】、学校間仕切(撤去)、木胴縁下地(撤去)	-		(7)5.5ﾌﾞﾗｳﾝﾊﾞｰﾆｰｯﾌﾟ塗装(撤去)、一部学校間仕切、モルタル押えAEP【*】	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装【*】		2.970	掲示板：掃除用具入：曲面黒板（一時撤去、復旧、張替え、枠塗替え）；落下防止手すり(塗替え)；学校用間仕切(撤去)；教師用ｵｰｶｰ(撤去)；児童用ｵｰｶｰ(撤去)；木製ｶｰﾃﾞﾝﾌﾞｯｸｽ(撤去)；地 図掛けﾚｰﾙ(撤去)
8		図書室	改修後	+30	±0	既存撤去、下地調整	(7)2.0㍑ニ床シート貼；一部ﾀﾞﾐ敷き(可動式)	木製巾木 H=90 OL塗装	90	モルタル押え・学校間仕切・木胴縁下地	木胴縁下地新設+杉板張りOL塗装	900	掲示板、既存下地調整の上EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.850	室名札:掃除用具入れ；掲示板：置寄せ；書棚：7ﾒﾐ製ｶｰﾃﾞﾝﾌﾞｯｸｽ(W=ﾙ) (新設)；ｼﾝｸﾞﾙｶｰﾅｰﾙ 落下防止手すり(塗替え)；ｶｵｰﾅｰ
		普通教室	改修前	+110	780	木床組下地、構造用合板 t=12.0	(7)15集成材ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ貼(撤去)	モルタルコテ押えAEP【*】（一部、学校間仕切）	90	既存モルタル押え【*】、学校間仕切(撤去)、木胴縁下地(撤去)	-		(7)5.5ﾌﾞﾗｳﾝﾊﾞｰﾆｰｯﾌﾟ塗装(撤去)、一部学校間仕切、モルタル押え	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装【*】		2.970	掲示板：掃除用具入：曲面黒板（一時撤去、復旧、張替え、枠塗替え）；落下防止手すり(塗替え)；学校用間仕切(撤去)；教師用ｵｰｶｰ(撤去)；児童用ｵｰｶｰ(撤去)；木製ｶｰﾃﾞﾝﾌﾞｯｸｽ(撤去)；地 図掛けﾚｰﾙ(撤去)
9		廊下	改修後	+30	±0	モルタルコテ押え	(7)2.0防滑性ビニル床シート貼	モルタル巾木EPG； ビニル巾木	75； 90	モルタル押え・学校間仕切	-		既存下地調整+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.500	通行区分帯色分け；掲示板：消化器BOX；誘導標識；流し台
		廊下	改修前	+30	±0	モルタルコテ押え	有機質系塗床(撤去)	モルタルコテ押えAEP【*】（一部、学校間仕切）	90	既存モルタル押え【*】、学校間仕切(撤去)、木胴縁下地(撤去)	-		一部学校間仕切、モルタル押えAEP【*】	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装【*】		2.600	掲示板：通行区分帯色分け

【*】印は石綿含有を示す(アスベスト含有)

一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号		星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事		
株式会社ixrea		仕上表(3)	A3:1:1	A-16
一級建築士 第 331861 号 吉田 浩司				
		鹿児島市建設局建築部建築課		

内部仕上表 【*】印は石綿含有建材を示す（図面A-09参照）

階	番号	室名	改修後/ 改修前	FL	SL	床		巾木		壁				天井			天井高	備考 ＜ ＞は設備工事を示す。 【 】は別途工事を示す。
						下地	仕上	材質	高さ	下地	腰壁	腰壁高さ	仕上	下地	仕上	廻縁		
	10	階段 1	改修後	+30	±0	モルタル押え	防滑性ビニル床シート張	モルタル巾木EPG	90	モルタル押え	－		既存下地調整+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)			掲示板(新設)：ビニル手摺り：ノンスリップ(スフェルス)： 通行区分帯色分け
		階段 1	改修前	+30	±0	モルタル押え	有機質系塗床(撤去)	モルタルコテ押えAEP塗装【*】	90	モルタル押え	－		モルタル押え AEP塗装【*】	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装(撤去)			ビニル手摺り：ノンスリップ(スフェルス)： 通行区分帯色分け
	11	階段 2	改修後	+30	±0	モルタルコテ押え：モルタル	防滑性ビニル床シート張	モルタル巾木EPG	90	モルタル押え	－		既存下地調整+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)			掲示板(新設)：ビニル手摺り：ノンスリップ(スフェルス)： 通行区分帯色分け
		階段 2	改修前	+30	±0	モルタルコテ押え	有機質系塗床(撤去)	モルタルコテ押えAEP塗装【*】	90	モルタル押え	－		モルタル押え AEP塗装【*】	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装(撤去)			掲示板：ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ(ｸﾞﾗｽﾞｰﾝ)(撤去)：ビニル手摺り：ノンスリップ(スフェルス)： 通行区分帯色分け
	12	男子トイレ	改修後	+30	±0	モルタル下地+乾式二重床(ﾌﾘｰﾌｵｰﾌﾞ同等品)	防滑性・抗菌性ビニル床シート張(ﾄｲﾙ用)(7)2張(耐水合板(7)12+構造用合板(7)15)	ビニル床シート 巻き上げH=100	100	既存RC、LGS(W=100)	－		耐水PB(直貼工法)(7)9.5+ケイ酸板(7)6目 透し張+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.600	室名札：面台：ビクトサイン：掃除用具入れ(ﾄｲﾚｯﾄﾊﾞｰﾊﾞｰｽﾄｯｸ棚付)：ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
		男子トイレ	改修前	730	780	モルタルコテ押え	モザイクタイル(45角)	100角タイル貼	100	モルタル押え	－		モルタル押え AEP塗装【*】	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装(撤去)		2.600	掃除用具入：面台：手洗い：ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ(ｸﾞﾗｽﾞｰﾝ)(撤去)
	13	女子トイレ	改修後	+30	±0	モルタル下地+乾式二重床(ﾌﾘｰﾌｵｰﾌﾞ同等品)	防滑性・抗菌性ビニル床シート張(ﾄｲﾙ用)(7)2張(耐水合板(7)12+構造用合板(7)15)	ビニル床シート 巻き上げH=100	100	既存RC、LGS(W=100)	－		耐水PB(直貼工法)(7)9.5+ケイ酸板(7)6目 透し張+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.600	室名札：面台：ビクトサイン：掃除用具入れ(ﾄｲﾚｯﾄﾊﾞｰﾊﾞｰｽﾄｯｸ棚付)：ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
		女子トイレ	改修前	730	780	モルタルコテ押え	モザイクタイル(45角)	100角タイル貼	100	既存モルタル押え【*】(撤去)	－		モルタル押え AEP塗装【*】	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装(撤去)		2.600	掃除用具入：面台：手洗い：ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ(ｸﾞﾗｽﾞｰﾝ)(撤去)
	14	車いす対応トイレ	増築	+30	±0	モルタルコテ押え	ビニル床シート張	ビニル床シート 巻き上げH=100	100	ALC、LGS	－		耐水PB(直貼工法)(7)9.5+ケイ酸板(7)6目 透し張+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.600	面台：天井点検口(450角)：ビクトサイン：掃除用具入れ(ﾄｲﾚｯﾄﾊﾞｰﾊﾞｰｽﾄｯｸ棚付)：洗面、鏡、手摺
	15	通路	増築	+30	±0	モルタルコテ押え	防滑性ビニル床シート張	ビニル巾木	75	ALC、LGS	－		ケイ酸板(7)6目 透し張+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.600/2.420	誘導避難標識
	3FL																	
	1	普通教室	改修後	+30	±0	モルタルコテ押え	(7)2.0cビニル床シート貼(木目調)	木製巾木 H=90 CL塗装	90	既存モルタル押え、学校間仕切、木胴縁下地	木胴縁下地新設+杉板張りCL塗装	900	(7)9.5PB(直貼工法)下地の上珪藻土塗り、木胴縁下地+(7)9.5PB+(7)6.0ケイ酸板+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.850	室名札：曲面黒板(一時撤去、復旧、張替え、枠塗装)：落下防止手すり(塗替え)：教師用ロッカ(新設)：掲示板(新設)：児童用ロッカ(新設)：学校用間仕切(新設)：ﾌｧﾐﾔｰﾘｰﾝｸﾞｸﾞﾗｽ(ｳｪｰﾙ)(新設)：ｼﾝｸﾞﾙｰﾅｰﾌﾞｰﾙ
		普通教室	改修前	+110	±0	木床組下地、構造用合板t=12.0	(7)15集成材ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ貼(撤去)	モルタルコテ押えAEP【*】(一部、学校間仕切)	90	モルタル押え、学校間仕切(撤去)、木胴縁下地(撤去)	－		(7)5.5ﾌﾞﾗｯｸﾛｯﾌﾟ塗装(撤去)、一部学校間仕切、モルタル押えAEP塗装【*】	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装(撤去)		2.970	掲示板：室名札：落下防止手すり(塗替え)：学校用間仕切(撤去)：教師用ロッカ(撤去)：児童用ロッカ(撤去)：ｶｰﾅｰｸﾞｽ(撤去)：地 固掛けﾚｰﾙ(撤去)
	2	廊下	改修後	+30	±0	モルタルコテ押え	(7)2.0防滑性ビニル床シート貼	モルタル巾木EPG	90	モルタル押え・学校間仕切	－		モルタル押え+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.600	通行区分帯色分け
		廊下	改修前	+30	±0	モルタルコテ押え	(7)2.0cビニル床シート貼	モルタル巾木EPG	90	モルタル押え・学校間仕切	－		モルタル押え+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.600	通行区分帯色分け
	3	階段 1	改修後	+30	±0	モルタルコテ押え	防滑性ビニル床シート張	モルタル巾木EPG	90	モルタル押え	－		モルタル押え+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)			ビニル手摺り：ノンスリップ(スフェルス)： 通行区分帯色分け：黒板
		階段 1	改修前	+30	±0	モルタルコテ押え	防滑性ビニル床シート張	モルタル巾木EPG	90	モルタル押え	－		モルタル押え+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)			ビニル手摺り：ノンスリップ(スフェルス)： 通行区分帯色分け：黒板
	4	階段 2	改修後	+30	±0	モルタルコテ押え	防滑性ビニル床シート張	モルタル巾木EPG	90	モルタル押え	－		モルタル押え+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)			掲示板：ビニル手摺り：ノンスリップ(スフェルス)： 通行区分帯色分け
		階段 2	改修前	+30	±0	モルタルコテ押え	防滑性ビニル床シート張	モルタル巾木EPG	90	モルタル押え	－		モルタル押え+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)			掲示板：ビニル手摺り：ノンスリップ(スフェルス)： 通行区分帯色分け
	5	男子トイレ	改修後	+30	±0	モルタル下地+乾式二重床(ﾌﾘｰﾌｵｰﾌﾞ同等品)	防滑性・抗菌性ビニル床シート張(ﾄｲﾙ用)(7)2張(耐水合板(7)12+構造用合板(7)15)	ビニル床シート 巻き上げH=100	100	既存RC、LGS(W=100)	－		耐水PB(直貼工法)(7)9.5+ケイ酸板(7)6目 透し張+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.600	室名札：掃除用具入：面台：手洗い：ビクトサイン：掃除用具入れ(ﾄｲﾚｯﾄﾊﾞｰﾊﾞｰｽﾄｯｸ棚付)：ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
		男子トイレ	改修前	730	780	モルタル	モザイクタイル(45角)	100角タイル貼	100	モルタル押え	－		モルタル押え AEP塗装【*】	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装(撤去)		2.600	掃除用具入：面台：手洗い：ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ(ｸﾞﾗｽﾞｰﾝ)(撤去)
	6	女子トイレ	改修後	+30	±0	モルタル下地+乾式二重床(ﾌﾘｰﾌｵｰﾌﾞ同等品)	防滑性・抗菌性ビニル床シート張(ﾄｲﾙ用)(7)2張(耐水合板(7)12+構造用合板(7)15)	ビニル床シート 巻き上げH=100	100	既存RC、LGS(W=100)	－		耐水PB(直貼工法)(7)9.5+ケイ酸板(7)6目 透し張+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.600	室名札：掃除用具入：面台：手洗い：ビクトサイン：掃除用具入れ(ﾄｲﾚｯﾄﾊﾞｰﾊﾞｰｽﾄｯｸ棚付)：ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
		女子トイレ	改修前	730	780	モルタル	モザイクタイル(45角)	100角タイル貼	100	モルタル押え	－		モルタル押え AEP塗装【*】	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一部モルタル押えAEP塗装(撤去)		2.600	掃除用具入：面台：手洗い：ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ(ｸﾞﾗｽﾞｰﾝ)(撤去)
	7	ﾊﾞﾘｱﾌﾞｰﾙﾄｲﾚ	増築	+30	±0	モルタルコテ押え	ビニル床シート張	ビニル床シート 巻き上げH=100	100	ALC、LGS	－		耐水PB(直貼工法)(7)9.5+ケイ酸板(7)6目 透し張+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.600	面台：天井点検口(450角)：ビクトサイン：掃除用具入れ(ﾄｲﾚｯﾄﾊﾞｰﾊﾞｰｽﾄｯｸ棚付)：洗面、鏡、手摺
	8	通廊	増築	+30	±0	モルタルコテ押え	防滑性ビニル床シート張	ビニル巾木	75	ALC、LGS	－		ケイ酸板(7)6目 透し張+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.600/2.420	※ｸﾞﾗｽﾞｰﾙ厚50mm(24Kg/㎡)敷込み

内部仕上表

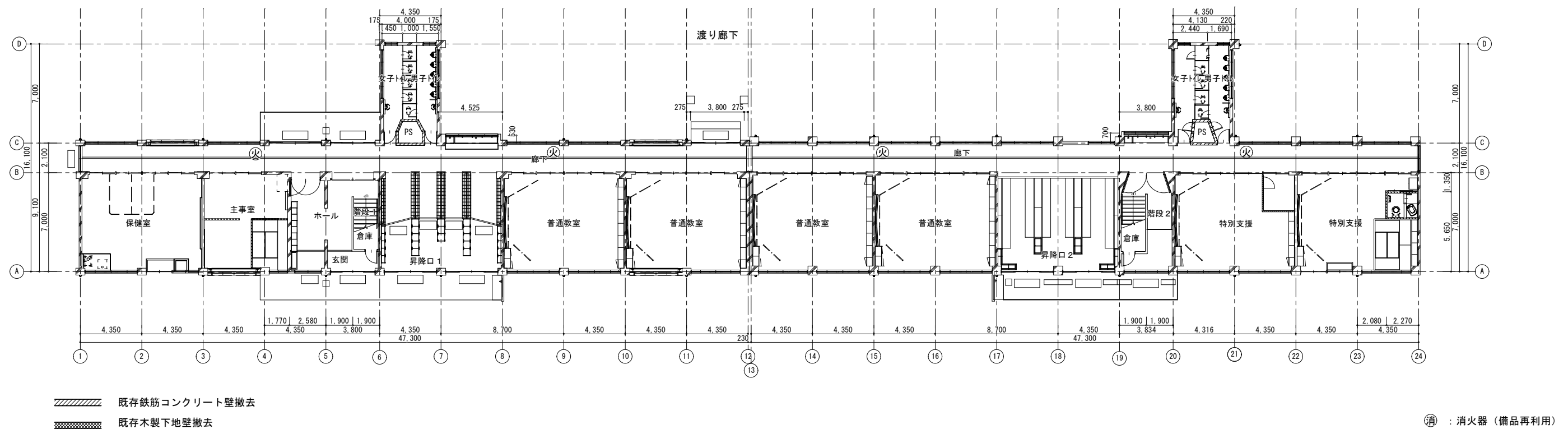
階	番号	室名	改修後/ 改修前	FL	SL	床		巾木		壁				天井			天井高	備考 ＜ ＞は設備工事を示す。 【 】は別途工事を示す。
						下地	仕上	材質	高さ	下地	腰壁	腰壁高さ	仕上	下地	仕上	廻縁		
4FL																		
1		普通教室	改修後	+30	±0	既存RC	(7)2.0t ^ニ 床シート貼(木目調)	木製巾木 H=90 CL塗装	90	モ ^タ タ ^コ テ押え・学校間仕切・木脚 縁下地	木脚縁下地新設+杉板張りCL塗 装	900	(7)9.5PB+(7)6.0 ^ケ ル板 +EPG塗装、(7)9.5PB(直張工 法)+(7)6.0 ^ケ ル板+EPG塗 装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.850	室名札：曲面黒板(一時撤去、復旧、張替え、枠塗装替え)；落下防止手すり(塗装替え)；教師用ロッカ(新設)；掲示板(新設)； 児童用ロッカ(新設)；学校用間仕切(新設)；7&ミ製カーテン ^ボ ックス(Wレール)(新設)；シグ ^ナ ルカーテンレール
		普通教室	改修前	+30	±0	木製床組下地+(7)12構造用合板 (撤去)	(7)15集成材70+リソ ^グ 貼(撤去)	モ ^タ タ ^コ テ押 えAEP【*】(一 部、学校間仕	90	既存モ ^タ タ ^コ テ押え【*】、学校間 仕切(撤去)、木脚縁下地(撤去)	-		(7)5.57mm ^ニ ロP塗装(撤去)、 一部学校間仕切、モ ^タ タ ^コ テ押え	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一 部モ ^タ タ ^コ テ押えAEP塗装【*】		2.970	掲示板：室名札；落下防止手すり(塗装替え)；学校用間仕切(撤去)；教師用ロッカ(撤去)；児童用ロッカ(撤去)；カー テン ^ボ ックス(撤去)；地 図掛けレール(撤去)
2		廊下	改修後	+30	±0	モ ^タ タ ^コ テ押え	(7)2.0防滑性 ^ビ ニ ^ル 床シート貼	モ ^タ タ ^コ 巾木EPG	90	モ ^タ タ ^コ テ押え・学校間仕切	-		モ ^タ タ ^コ テ押え+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.600	通行区分帯色分け
		廊下	改修前	+30	±0	モ ^タ タ ^コ テ押え	有機質系塗床(撤去)	モ ^タ タ ^コ テ押 えAEP塗装【*】	90	既存モ ^タ タ ^コ テ押え【*】、学校間 仕切(撤去)	-		一部学校間仕切、モ ^タ タ ^コ テ押え	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一 部モ ^タ タ ^コ テ押えAEP塗装【*】		2.600	通行区分帯色分け
3		階段 1	改修後	+30	±0	モ ^タ タ ^コ テ押え	(7)2.0防滑性 ^ビ ニ ^ル 床シート貼	モ ^タ タ ^コ 巾木EPG	90	モ ^タ タ ^コ テ押え	-		モ ^タ タ ^コ テ押え+EPG塗装	LGS	化粧PB t=9.5			^ビ ニ ^ル 手摺り：ノンスリップ(スチール)； 通行区分帯色分け；黒板
		階段 1	改修前	+30	±0	モ ^タ タ ^コ テ押え	有機質系塗床(撤去)	モ ^タ タ ^コ テ押 えAEP塗装【*】	90	既存モ ^タ タ ^コ テ押え【*】(撤去)	-		モ ^タ タ ^コ テ押え	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一 部モ ^タ タ ^コ テ押えAEP塗装【*】			^ビ ニ ^ル 手摺り：ノンスリップ(スチール)； 通行区分帯色分け；黒板
4		階段 2	改修後	+30	±0	モ ^タ タ ^コ テ押え	(7)2.0防滑性 ^ビ ニ ^ル 床シート貼	モ ^タ タ ^コ 巾木EPG	90	モ ^タ タ ^コ テ押え	-		モ ^タ タ ^コ テ押え+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)			掲示板： ^ビ ニ ^ル 手摺り：ノンスリップ(スチール)； 通行区分帯色分け
		階段 2	改修前	+30	±0	モ ^タ タ ^コ テ押え	有機質系塗床(撤去)	モ ^タ タ ^コ テ押 えAEP塗装【*】	90	既存モ ^タ タ ^コ テ押え【*】(撤去)	-		モ ^タ タ ^コ テ押え	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一 部モ ^タ タ ^コ テ押えAEP塗装【*】			掲示板： ^ビ ニ ^ル 手摺り：ノンスリップ(スチール)； 通行区分帯色分け
5		男子トイレ	改修後	+30	±0	モ ^タ タ ^コ 下地+乾式二重床 (7)7+707同等品)	防滑性・抗菌性 ^ビ ニ ^ル 床シート張(トイレ用) (7)2張 (耐水合板(7)12+構造用合板(7)15)	^ビ ニ ^ル 床シート 巻き 上げH=100	100	既存RC、LGS(W=100)	-		耐水PB(直貼工法)(7)9.5+ ^ケ ル板 板(7)6目 透し張+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.600	室名札；掃除用具入；面台；手洗い； ^ビ トサイン；掃除用具入れ(トイレットペーパーストック棚付)
		男子トイレ	改修前	730	780	モ ^タ タ ^コ	モザイクタイル(45角)	100角タイル貼	100	既存モ ^タ タ ^コ テ押え【*】(撤去)	-		モ ^タ タ ^コ テ押え	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一 部モ ^タ タ ^コ テ押えAEP塗装【*】		2.600	掃除用具入；面台；手洗い；パーテーション(ガラス)；(撤去)
6		女子トイレ	改修後	+30	±0	モ ^タ タ ^コ 下地+乾式二重床 (7)7+707同等品)	防滑性・抗菌性 ^ビ ニ ^ル 床シート張(トイレ用) (7)2張 (耐水合板(7)12+構造用合板(7)15)	^ビ ニ ^ル 床シート 巻き 上げH=100	100	既存RC、LGS(W=100)	-		耐水PB(直貼工法)(7)9.5+ ^ケ ル板 板(7)6目 透し張+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.600	室名札；掃除用具入；面台；手洗い； ^ビ トサイン；掃除用具入れ(トイレットペーパーストック棚付)；トイレ ^プ ース
		女子トイレ	改修前	730	780	モ ^タ タ ^コ	モザイクタイル(45角)	100角タイル貼	100	既存モ ^タ タ ^コ テ押え【*】(撤去)	-		モ ^タ タ ^コ テ押え	LGS	(7)9吸音テックス貼(撤去)、一 部モ ^タ タ ^コ テ押えAEP塗装【*】		2.600	掃除用具入；面台；手洗い；パーテーション(ガラス)；(撤去)
7		バリアフリートイレ	増築	+30	±0	モ ^タ タ ^コ テ押え	^ビ ニ ^ル 床シート張	^ビ ニ ^ル 床シート 巻き 上げH=100	100	ALC、LGS	-		耐水PB(直貼工法)(7)9.5+ ^ケ ル板 板(7)6目 透し張+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2.600	面台；天井点検口(450角)； ^ビ トサイン；掃除用具入れ(トイレットペーパーストック)；【洗面、鏡、手摺】
1	8	通路	増築	+30	±0	モ ^タ タ ^コ テ押え	防滑性 ^ビ ニ ^ル 床シート張	^ビ ニ ^ル 巾木	75	ALC、LGS	-		^ケ ル板(7)6目 透し張+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB(準不燃)		2,600/2,420	誘導避難標識：※ガラスカー ^ル 厚50mm(24Kg/?)数込み
		倉庫	改修後			モ ^タ タ ^コ テ押え	既存のまま	既存のまま		既存のまま	-		モ ^タ タ ^コ テ押え+EPG塗装	LGS	モ ^タ タ ^コ テ押えEPG塗装			
		倉庫	改修前			モ ^タ タ ^コ テ押え：モ ^タ タ ^コ	モ ^タ タ ^コ テ押え	モ ^タ タ ^コ テ押え		モ ^タ タ ^コ テ押え	-		モ ^タ タ ^コ テ押え	LGS	モ ^タ タ ^コ テ押えAEP塗装(撤去)			

RFL

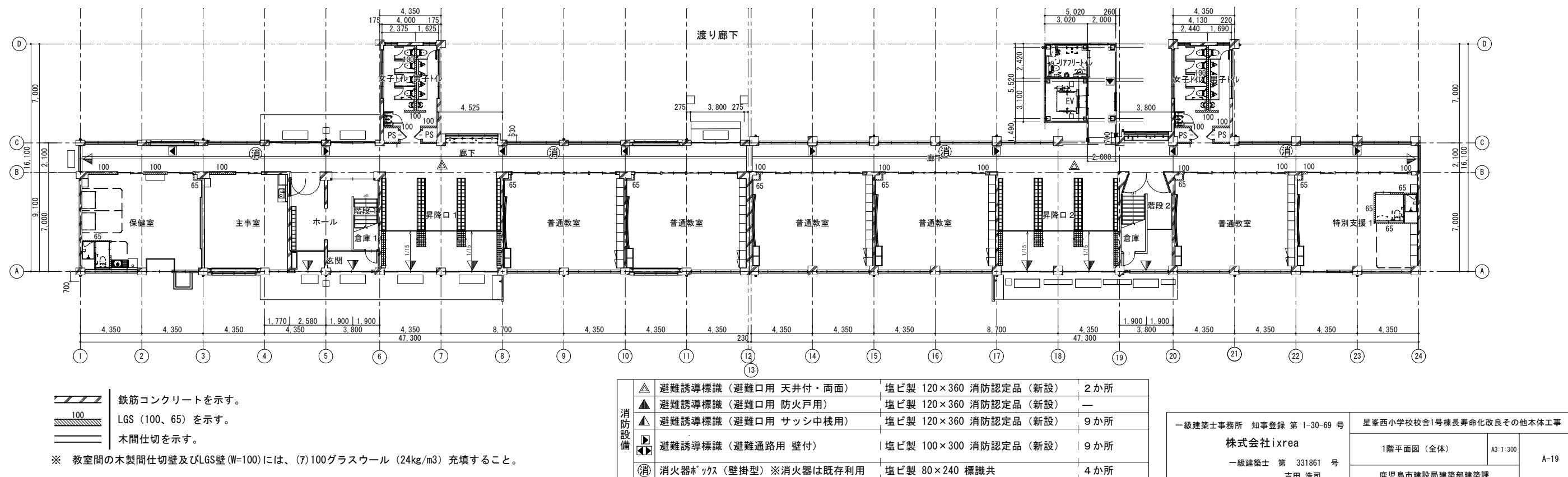
【*】印は石綿含有を示す(アスベスト含有)

一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号		星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事		
株式会社ixrea		仕上表(5)	A3:1:1	A-18
一級建築士 第 331861 号				
吉田 浩司		鹿児島市建設局建築部建築課		

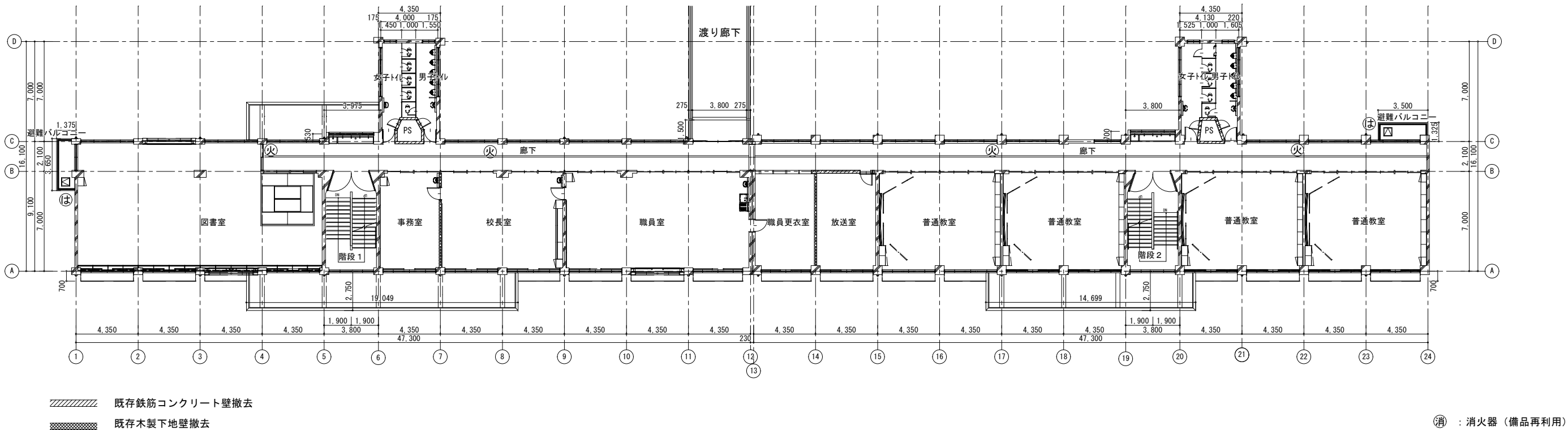
改修前平面図



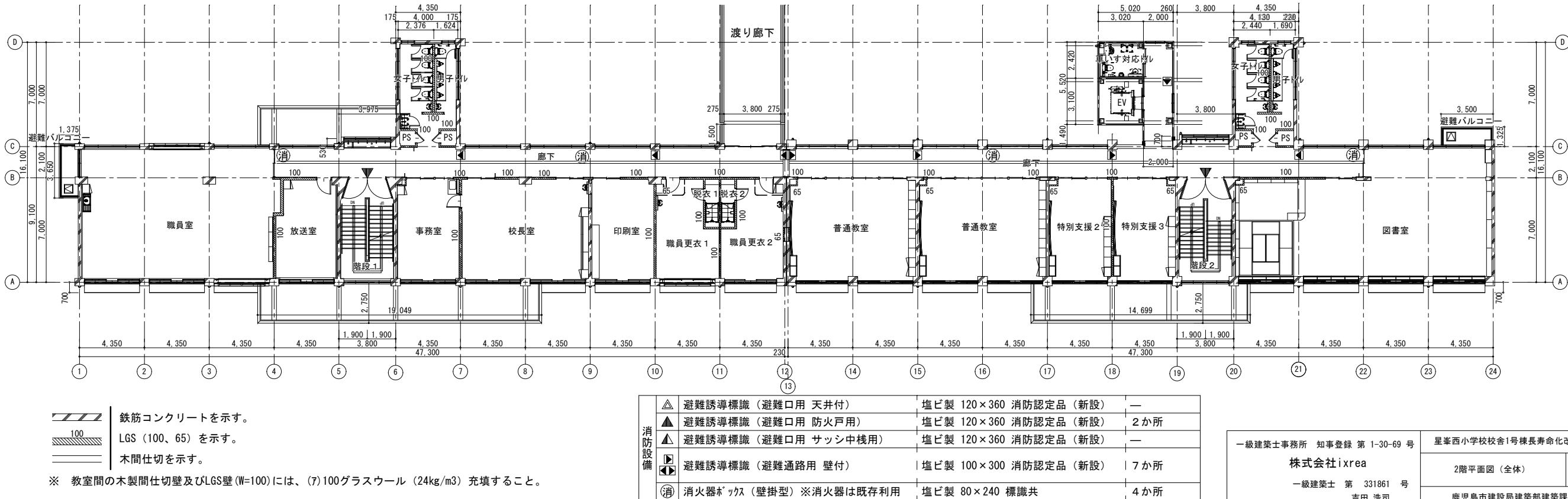
改修後平面図



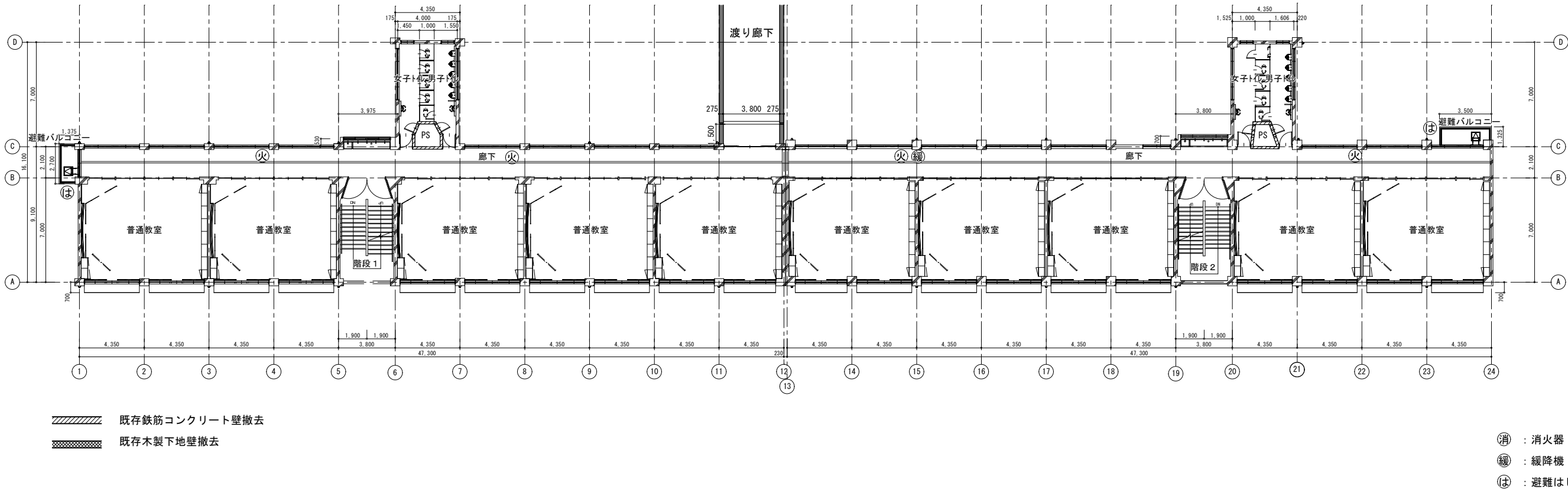
改修前平面図



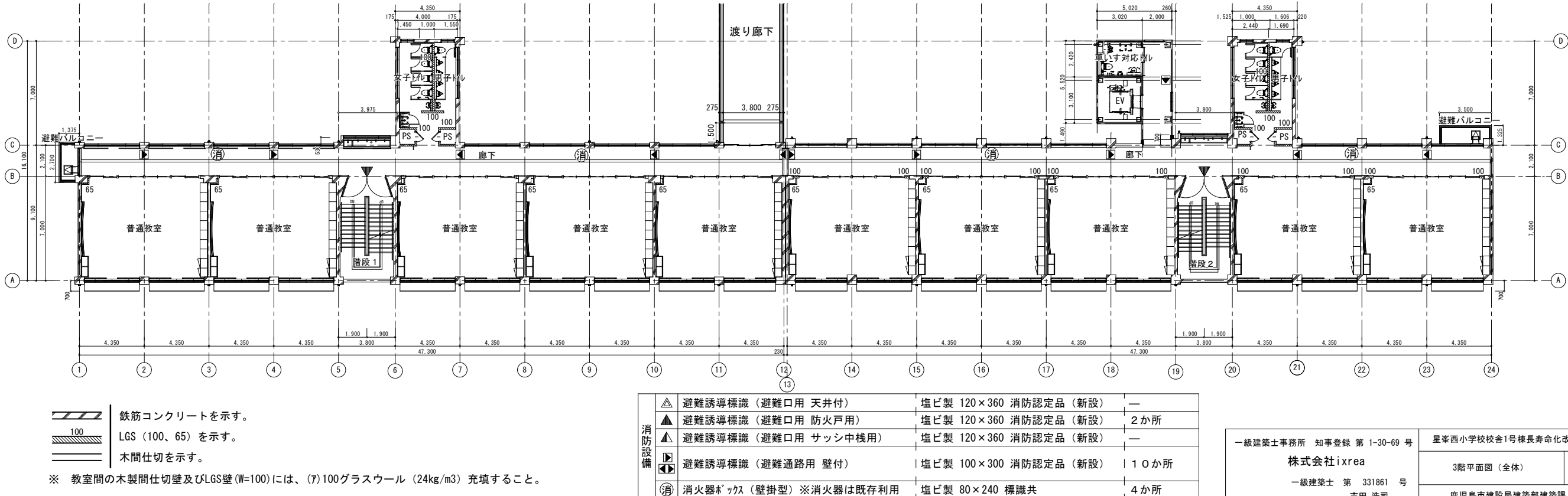
改修後平面図



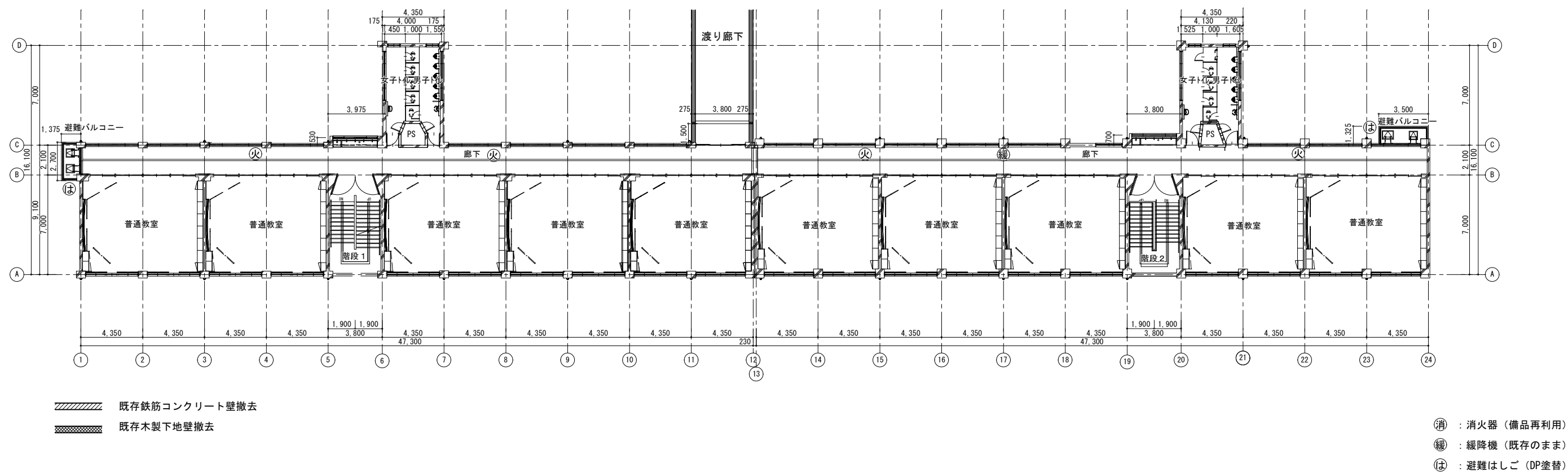
改修前平面図



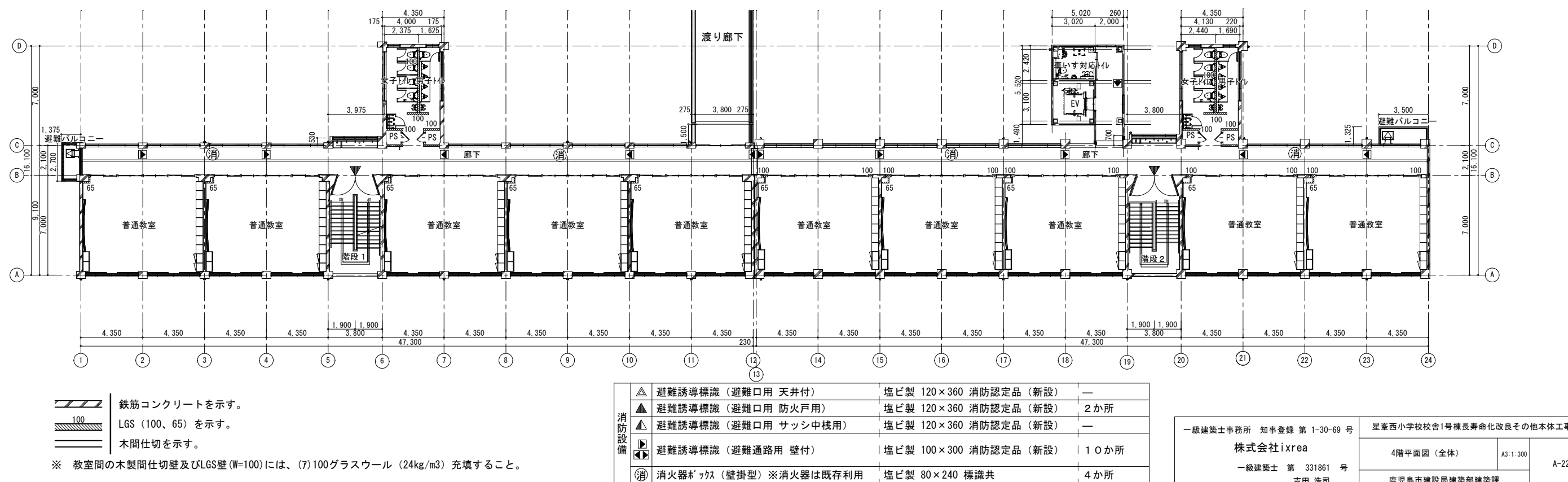
改修後平面図

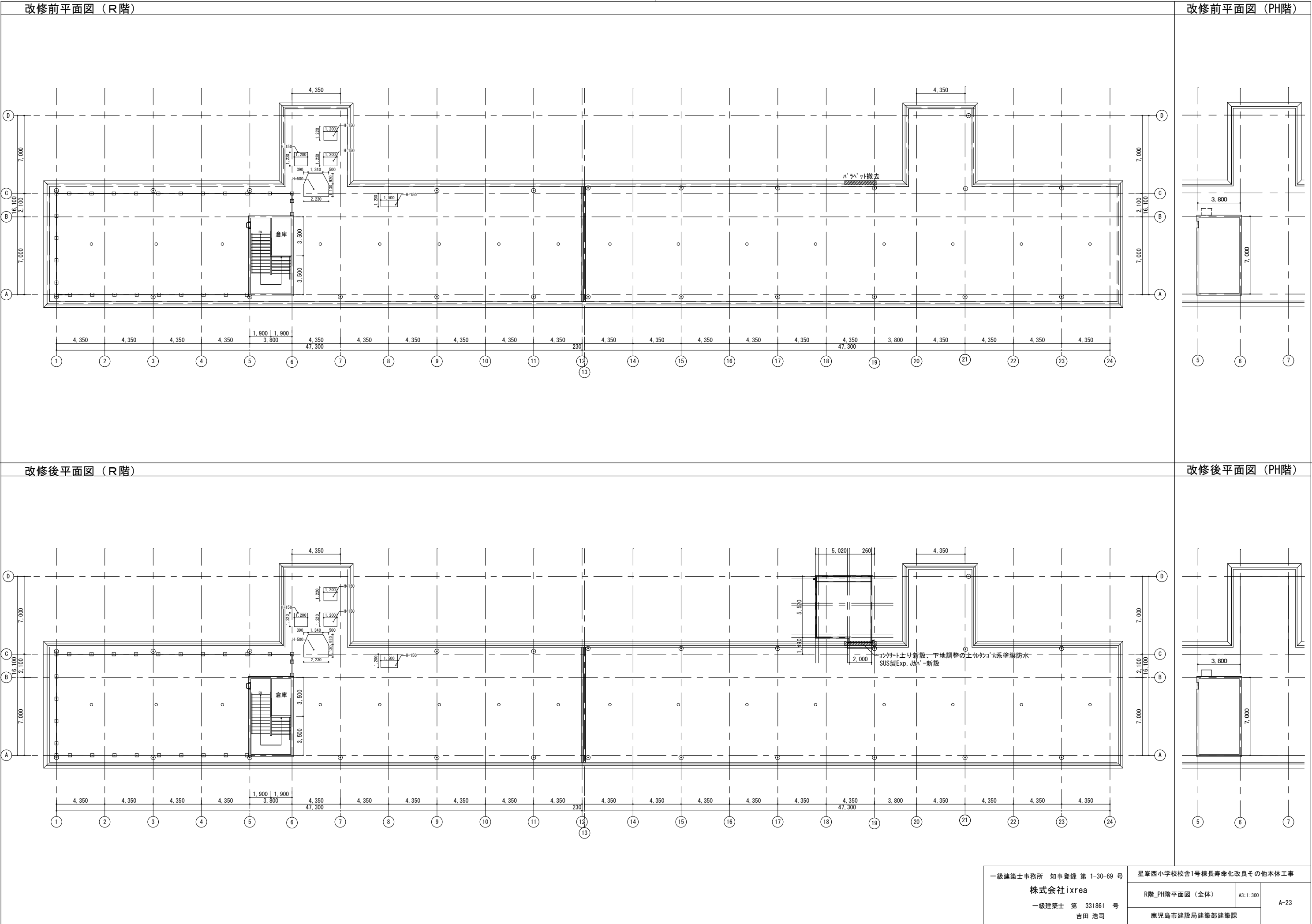


改修前平面図



改修後平面図



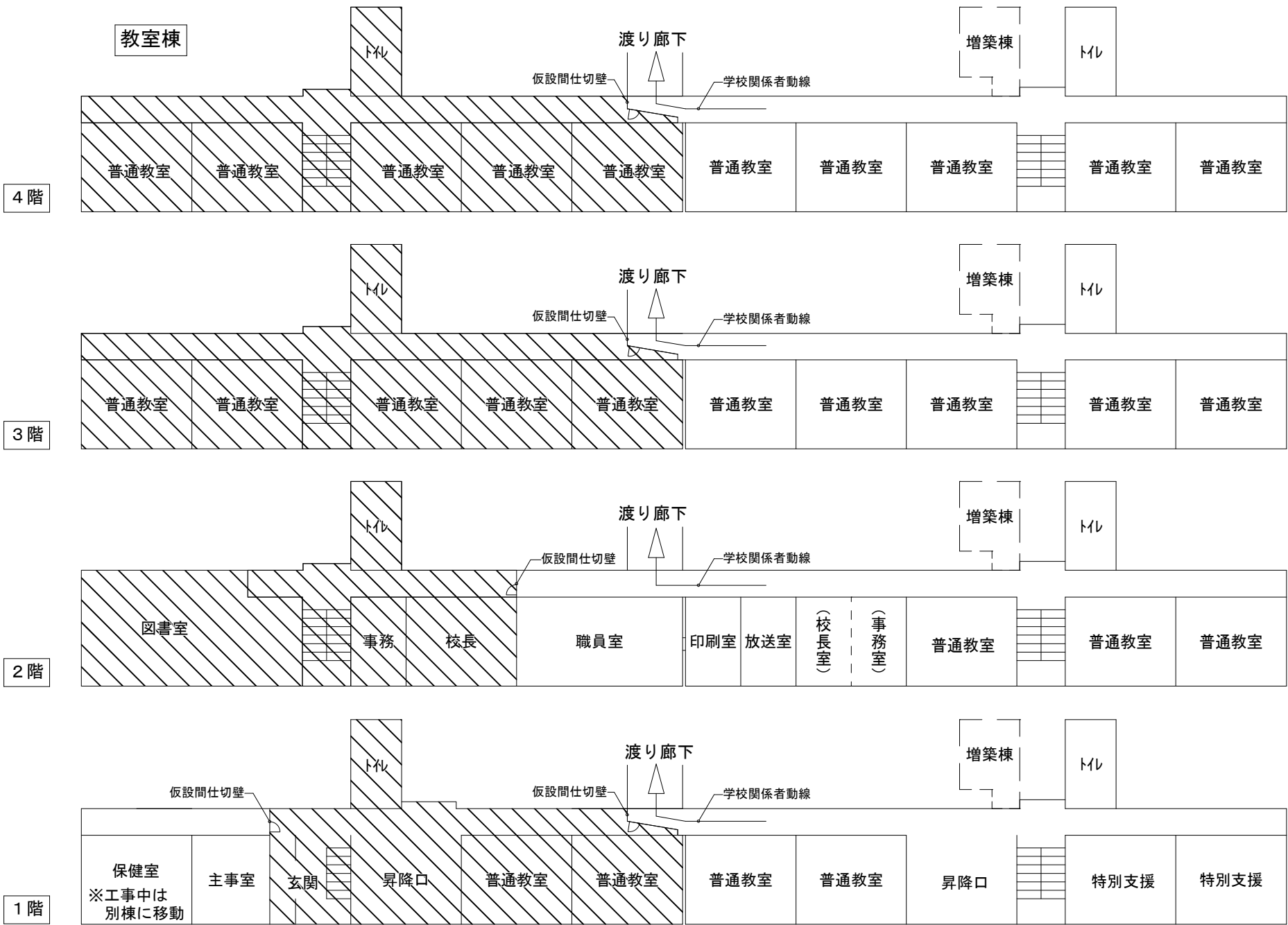


星峯西小学校校舎 1号棟長寿命化改良工事 工事ローテーション図

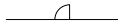
【1期工事】

工事期間（想定）

R7												R8												R9		
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	1	2	3



：工事範囲

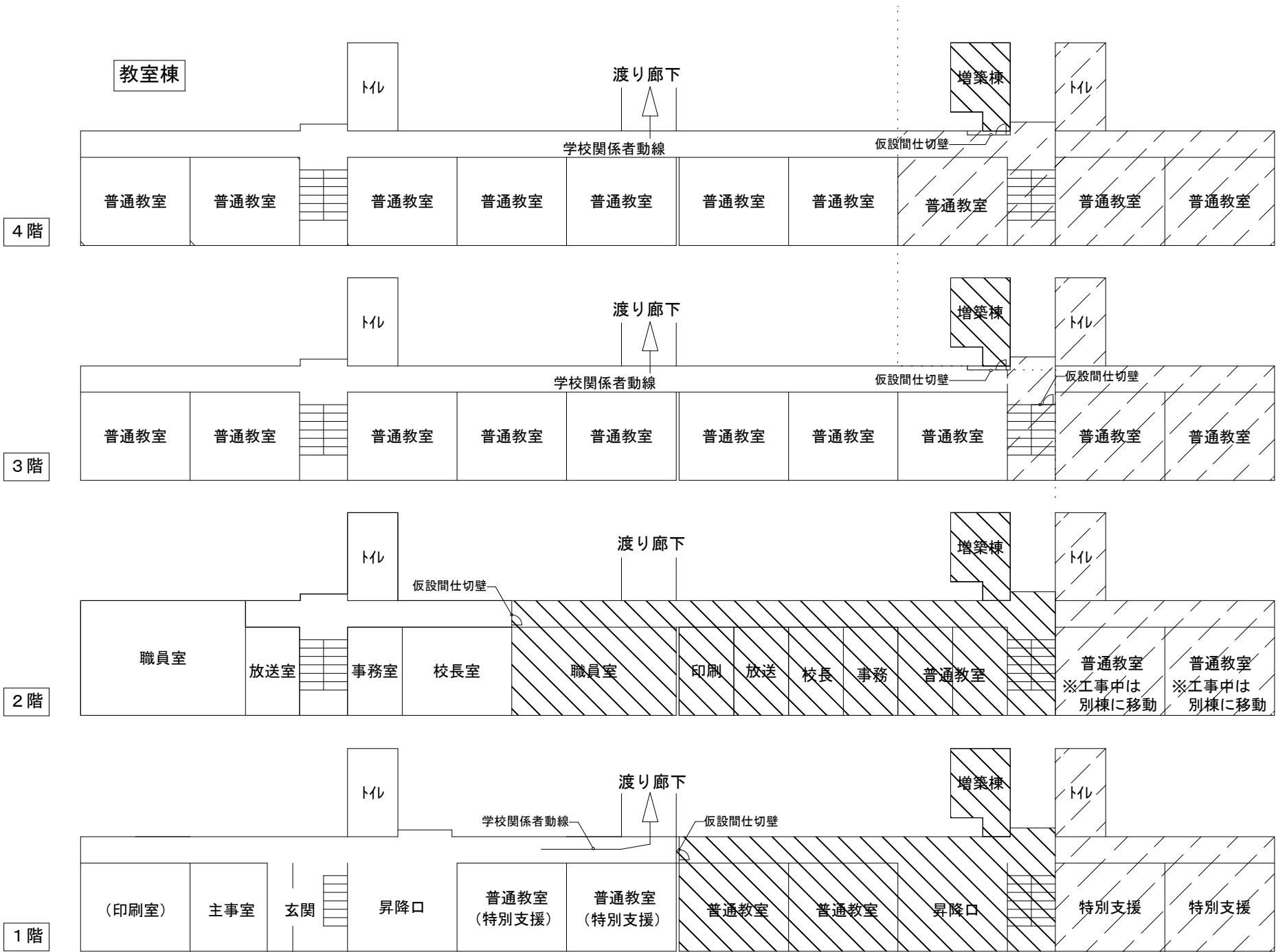


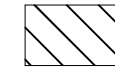
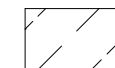
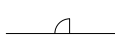
：仮設間仕切壁
LGS下地 (W=65)
(ア)12.5PB+(ア)6.0ケイカル板 両面張り
扉付 (錠付)

星峯西小学校校舎 1 号棟長寿命化改良工事 工事ローテーション図

【2 期工事】
工事期間（想定）

R7												R8												R9		
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			



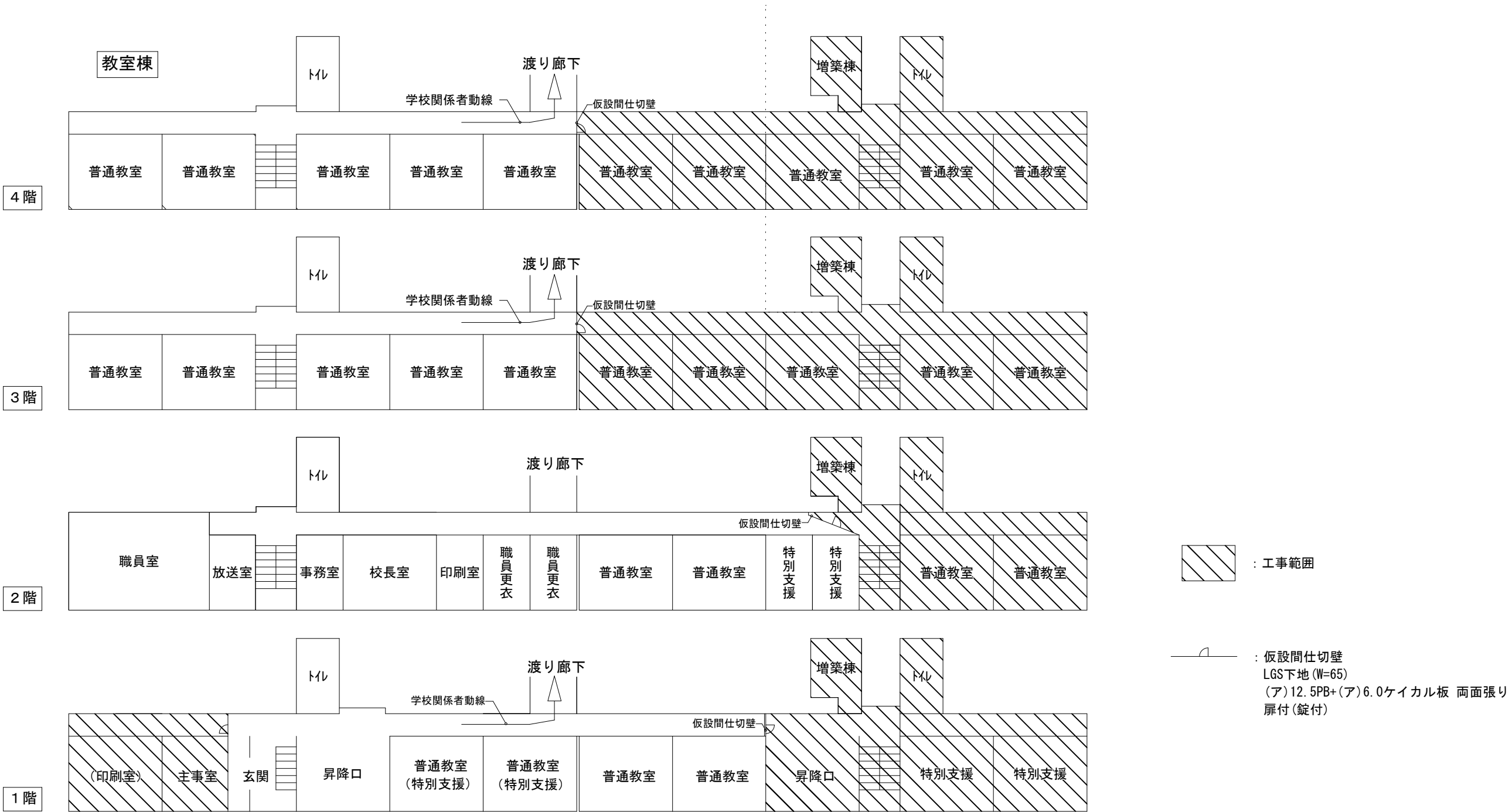
-  : 工事範囲
-  : 監督員と協議の上、2 または 3 工区で施工
-  : 仮設間仕切壁
LGS下地 (W=65)
(ア) 12.5PB+(ア) 6.0 ケイカル板 両面張り
扉付 (錠付)

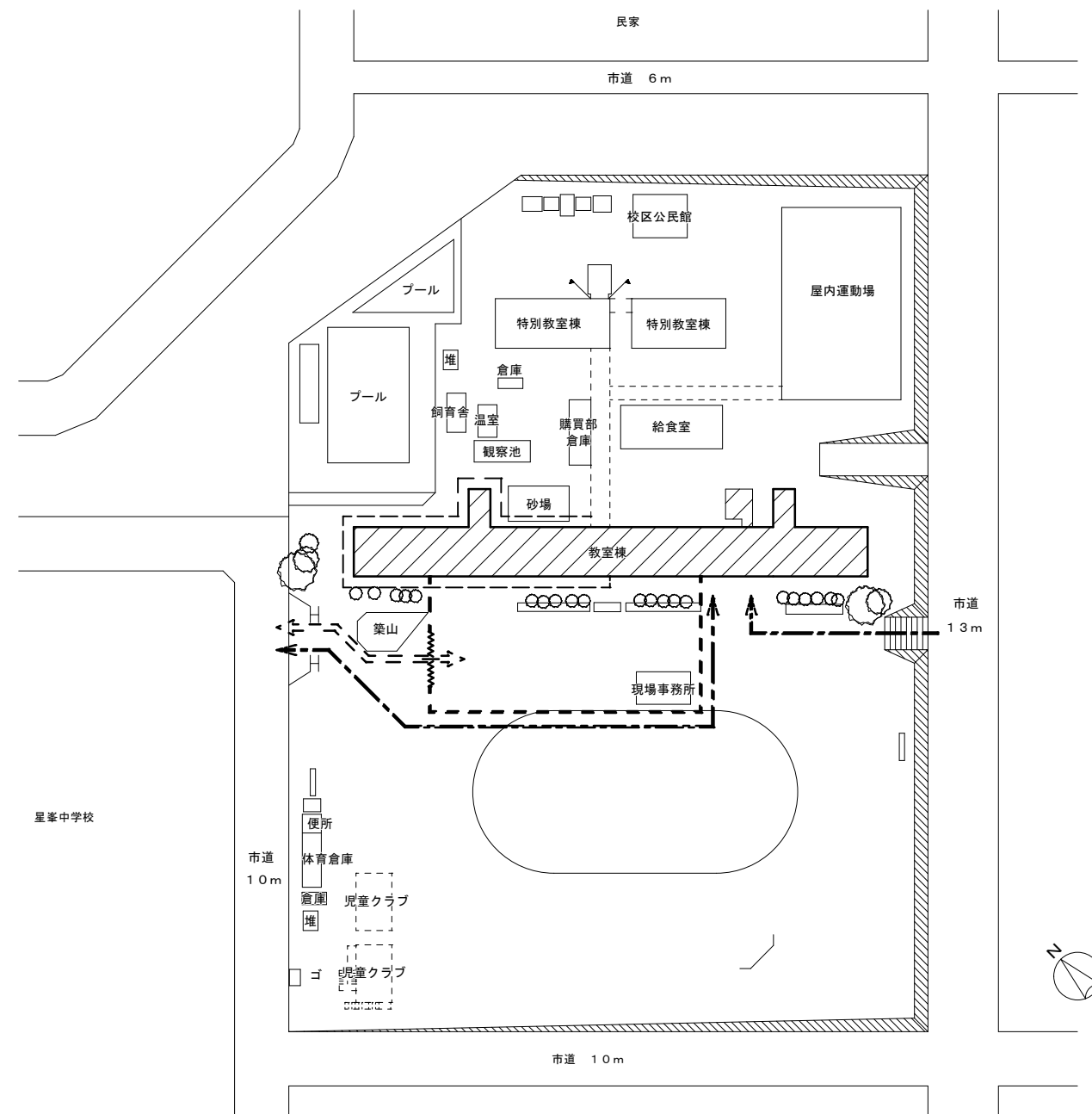
星峯西小学校校舎 1 号棟長寿命化改良工事 工事ローテーション図

【3 期工事】







工事期間（想定）

R7												R8												R9		
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	1	2	3





仮設計画図（1期工事）

- | | |
|---|---------------------------------------|
|  | 仮設：仮囲い（鋼製 H=2.0m） |
|  | 仮設：クロスゲート W=6.0m |
|  | 外部足場 |
|  | 工事車両動線 |
|  | 児童動線 |
|  | 工事ヤード及び工事車両通行部等は、
工事完成時に校庭整地を行うこと。 |
| <p>路床工・クレイ舗装改良工・表面処理工
表層土（7）100入替え（土壌改良材混合）</p> | |

※仮囲い等の詳細な位置は、監督員と十分協議のこと。

※必要に応じて、メッシュ囲いを設置すること。

※登下校時の児童動線と工事車両動線が重なるため、作業ヤードの工事車両出入り口に

交通誘導員を配置すること。また、重機の運搬、コンクリート打設、廃材運搬等大型車両の出入りが重なる工程・施工工種の時も同様に交通誘導員を配置すること

(誘導員の配置については施工計画書に記載し、監督員と協議を行うこと)。

※本校舎の各期工事範囲外の室は学校が使用するため、斫り作業等は授業中を避けて施工すること。

※工事の際は、学校関係車両(給食車両含む)の通行の支障にならないよう十分配慮すること。

※渡り廊下部の施工の際は、学校運営上支障の無いよう調整を図ること。

※工事に際しては、設備工事と十分に調整を行うこと。

安全対策

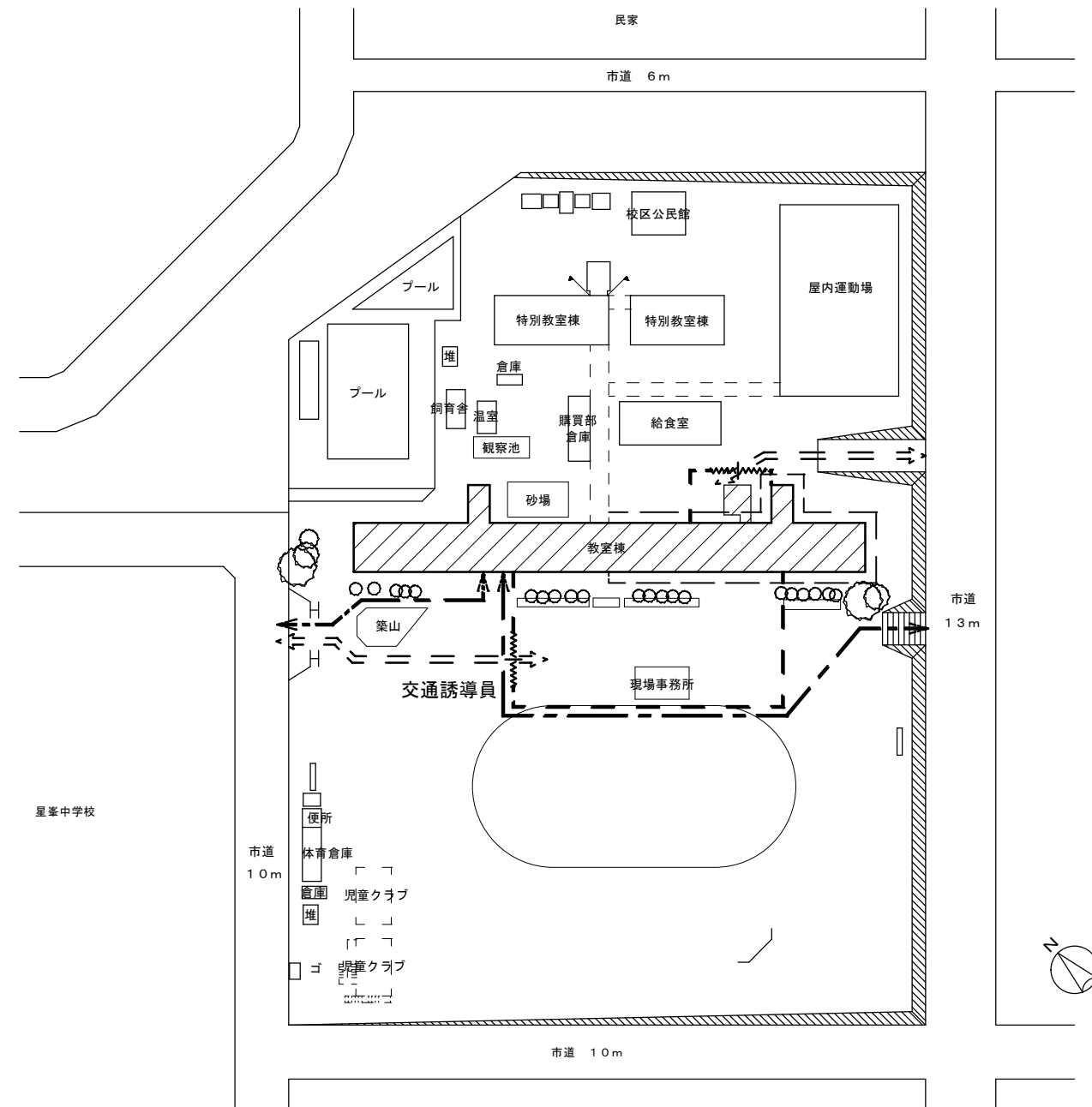
安全を確保するため、バリケード、コーン等を必要に応じて設置すること。
尚、設置の際は監督員と協議の上決定すること。工事現場及びその周囲は
危険防止に十分注意して工事を行い、現場周辺の公共物の維持管理や利用
者への危険防止に万全を期すること。事故等の生じた場合、請負者が復旧又
は補償すること。高所での作業については、十分な安全対策を講ずること。

復旧・養生

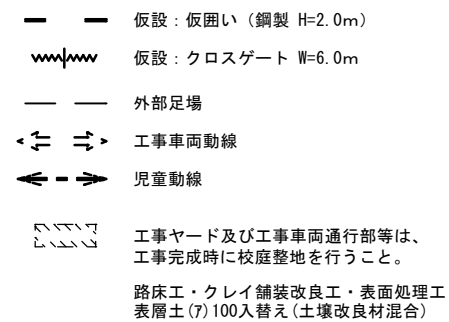
工事中は館内、敷地内、道路及び工作物等を損傷しない様十分養生し、もし損傷した場合、施工者の責任において速やかに現況に復旧すること。

その他

本工事は、建物を使用しながらの工事となるため、施設側と十分な打合せのうえ施工すること。



仮設計画図（２・３期工事）



※仮囲い等の詳細な位置は、監督員と十分協議のこと。

※必要に応じて、メッシュ囲いを設置すること。

※登下校時の児童動線と工事車両動線が重なるため、作業ヤードの工事車両出入り口にて交通誘導員を配置すること。また、重機の運搬、コンクリート打設、廃材運搬等
大型車両の出入りが重なる工程・施工工程の時も同様に交通誘導員を配置すること
(誘導員の配置については施工計画書に記載し、監督員と協議を行うこと)。

※本校舎の各期工事範囲外の室は学校が使用するため、斫り作業等は授業中を避けて施工すること。

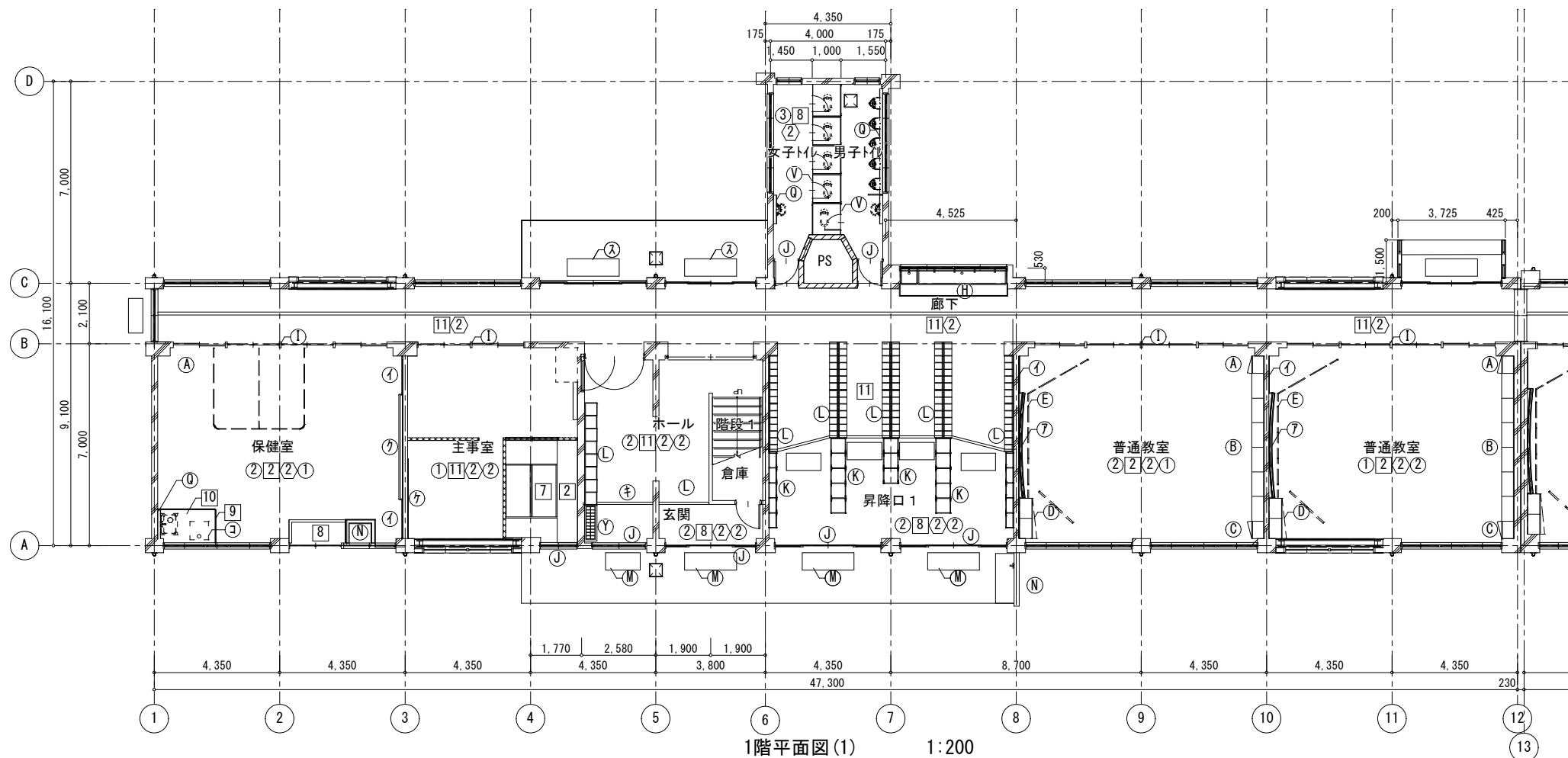
※工事の際は、学校関係車両(給食車等含む)の通行の支障にならないよう十分配慮すること。

※渡り廊下部の施工の際は、学校運営上支障の無いよう調整を図ること。

※工事に際しては、設備工事と十分に調整を行うこと。

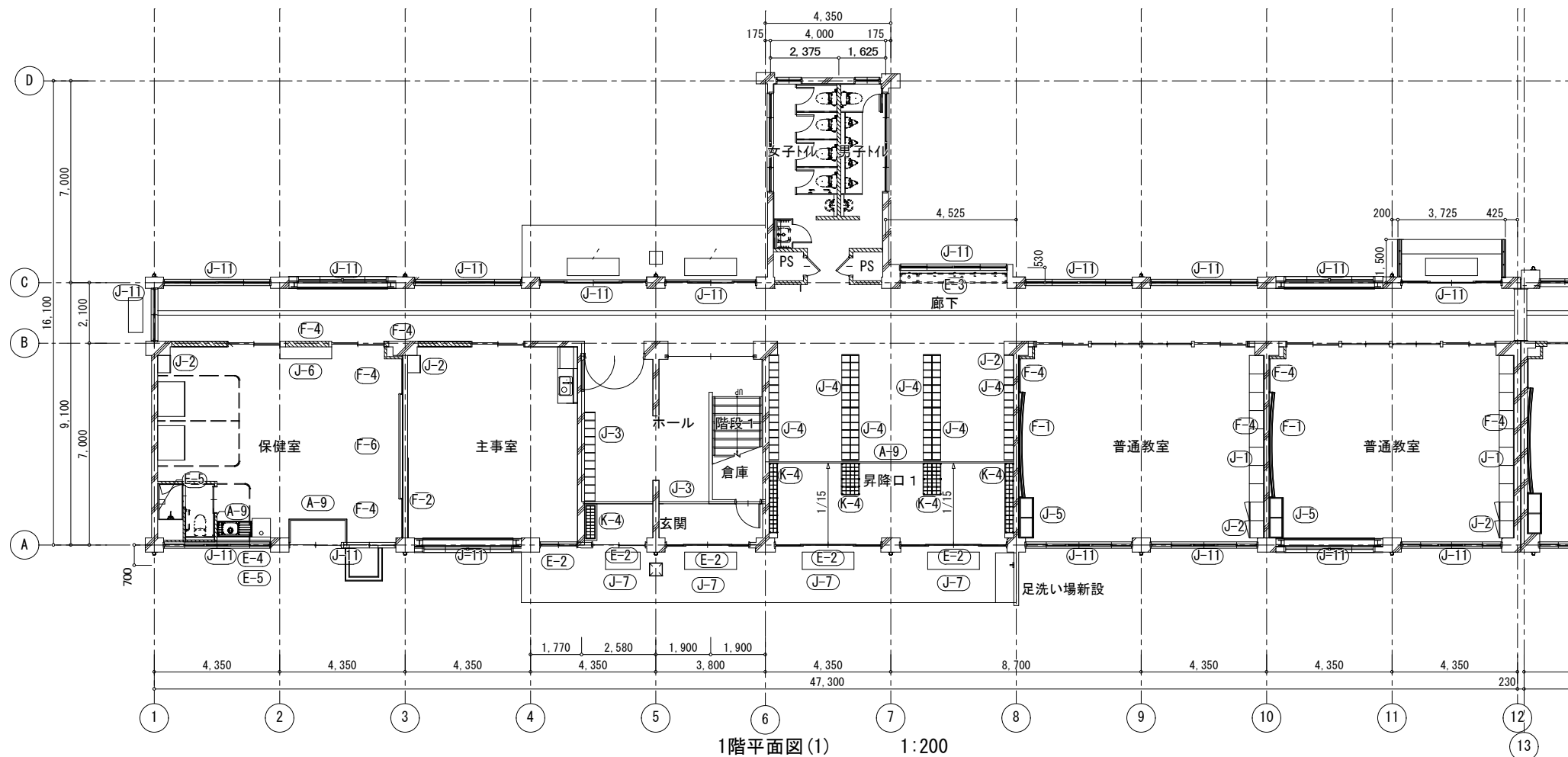
安全対策	安全を確保するため、バリケード、コーン等を必要に応じて設置すること。 尚、設置の際は監督員と協議の上決定すること。工事現場及びその周囲は危険防止に十分注意して工事を行い、現場周辺の公共物の維持管理や利用者への危険防止に万全を期すること。事故等の生じた場合、請負者が復旧又は補償すること。高所での作業については、十分な安全対策を講ずること。
復旧・養生	工事中は館内、敷地内、道路及び工作物等を損傷しない様十分養生し、もし損傷した場合、施工者の責任において速やかに現況に復旧すること。
その他	本工事は、建物を使用しながらの工事となるため、施設側と十分な打合せのうえ施工すること。

改修前平面図



番号		部分名称	番号	部分名称
撤去	1	床:モザイクパーケット	(A)	掃除具入れ
	2	床:集成材フローリング(木床組共)	(B)	児童用ロッカー
	3	床:集成材フローリング(t12構造用合板下地)	(C)	給食用ロッカー
	4	床:長尺塩ビシートt2.0	(D)	教師用ロッカー
	5	床:長尺塩ビシートt2.0(木床組共)	(E)	地図掛けレール
	6	床:カーベツト敷	(F)	掲示板
	7	床:タタミ(木床組共)	(G)	人研ぎ流し
	8	床:モザイクタイル	(H)	手洗流し(モザイクタイル)
	9	床:ステンレス床見切り	(I)	木製学校間仕切(木建具共)
	10	床:複合塩ビシートt2.8	(J)	アルミ製建具
	11	床:塗床t2.0	(K)	プラスチックスノコ
	12	床:モルタル	(L)	下足棚
既存 残流用	①	壁:ラワンベニア(木胴縁下地撤去)木軸組	(M)	ステンレス靴ふきマット
	②	壁:ラワンベニア(木胴下地撤去)RC躯体	(N)	足洗い場
	③	壁:タイル(モルタル下地共)	(O)	窓下書棚
	④	木製間仕切壁(T1シナベニアt4 両面)	(P)	面台:人研ぎ仕上(コンクリート下地共)
	⑤	軽鉄間仕切壁(PB t12.5)	(Q)	面台:モザイクタイル仕上(コンクリート下地共)
	⑥	軽鉄間仕切壁(構造用合板-t12.0 両面)	(R)	面台:ボード仕上(下地LGS共)
			(S)	器具棚
			(T)	劇薬庫
			(U)	アルミパーティション
			(V)	トイレブース
			(W)	曲面黑板
	①	天井:バルブセメント板-t6(木下地共)	(X)	書棚
	②	天井:バルブセメント板 t6(軽鉄下地共)	(Y)	傘立て
	③	天井:化粧PB t9.5(木下地共)		

改修後平面図



部分名称		部分名称	
(A-9)	ステンレス床見切り	(J-1)	児童用ロッカー
		(J-2)	掃除具入れ
(D-3)	木製額縁上枠新設	(J-3)	下足箱(ホール)
		(J-4)	下足箱(昇降口)
(E-1)	配管架台	(J-5)	教師用ロッカー
(E-2)	アルミ・SUSサッシ新設 ※建具表参照	(J-6)	劇薬庫
(E-3)	ステンレス流し(廊下)	(J-7)	器具棚(第2理科室・理科準備室(X11-X13))
(E-4)	流し台(BLタイプ)	(J-8)	器具棚(家庭科室・第1理科室)
(E-5)	ライニング面台	(J-9)	器具棚(理科準備室(X17-18))
(E-6)	ステンレス流し(特別教室)	(J-10)	傘立・スリッパ入れ
		(J-11)	ガラス取替 (7ヶ所付ベアガラス)
(F-1)	曲面黒板(既存張替え)		
(F-2)	行事黒板(既存張替え)		
(F-3)	上下黒板・上下ホワイトボード		
(F-4)	掲示板	(K-3)	可動式量寄せ
(F-5)	掲示板(既存張替え)	(K-4)	傘立て
(F-6)	ホワイトボード(既存張替え)		
(F-7)	平面黒板(既存張替え)	(M-1)	落下防止手摺 既存流用
(G-1)	木製額縁下枠新設	(M-2)	落下防止手摺 改造
(G-2)	教室フック取付用窓下枠	(M-3)	落下防止手摺 既存流用
(G-3)	廊下フック取付用窓下枠	(M-4)	落下防止手摺 既存流用(耐震補強部)
		(M-5)	落下防止手摺 新設(トイレ)
(H-1)	室名札・ピクトサイン		
		▲	耐震スリット部シーリング打替(1ヶ所)
(I-1)	整理棚(特別支援)		
(I-2)	児童用ロッカー(特別支援)		

改修前平面図

Architectural floor plan of a school building before renovation. The plan shows a long corridor with classrooms on the left and a central area with a staircase and restrooms. Dimensions are provided for various sections. A detailed list of existing and proposed items is on the right.

既存/撤去 (Existing/Removal):

- 1 床:モザイクパーケット
- 2 床:集成材フローリング(木床組共)
- 3 床:集成材フローリング (t12構造用合板下地)
- 4 床:長尺塩ビシートt2.0
- 5 床:長尺塩ビシートt2.0(木床組共)
- 6 床:カーペット敷
- 7 床:タタミ(木床組共)
- 8 床:モザイクタイル
- 9 床:ステンレス床見切り
- 10 床:複合塩ビシートt2.8
- 11 床:塗床t2.0
- 12 床:モルタル
- 1 壁:ラワンベニア(木胴縁下地撤去)木軸組
- 2 壁:ラワンベニア(木胴縁下地撤去)RC躯体
- 3 壁:タイル(モルタル下地共)
- 4 木製間仕切壁(T1シナベニアt4 両面)
- 5 軽鉄間仕切壁(PB t12.5)
- 6 軽鉄間仕切壁(構造用合板 t12.0 両面)
- 1 天井:バルブセメント板 t6(木下地共)
- 2 天井:バルブセメント板 t6(軽鉄下地共)
- 3 天井:化粧PB t9.5(木下地共)

既存/流用 (Existing/Reuse):

- 7 曲面黑板(張替え)木枠
- 4 掲示板(張替え)木枠
- 6 行事黑板(張替え)木枠
- 1 落下防止手摺(改造)
- 2 落下防止手摺(塗替え)
- カ シャワーユニット
- キ ステンレス靴ふきマット
- ク ホワイトボード(張替え)木枠
- ケ 平面黑板(張替え)木枠
- コ ー
- サ 下足箱
- シ 傘立て
- ス グレーチングマット

撤去 (Removal):

- (A) 掃除具入れ
- (B) 児童用ロッカー
- (C) 給食用ロッカー
- (D) 教師用ロッカー
- (E) 地図掛けレール
- (F) 掲示板
- (G) 人研ぎ流し
- (H) 手洗流し(モザイクタイル)
- (I) 木製学校間仕切(木建具共)
- (J) アルミ製建具
- (K) プラスチックスノコ
- (L) 下足棚
- (M) ステンレス靴ふきマット
- (N) 足洗い場
- (O) 窓下書棚
- (P) 面台:人研ぎ仕上(コンクリート下地共)
- (Q) 面台:モザイクタイル仕上(コンクリート下地)
- (R) 面台:ボード仕上(下地LGS共)
- (S) 器具棚
- (T) 劇薬庫
- (U) アルミパーティション
- (V) トイレブース
- (W) 曲面黑板
- (X) 書棚
- (Y) 傘立て

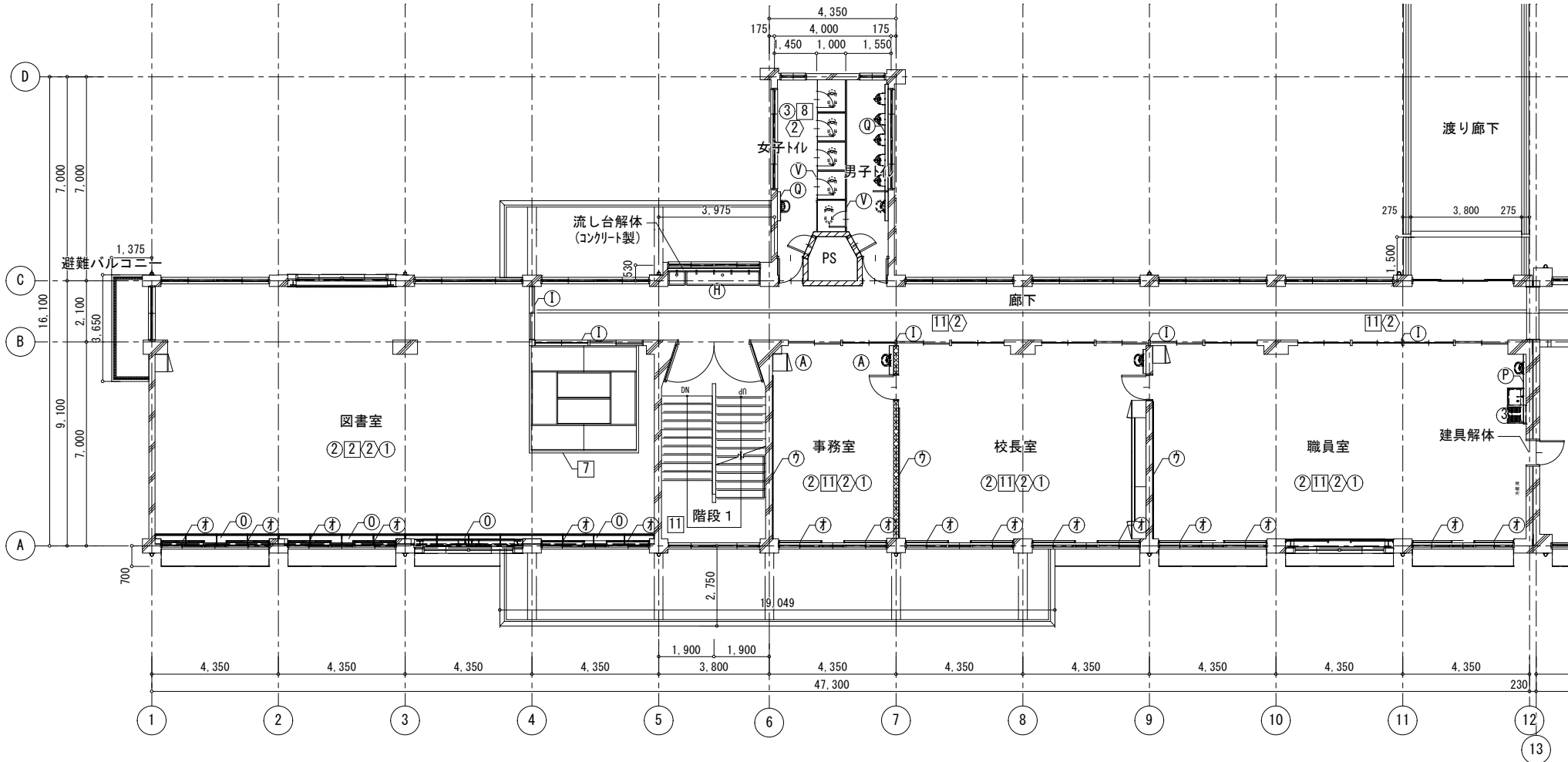
設備 (Equipment):

- 設備 既存コンセントボックスモルタル埋め

The floor plan shows a large rectangular building with a central corridor (廊下) and several rooms. The rooms include: 普通教室 (General Classroom), 特別支援1 (Special Support 1), 倉庫 (Warehouse), 階段2 (Staircase 2), 昇降口2 (Elevator 2), 女子トイレ (Girls Toilet), 男子トイレ (Boys Toilet), 女子用ロッカー (Girls Locker), 男子用ロッカー (Boys Locker), 図書室 (Library), and 音楽室 (Music Room). The plan also shows various structural details such as columns, beams, and stairs. Dimensions are provided for various areas, including room sizes and corridor widths. A list of materials and equipment is provided on the right side of the plan.

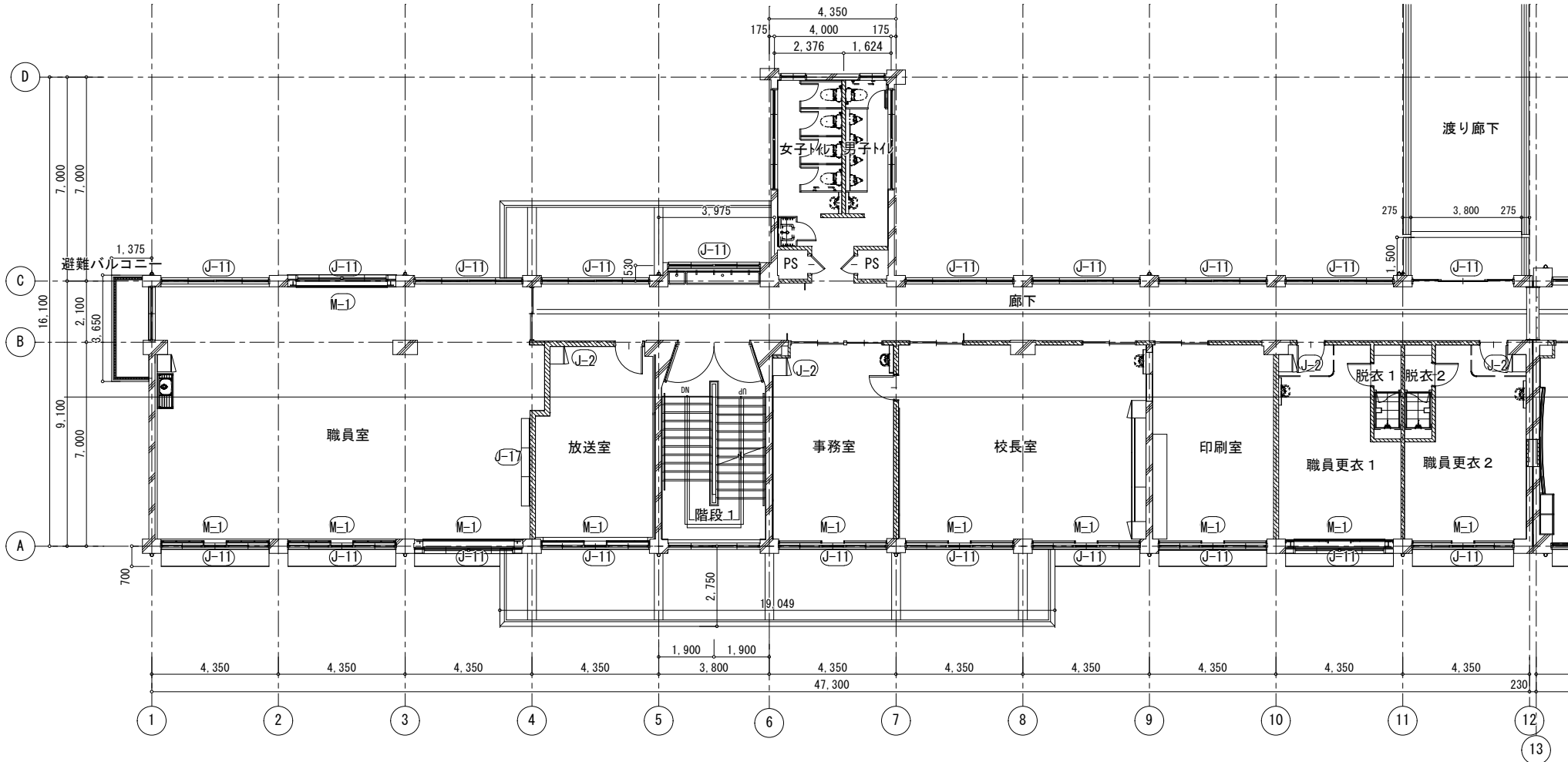
部分名称	部分名称
(A-9) ステンレス床見切り	(J-1) 児童用ロッカー
(D-3) 木製額縁上枠新設	(J-2) 掃除具入れ
(E-1) 配管架台	(J-3) 下足箱 (ホール)
(E-2) アルミ・SUSサッシ新設 ※建具表参照	(J-4) 下足箱 (昇降口)
(E-3) ステンレス流し (廊下)	(J-5) 教師用ロッカー
(E-4) 流し台 (BLタイプ)	(J-6) 劇薬庫
(E-5) ライニング面台	(J-7) 器具棚 (第2理科室・理科準備室 (X11-X13))
(E-6) ステンレス流し (特別教室)	(J-8) 器具棚 (家庭科室・第1理科室)
	(J-9) 器具棚 (理科準備室 (X17-18))
	(J-10) 傘立・スリッパ入れ
	(J-11) ガラス取替 (アタッチメント付ベアガラス)
(F-1) 曲面黒板 (既存張替え)	
(F-2) 行事黒板 (既存張替え)	
(F-3) 上下黒板・上下ホワイトボード	
(F-4) 掲示板	(K-3) 可動式置寄せ
(F-5) 掲示板 (既存張替え)	(K-4) 傘立て
(F-6) ホワイトボード (既存張替え)	
(F-7) 平面黒板 (既存張替え)	(M-1) 落下防止手摺 既存流用
(G-1) 木製額縁下枠新設	(M-2) 落下防止手摺 改造
(G-2) 教室フック取付用窓下枠	(M-3) 落下防止手摺 既存流用
(G-3) 廊下フック取付用窓下枠	(M-4) 落下防止手摺 既存流用 (耐震補強部)
	(M-5) 落下防止手摺 新設 (トイレ)
(H-1) 室名札・ピクトサイン	◀ 耐震スリット部シーリング打替 (1ヶ所)
(I-1) 整理棚 (特別支援)	
(I-2) 児童用ロッカー (特別支援)	

改修前平面図



撤去		番号	部分名称	番号	部分名称
撤去		1	床:モザイクパーケット	(A)	掃除具入れ
		2	床:集成材フローリング(木床組共)	(B)	児童用ロッカー
		3	床:集成材フローリング(t12構造用合板下地)	(C)	給食用ロッカー
		4	床:長尺塩ビシートt2.0	(D)	教師用ロッカー
		5	床:長尺塩ビシートt2.0(木床組共)	(E)	地図掛けレール
		6	床:カーペット敷	(F)	掲示板
		7	床:タタミ(木床組共)	(G)	人研ぎ流し
		8	床:モザイクタイル	(H)	手洗流し(モザイクタイル)
		9	床:ステンレス床見切り	(I)	木製学校間仕切(木建具共)
		10	床:複合塩ビシートt2.8	(J)	アルミ製建具
		11	床:塗床t2.0	(K)	プラスチックノコ
		12	床:モルタル	(L)	下足棚
既存 流用		①	壁:ラワンベニア(木胴縁下地撤去)木軸組	(M)	ステンレス靴ふきマット
		②	壁:ラワンベニア(木胴下地撤去)RC躯体	(N)	足洗い場
		③	壁:タイル(モルタル下地共)	(O)	窓下書棚
		④	木製間仕切壁(T1シナベニアt4 両面)	(P)	面台:人研ぎ仕上(コンクリート下地共)
		⑤	軽鉄間仕切壁(PB t12.5)	(Q)	面台:モザイクタイル仕上(コンクリート下地共)
		⑥	軽鉄間仕切壁(構造用合板 t12.0 両面)	(R)	面台:ボード仕上(下地LGS共)
				(S)	器具棚
				(T)	劇薬庫
				(U)	アルミパーティション
				(V)	トイレブース
				(W)	曲面黑板
				(X)	書棚
既存 流用		⑦	天井:バルブセメント板-t6(木下地共)	(Y)	傘立て
		⑧	天井:バルブセメント板 t6(軽鉄下地共)		
		⑨	天井:化粧PB t9.5(木下地共)		
		⑦	曲面黑板(張替え)木枠		
		⑧	掲示板(張替え)木枠		
		⑨	行事黑板(張替え)木枠		
		⑩	落下防止手摺(改造)		
		⑪	落下防止手摺(塗替え)		
		⑫	シャワーユニット		
		⑬	ステンレス靴ふきマット		
		⑭	ホワイトボード(張替え)木枠		
		⑮	平面黑板(張替え)木枠		
既存 流用		⑯	—	Ⓐ	既存消火器位置を示す
		⑰	下足箱	Ⓑ	既存屋内消火栓位置を示す
		⑱	傘立て	Ⓒ	既存避難器具位置を示す
		⑲	グレーチングマット		
				(設)	設備既存コンセントボックスモルタル埋め

改修後平面図



部分名称		部分名称	
(A-9)	ステンレス床見切り	(J-1)	児童用ロッカー
(J-2)	掃除具入れ	(J-2)	下足箱(ホール)
(J-3)	下足箱(昇降口)	(J-4)	下足箱(昇降口)
(J-5)	教師用ロッカー	(J-6)	劇薬庫
(J-7)	器具棚(第2理科室・理科準備室(X11-X13))	(J-8)	器具棚(家庭科室・第1理科室)
(J-9)	器具棚(理科準備室(X17-18))	(J-10)	傘立・スリッパ入れ
(J-11)	ガラス取替 (アタッチメント付ヘアガラス)		
(F-1)	曲面黑板(既存張替え)		
(F-2)	行事黑板(既存張替え)		
(F-3)	上下黑板・上下ホワイトボード		
(F-4)	掲示板	(K-3)	可動式置寄せ
(F-5)	掲示板(既存張替え)	(K-4)	傘立て
(F-6)	ホワイトボード(既存張替え)		
(F-7)	平面黑板(既存張替え)	(M-1)	落下防止手摺 既存流用
(G-1)	木製額縁下枠新設	(M-2)	落下防止手摺 改造
(G-2)	教室フック取付用窓下枠	(M-3)	落下防止手摺 既存流用
(G-3)	廊下フック取付用窓下枠	(M-4)	落下防止手摺 既存流用(耐震補強部)
(H-1)	室名札・ビクトサイン	(M-5)	落下防止手摺 新設(トイレ)
(I-1)	整理棚(特別支援)		
(I-2)	児童用ロッカー(特別支援)		

改修前平面図

既存・撤去

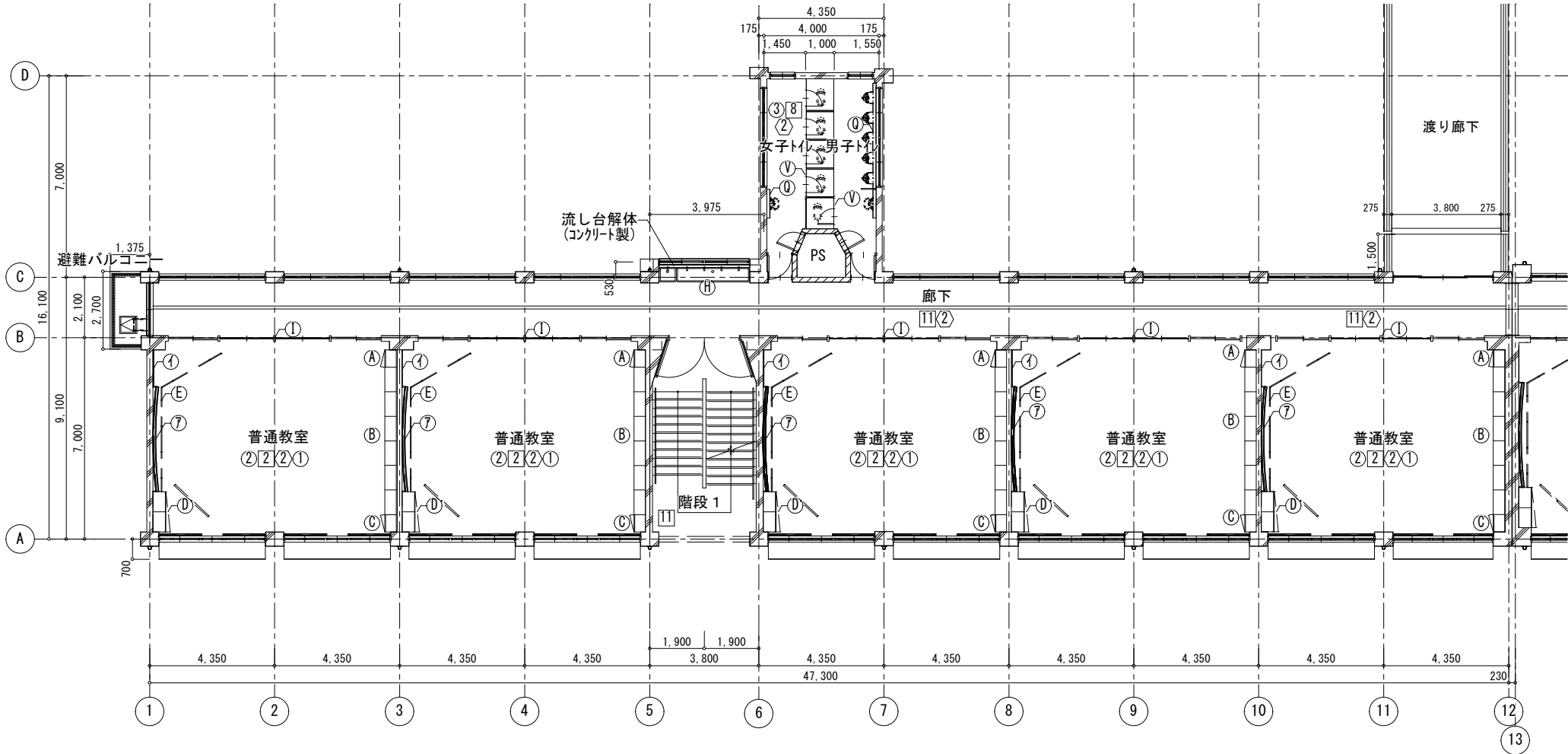
番号	部分名称	番号	部分名称
1	床:モザイクパーケット	①	掃除具入れ
2	床:集成材フローリング(木床組共)	②	児童用ロッカー
3	床:集成材フローリング(t12構造用合板下地)	③	給食用ロッカー
4	床:長尺塩ビシートt2.0	④	教師用ロッカー
5	床:長尺塩ビシートt2.0(木床組共)	⑤	地図掛けレール
6	床:カーペット敷	⑥	掲示板
7	床:タタミ(木床組共)	⑦	人研ぎ流し
8	床:モザイクタイル	⑧	手洗流し(モザイクタイル)
9	床:ステンレス床見切り	⑨	木製学校間仕切(木建具共)
10	床:複合塩ビシートt2.8	⑩	アルミ製建具
11	床:塗床t2.0	⑪	プラスチックノコ
12	床:モルタル	⑫	下足棚
①	壁:ラワンベニア(木胴縁下地撤去)木軸組	⑬	ステンレス靴ふきマット
②	壁:ラワンベニア(木胴縁下地撤去)RC躯体	⑭	足洗い場
③	壁:タイル(モルタル下地共)	⑮	窓下書棚
④	木製間仕切壁(T1シナベニアt4 両面)	⑯	面台:人研ぎ仕上(コンクリート下地共)
⑤	軽鉄間仕切壁(PB t12.5)	⑰	面台:モザイクタイル仕上(コンクリート下地共)
⑥	軽鉄間仕切壁(構造用合板 t12.0 両面)	⑱	面台:ボード仕上(下地LGS共)
⑦	天井:バルブセメント板 t6(木下地共)	⑳	器具棚
⑧	天井:バルブセメント板 t6(軽鉄下地共)	㉑	劇庫
⑨	天井:化粧PB t9.5(木下地共)	㉒	アルミパーティション
㉓	曲面黑板(張替え)木枠	㉔	トイレブース
㉕	掲示板(張替え)木枠	㉕	曲面黑板
㉖	行事黑板(張替え)木枠	㉖	書棚
㉗	落下防止手摺(改造)	㉗	傘立て
㉘	落下防止手摺(塗替え)		
㉙	シャワーユニット		
㉚	ステンレス靴ふきマット		
㉛	ホワイトボード(張替え)木枠		
㉜	平面黑板(張替え)木枠		
㉝	—	㉟	既存消火器位置を示す
㉞	下足箱	㊱	既存屋内消火栓位置を示す
㉟	傘立て	㊲	既存避難器具位置を示す
㊰	グレーチングマット		
		㊳	設備既存コンセントボックスモルタル埋め

Architectural floor plan of the 2nd floor of a school building. The plan shows various rooms including classrooms (普通教室), a library (図書室), and a staircase (階段 2). Dimensions are provided for various sections and rooms. A detailed list of items to be installed or replaced is provided on the right side of the plan.

部分名称

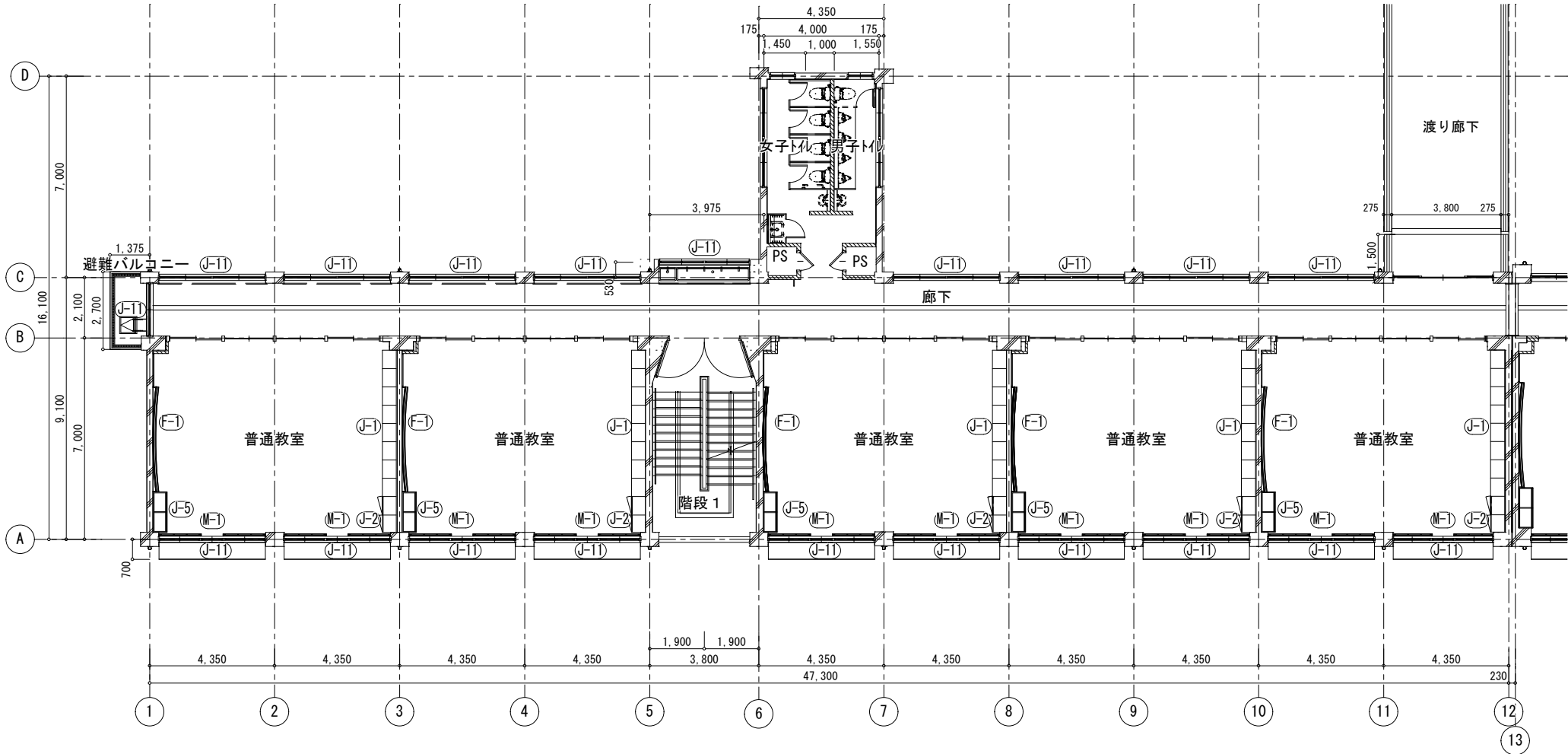
部分名称	部分名称
(A-9) ステンレス床見切り	(J-1) 児童用ロッカー
(D-3) 木製額縁上枠新設	(J-2) 掃除具入れ
(E-1) 配管架台	(J-3) 下足箱 (ホール)
(E-2) アルミ・SUSサッシ新設 ※建具表参照	(J-4) 下足箱 (昇降口)
(E-3) ステンレス流し (廊下)	(J-5) 教師用ロッカー
(E-4) 流し台 (BLタイプ)	(J-6) 劇薬庫
(E-5) ライニング面台	(J-7) 器具棚 (第2理科室・理科準備室 (X11-X13))
(E-6) ステンレス流し (特別教室)	(J-8) 器具棚 (家庭科室・第1理科室)
	(J-9) 器具棚 (理科準備室 (X17-18))
	(J-10) 傘立・スリッパ入れ
	(J-11) ガラス取替 (アタッチメント付ベアガラス)
(F-1) 曲面黑板 (既存張替え)	
(F-2) 行事黑板 (既存張替え)	
(F-3) 上下黑板・上下ホワイトボード	
(F-4) 掲示板	(K-3) 可動式置寄せ
(F-5) 掲示板 (既存張替え)	(K-4) 傘立て
(F-6) ホワイトボード (既存張替え)	
(F-7) 平面黑板 (既存張替え)	(M-1) 落下防止手摺 既存流用
(G-1) 木製額縁下枠新設	(M-2) 落下防止手摺 改造
(G-2) 教室フック取付用窓下枠	(M-3) 落下防止手摺 既存流用
(G-3) 廊下フック取付用窓下枠	(M-4) 落下防止手摺 既存流用 (耐震補強部)
	(M-5) 落下防止手摺 新設 (トイレ)
(H-1) 室名札・ピクトサイン	◀ 耐震スリット部シーリング打替 (1ヶ所)
(I-1) 整理棚 (特別支援)	
(I-2) 児童用ロッカー (特別支援)	

改修前平面図



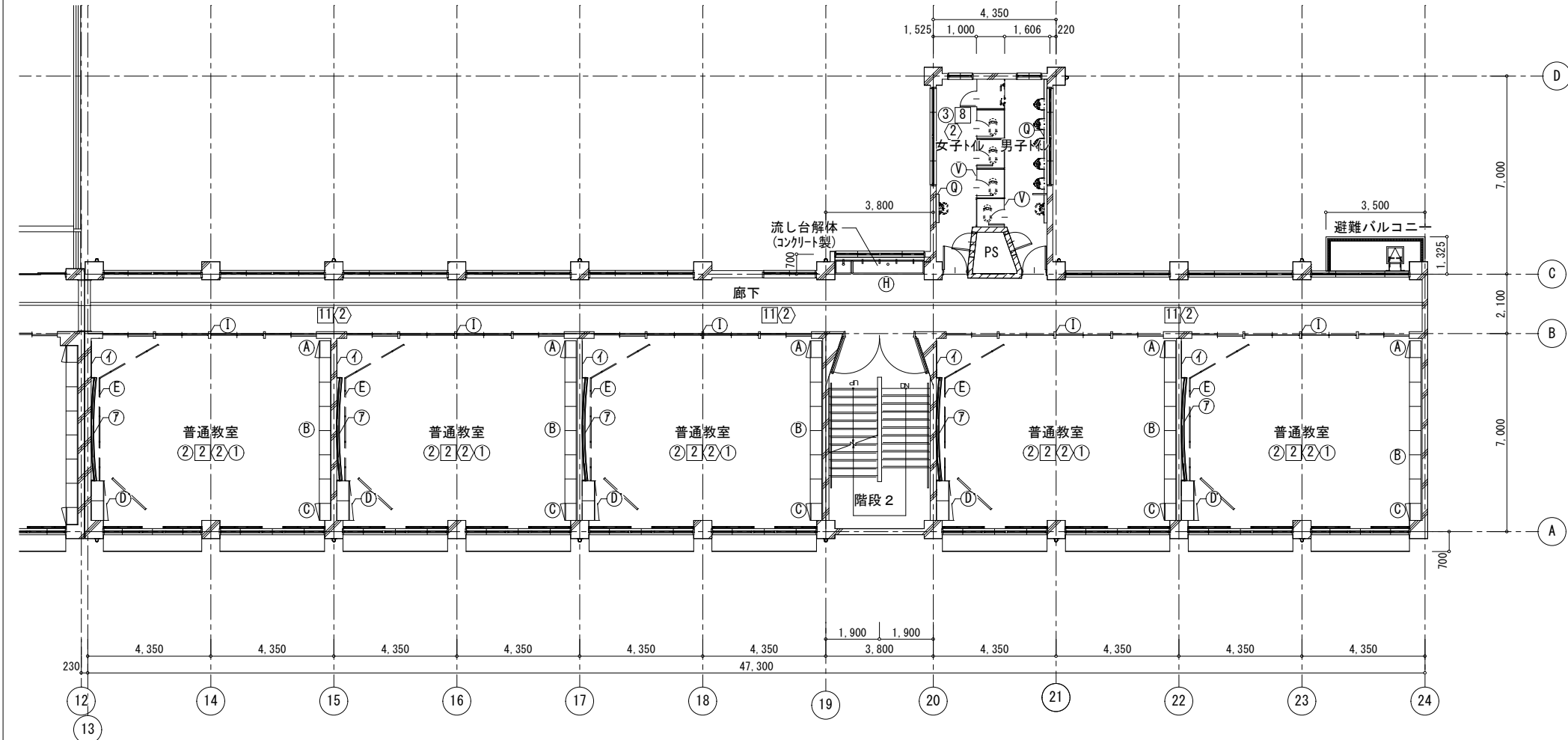
撤去		番号	部分名称	番号	部分名称
		1	床:モザイクパーケット	(A)	掃除具入れ
		2	床:集成材フローリング(木床組共)	(B)	児童用ロッカー
		3	床:集成材フローリング(t12構造用合板下地)	(C)	給食用ロッカー
		4	床:長尺塩ビシートt2.0	(D)	教師用ロッカー
		5	床:長尺塩ビシートt2.0(木床組共)	(E)	地図掛けレール
		6	床:カーペット敷	(F)	掲示板
		7	床:タタミ(木床組共)	(G)	人研ぎ流し
		8	床:モザイクタイル	(H)	手洗流し(モザイクタイル)
		9	床:ステンレス床見切り	(I)	木製学校間仕切(木建具共)
		10	床:複合塩ビシートt2.8	(J)	アルミ製建具
		11	床:塗床t2.0	(K)	プラスチックスノコ
		12	床:モルタル	(L)	下足棚
		①	壁:ラワンベニア(木胴縁下地撤去)木軸組	(M)	ステンレス靴ふきマット
		②	壁:ラワンベニア(木胴下地撤去)RC躯体	(N)	足洗い場
		③	壁:タイル(モルタル下地共)	(O)	窓下書棚
		④	木製間仕切壁(T1シナベニアt4 両面)	(P)	面台:人研ぎ仕上(コンクリート下地共)
		⑤	軽鉄間仕切壁(PB t12.5)	(Q)	面台:モザイクタイル仕上(コンクリート下地共)
		⑥	軽鉄間仕切壁(構造用合板 t12.0 両面)	(R)	面台:ボード仕上(下地LGS共)
				(S)	器具棚
				(T)	劇業庫
				(U)	アルミパーティション
				(V)	トイレブース
				(W)	曲面黑板
				(X)	書棚
		①	天井:バルブセメント板-t6(木下地共)	(Y)	傘立て
		②	天井:バルブセメント板 t6(軽鉄下地共)		
		③	天井:化粧PB t9.5(木下地共)		
		㉗	曲面黑板(張替え)木枠		
		㉘	掲示板(張替え)木枠		
		㉙	行事黑板(張替え)木枠		
		㉚	落下防止手摺(改造)		
		㉛	落下防止手摺(塗替え)		
		㉜	シャワーユニット		
		㉝	ステンレス靴ふきマット		
		㉞	ホワイトボード(張替え)木枠		
		㉟	平面黑板(張替え)木枠		
		㊱	—	(火)	既存消火器位置を示す
		㊲	下足箱	(栓)	既存屋内消火栓位置を示す
		㊳	傘立て	(器)	既存避難器具位置を示す
		㊴	グレーチングマット		
				(設)	設備既存コンセントボックスモルタル埋め

改修後平面図



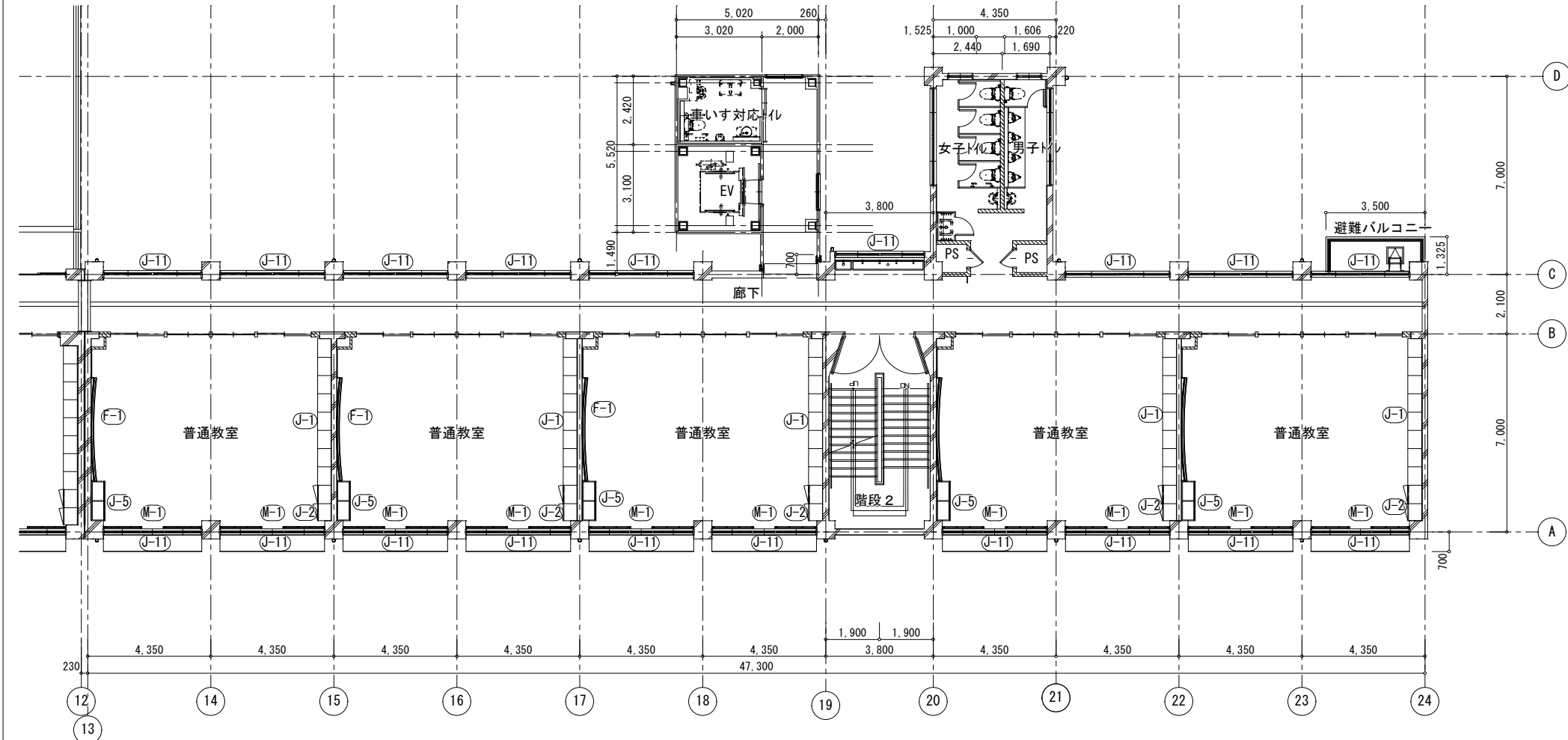
		部分名称	部分名称
(A-9)		ステンレス床見切り	(J-1) 児童用ロッカー
(B-3)		木製額縁上枠新設	(J-2) 掃除具入れ
(E-1)		配管架台	(J-3) 下足箱(ホール)
(E-2)		アルミ・SUSサッシ新設 ※建具表参照	(J-4) 下足箱(昇降口)
(E-3)		ステンレス流し(廊下)	(J-5) 教師用ロッカー
(E-4)		流し台(BLタイプ)	(J-6) 劇業庫
(E-5)		ライニング面台	(J-7) 器具棚(第2理科室・理科準備室(X11-X13))
(E-6)		ステンレス流し(特別教室)	(J-8) 器具棚(家庭科室・第1理科室)
(F-1)		曲面黑板(既存張替え)	(J-9) 器具棚(理科準備室(X17-18))
(F-2)		行事黑板(既存張替え)	(J-10) 傘立・スリッパ入れ
(F-3)		上下黑板・上下ホワイトボード	(J-11) ガラス取替 (アタッチメント付ヘアガラス)
(F-4)		掲示板	
(F-5)		掲示板(既存張替え)	(K-3) 可動式置寄せ
(F-6)		ホワイトボード(既存張替え)	(K-4) 傘立て
(F-7)		平面黑板(既存張替え)	(M-1) 落下防止手摺 既存流用
(G-1)		木製額縁下枠新設	(M-2) 落下防止手摺 改造
(G-2)		教室フック取付用窓下枠	(M-3) 落下防止手摺 既存流用
(G-3)		廊下フック取付用窓下枠	(M-4) 落下防止手摺 既存流用(耐震補強部)
(H-1)		室名札・ビクトサイン	(M-5) 落下防止手摺 新設(トイレ)
(I-1)		整理棚(特別支援)	◀ 耐震スリット部シーリング打替(1ヶ所)
(I-2)		児童用ロッカー(特別支援)	

改修前平面図



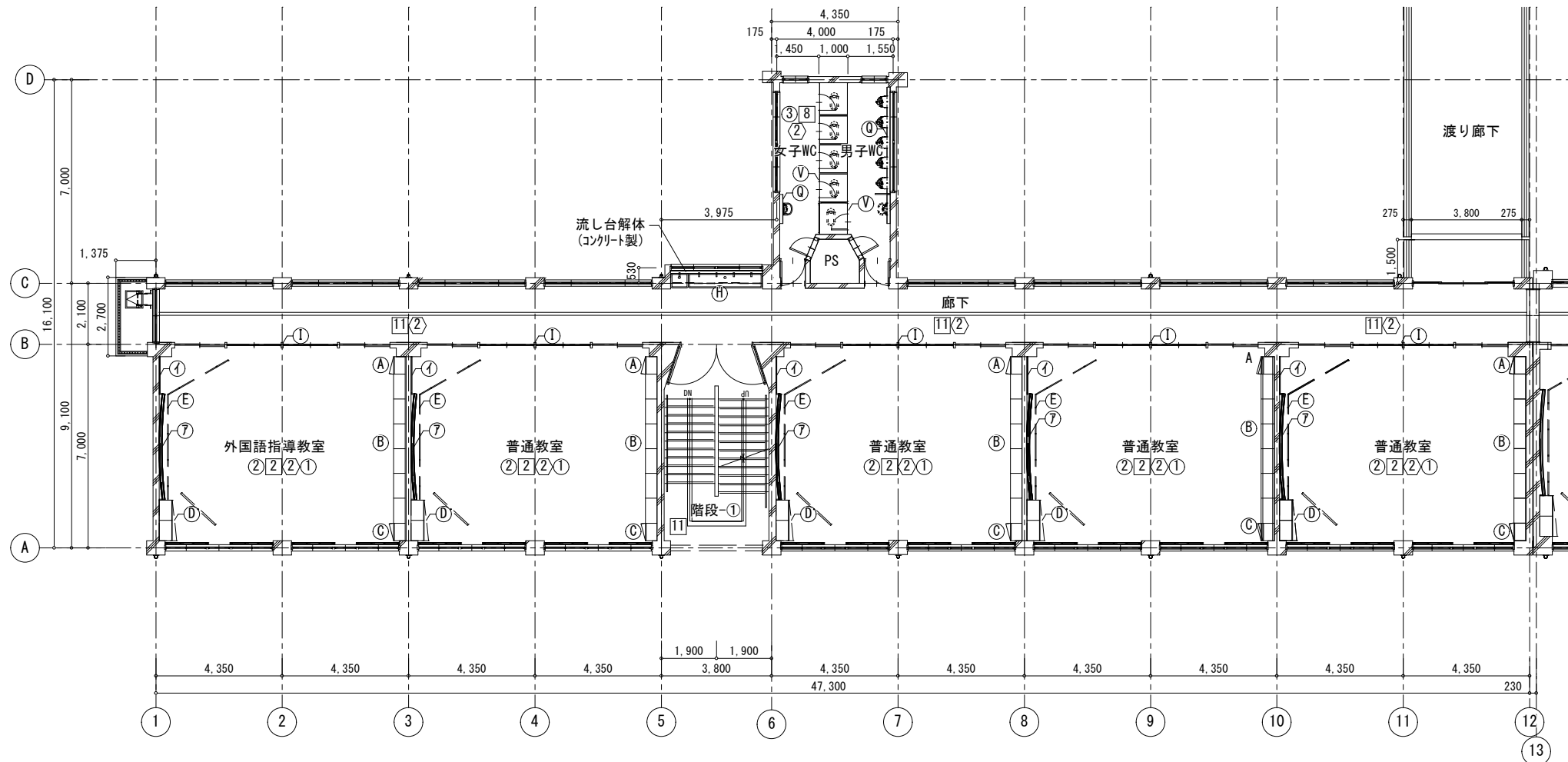
撤去		番号	部分名称	番号	部分名称
撤去	1	床:モザイクパーケット	(A)	掃除具入れ	
	2	床:集成材フローリング(木床組共)	(B)	児童用ロッカー	
	3	床:集成材フローリング (t12構造用合板下地)	(C)	給食用ロッカー	
	4	床:長尺塩ビシートt2.0	(D)	教師用ロッカー	
	5	床:長尺塩ビシートt2.0(木床組共)	(E)	地図掛けレール	
	6	床:カーベツ敷	(F)	掲示板	
	7	床:タタミ(木床組共)	(G)	人研ぎ流し	
	8	床:モザイクタイル	(H)	手洗流し(モザイクタイル)	
	9	床:ステンレス床見切り	(I)	木製学校間仕切(木建具共)	
	10	床:複合塩ビシートt2.8	(J)	アルミ製建具	
	11	床:塗床t2.0	(K)	プラスチックスノコ	
	12	床:モルタル	(L)	下足棚	
既存 流用	1	壁:ラワンベニア(木胴縁下地撤去)木軸組	(M)	ステンレス靴ふきマット	
	2	壁:ラワンベニア(木胴下地撤去)RC躯体	(N)	足洗い場	
	3	壁:タイル(モルタル下地共)	(O)	窓下書棚	
	4	木製間仕切壁(T1シナベニアt4 両面)	(P)	面台:人研ぎ仕上(コンクリート下地共)	
	5	軽鉄間仕切壁(PB t12.5)	(Q)	面台:モザイクタイル仕上(コンクリート下地共)	
	6	軽鉄間仕切壁(構造用合板—t12.0_両面)	(R)	面台:ボード仕上(下地LGS共)	
			(S)	器具棚	
			(T)	劇楽庫	
			(U)	アルミパーティション	
			(V)	トイレブース	
			(W)	曲面黑板	
			(X)	書棚	
		(Y)	傘立て		
撤去	1	天井:パルプセメント板—t6(木下地共)			
	2	天井:パルプセメント板 t6(軽鉄下地共)			
	3	天井:化粧PB t9.5(木下地共)			
	7	曲面黑板(張替え)木枠			
	1	掲示板(張替え)木枠			
	1	行事黑板(張替え)木枠			
	1	落下防止手摺(改造)			
	1	落下防止手摺(塗替え)			
	1	シャワーユニット			
	1	ステンレス靴ふきマット			
	1	ホワイトボード(張替え)木枠			
撤去	7	平面黑板(張替え)木枠			
	1	—	(火)	既存消火器位置を示す	
	1	下足箱	(栓)	既存屋内消火栓位置を示す	
	1	傘立て	(器)	既存避難器具位置を示す	
	1	グレーチングマット			
			(設)	設備既存コンセントボックスモルタル埋め	

改修後平面図



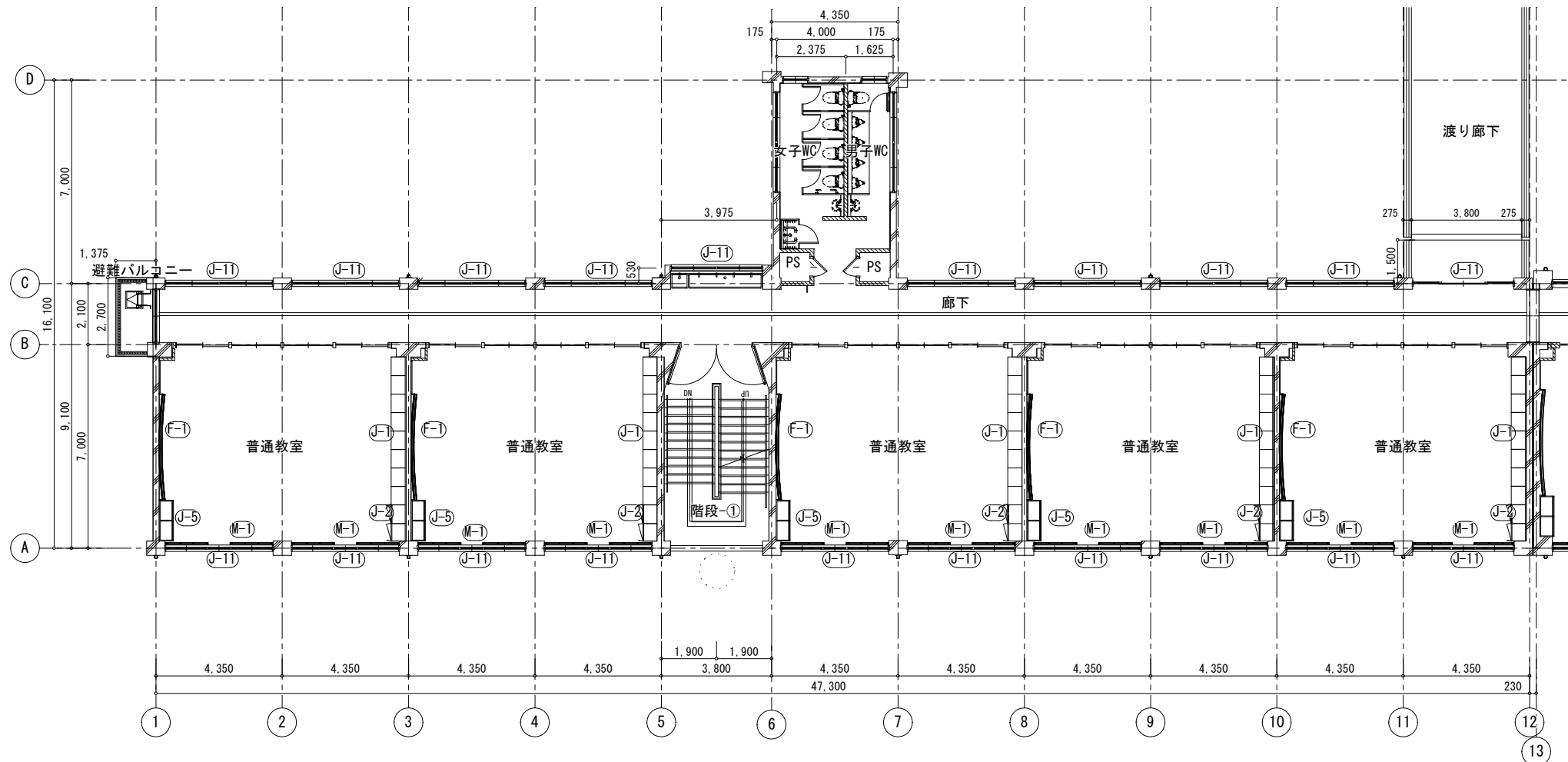
		部分名称	部分名称
(A-9)	ステンレス床見切り	(J-1)	児童用ロッカー
(J-2)	掃除具入れ	(J-2)	掃除具入れ
(J-3)	下足箱(ホール)	(J-3)	下足箱(ホール)
(J-4)	下足箱(昇降口)	(J-4)	下足箱(昇降口)
(J-5)	教師用ロッカー	(J-5)	教師用ロッカー
(J-6)	劇楽庫	(J-6)	劇楽庫
(J-7)	器具棚(第2理科室・理科準備室(X11-X13))	(J-7)	器具棚(第2理科室・理科準備室(X11-X13))
(J-8)	器具棚(家庭科室・第1理科室)	(J-8)	器具棚(家庭科室・第1理科室)
(J-9)	器具棚(理科準備室(X17-18))	(J-9)	器具棚(理科準備室(X17-18))
(J-10)	傘立・スリッパ入れ	(J-10)	傘立・スリッパ入れ
(J-11)	ガラス取替(アタッチメント付へガラス)	(J-11)	ガラス取替(アタッチメント付へガラス)
(F-1)	曲面黑板(既存張替え)		
(F-2)	行事黑板(既存張替え)		
(F-3)	上下黑板・上下ホワイトボード		
(F-4)	掲示板	(K-3)	可動式置寄せ
(F-5)	掲示板(既存張替え)	(K-4)	傘立て
(F-6)	ホワイトボード(既存張替え)		
(F-7)	平面黑板(既存張替え)	(M-1)	落下防止手摺 既存流用
(G-1)	木製額縁下枠新設	(M-2)	落下防止手摺 改造
(G-2)	教室フック取付用窓下枠	(M-3)	落下防止手摺 既存流用
(G-3)	廊下フック取付用窓下枠	(M-4)	落下防止手摺 既存流用(耐震補強部)
(H-1)	室名札・ビクトサイン	(M-5)	落下防止手摺 新設(トイレ)
(I-1)	整理棚(特別支援)		
(I-2)	児童用ロッカー(特別支援)		
			耐震スリット部シーリング打替(1ヶ所)

改修前平面図



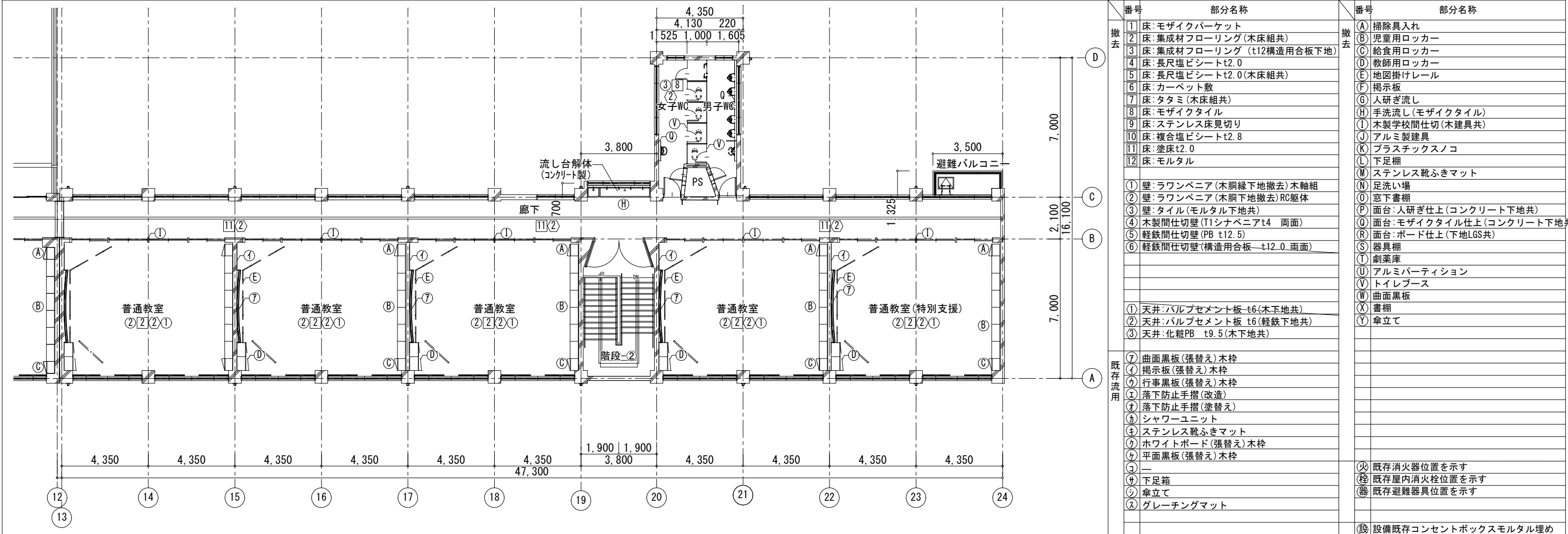
番号		部分名称	番号		部分名称
撤去	1	床:モザイクパーケット	撤去	(A)	掃除具入れ
	2	床:集成材フローリング(木床組共)		(B)	児童用ロッカー
	3	床:集成材フローリング (t12構造用合板下地)		(C)	給食用ロッカー
	4	床:長尺塩ビシートt2.0		(D)	教師用ロッカー
	5	床:長尺塩ビシートt2.0(木床組共)		(E)	地図掛けレール
	6	床:カーペット敷		(F)	掲示板
	7	床:タタミ(木床組共)		(G)	人研ぎ流し
	8	床:モザイクタイル		(H)	手洗流し(モザイクタイル)
	9	床:ステンレス床見切り		(I)	木製学校間仕切(木建具共)
	10	床:複合塩ビシートt2.8		(J)	アルミ製建具
	11	床:塗床t2.0		(K)	プラスチックスノコ
	12	床:モルタル		(L)	下足棚
				(M)	ステンレス靴ふきマット
既存 流用	①	壁:ラワンベニア(木胴縁下地撤去)木軸組	(N)	足洗い場	
	②	壁:ラワンベニア(木胴下地撤去)RC躯体	(O)	窓下書棚	
	③	壁:タイル(モルタル下地共)	(P)	面台:人研ぎ仕上(コンクリート下地共)	
	④	木製間仕切壁(T1シナベニアt4 両面)	(Q)	面台:モザイクタイル仕上(コンクリート下地共)	
	⑤	軽鉄間仕切壁(PB t12.5)	(R)	面台:ボード仕上(下地LGS共)	
	⑥	軽鉄間仕切壁(構造用合板—t12.0_両面)	(S)	器具棚	
			(T)	劇業庫	
			(U)	アルミパーティション	
			(V)	トイレブース	
			(W)	曲面黒板	
			(X)	本棚	
			(Y)	傘立て	
	</				

改修後平面図

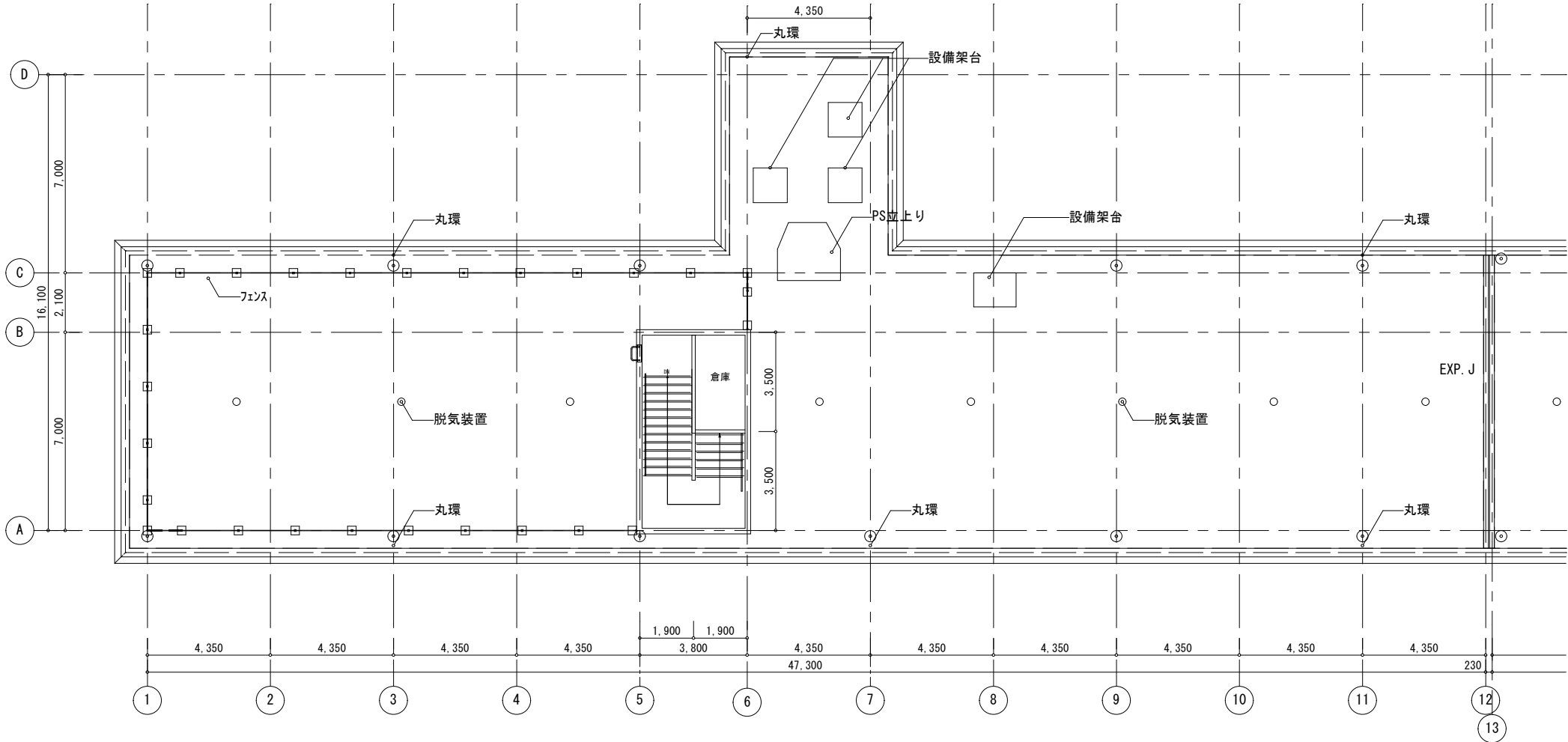


部分名称		部分名称	
(A-9)	ステンレス床見切り	(J-1)	児童用ロッカー
		(J-2)	掃除具入れ
(D-3)	木製額縁上枠新設	(J-3)	下足箱(ホール)
		(J-4)	下足箱(昇降口)
(E-1)	配管架台	(J-5)	教師用ロッカー
(E-2)	アルミ・SUSサッシ新設 ※建具表参照	(J-6)	劇薬庫
(E-3)	ステンレス流し(廊下)	(J-7)	器具棚(第2理科室・理科準備室(X11-X13))
(E-4)	流し台(BLタイプ)	(J-8)	器具棚(家庭科室・第1理科室)
(E-5)	ライニング面台	(J-9)	器具棚(理科準備室(X17-18))
(E-6)	ステンレス流し(特別教室)	(J-10)	傘立・スリッパ入れ
		(J-11)	ベアガラス(Low-E3mm+A5+透明強化ガラス硝子サッシ)
(F-1)	曲面黒板(既存張替え)		
(F-2)	行事黒板(既存張替え)		
(F-3)	上下黒板・上下ホワイトボード		
(F-4)	掲示板	(K-3)	可動式量寄せ
(F-5)	掲示板(既存張替え)	(K-4)	傘立て
(F-6)	ホワイトボード(既存張替え)		
(F-7)	平面黒板(既存張替え)	(M-1)	落下防止手摺 既存流用
(G-1)	木製額縁下枠新設	(M-2)	落下防止手摺 改造
(G-2)	教室フック取付用窓下枠	(M-3)	落下防止手摺 既存流用
(G-3)	廊下フック取付用窓下枠	(M-4)	落下防止手摺 既存流用(耐震補強部)
		(M-5)	落下防止手摺 新設(トイレ)
(H-1)	室名札・ピクトサイン	▲	耐震スリット部シーリング打替(1ヶ所)
(I-1)	整理棚(特別支援)		
(I-2)	児童用ロッカー(特別支援)		

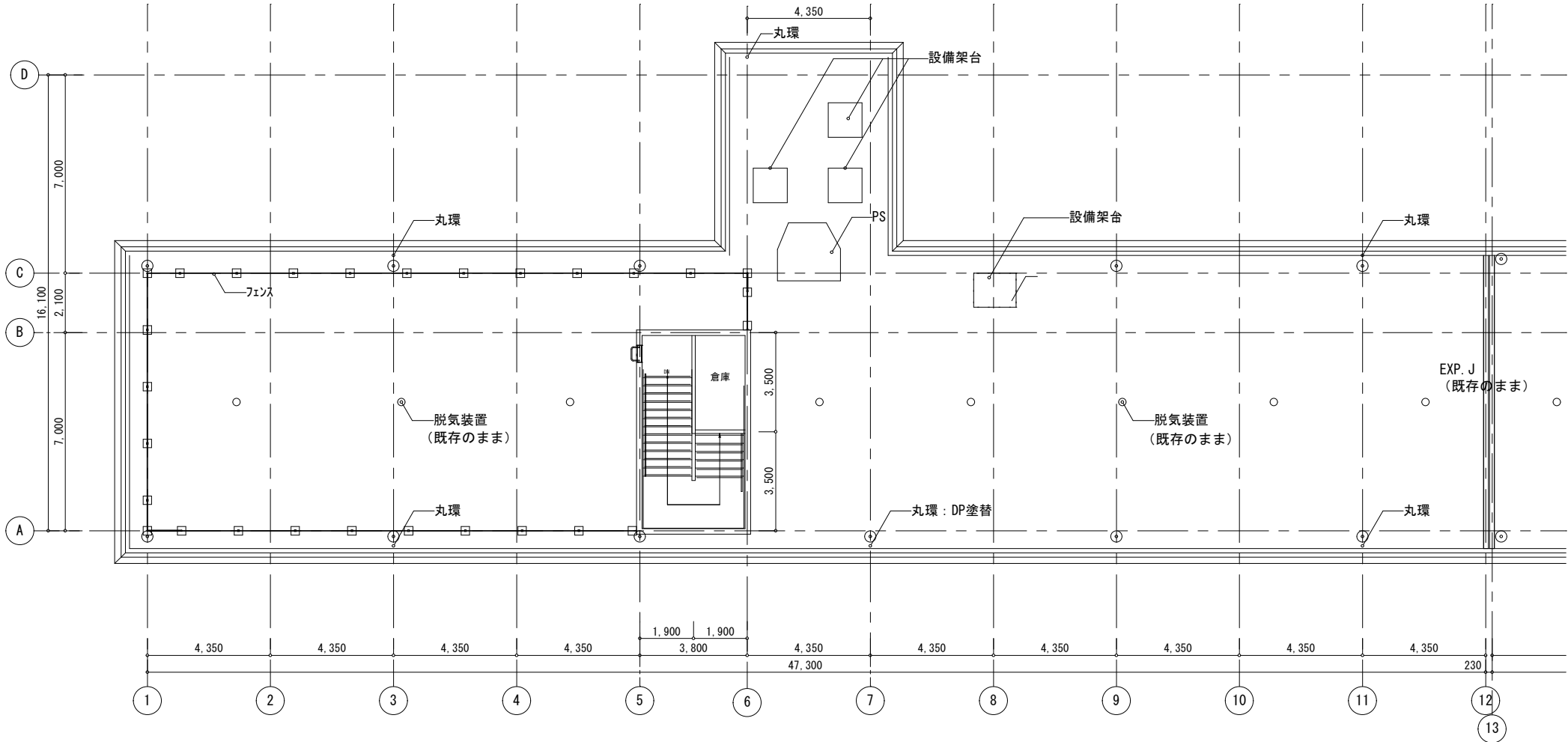
改修前平面図



改修前平面図



改修後平面図



屋上防水改修工事 概要

- 屋上防水改修
・平場部・立上り部・設備架台等:
高圧水洗浄(15MPa)、塗り重ね用プライマーの上、ウレタン系塗膜防水(X-2)

・脱気装置:既存のまま

・その他:
塗膜防水の端部納まり及び重ね幅Wについては、主材料製造所の仕様とすること。

- 塗装改修
・R階ルーフドレン:下地調整(RB種)の上、DP(ポリウレタン系)塗替え

・1階昇降口屋根、塔屋ルーフドレン、1階底中間ドレン:
下地調整(RB種)の上、DP(ポリウレタン系)塗替え

・既存フェンス:下地調整(RA種)の上、DP(ポリウレタン系)塗替え

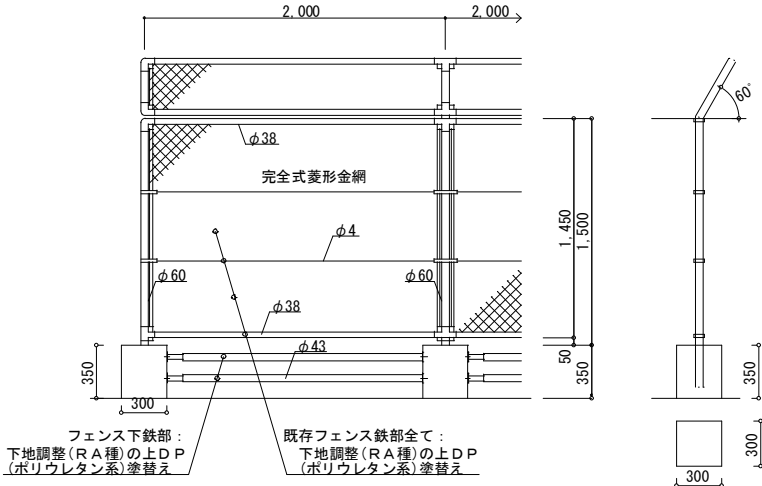
・フェンス下鉄部:下地調整(RA種)の上、DP(ポリウレタン系)塗替え

・丸環:下地調整(RB種)の上、DP(ポリウレタン系)塗替え

□特記事項
※外部配管などについて、塗膜が劣化している場合は監督員に報告すること。
なお、電線類は養生し塗装しない。

※施工年月日、施工会社、連絡先、工法を記入したプレートを設置すること。(A4版程度)

フェンス詳細



一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号

株式会社ixrea

一級建築士 第 331861 号
吉田 浩司

星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事

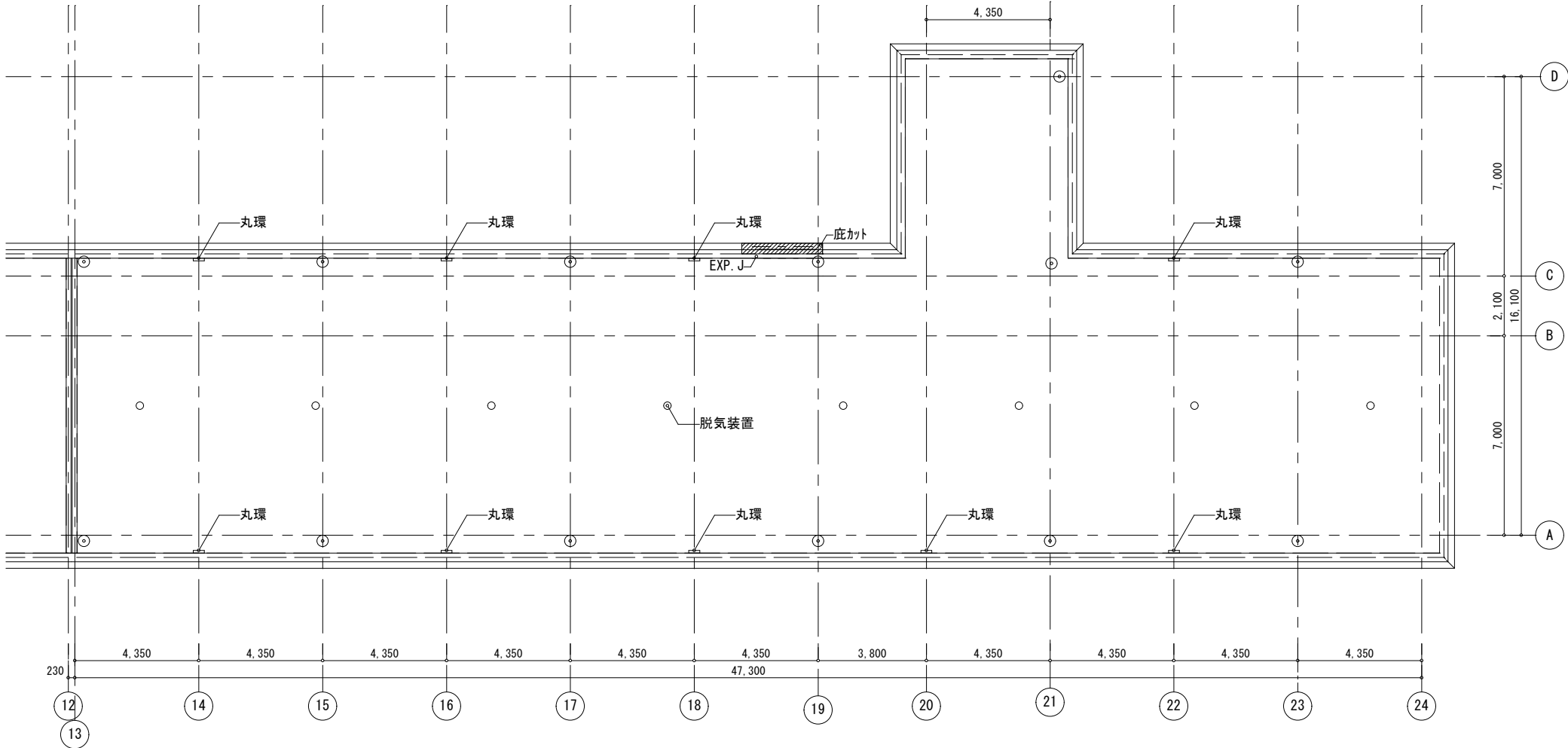
R階・PH階平面図(1) (X1-12)

A3:1:200,
1:50

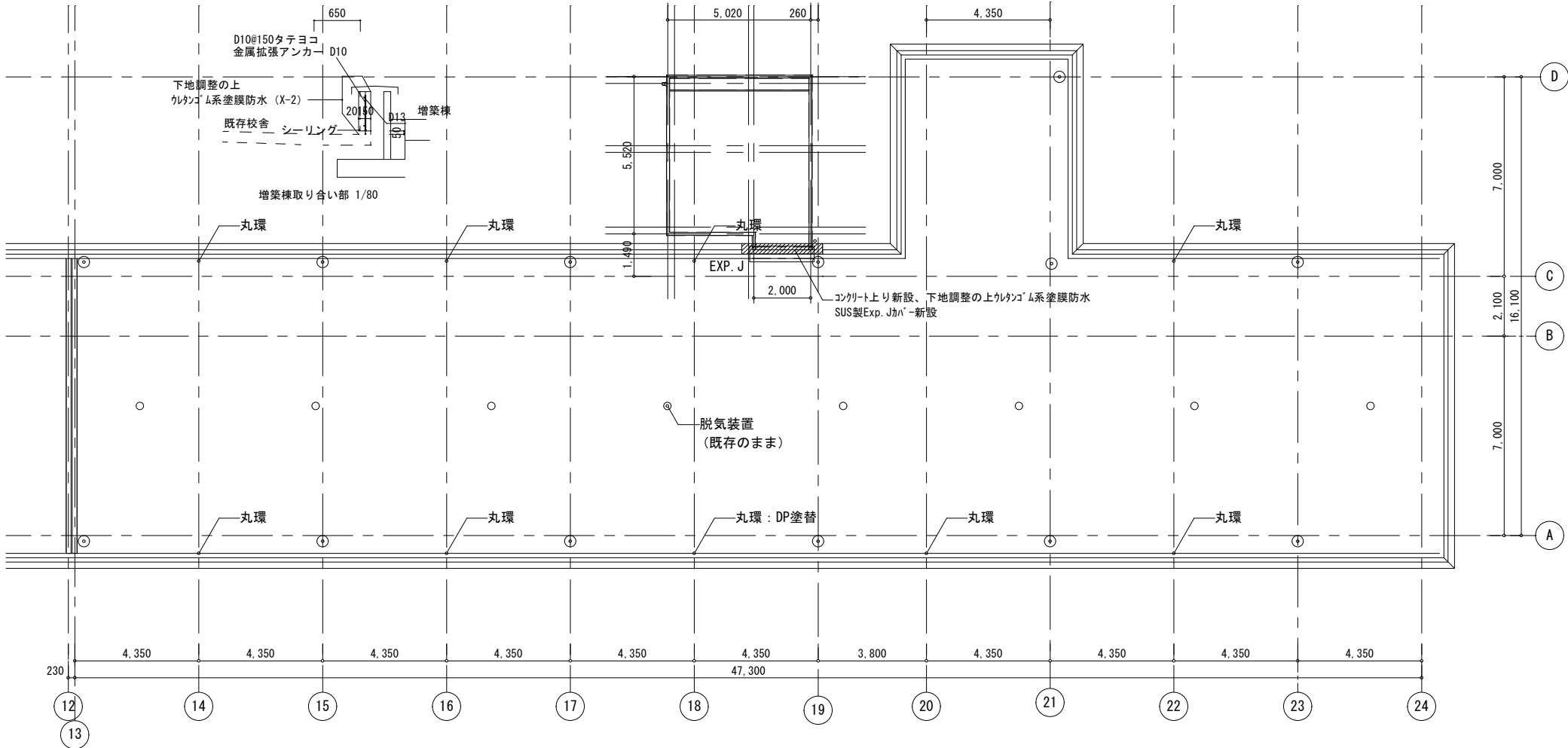
鹿児島市建設局建築部建築課

A-37

改修前平面図



改修後平面図



屋上防水改修工事 概要

- 屋上防水改修
- ・平場部・立上り部・設備架台等:
高圧水洗浄(15MPa)、塗り重ね用プライマーの上、ウレタン系塗膜防水(X-2)

- ・脱気装置:既存のまま

- ・その他:
塗膜防水の端部納まり及び重ね幅Wについては、主材料製造所の仕様とすること。

□塗装改修

- ・1階昇降口屋根、塔屋ルーフドレン、1階底中間ドレン、
R階ルーフドレン:下地調整(RB種)の上、DP(ポリウレタン系)塗替え

- ・既存フェンス:下地調整(RA種)の上、DP(ポリウレタン系)塗替え

- ・フェンス下鉄部:下地調整(RA種)の上、DP(ポリウレタン系)塗替え

- ・丸環:下地調整(RB種)の上、DP(ポリウレタン系)塗替え

□特記事項

※外部配管などについて、塗膜が劣化している場合は監督員に報告すること。
なお、電線類は養生し塗装しない。

※施工年月日、施工会社、連絡先、工法を記入したプレートを設置すること。(A4版程度)

一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号

株式会社ixrea

一級建築士 第 331861 号
吉田 浩司

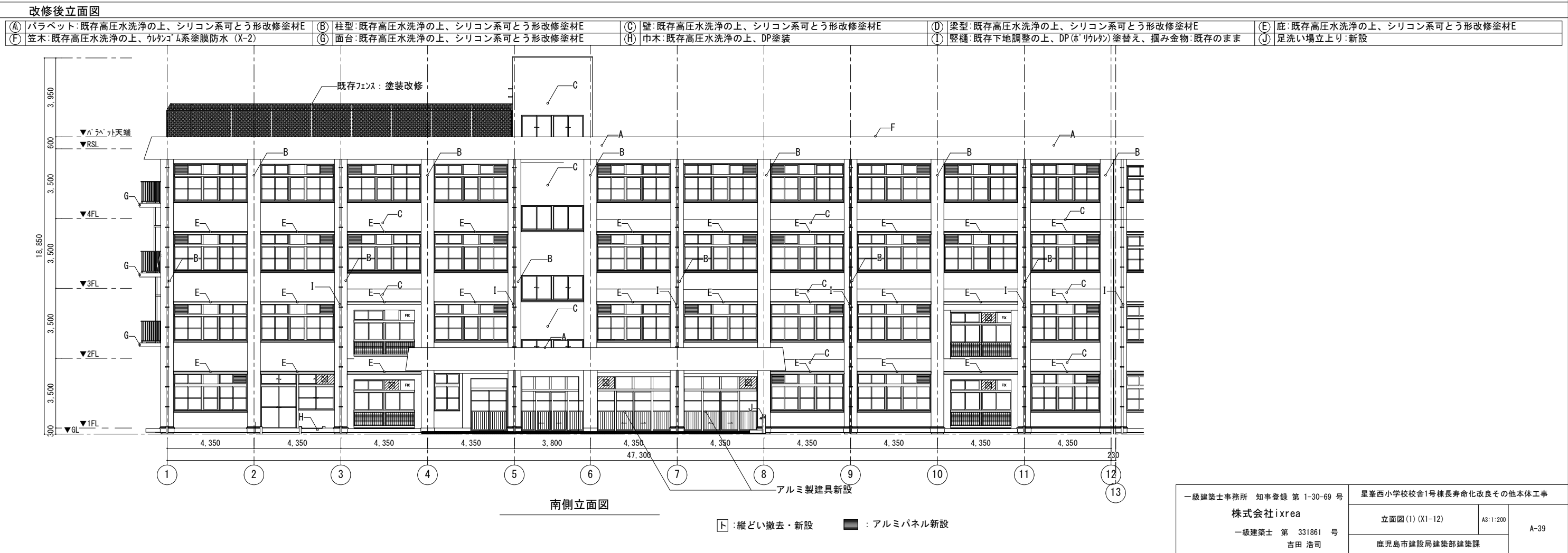
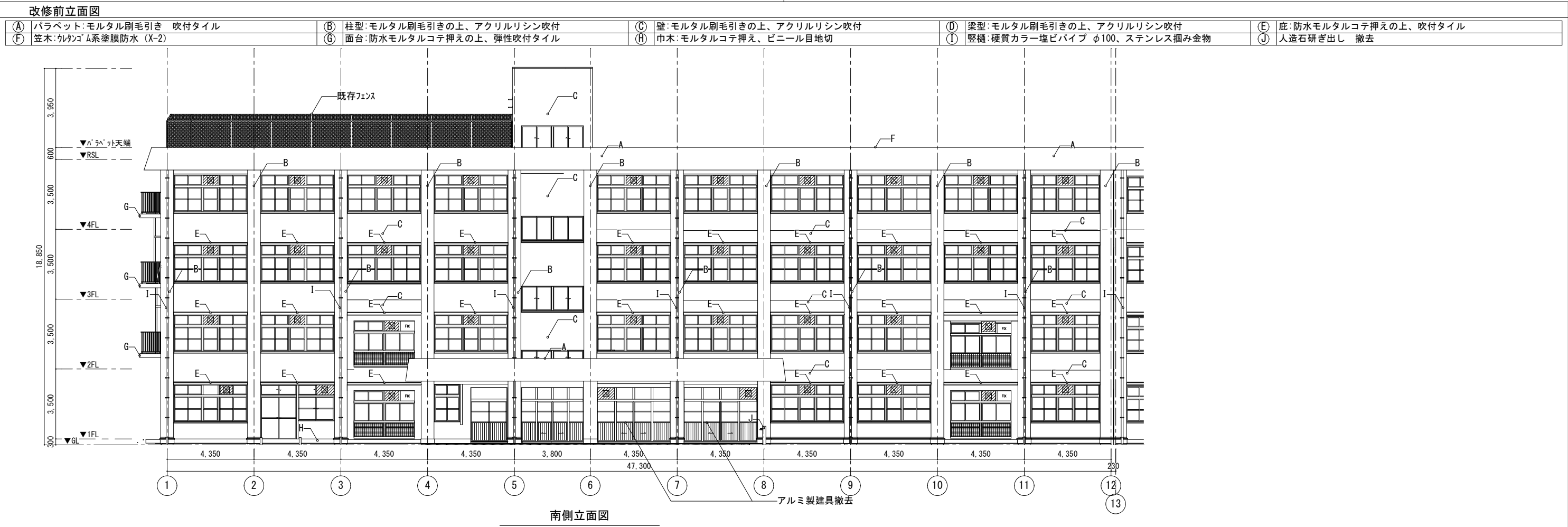
星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事

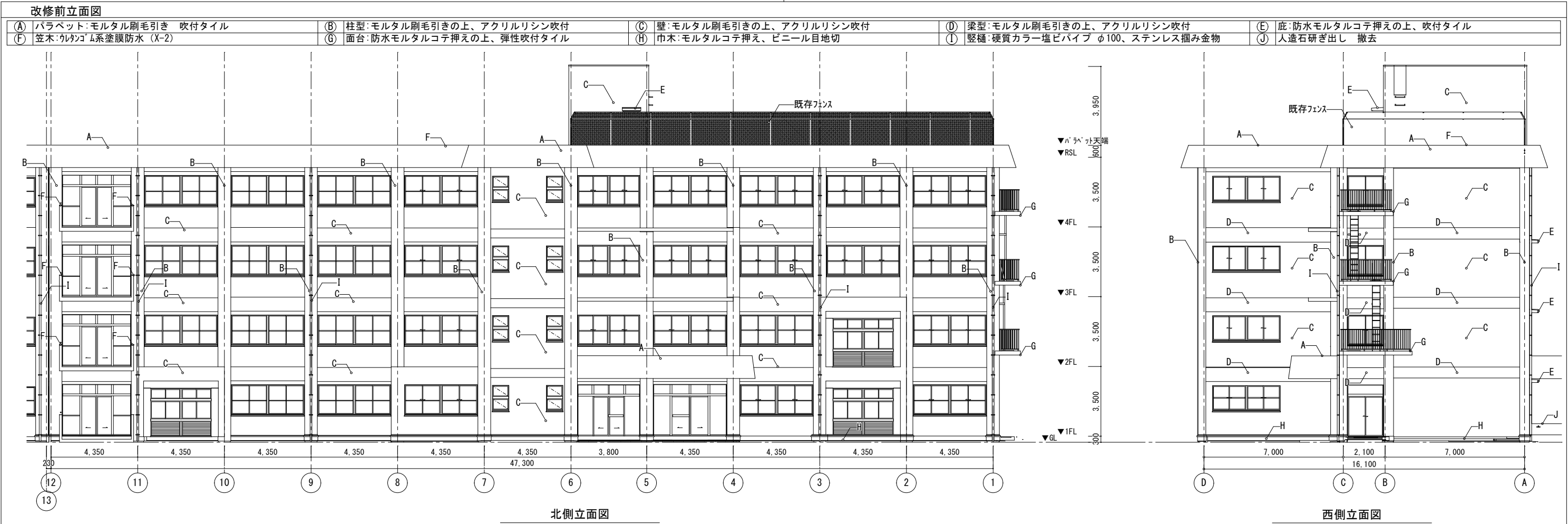
R階・PH階平面図(2) (X13-24)

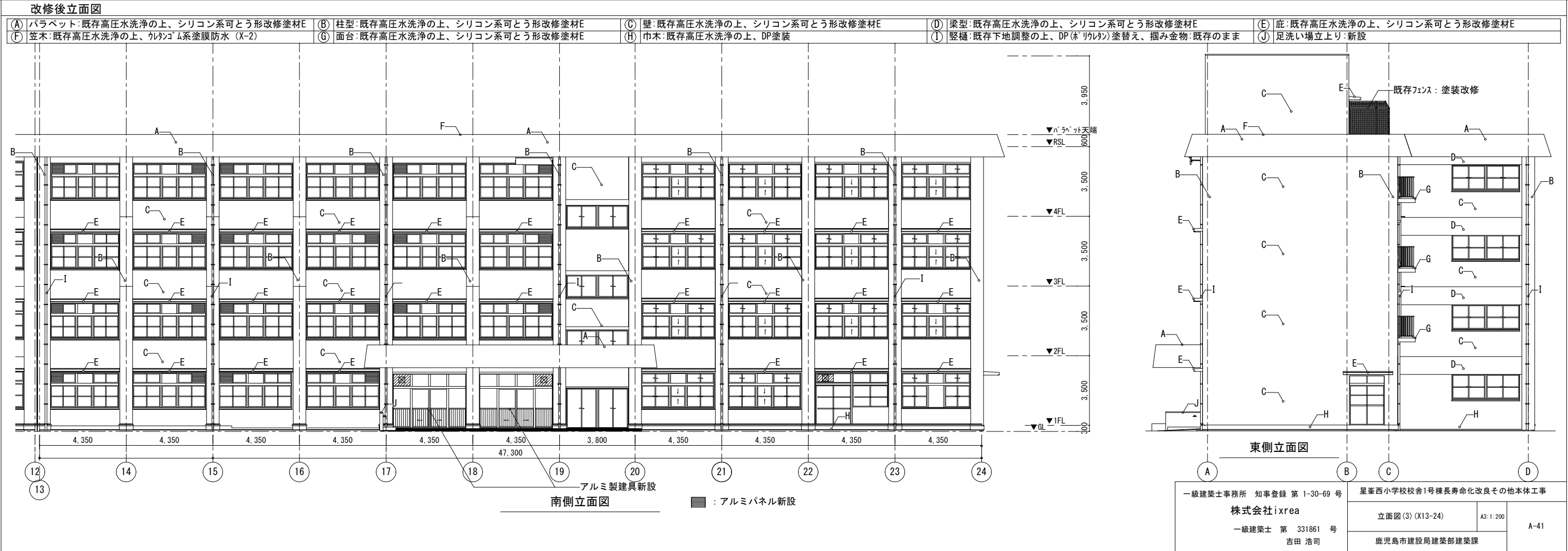
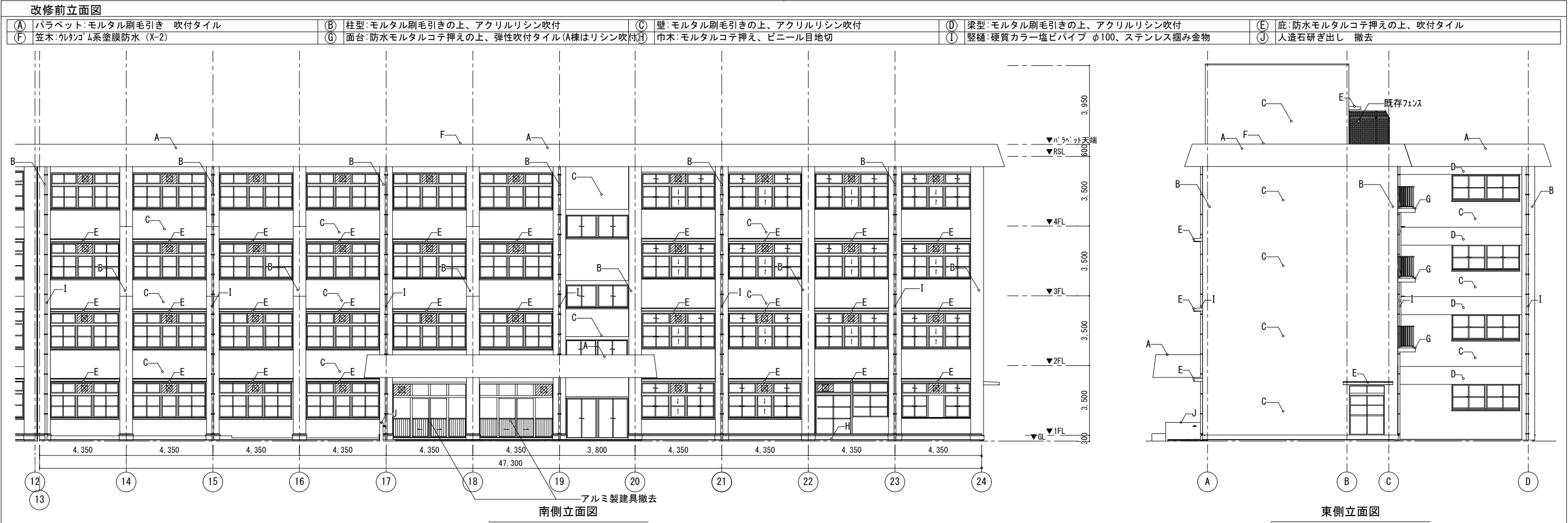
鹿児島市建設局建築部建築課

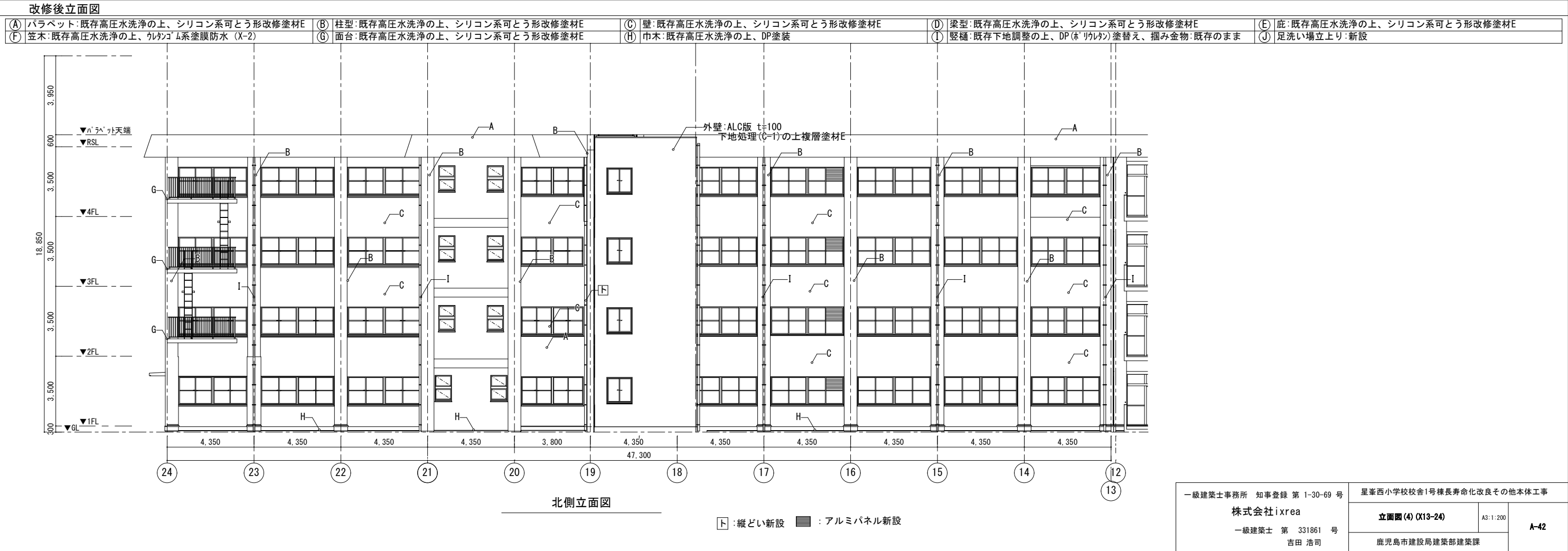
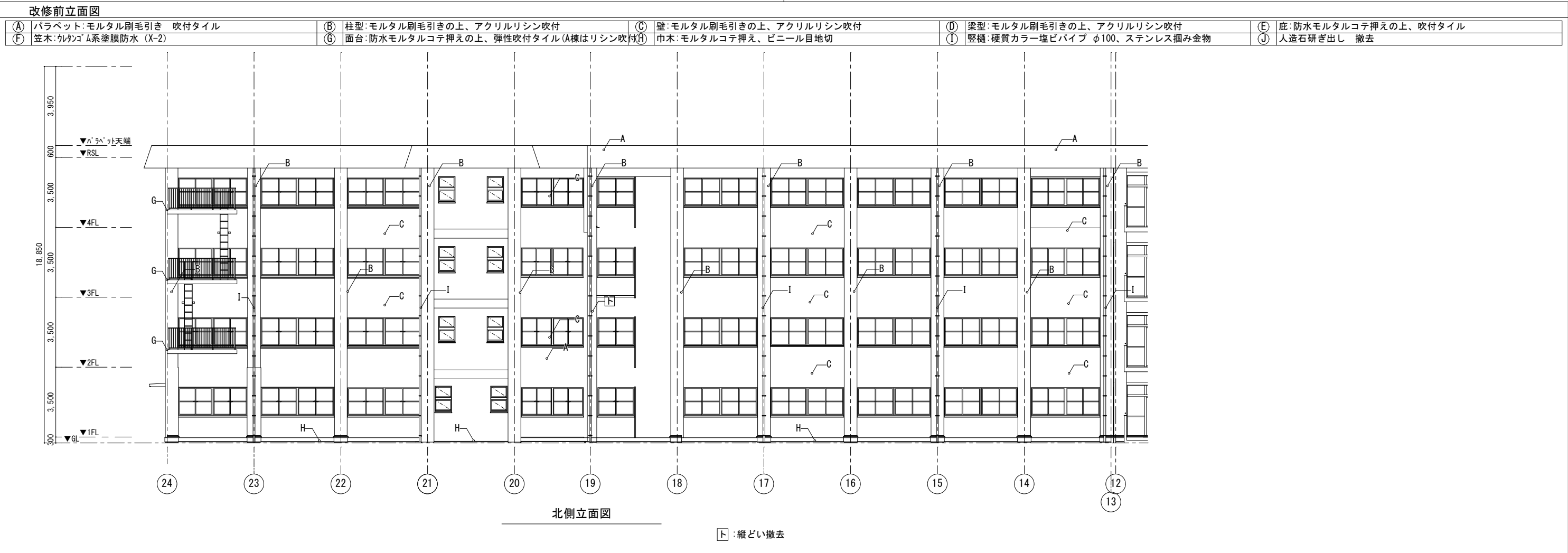
A3:1:200,
1:50

A-38

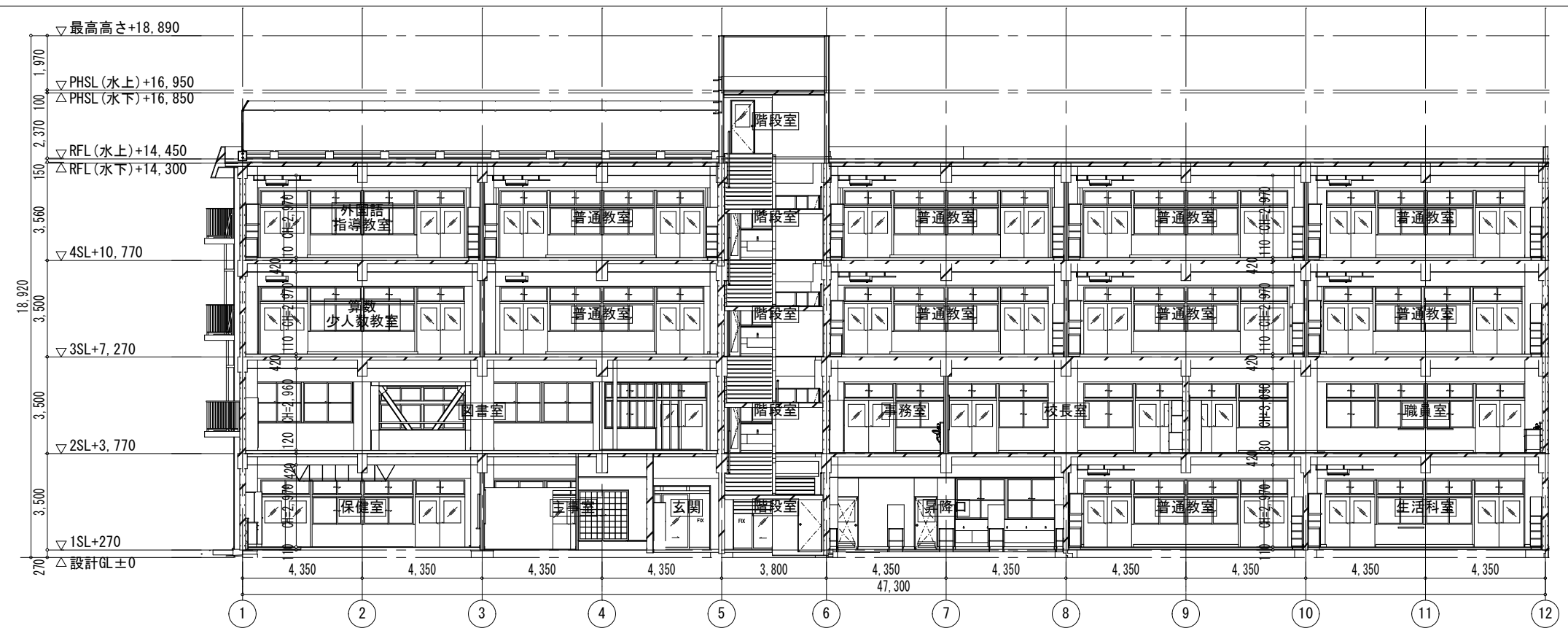




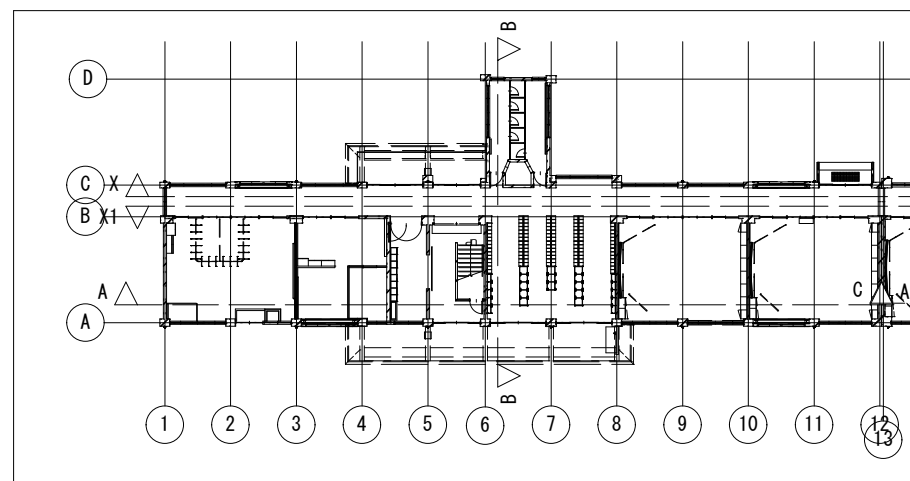




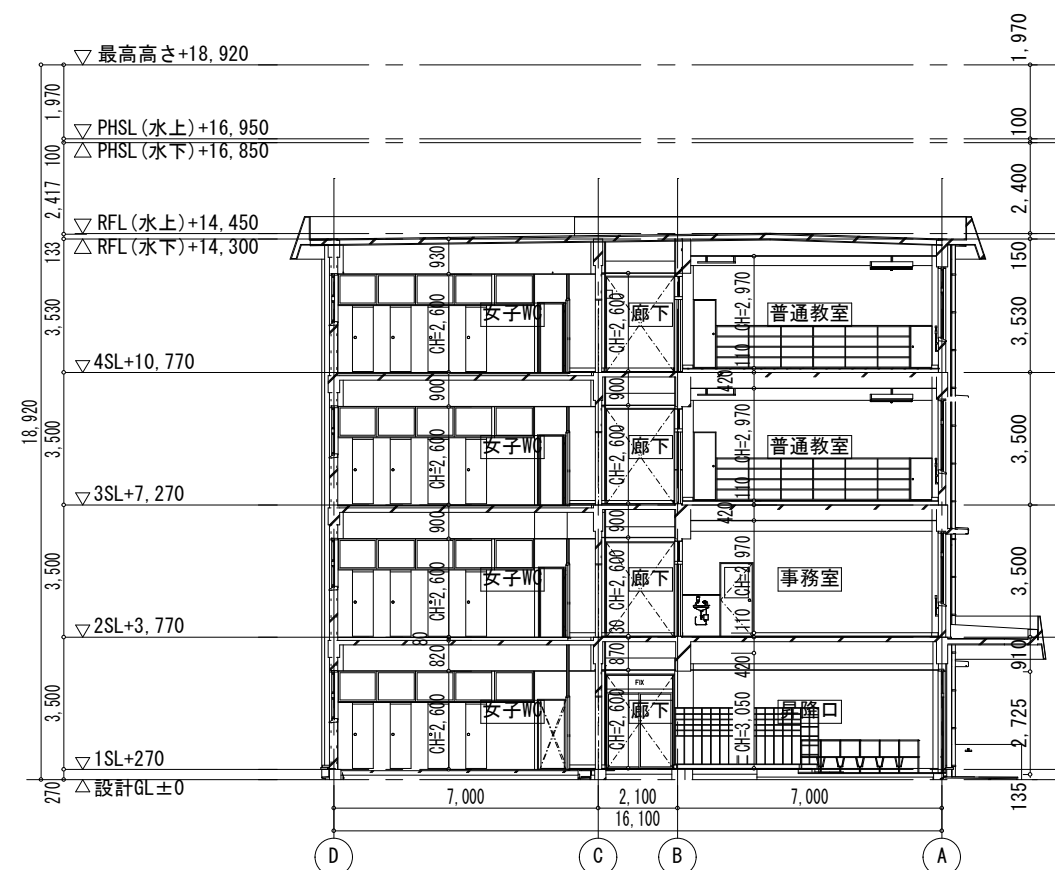
改修前断面図



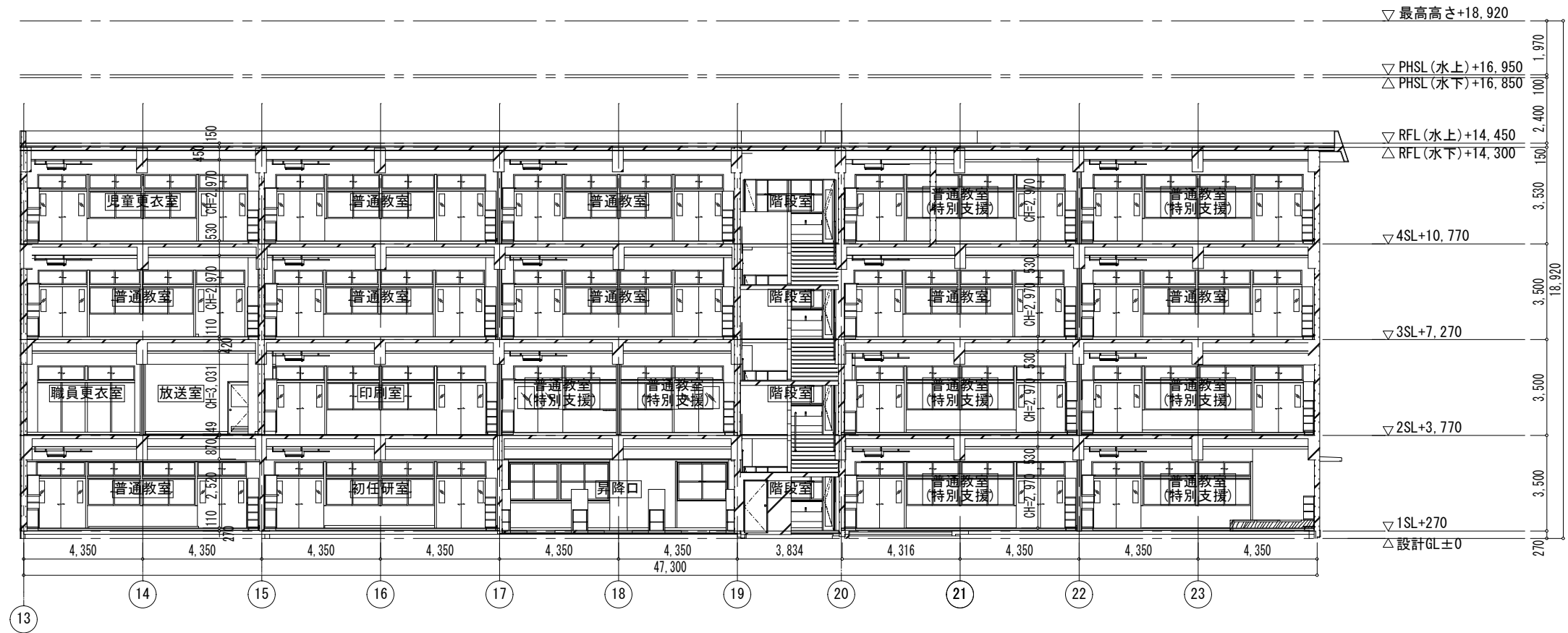
A断面図 1:200



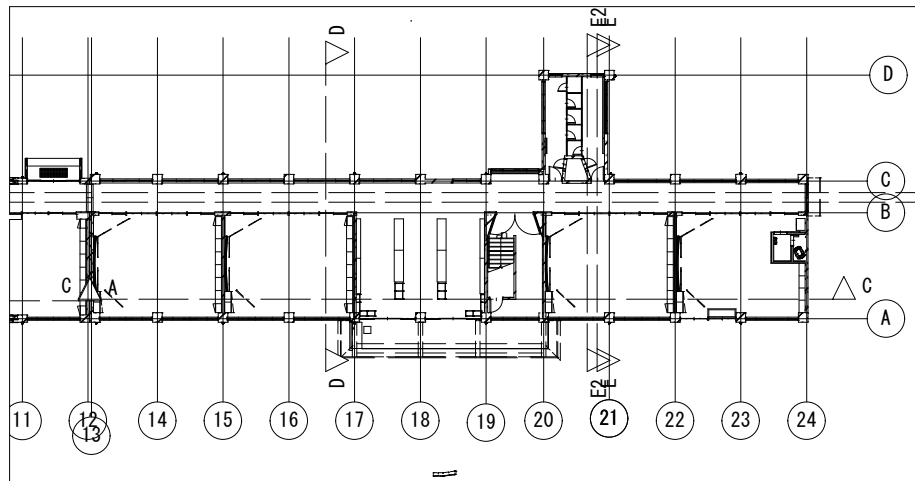
断面図キープラン① 1:500



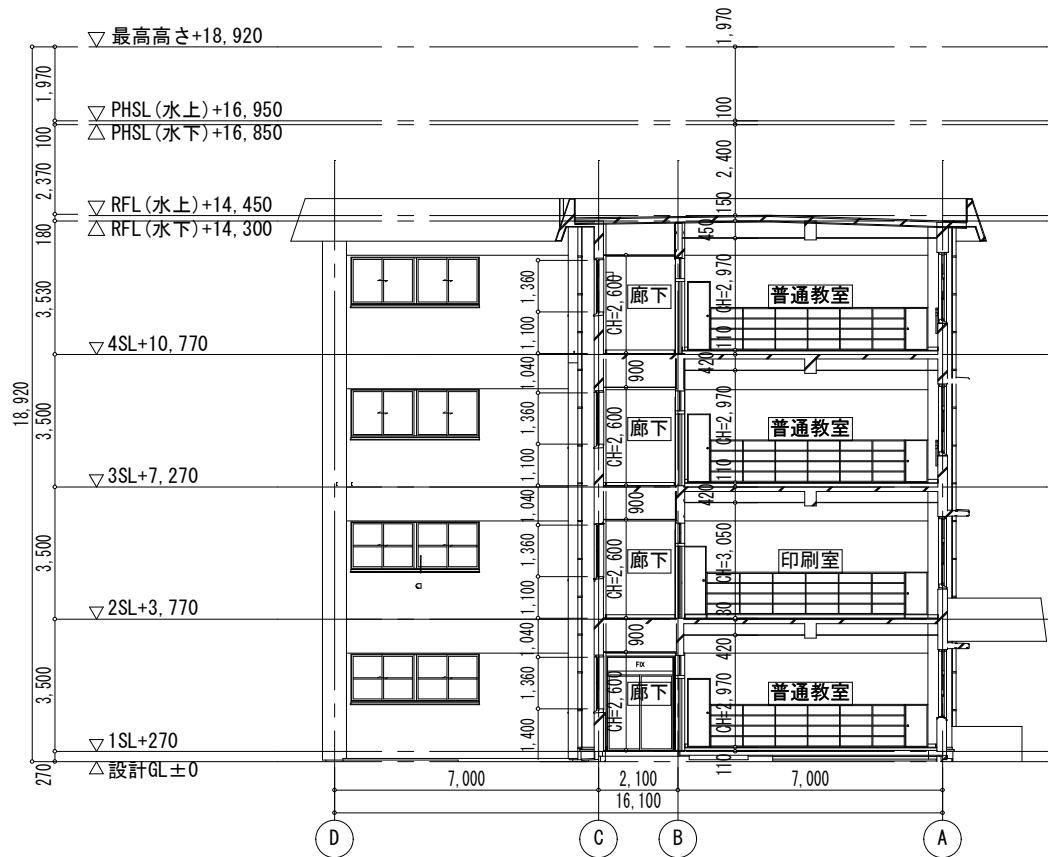
B断面図 1:200



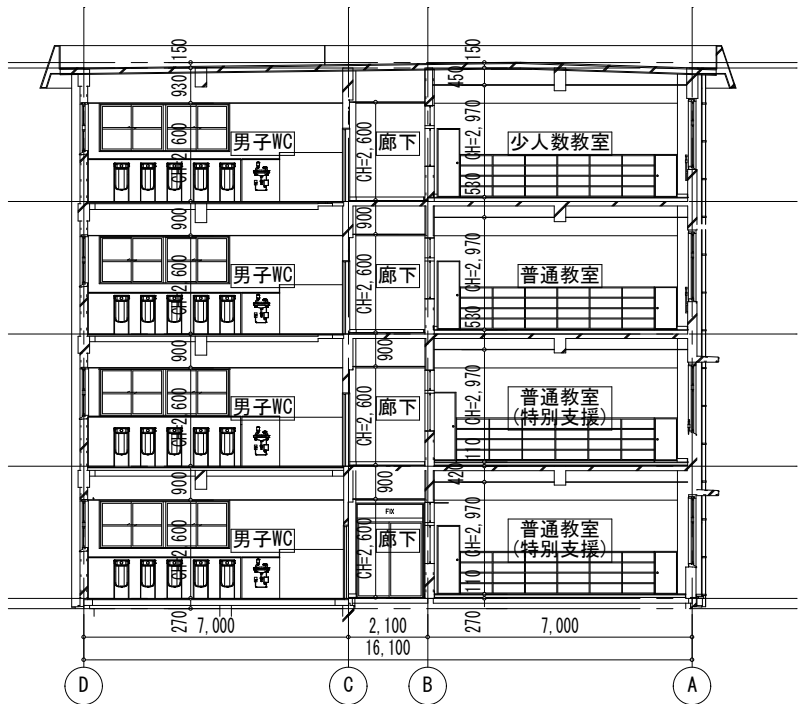
C断面図 1:200



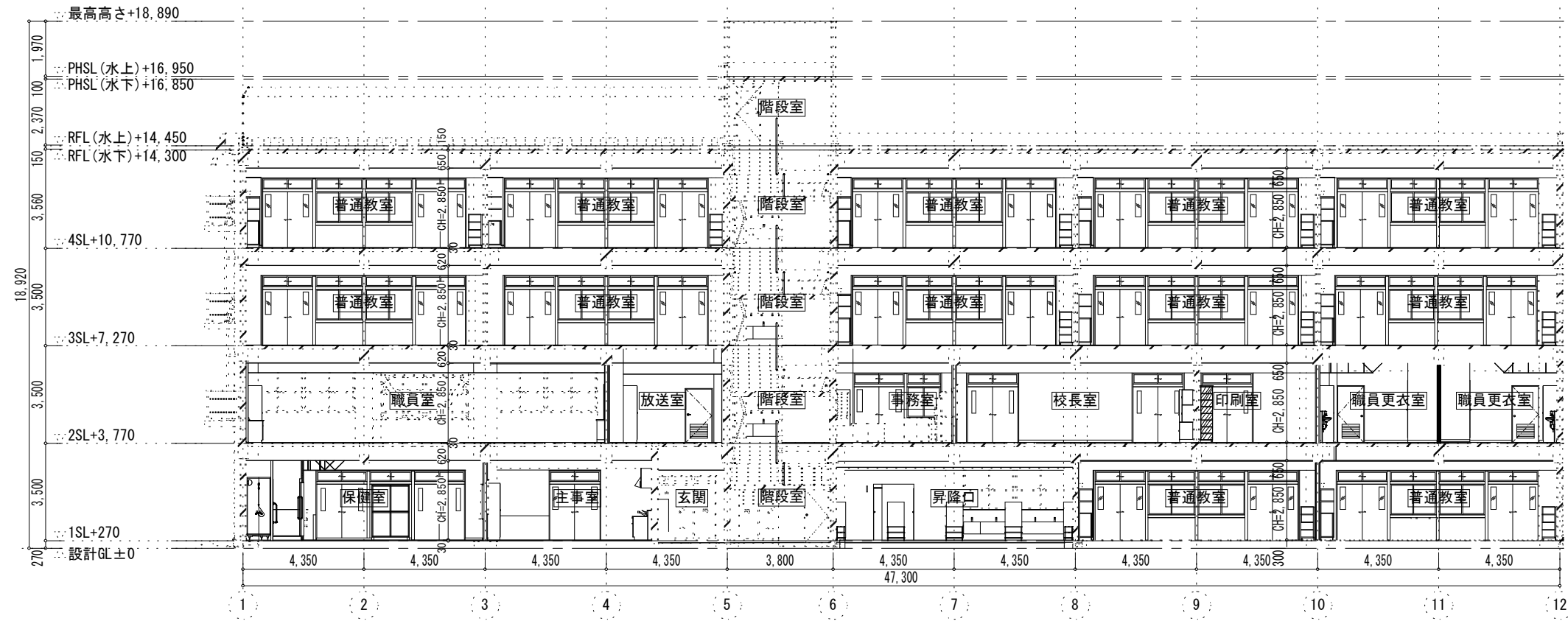
断面図キープラン② 1:500



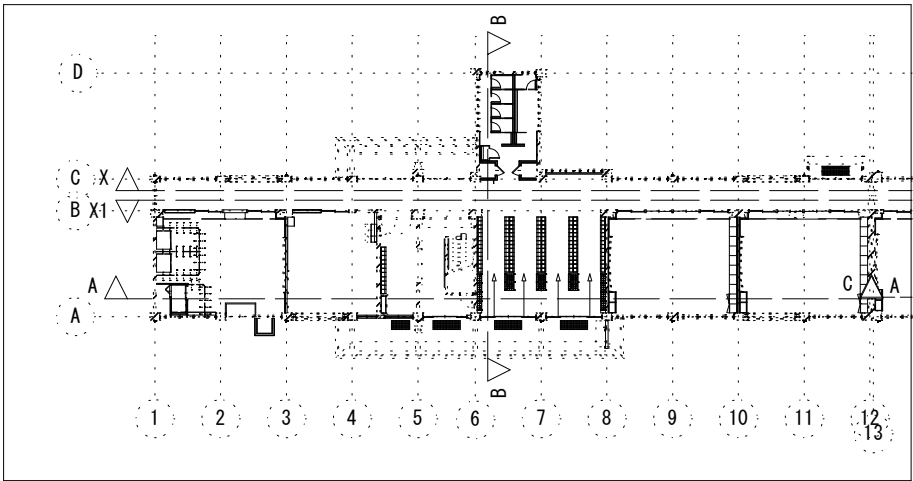
D断面図 1:200



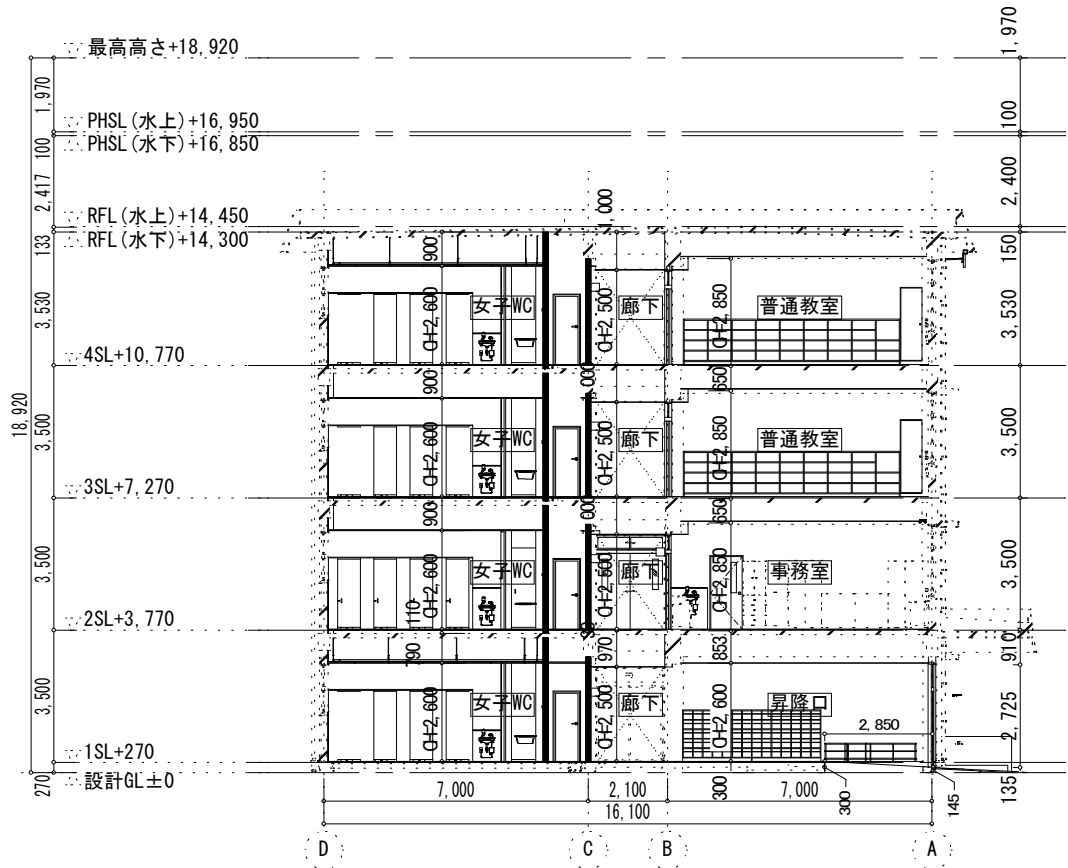
E断面図 1:200



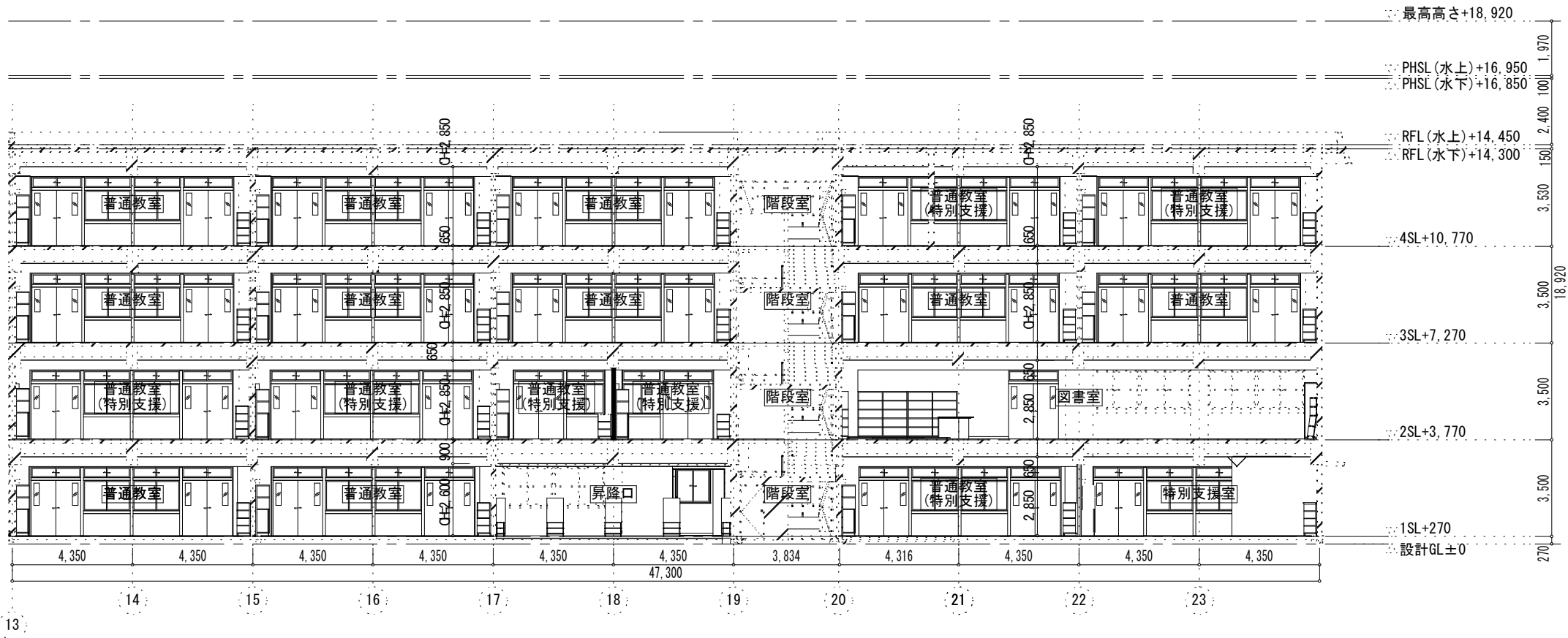
A断面図 (新規) 1:200



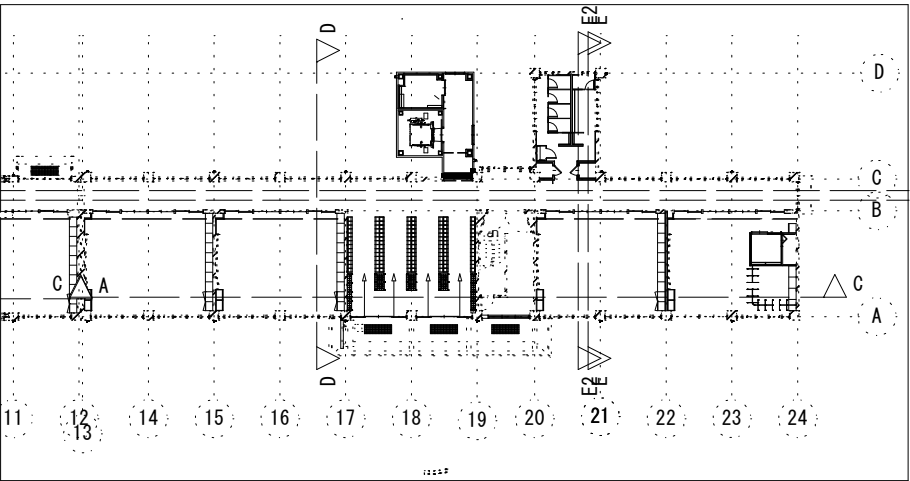
断面図キープラン① 1:500



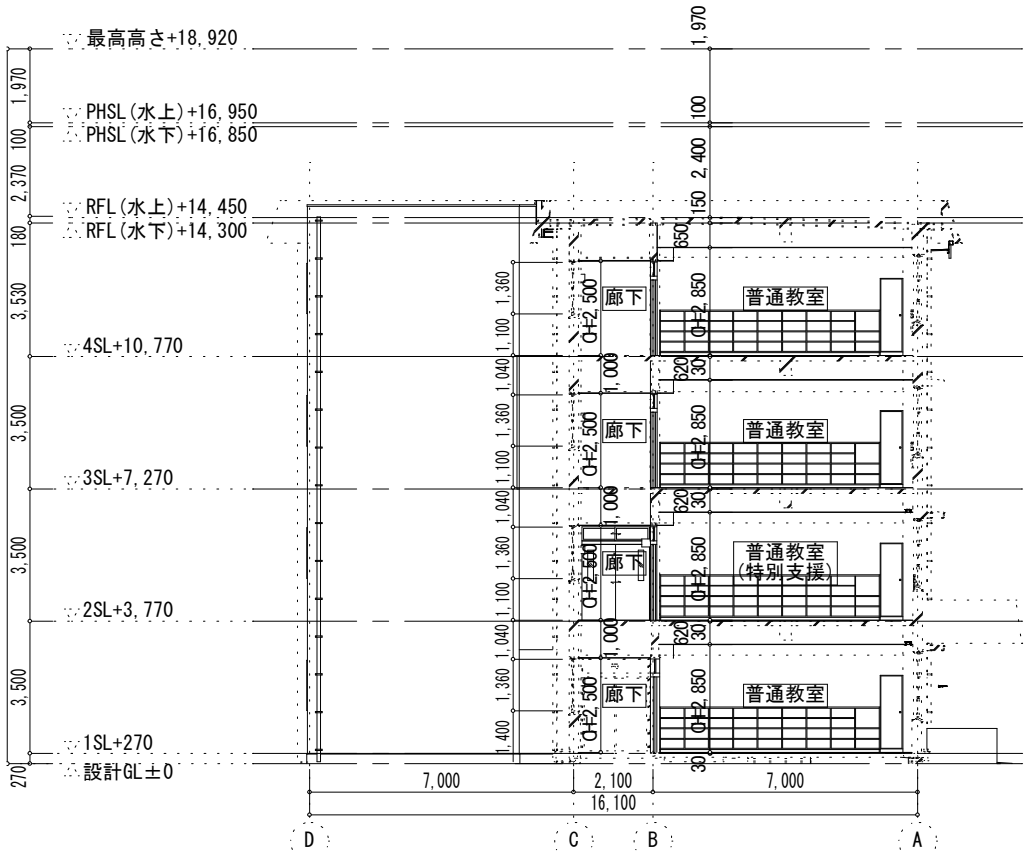
B断面図 (新規) 1:200



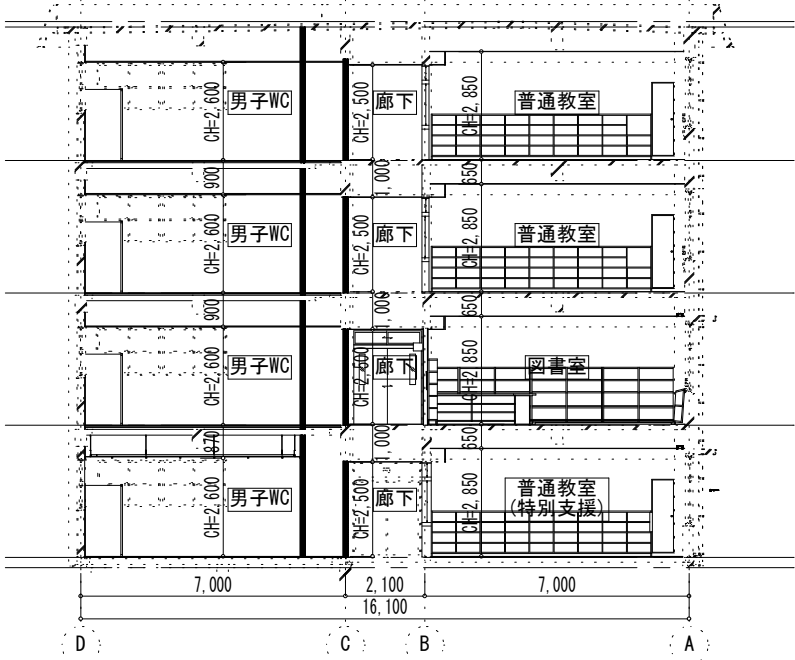
C断面図 (新規) 1:200



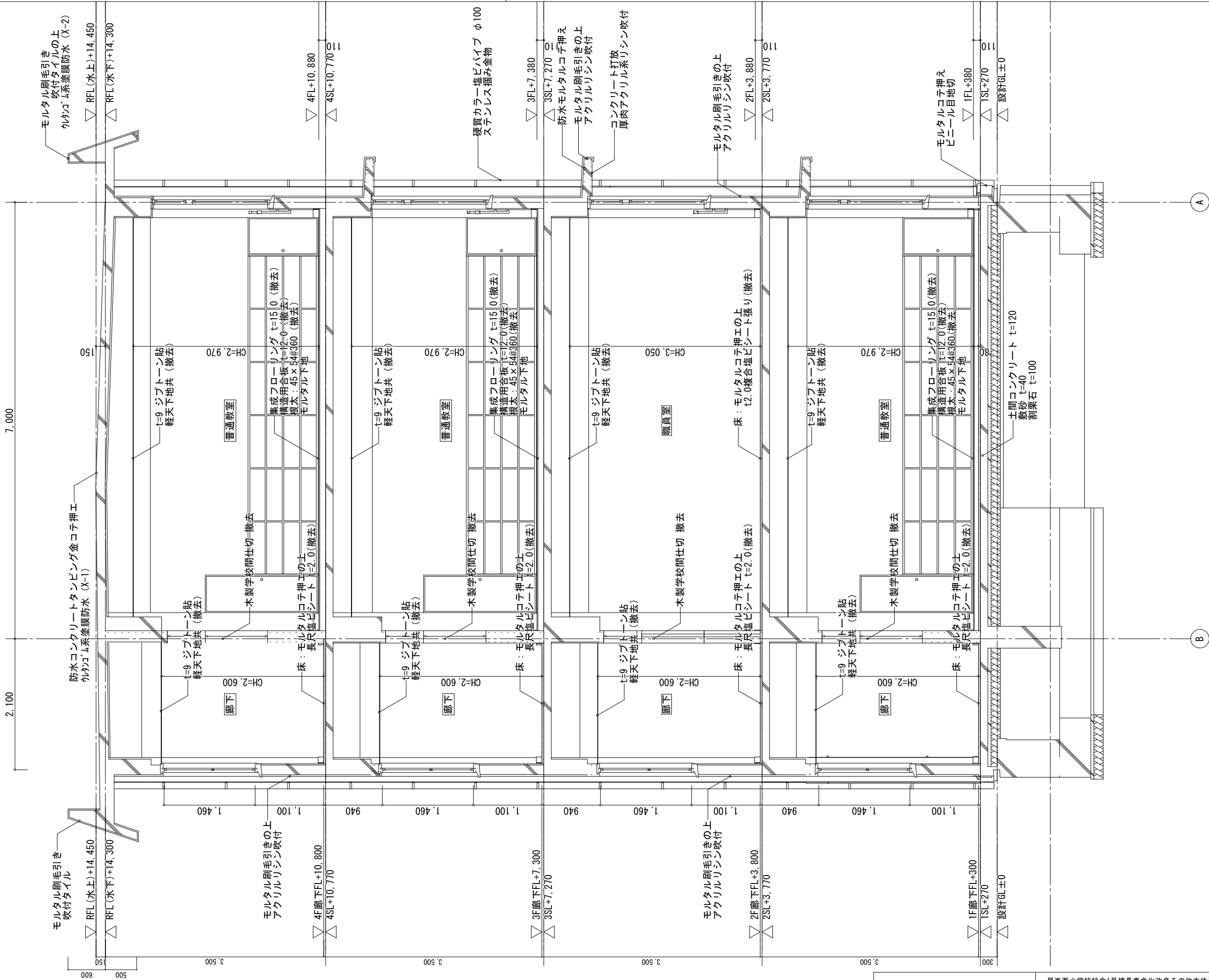
断面図キープラン② 1:500

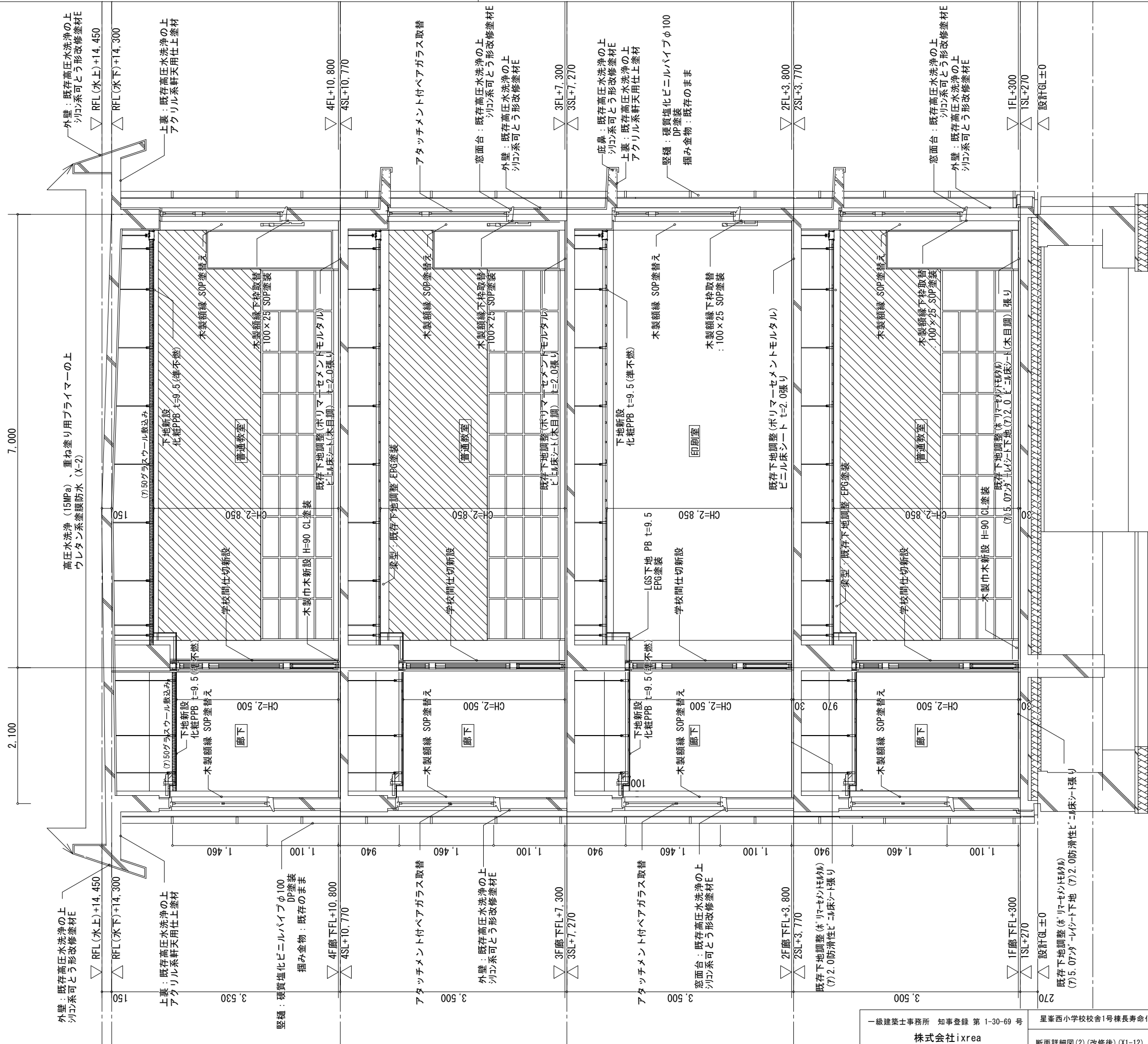


D断面図 (新規) 1:200

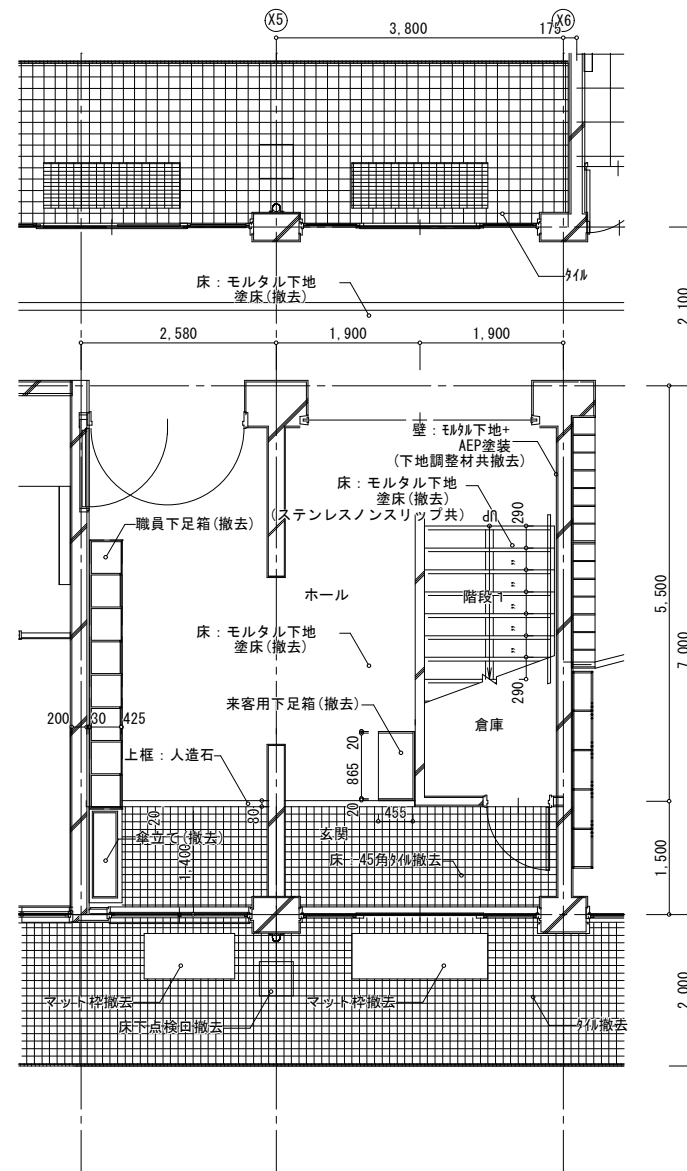


E断面図 (新規) 1:200

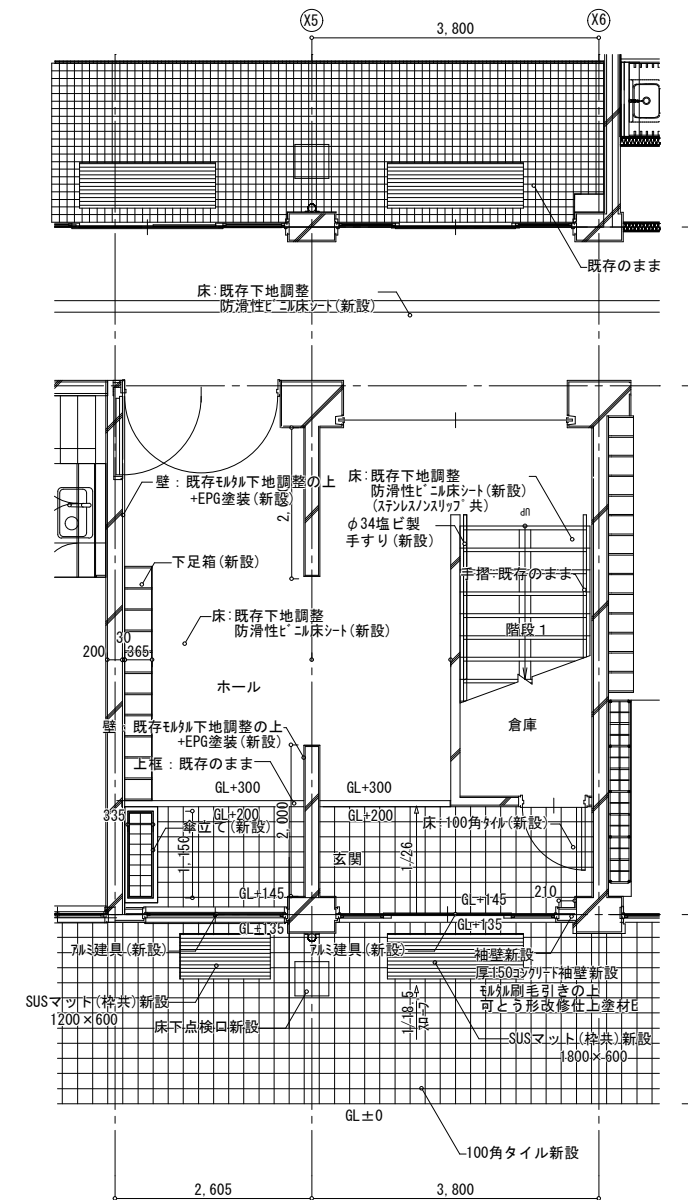




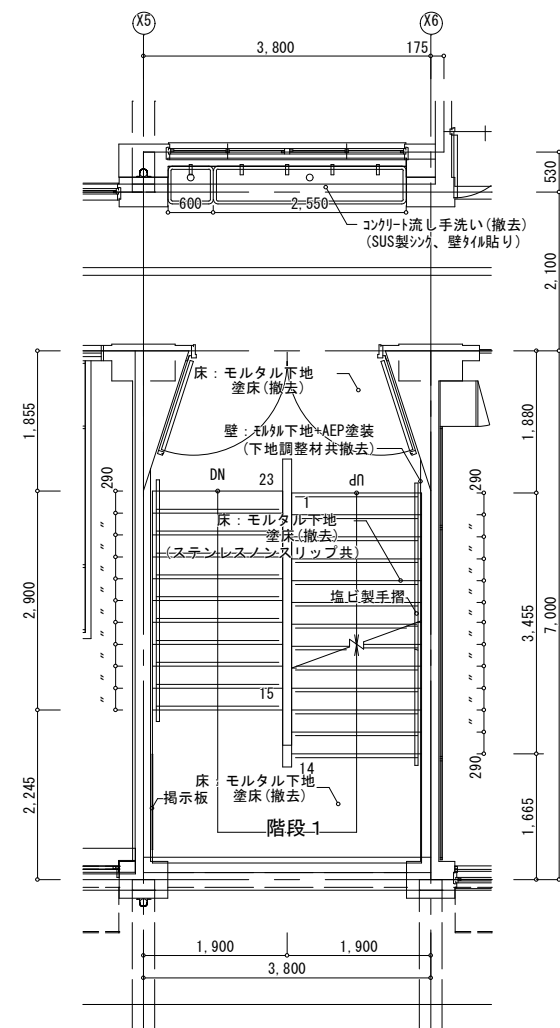
改修前 1階階段平面詳細図 (X5-6)



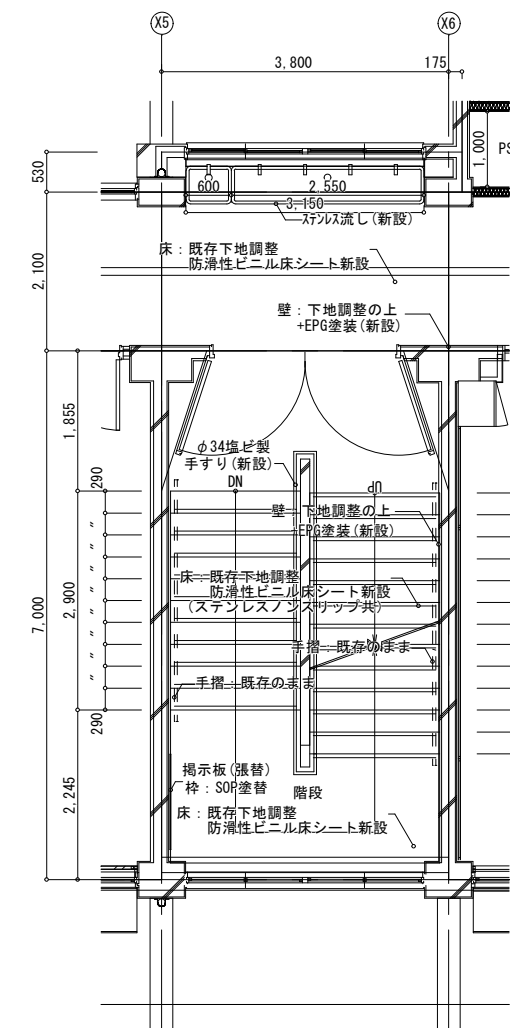
改修後 1階階段平面詳細図 (X5-6)



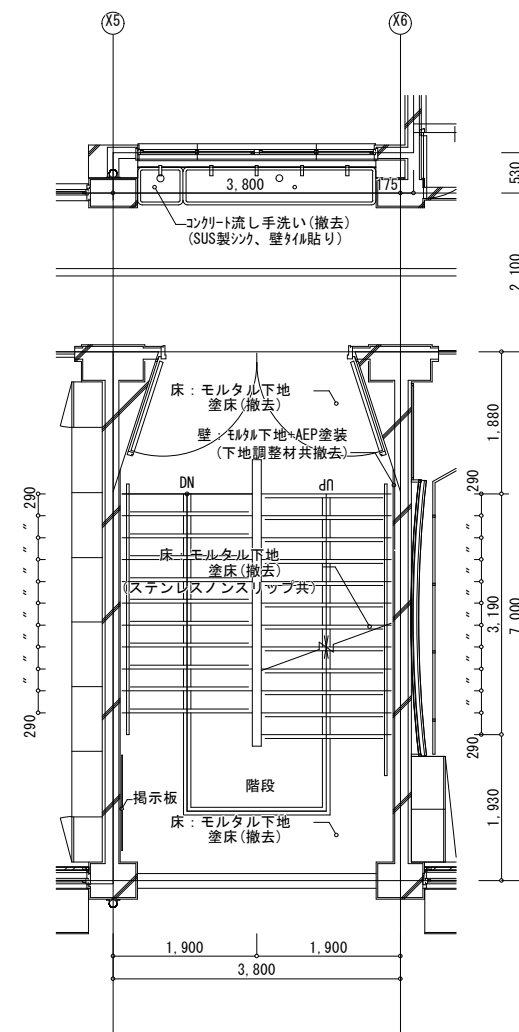
改修前 2階階段平面詳細図(X5?6)



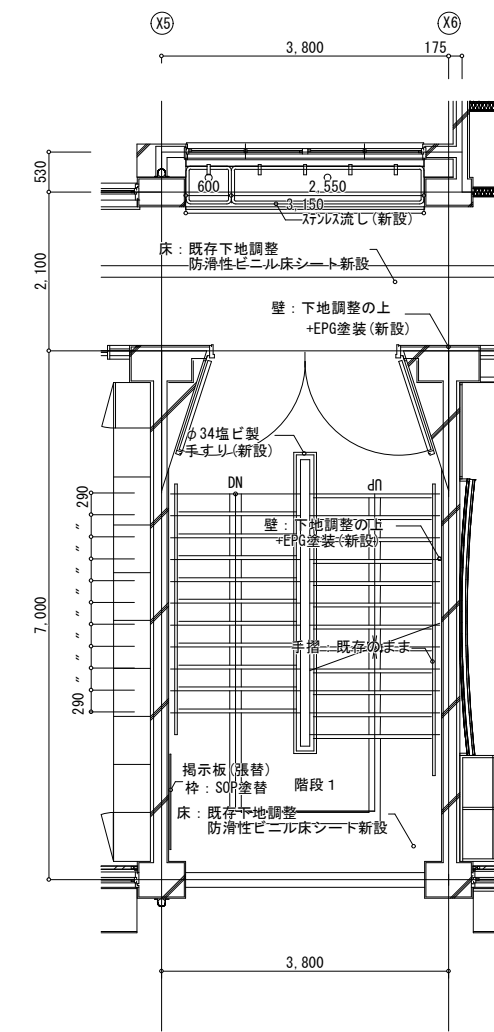
改修後 2階階段平面詳細図(X5?6)



改修前 3・4階階段平面詳細図(X5?6)

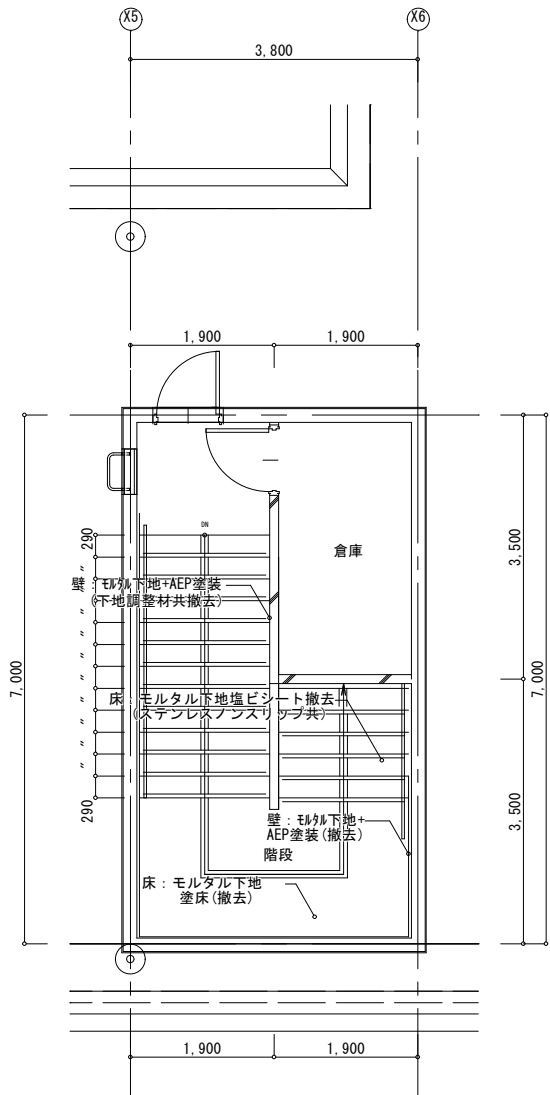


改修後 3・4階階段平面詳細図(X5?6)

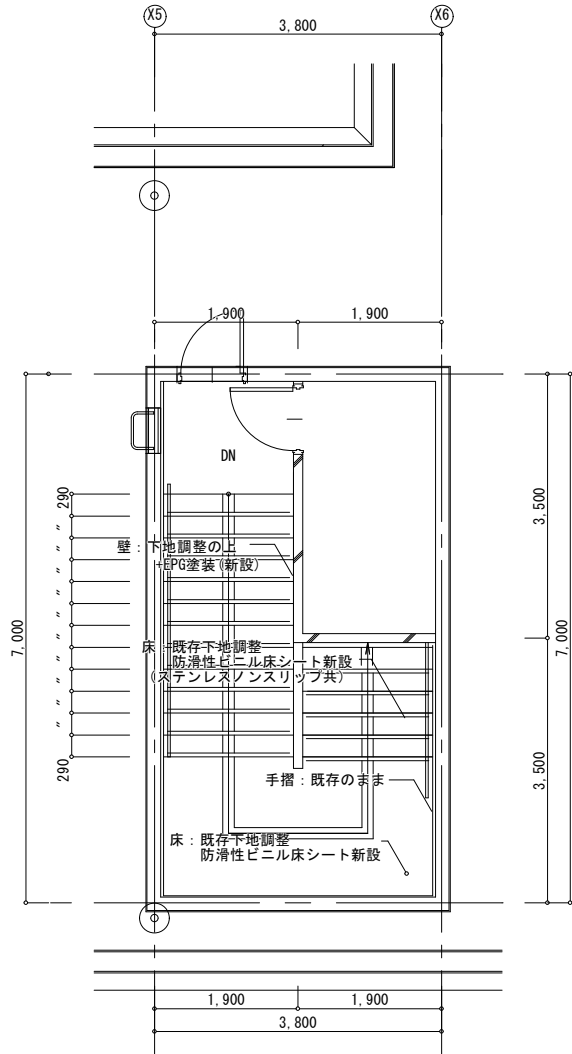


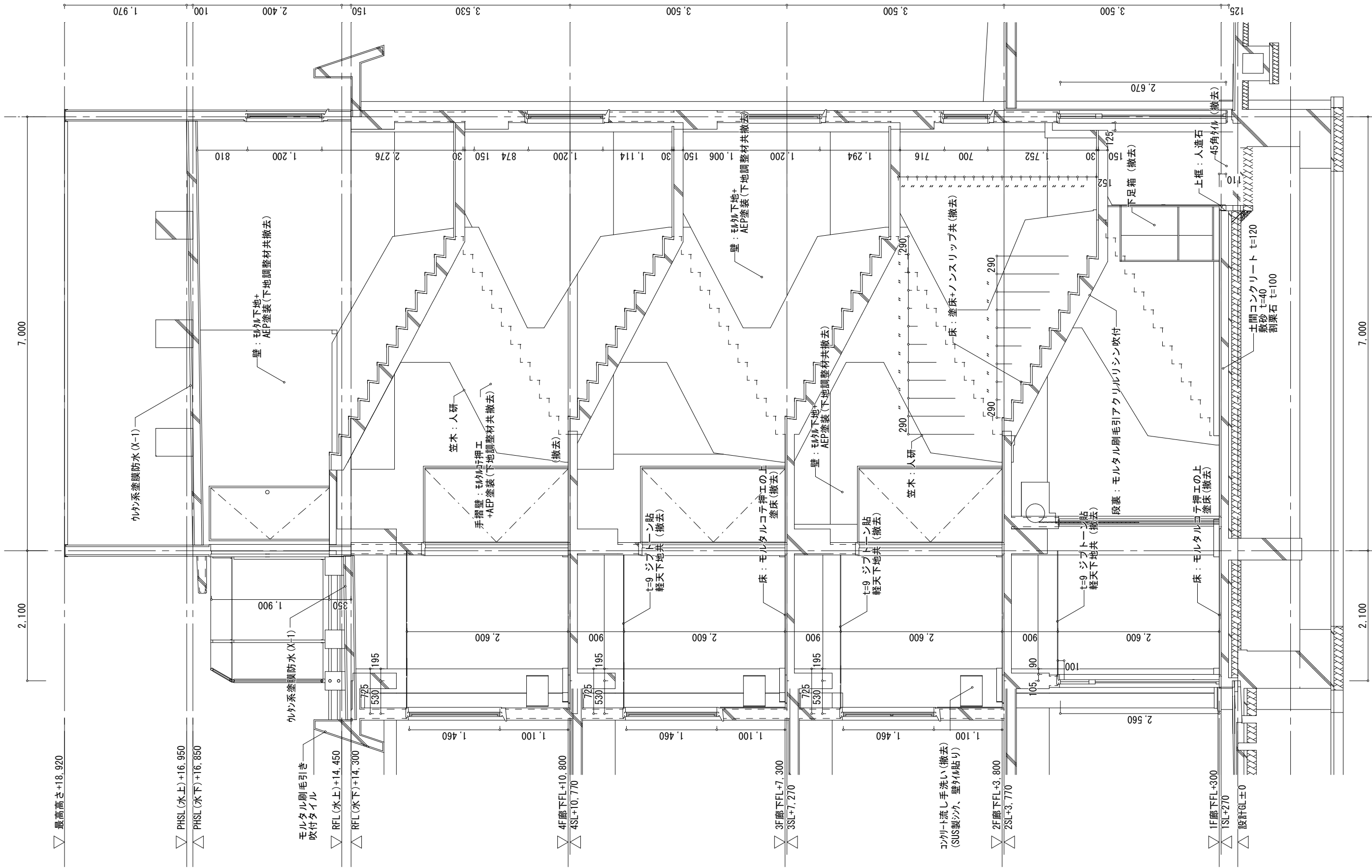
		一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号	星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事		
		株式会社ixrea	3・4階階段平面詳細図(3) (X1-12)	A3:1:100	A-51
		一級建築士 第 331861 号 吉田 浩司	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修前 R階段平面詳細図 (X5?6)

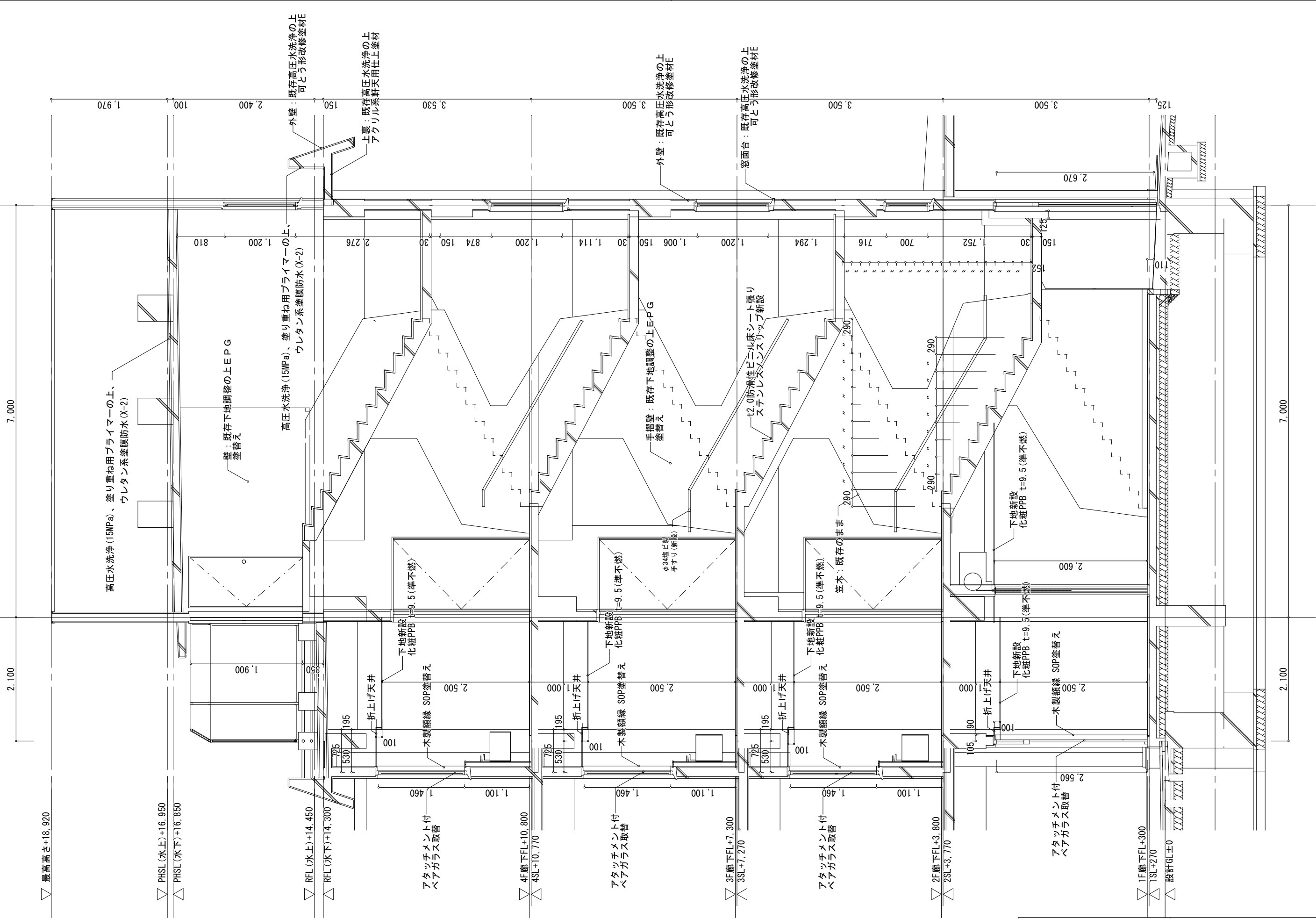


改修後 R階段平面詳細図 (X5?6)

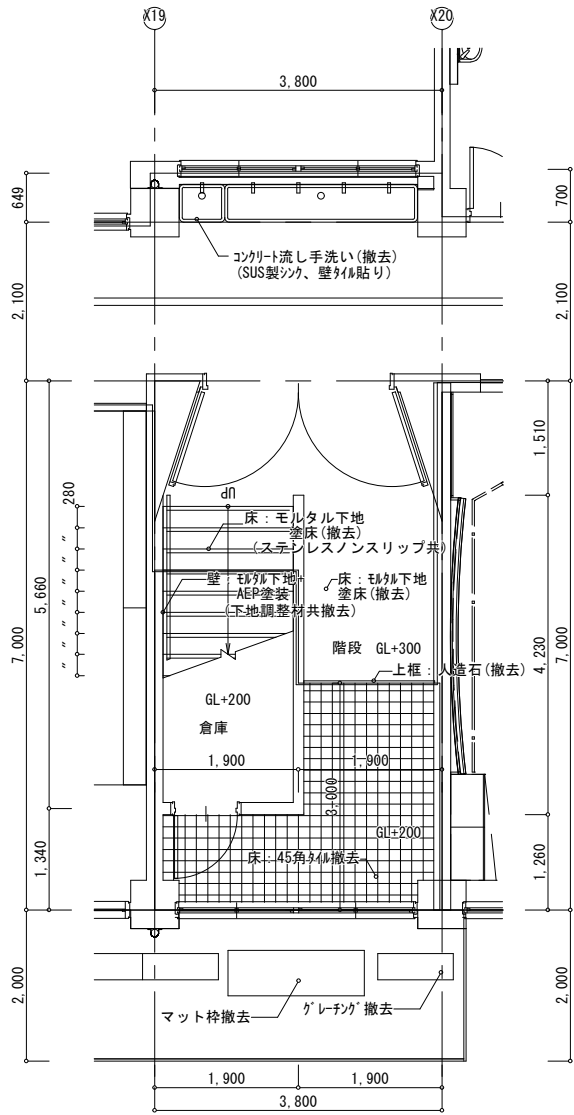




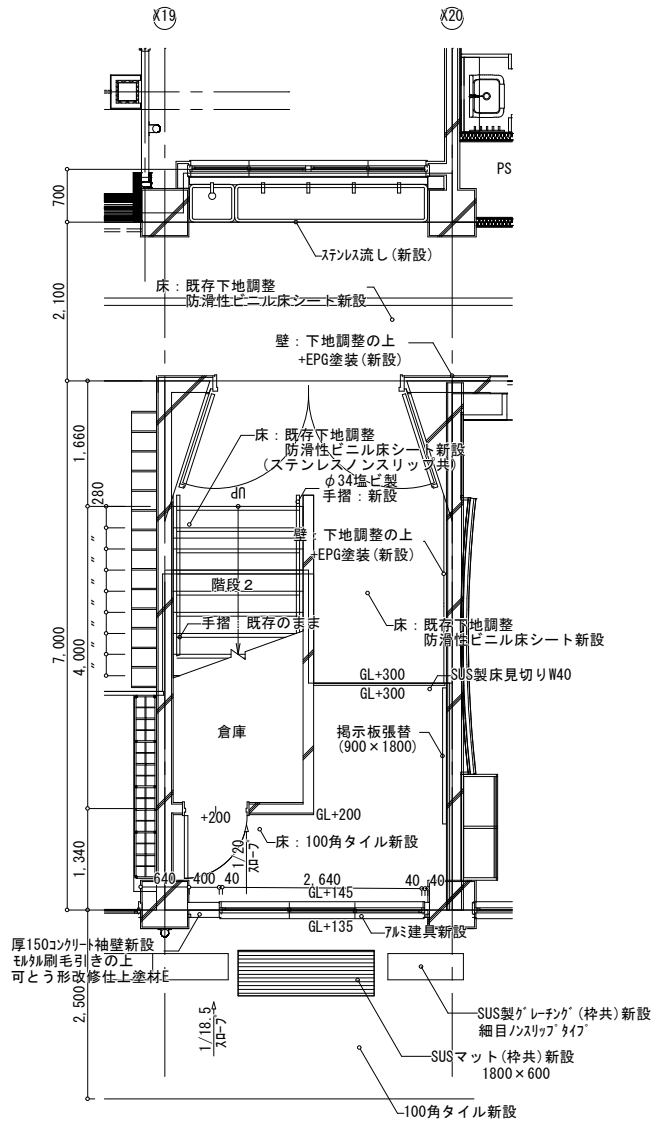
断面詳細図(改修前) 1:60



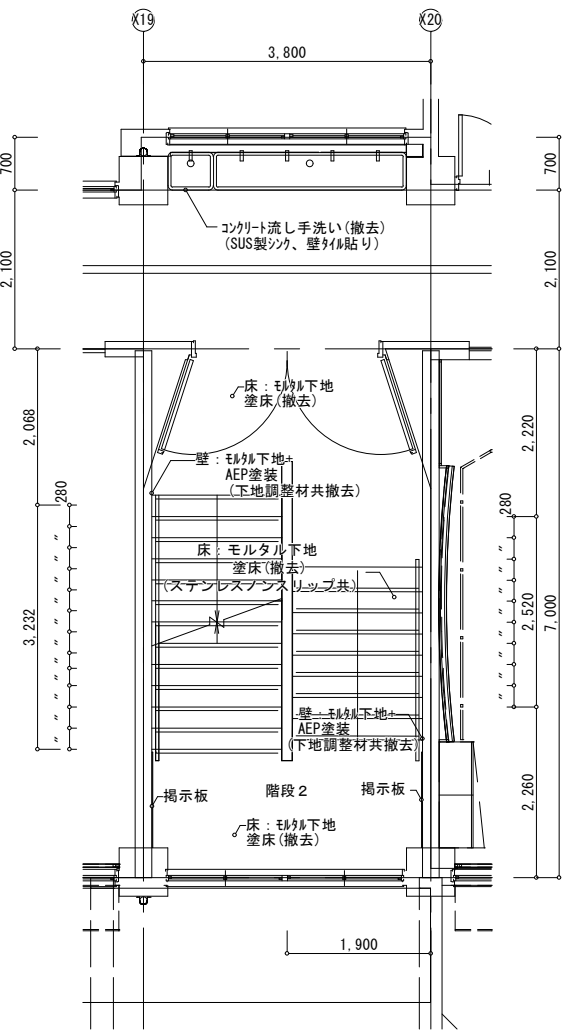
改修前 1階階段平面詳細図 (X19?20)



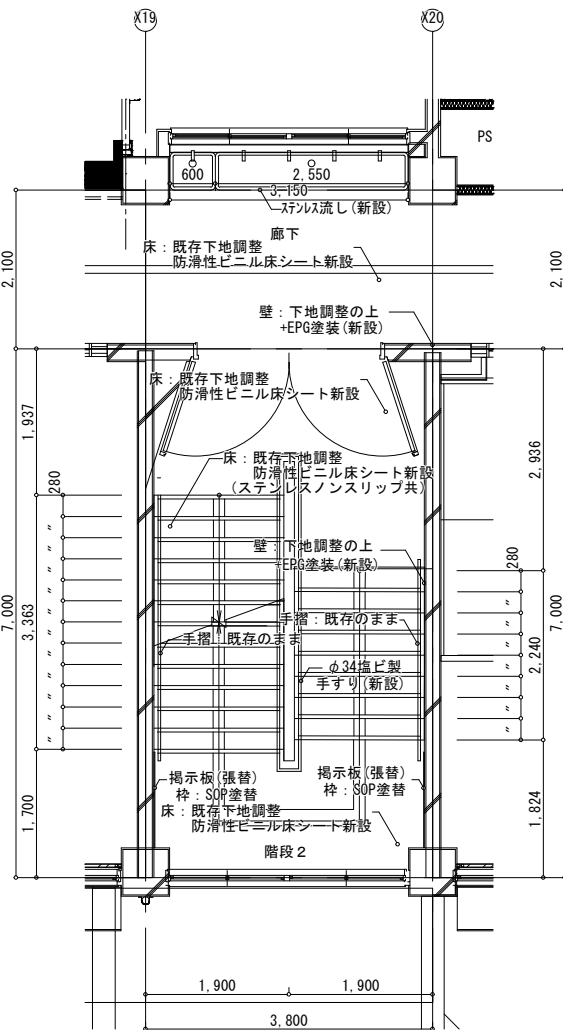
改修後 1階階段平面詳細図 (X19?20)

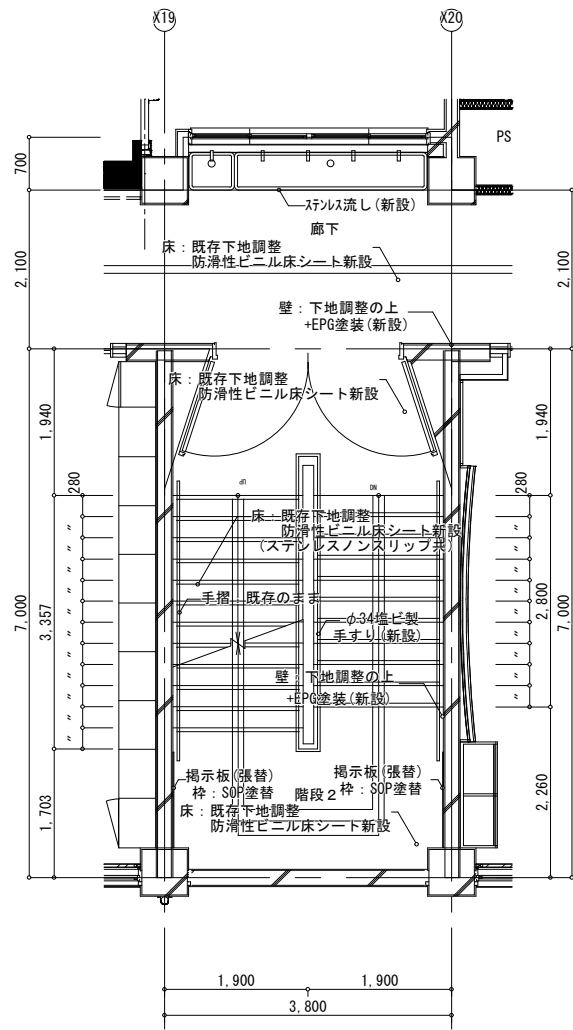
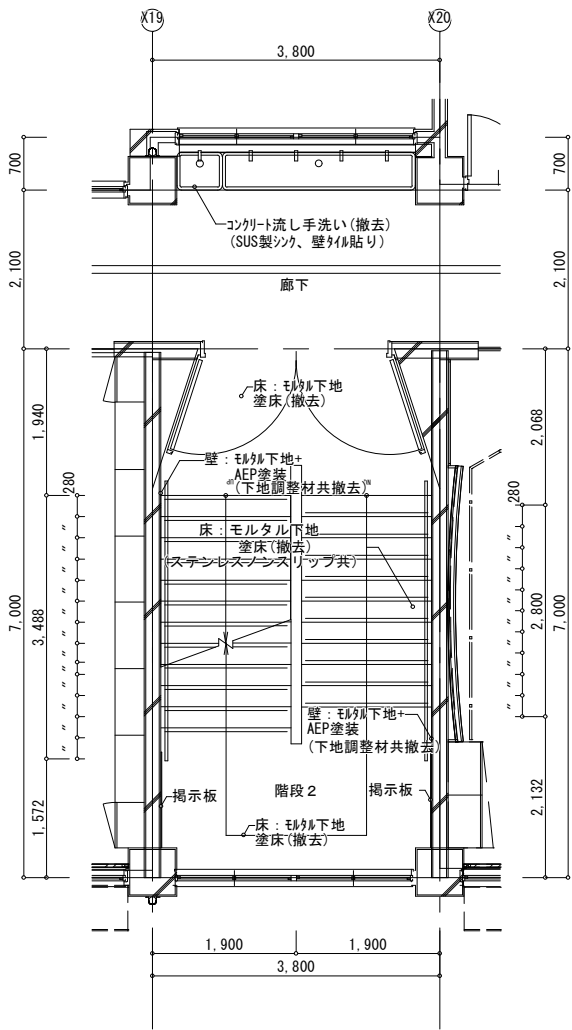


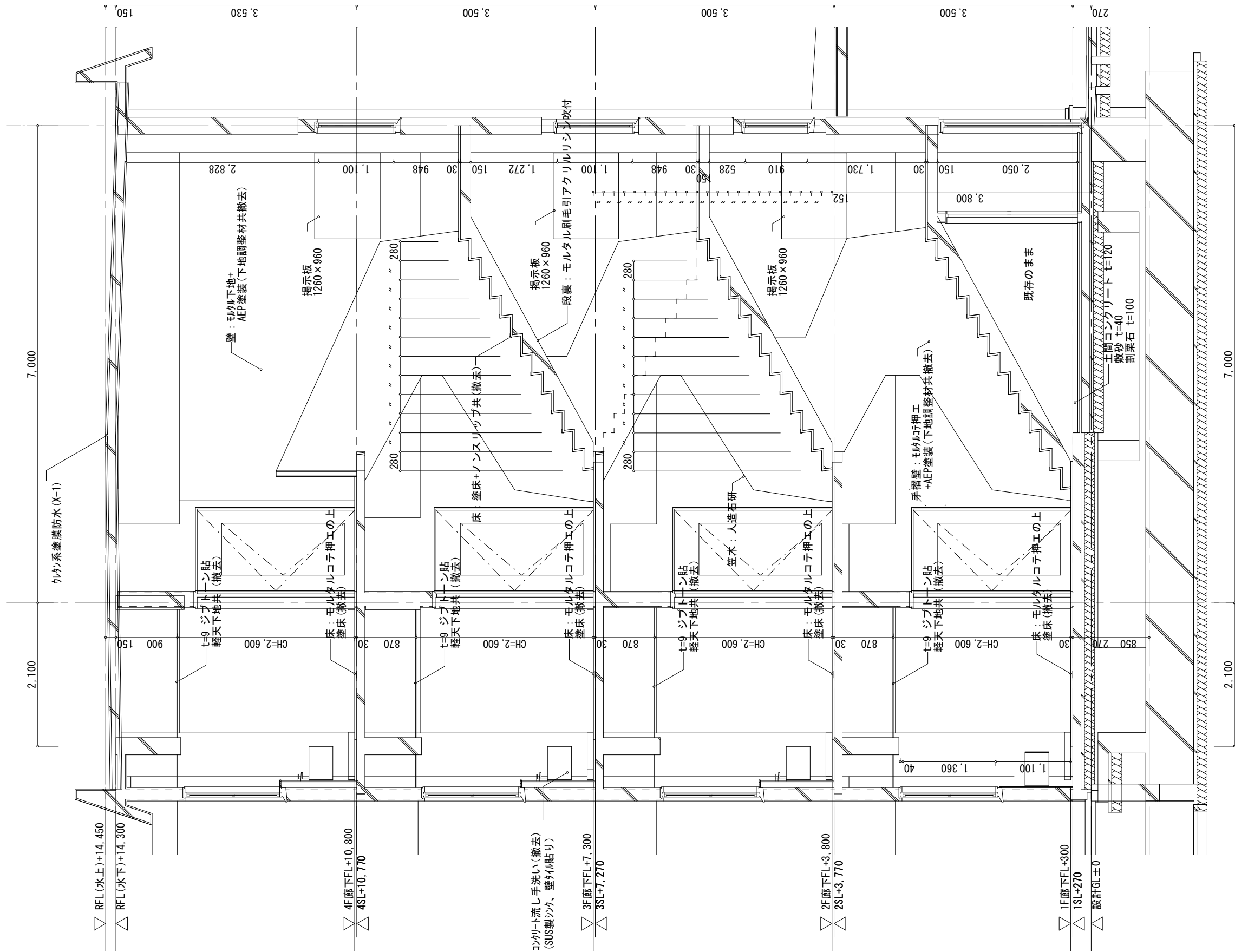
改修前 2階階段平面詳細図 (X19?20)



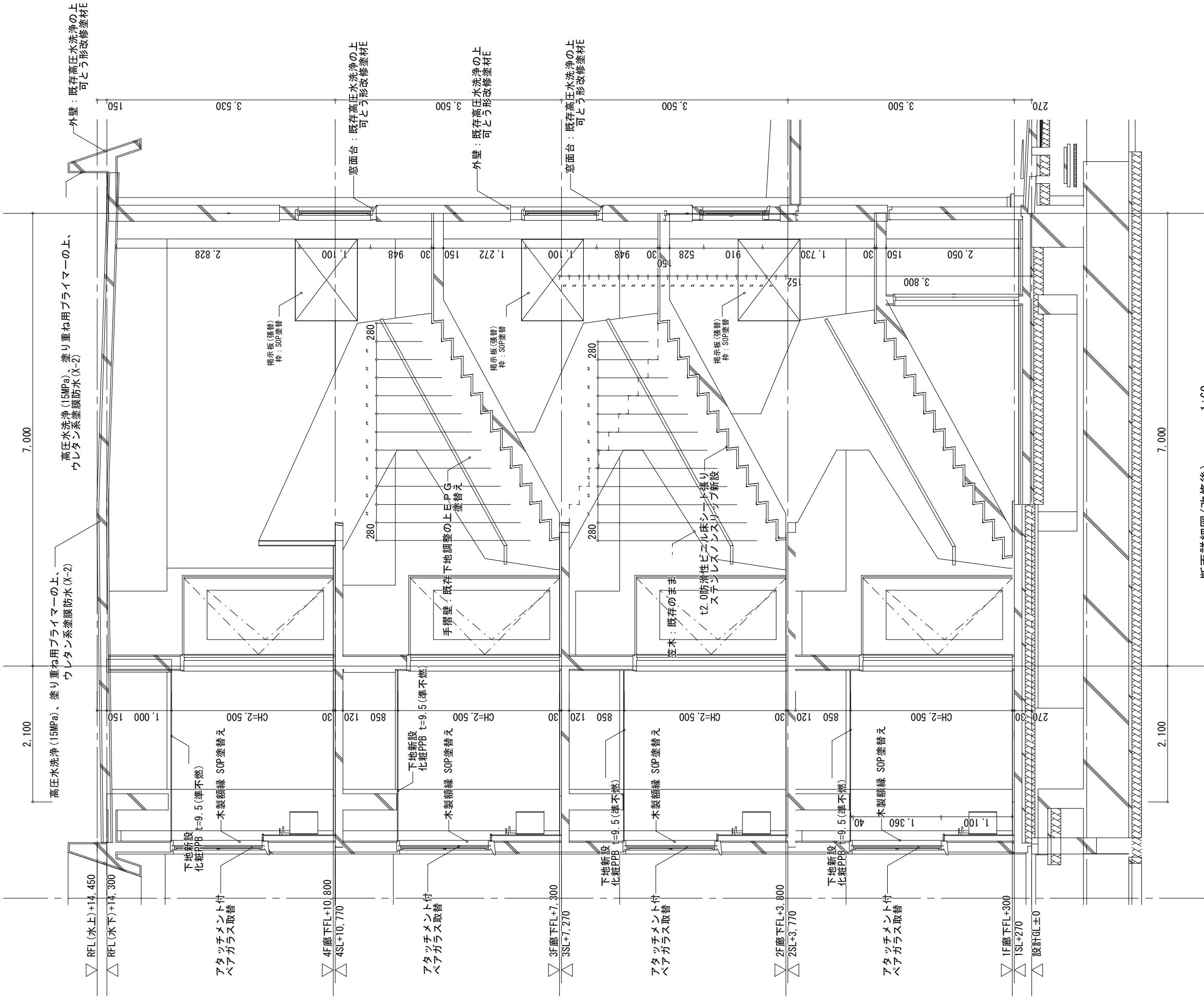
改修後 2階階段平面詳細図 (X19?20)

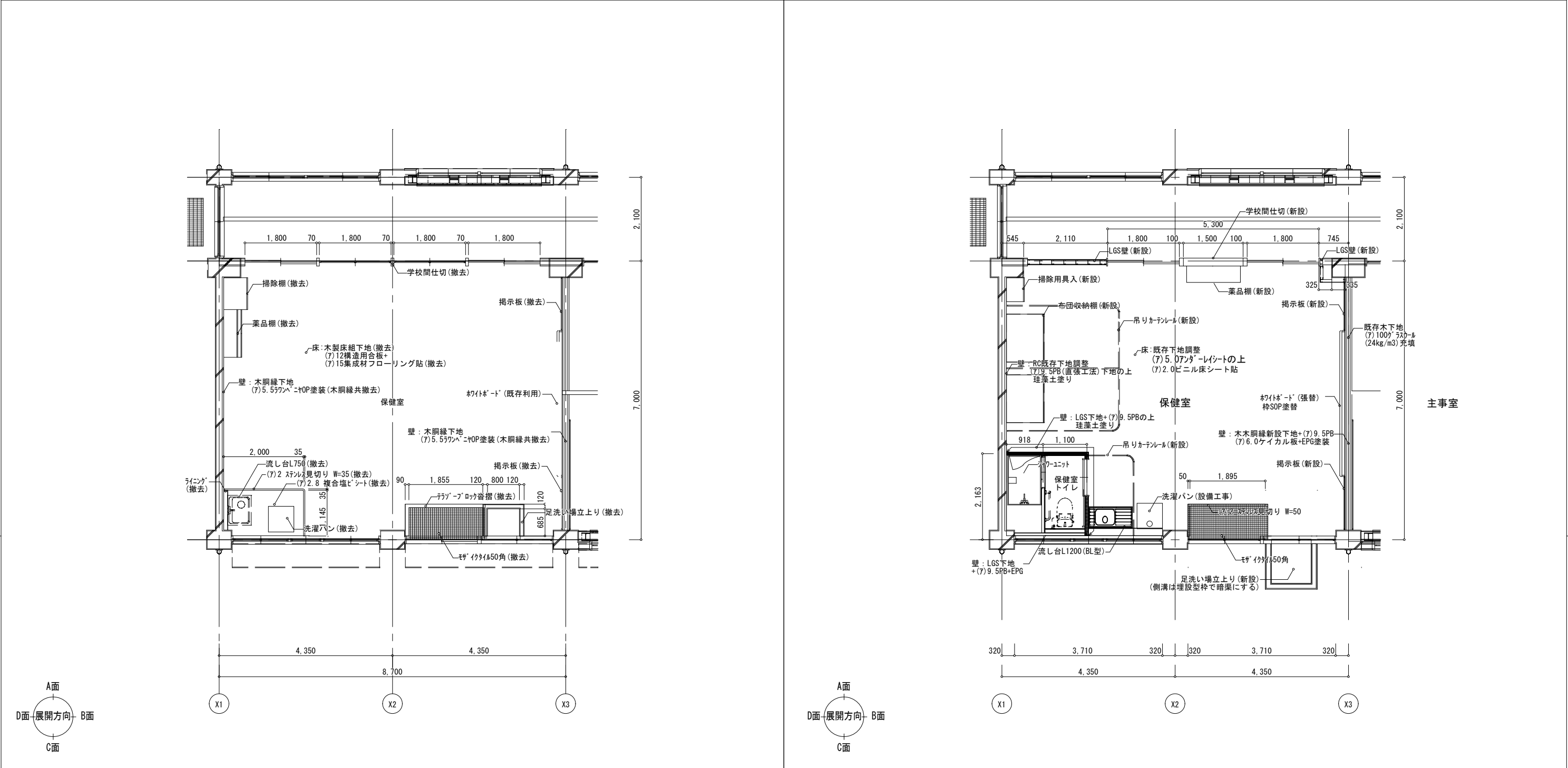






断面詳細図(改修前) 1:60





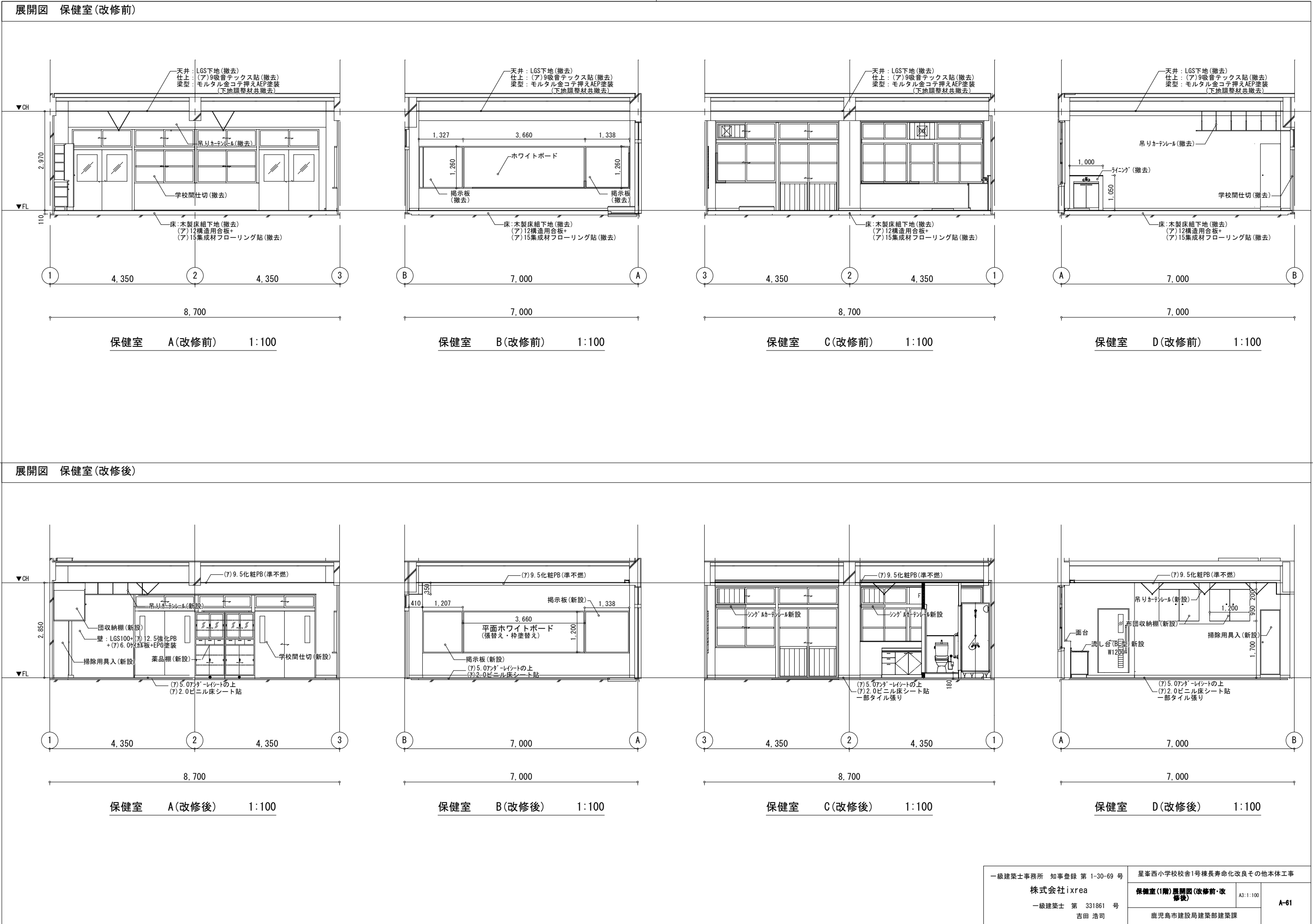
室名		保健室		
天井	下地	LGS(撤去)		
	仕上	(7)9吸音テックス貼(撤去)		
壁	梁型	珪藻土コテ押えAEP塗装(下地調整材共撤去)		
	展開	下地	仕上	
	A面	RC	木胴縁下地、(7)5.55ワンペニヤOP塗装(木胴縁共撤去)	
		W	(7)5.55ワンペニヤOP塗装(間仕切共撤去)	
		B面	W	木胴縁下地、(7)5.55ワンペニヤOP塗装(木胴縁共撤去)
		C面	RC	珪藻土コテ押えAEP塗装(下地調整材共撤去)
D面	RC	木胴縁下地、(7)5.55ワンペニヤOP塗装(木胴縁共撤去)、一部100角タイル(撤去)		
柱型	RC	珪藻土コテ押えAEP塗装(下地調整材共撤去)		
巾木	仕上	木製巾木OP塗装(下地調整材共撤去)		
床	下地	木製床組下地(撤去)		
	仕上	(7)12構造用合板+(7)15集成材フローリング貼(撤去)、一部50角タイル(撤去)		
備考	撤去	掲示板、掃除具入、薬品棚、カーテンボックス、吊りカーテンレール		
	流し台、足洗い場			
	既存流用	ホワイトボード、落下防止手すり		

室名		保健室	
天井	下地	LGS	
	仕上	(7)9.5化粧PB(準不燃)	
	梁型	既存下地調整の上EPG塗装	
壁	展開	下地	仕上
	A面	RC	新設壁：LGS100下地+(7)12.5強化石膏ボード+(7)6ケイカル板+EPG塗装
	B面	W	壁：木胴縁新設下地+(7)9.5PB+(7)6.0ケイカル板+EPG塗装
	C面	RC	壁：既存下地調整の上、EPG塗装
	D面	RC	壁：(7)9.5PB(直張工法)下地の上珪藻土塗り
	柱型	RC	壁：既存下地調整の上、EPG塗装
巾木	仕上	ビニル巾木H=75	
床	下地	既存下地調整	
	仕上	(7)5.07ワンペニヤOP塗装の上(7)2.0ビニル床シート貼、一部タイル張り	

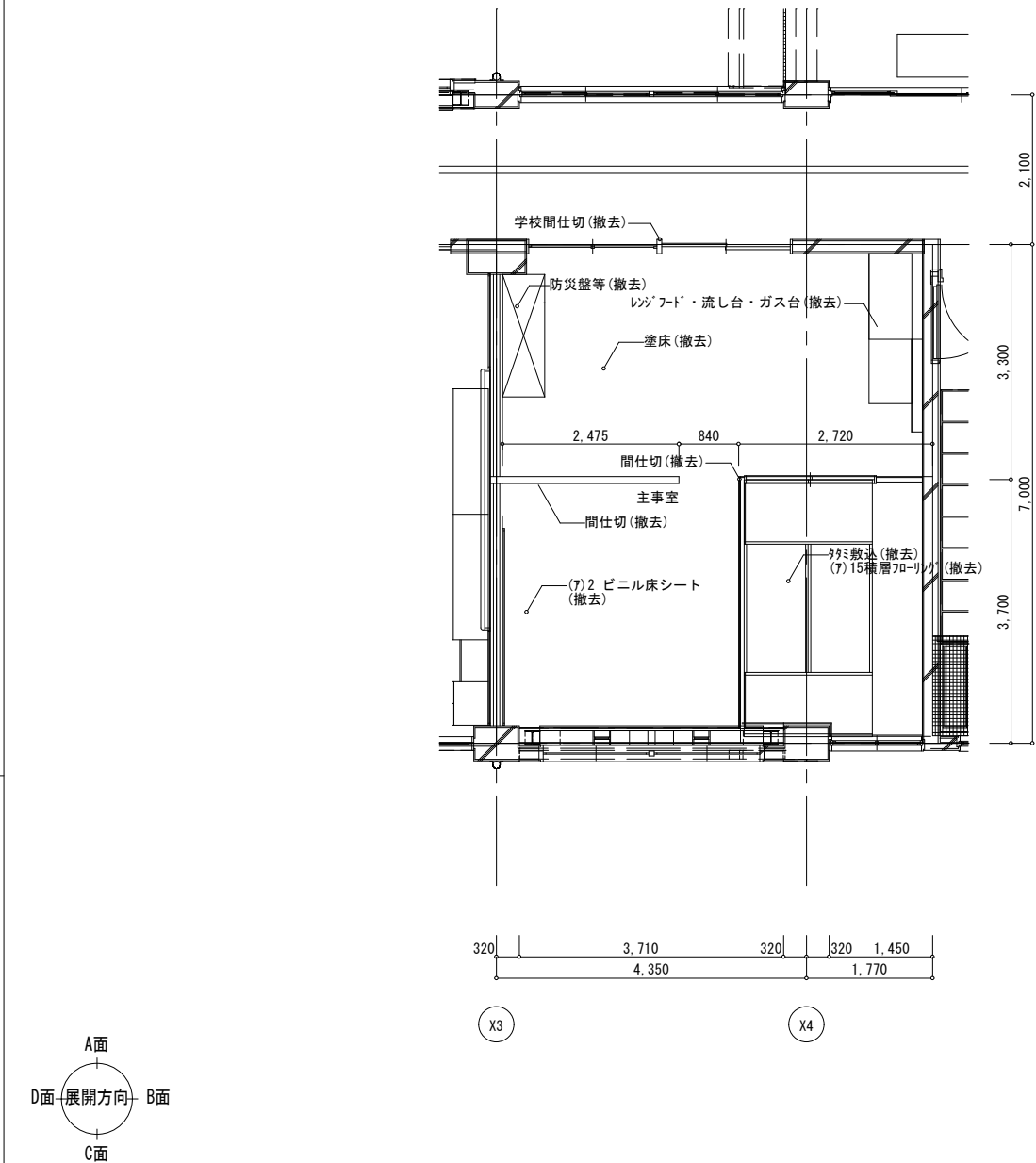
室名		保健室トイレ	
天井	下地	LGS	
	仕上	(7)9.5化粧PB(準不燃)	
壁	下地	LGS(W=65)+(7)9.5耐水PB	
	仕上	壁：(7)6.0ケイカル板目透し張り+EPG塗装	
巾木	仕上	床シート巻上げ H=100	
床	下地	乾式二重床組+t15耐水構造用合板+t12耐水合板	
	仕上	(7)2.0ビニル床シート(トイレ用)	

備考			
備品	新設	室名札、薬品棚、掃除具入、吊りカーテンレール、布団棚	
		洗し台(BL型)、洗濯機パン(設備工事)、掲示板、足洗場	
		シャワーユニット	
	流用	ホワイトボード(一時撤去、復旧・枠塗替え)	

一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号		星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事	
株式会社ixrea		保健室(1階)平面詳細図(改修前・改修後)	A3:1:100
一級建築士 第 331861 号			
吉田 浩司		鹿児島市建設局建築部建築課	

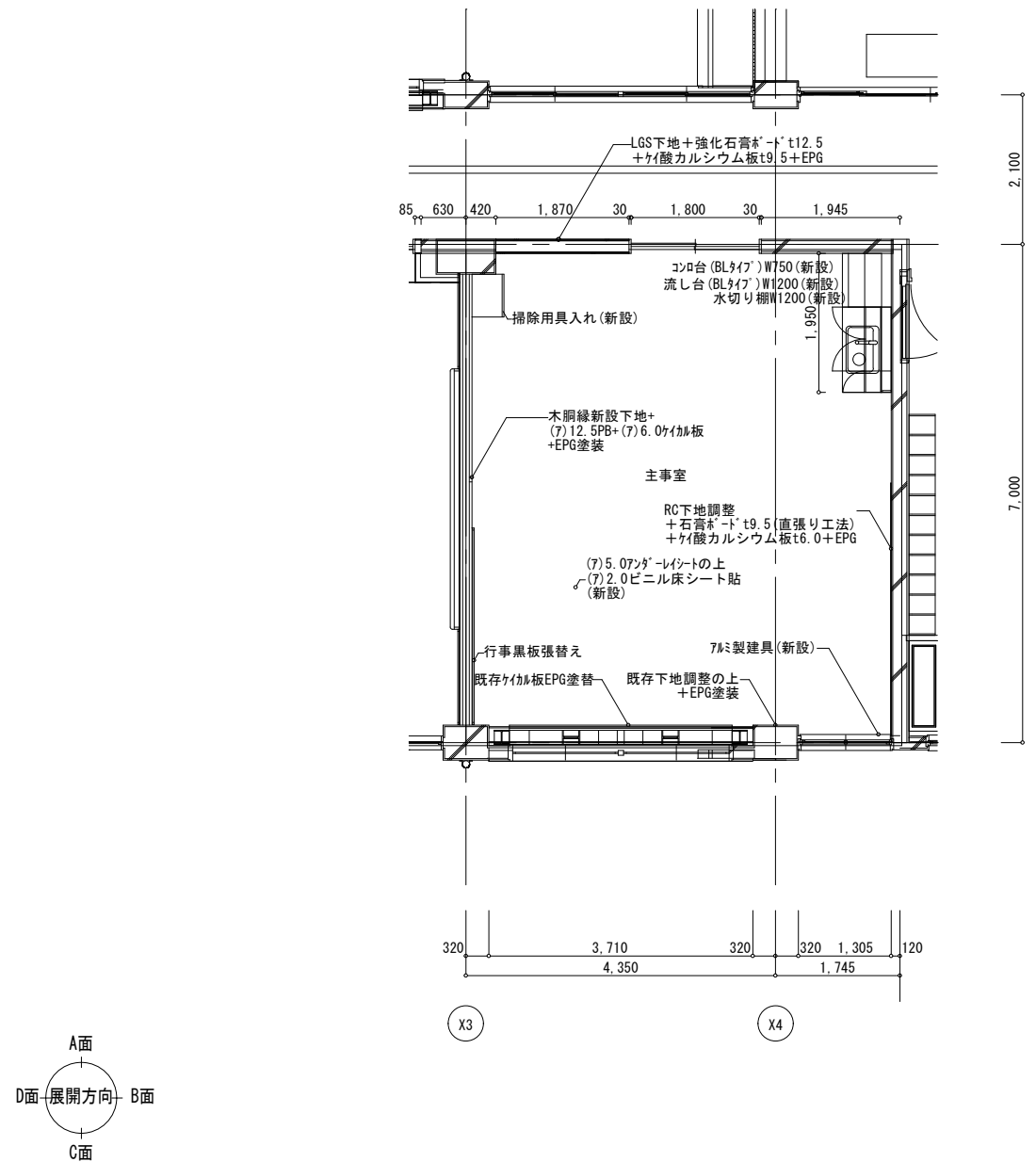


改修前 主事室(1階) 平面詳細図



室名	主事室		
天井	下地	LGS(撤去)	
	仕上	(7)9吸音テックス貼(撤去)、杉桎ﾌﾟﾘﾝﾄﾍﾞﾆｱ(撤去)	
	梁型	ﾎﾙﾀﾙ金ｺﾃ押えAEP塗装(下地調整材共撤去)	
壁	展開	下地	仕上
	A面	RC	木胴縁下地、(7)5.5ﾌﾗﾝﾍﾞﾆｱOP塗装(木胴縁共撤去)、一部100角ﾀｲﾙ(撤去)
		W	(7)5.5ﾌﾗﾝﾍﾞﾆｱOP塗装(間仕切共撤去)
	B面	W	木胴縁下地、(7)5.5ﾌﾗﾝﾍﾞﾆｱOP塗装(木胴縁共撤去)、一部100角ﾀｲﾙ(撤去)
	C面	RC	ﾎﾙﾀﾙ金ｺﾃ押えAEP塗装(下地調整材共撤去) 耐震補強部:LGS下地+ﾀｲｶﾙt8+t8
	D面	W	木胴縁下地、(7)5.5ﾌﾗﾝﾍﾞﾆｱOP塗装(木胴縁共撤去)
	柱型	RC	ﾎﾙﾀﾙ金ｺﾃ押えAEP塗装(下地調整材共撤去)
巾木	和室	RC・W	木胴縁下地、ﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ下地ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り、ｼｬｸｻﾅﾝ吹付(撤去)、一部ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼り
	仕上	ﾎﾙﾀﾙｺﾃ押えAEP塗装(下地調整材共撤去)、100角ﾀｲﾙ(撤去)、畳寄(撤去)	
床	下地	ﾎﾙﾀﾙ+木製床組下地(撤去)	
	仕上	塗装、一部ﾀﾏﾞ敷込、(7)15積層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(撤去)	
備考	撤去	室名札、ｽﾃﾝﾚｽ水切柵、ｽﾃﾝﾚｽｺﾝﾁ、ｽﾃﾝﾚｽ流台、吊戸棚、ｽﾃﾝﾚｽﾌｰﾄﾞ、ｶｰﾃﾝBOX	
	既存流用	行事黒板	

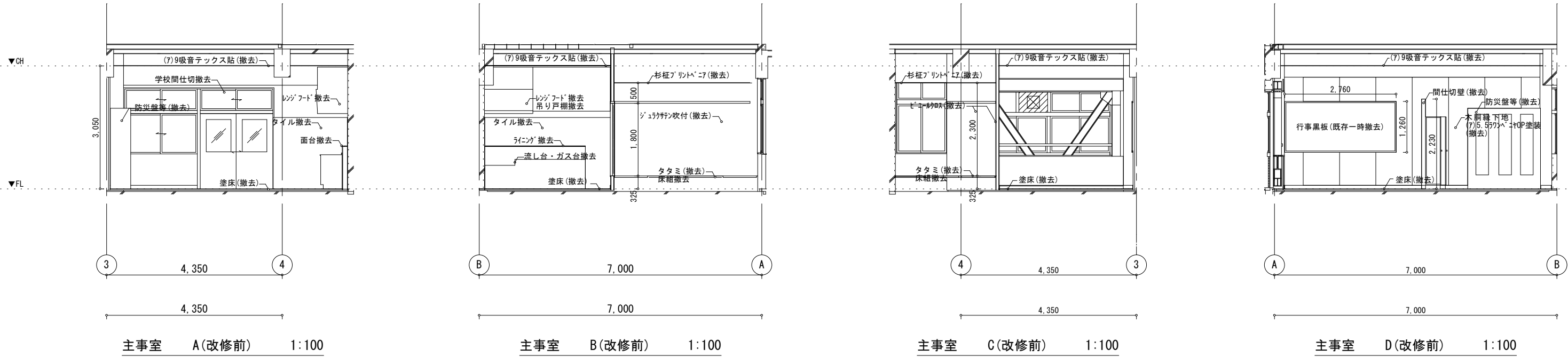
改修後 主事室(1階) 平面詳細図



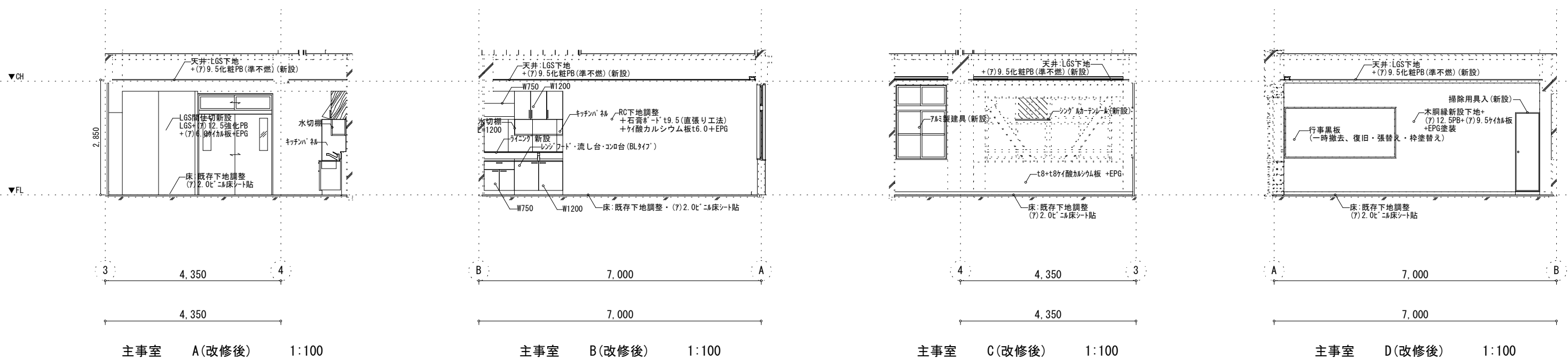
室名		主事室	
天井	下地	LGS	
	仕上	(7) 9. 5化粧PB(準不燃)	
	梁型	既存下地調整の上EPG塗装	
壁	展開	下地	仕上
	A面	RC	壁 : LGS(W=100)下地新設+(7) 9. 5PB+(7) 6. 0㌦ｲﾙ板+EPG塗装 (7) 9. 5PB(直張工法)+(7) 6. 0㌦ｲﾙ板+EPG塗装
	B面	RC	壁 : (7) 9. 5PB(直張工法)+(7) 6. 0㌦ｲﾙ板+EPG塗装
	C面	RC	壁 : (7) 9. 5PB(直張工法)+(7) 6. 0㌦ｲﾙ板+EPG塗装 耐震補強部: t8+t8㌦ｲﾙ酸ｶﾙｼｳﾑ板 +EPG塗替え
	D面	W	壁 : 木胴縁新設下地+(7) 12. 5PB+(7) 6. 0㌦ｲﾙ板+EPG塗装
	柱型	RC	壁 : 既存下地調整の上、EPG塗装
巾木	仕上	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=75	
床	下地	既存下地調整	
	仕上	(7) 2. 0ﾋﾞﾆﾙ床シート貼	

備考			
備品	新設	室名札、掃除具入、レンジフード・流し台W1200・コンロ台W750(BLﾀｲﾌﾟ)	
	流用	水切り柵W1200、面台、吊戸棚、ﾌﾙﾐ製ｶｰﾃﾝBOX	
		行事黒板	

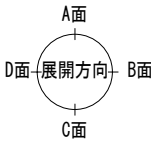
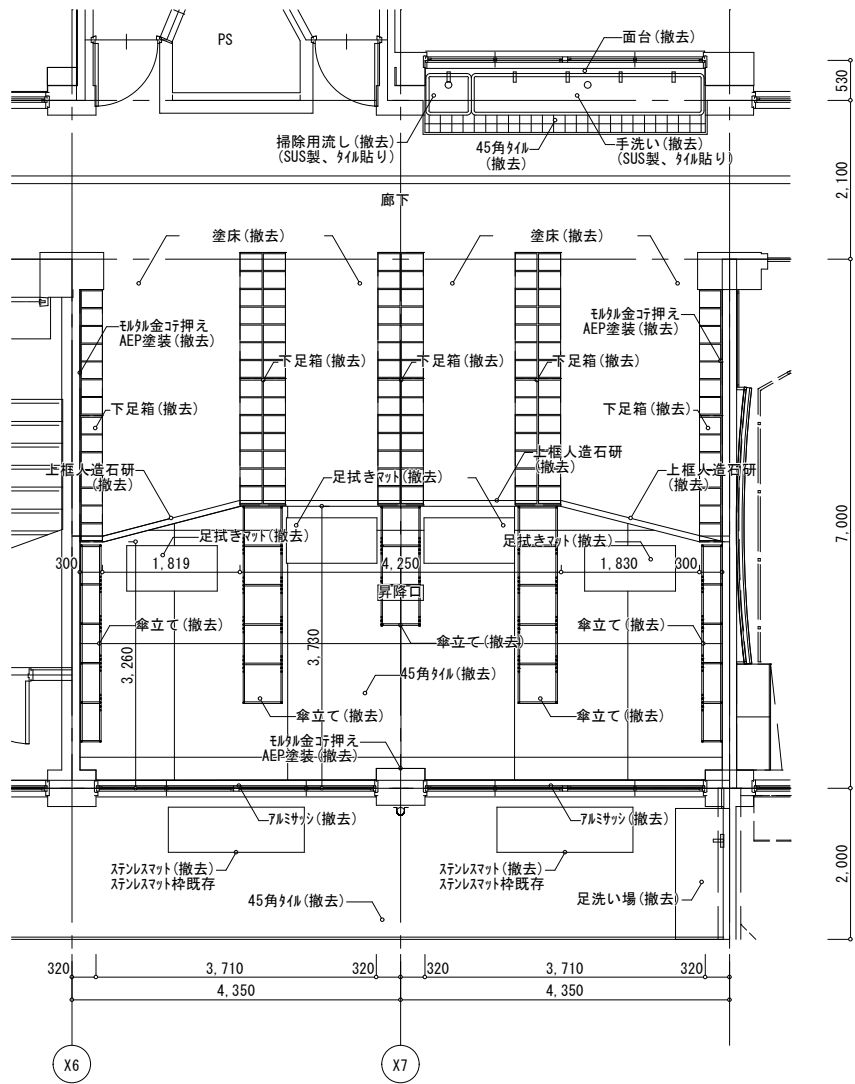
展開図 主事室(改修前)



展開図 主事室(改修後)

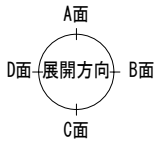
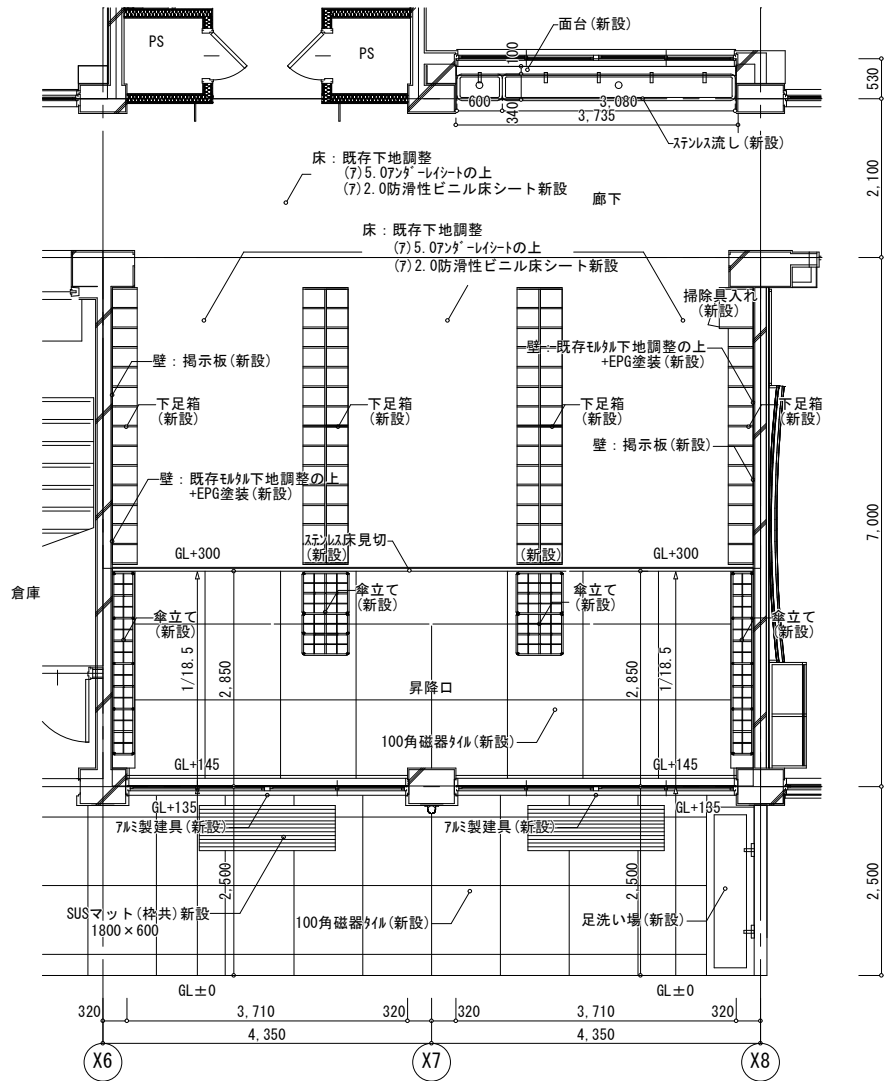


改修前 昇降口 (X6?8) 平面詳細図



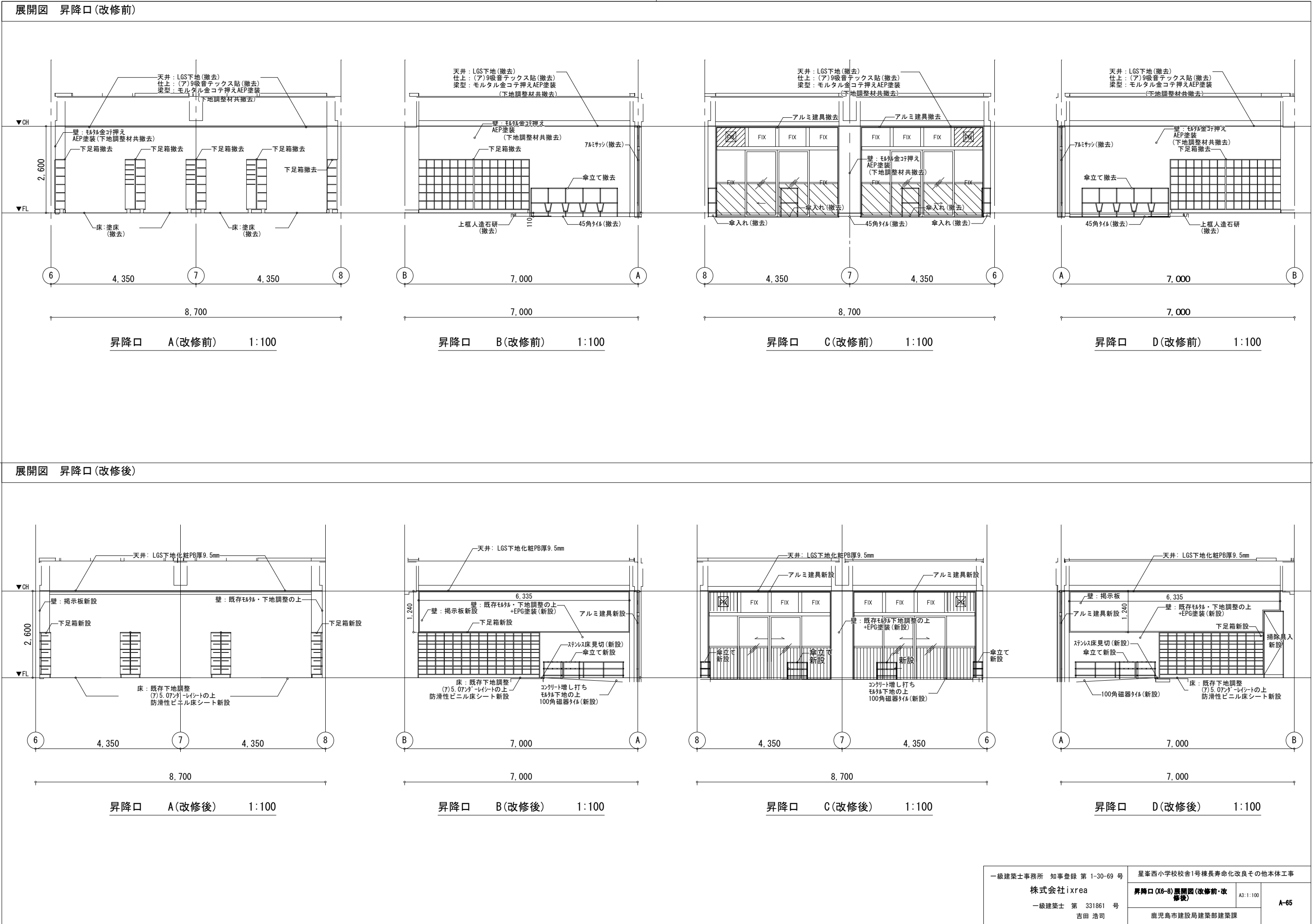
室名	昇降口	
天井	下地	LGS (撤去)
	仕上	(7)9吸音テックス貼 (撤去)
	梁型	モルタル金コテ押えAEP塗装 (下地調整材共撤去)
壁	展開	下地 仕上
	A面	RC モルタル金コテ押えAEP塗装 (下地調整材共撤去)
	B面	RC モルタル金コテ押えAEP塗装 (下地調整材共撤去)
	C面	RC
	D面	RC モルタル金コテ押えAEP塗装 (下地調整材共撤去)
	柱型	RC モルタル金コテ押えAEP塗装 (下地調整材共撤去)
巾木	仕上	モルタルコテ押え、45角タイル (撤去)
床	下地	モルタル下地
	仕上	45角タイル (下地共撤去)、一部塗床 (撤去)
備考	撤去	下足入、スチール傘立て

改修後 昇降口 (X6?8) 平面詳細図



室名	昇降口	
天井	下地	LGS
	仕上	(7)9.5化粧PB (準不燃)
	梁型	既存モルタル下地調整の上EPG塗装
壁	展開	下地 仕上
	A面	RC 壁 : 既存モルタル下地調整の上EPG塗装
	B面	RC 壁 : 既存モルタル下地調整の上EPG塗装、掲示板
	C面	RC 壁 : 既存モルタル下地調整の上EPG塗装、掲示板
	D面	RC 壁 : 既存モルタル下地調整の上EPG塗装
	柱型	RC 壁 : 既存モルタル下地調整の上EPG塗装
巾木	仕上	ビニル巾木
床	下地	既存下地調整
	仕上	防滑性ビニル床シート張、一部コンクリート打設、モルタル下地の上100角タイル張

備考		
備品	新設	下足箱、傘立て、掲示板
	流用	



展開図 昇降口(改修後)

天井：LGS下地化粧PB厚9.5mm

壁：揭示板新設

下足箱新設

下足箱新設

床：既存下地調整(ア)5.07アンダーレイトの上
防滑性ビニル床シート新設

昇降口 A(改修後) 1:100

天井：LGS下地化粧PB厚9.5mm

壁：揭示板新設

下足箱新設

アルミ建具新設

ステンレス床見切(新設)

傘立て新設

床：既存下地調整(ア)5.07アンダーレイトの上
防滑性ビニル床シート新設

コンクリート増し打ち
モルタル下地の上
100角磁器タイル(新設)

昇降口 B(改修後) 1:100

天井：LGS下地化粧PB厚9.5mm

アルミ建具新設

アルミ建具新設

FIX

FIX

FIX

FIX

FIX

FIX

傘立て新設

傘立て新設

傘立て新設

コンクリート増し打ち
モルタル下地の上
100角磁器タイル(新設)

昇降口 C(改修後) 1:100

天井：LGS下地化粧PB厚9.5mm

壁：揭示板

アルミ建具新設

壁：既存モルタル・下地調整の上
+EPG塗装(新設)

下足箱新設

ステンレス床見切(新設)

傘立て新設

100角磁器タイル(新設)

床：既存下地調整(ア)5.07アンダーレイトの上
防滑性ビニル床シート新設

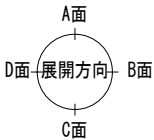
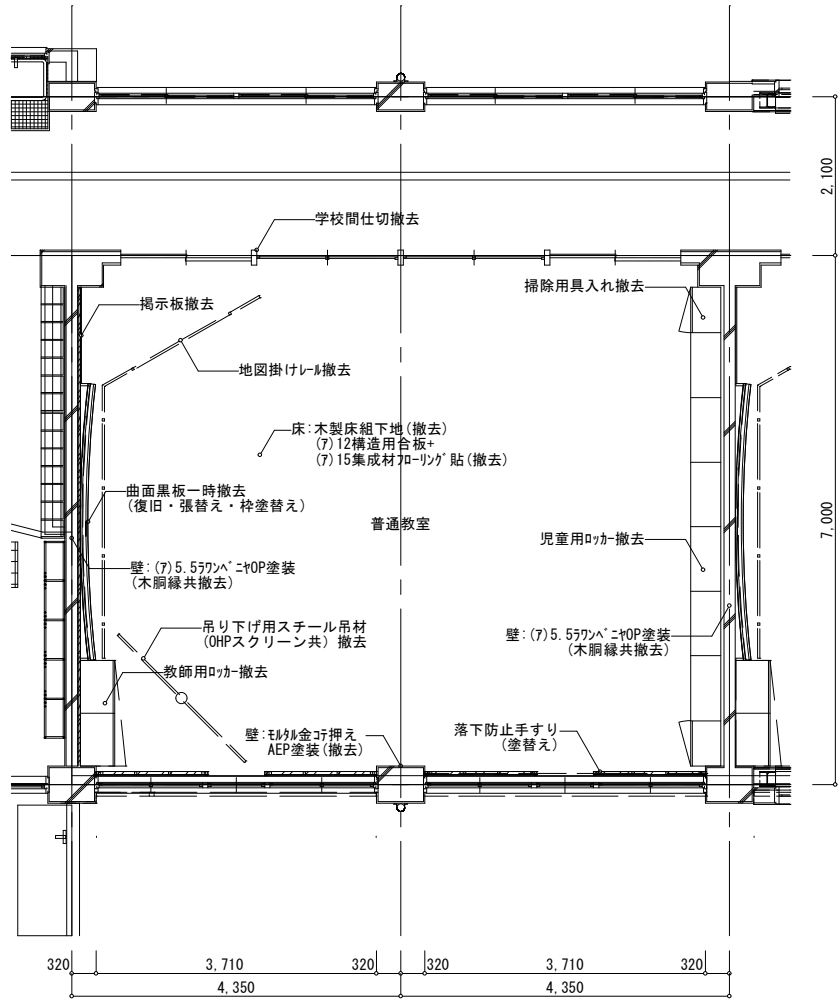
掃除具入新設

昇降口 D(改修後) 1:100

一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号
株式会社ixrea
一級建築士 第 331861 号
吉田 浩司

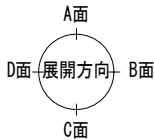
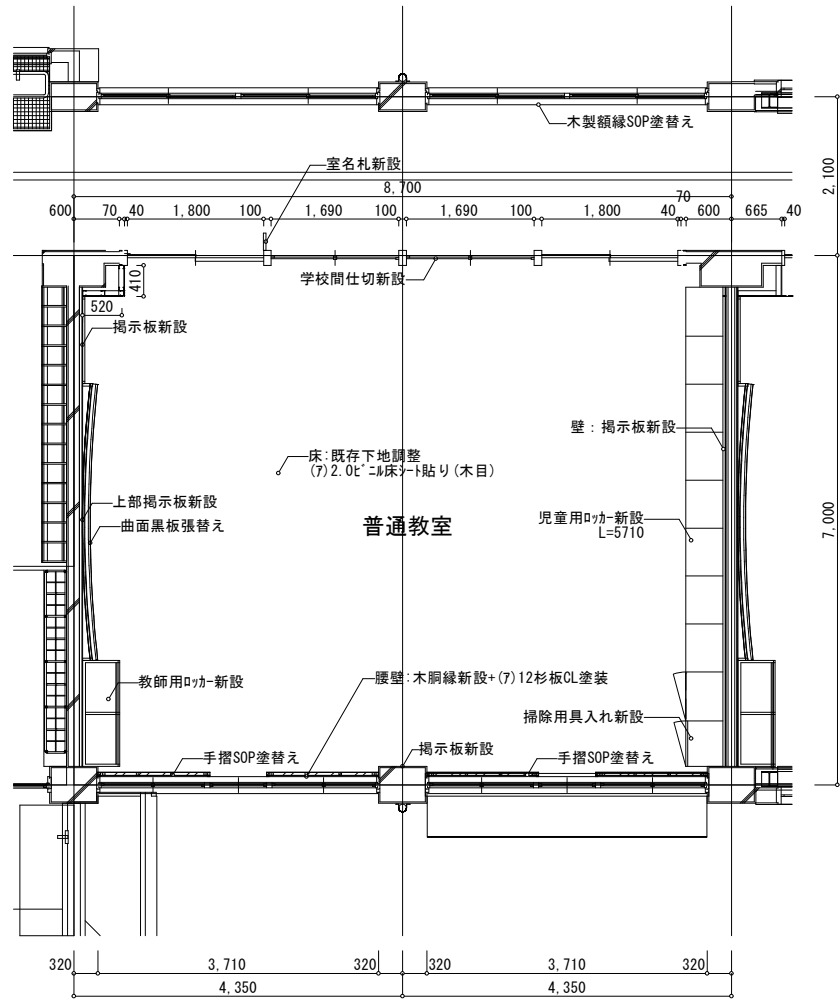
星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事
昇降口(X6-8)展開図(改修前・改修後)
A3:1:100
A-65
鹿児島市建設局建築部建築課

改修前 1・3・4階 普通教室(X1?12) 平面詳細図



室名	普通教室	
天井	下地	LGS(撤去)
	仕上	(7)9吸音テックス貼(撤去)
	梁型	珪藻土コテ押えAEP塗装(下地調整材共撤去)
壁	展開	下地 仕上
	A面	RC 木胴縁下地, (7)5.5ラワンベニヤOP塗装(木胴縁共撤去)
	W	(7)5.5ラワンベニヤOP塗装(間仕切共撤去)
	B面	RC 木胴縁下地, (7)5.5ラワンベニヤOP塗装(木胴縁共撤去)
	C面	RC 珪藻土コテ押えAEP塗装
	D面	RC 木胴縁下地, (7)5.5ラワンベニヤOP塗装(木胴縁共撤去)
巾木	仕上	木製巾木OP塗装(撤去)
	下地	木製床組下地(撤去)
床	仕上	(7)12構造用合板+(7)15集成材フローリング貼(撤去)
	撤去	掲示板、掃除具入、ロッカー、木製カーテンボックス、地図掛けレール
	備考	吊り下げ用スチール吊材(OHPスクリーン共)
備考	既存流用	曲面黒板、落下防止手すり(2・3・4階)

改修後 1・3・4階 普通教室(X1?12) 平面詳細図



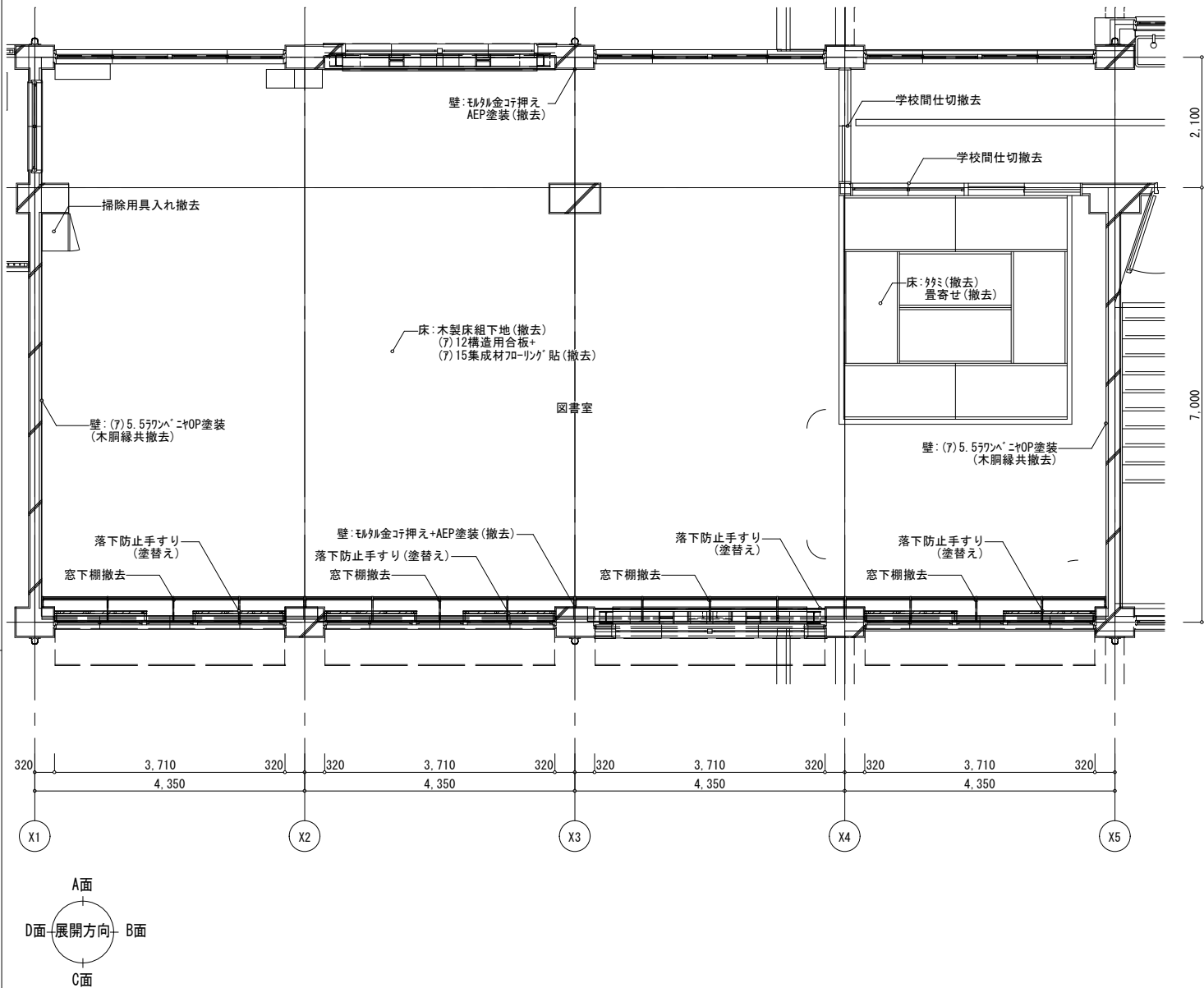
室名	普通教室	
天井	下地	LGS
	仕上	(7)9.5化粧PB(準不燃)
	梁型	既存下地調整の上EPG塗装
壁	展開	下地 仕上
	A面	RC 壁 : 既存下地調整の上EPG塗装
	S	壁 : (7)12.5強化PB+(7)6.0ケイカル板EPG塗装
	B面	RC 壁 : 既存下地調整+EPG塗装、掲示板、木胴縁新設下地, (7)12杉板CL塗装
	C面	RC 腰壁 : 木胴縁新設下地, (7)12杉板CL塗装
	D面	RC 腰壁 : LGS下地, (7)12杉板CL塗装
	柱型	RC 既存下地調整の上EPG塗装 一部掲示板
		腰壁 : 木胴縁新設下地, (7)12杉板CL塗装
巾木	仕上	木製巾木 H=90 CL塗装
床	下地	既存下地調整
	仕上	(7)2.0cm床シート貼(木目調) 1階は(7)5.0cm床シートの上

備考		
備品	新設	室名札、掲示板、児童用ロッカー、教師用ロッカー
		掃除具入れ、カーテンレール、アルミ製カーテンボックス
	流用	曲面黒板(一時撤去、復旧・張替え・枠塗装替え)※RC下地の場合取外し不要
		落下防止手すり(塗替え)

一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号		星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事		
株式会社ixrea		普通教室(1・3・4階X1-12) 平面詳細図(改修前・改修後)		A3:1:100 A-66
一級建築士 第 331861 号				
吉田 浩司		鹿児島市建設局建築部建築課		

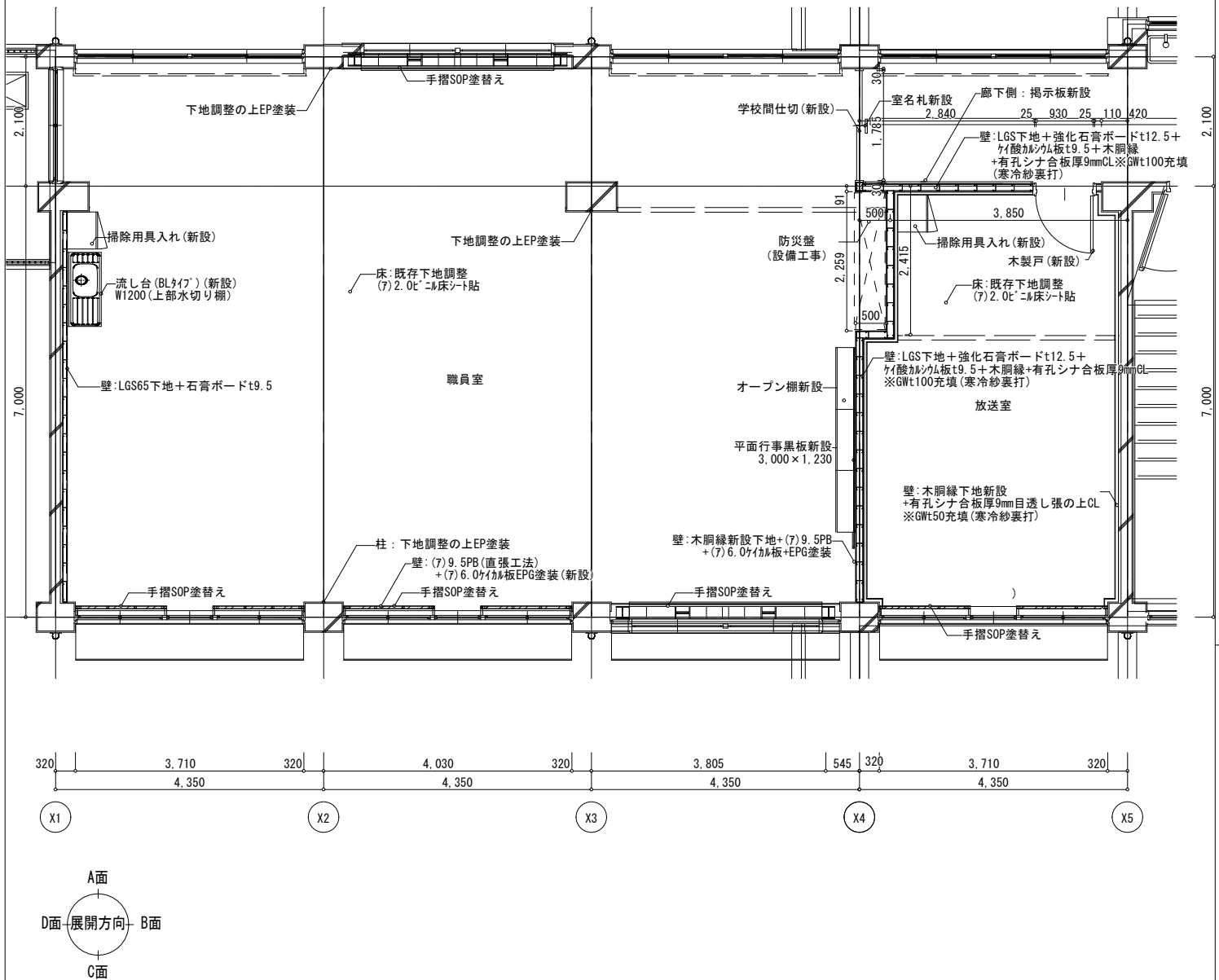


改修前 図書室 平面詳細図



図書室	
天井	下地 LGS(撤去) 仕上 (7)9吸音テックス貼(撤去) 梁型 めがし金コテ押えAEP塗装(下地調整材共撤去)
壁	展開 下地 仕上
	A面 RC めがし金コテ押えAEP塗装(下地調整材共撤去)
	W (7)5.5ラワンベニヤOP塗装(間仕切共撤去)
	B面 RC 木胴縁下地, (7)5.5ラワンベニヤOP塗装(木胴縁共撤去)
	C面 RC めがし金コテ押えAEP塗装(下地調整材共撤去)
柱	D面 RC 木胴縁下地, (7)5.5ラワンベニヤOP塗装(木胴縁共撤去)
	柱型 RC めがし金コテ押えAEP塗装(下地調整材共撤去)
巾木	仕上 めがし金コテ押え(撤去)
床	下地 木製床組下地(撤去)
	仕上 (7)12構造用合板+(7)15集成材フローリング貼(撤去)、一部タタミ敷(撤去)
備考	撤去 窓下棚、カーテンBOX、掃除用具入れ
	既存流用 曲面黒板、落下防止手すり

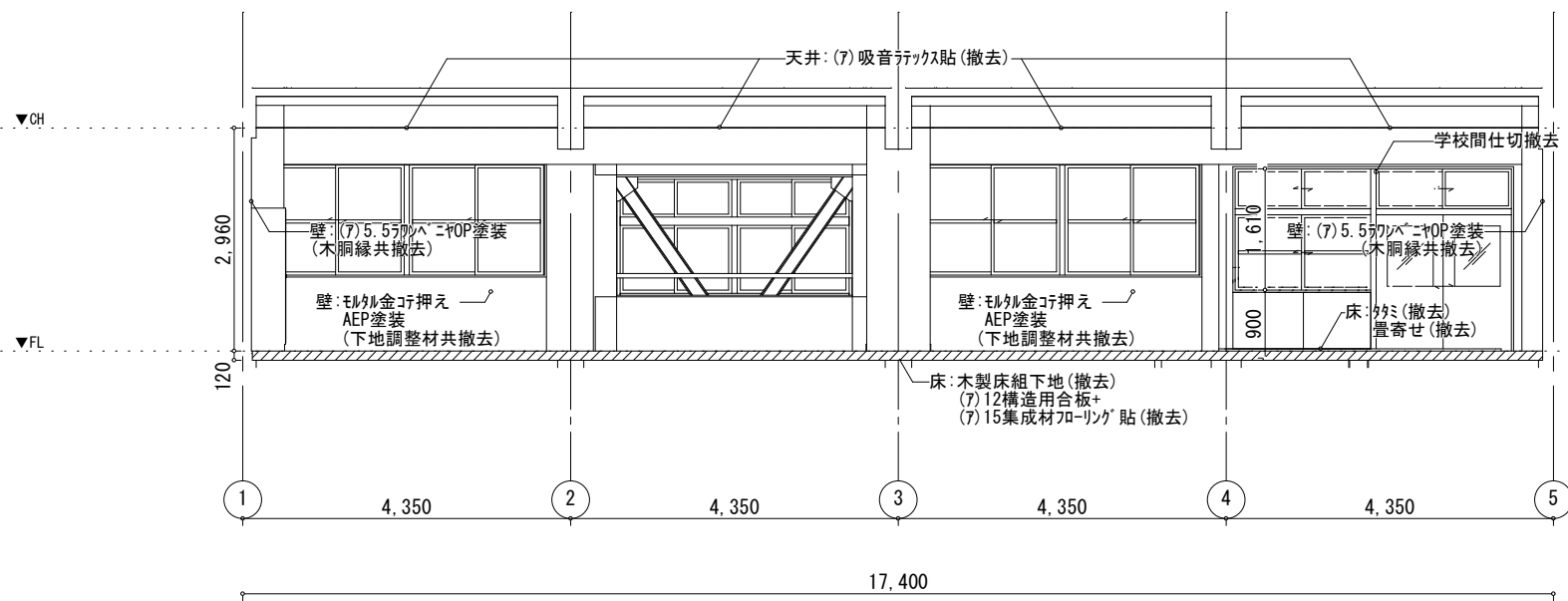
改修後 職員室・放送室 平面詳細図



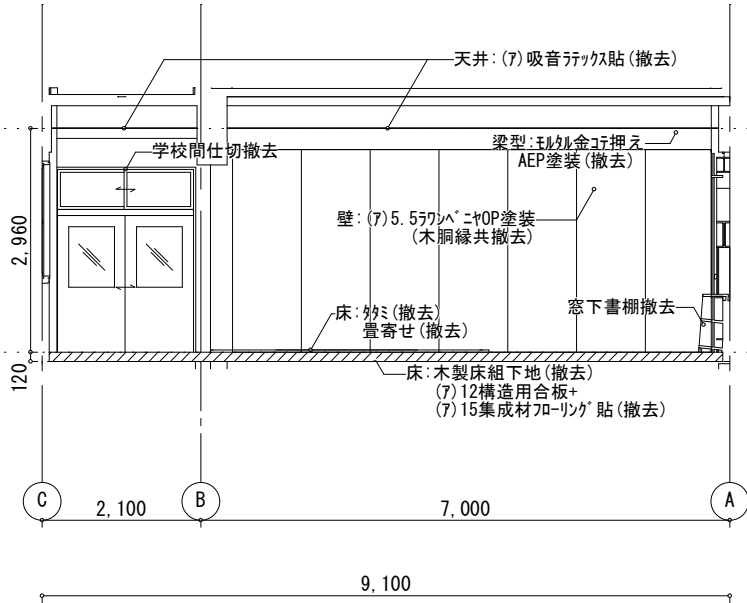
職員室	
天井	下地 LGS 仕上 (7)9.5化粧PB(準不燃) 梁型 既存下地調整の上EPG塗装
壁	展開 下地 仕上 (職員室)
	A面 RC 壁 : 既存下地調整の上、EPG塗装
	B面 RC-W 壁 : 木胴縁新設下地, (7)9.5PB+(7)6.0ケイカル板EPG塗装
	C面 RC 壁 : (7)9.5PB(直張工法)+(7)6.0ケイカル板EPG塗装
	D面 RC 壁 : LGS65下地+石膏ボードt9.5
柱	RC 既存下地調整の上EPG塗装
巾木	仕上 ビニール巾木 H=75
床	下地 既存下地調整
	仕上 (7)2.0ビニール床シート貼
備品	新設 室名札、掃除用具入れ、流し台(BLタイプ)、シンク、カテンレール、アルミ製カーテンボックス、天井点検口(450角)、平面行事黒板、書棚
	流用 落下防止手すり(塗替え)

放送室	
天井	下地 LGS 仕上 PB厚9.5mmの上、岩綿吸音板厚9mm張 梁型 既存下地調整の上EPG塗装
壁	展開 下地 仕上 (放送室)
	A面 RC 壁 : LGS65下地+強化石膏ボードt12.5+けい酸カルシウム板t9.5+木胴縁+有孔シナ合板CL
	B面 RC 壁 : 木胴縁下地新設、有孔シナ合板厚9mm目透し張の上CL
	C面 RC 壁 : 木胴縁下地新設、有孔シナ合板厚9mm目透し張の上CL
	D面 W 壁 : LGS65下地+強化石膏ボードt12.5+けい酸カルシウム板t9.5+木胴縁+有孔シナ合板CL
柱	※(GW厚50mm充填)、寒冷紗裏打
巾木	仕上 木製巾木 H=90+CL
床	下地 既存下地調整
	仕上 (7)2.0ビニール床シート貼
備品	新設 室名札、掃除用具入れ、シンク、カテンレール、アルミ製カーテンボックス、天井点検口(450角)
	流用 落下防止手すり(塗替え)

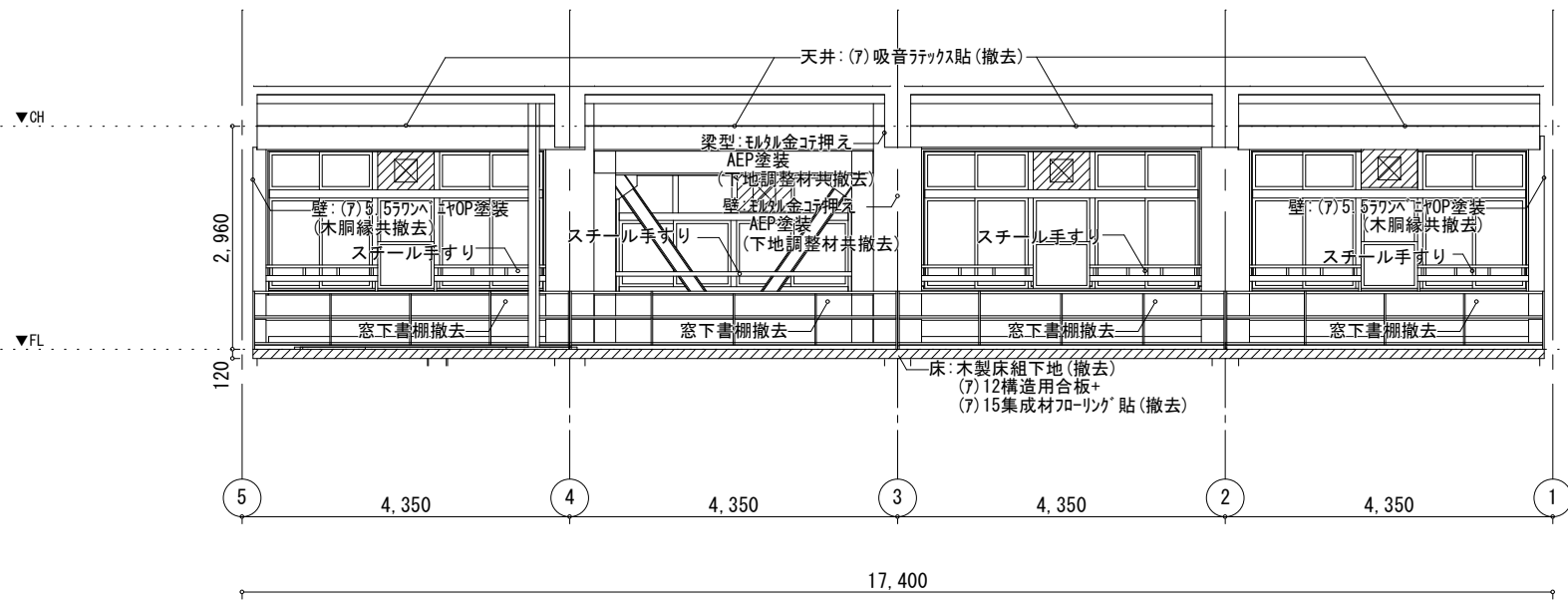
展開図 図書室(改修前)



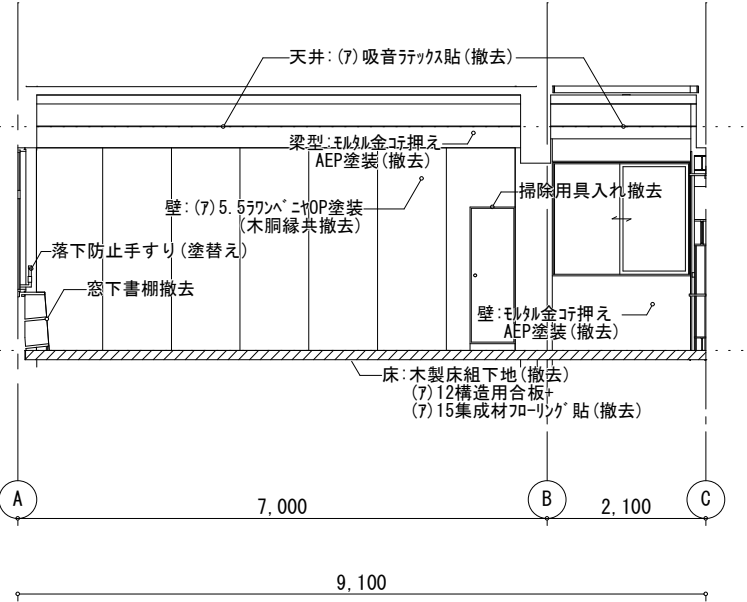
図書室 A(改修前) 1:100



図書室 B(改修前) 1:100

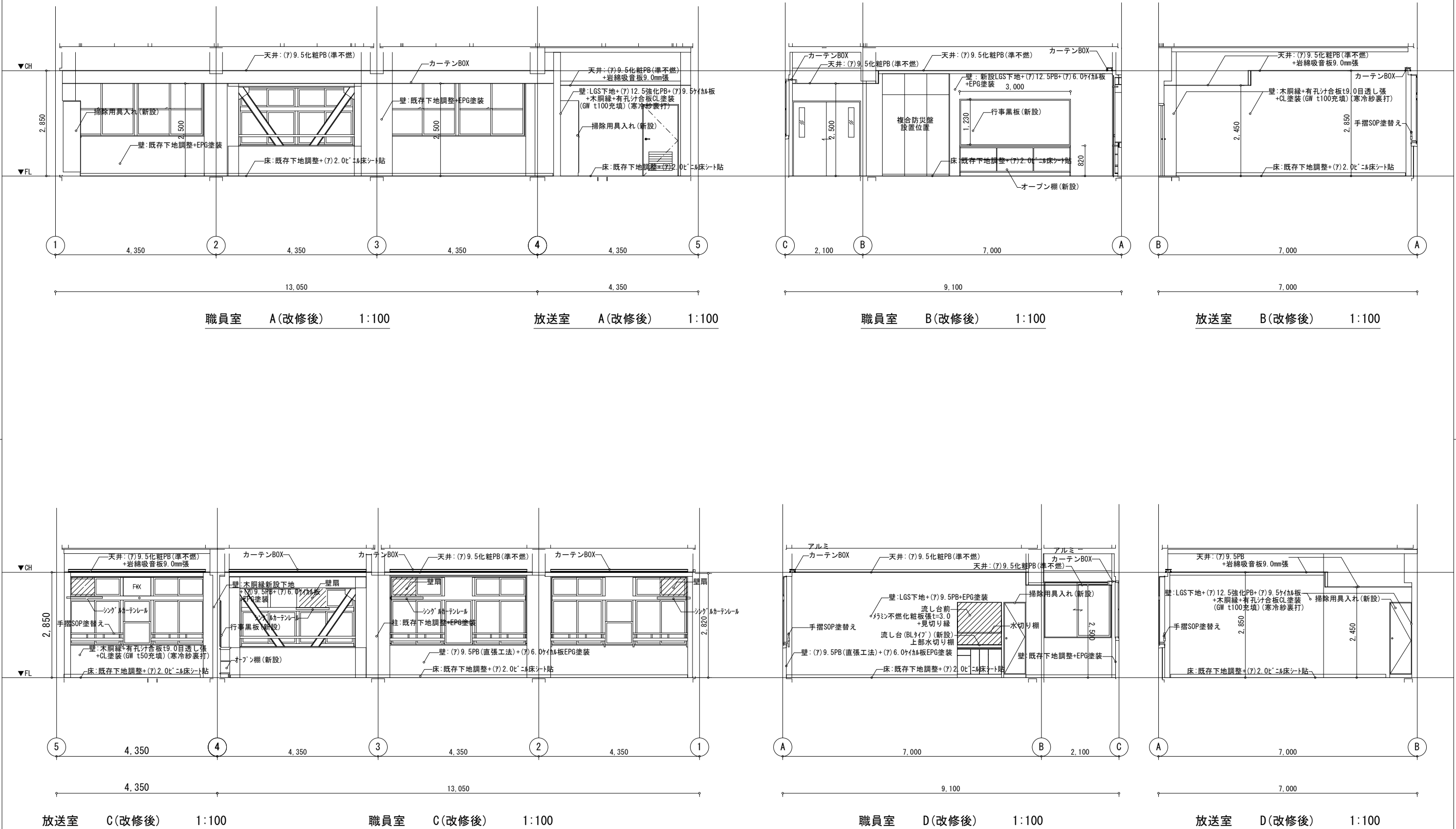


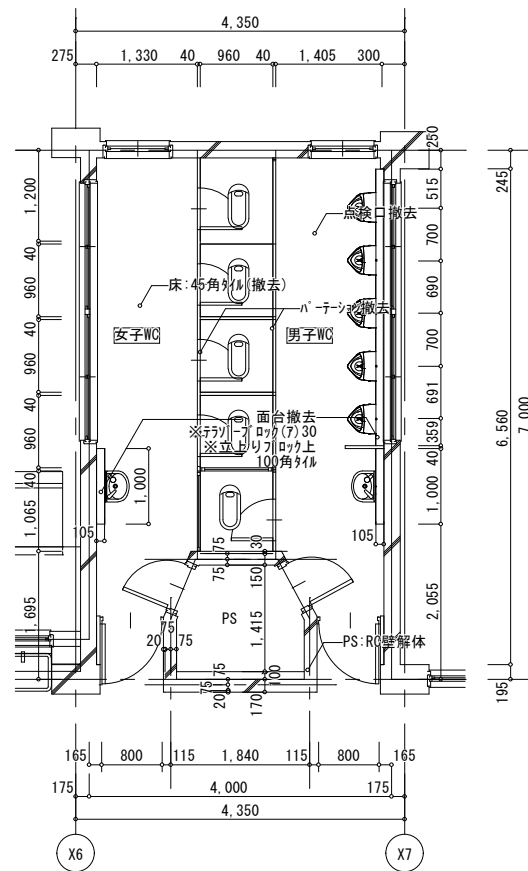
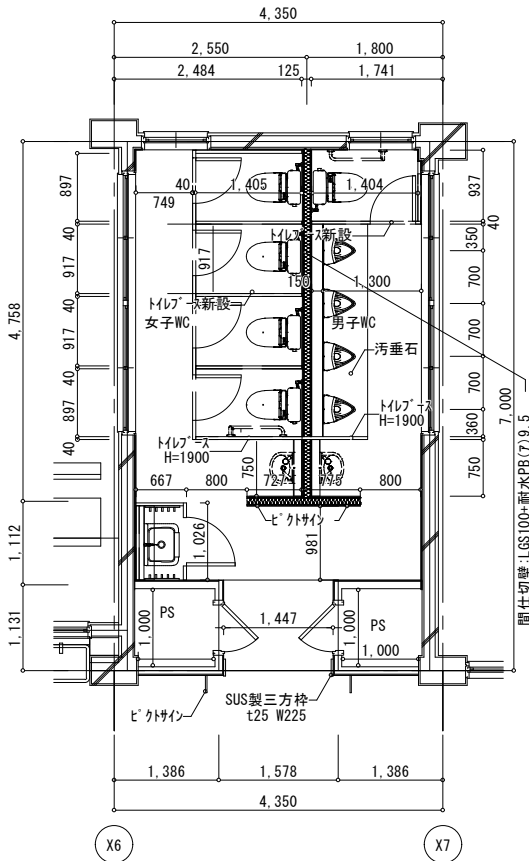
図書室 C(改修前) 1:100



図書室 D(改修前) 1:100

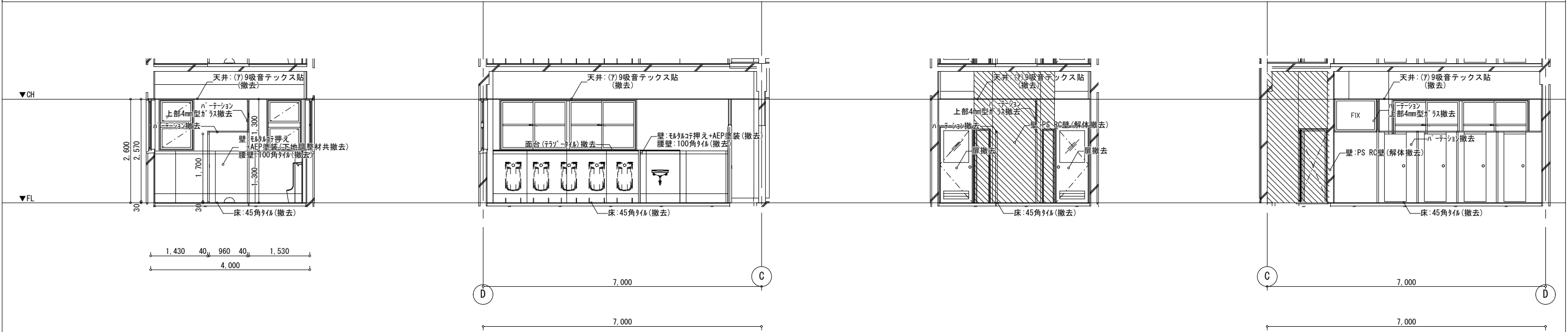
展開図 職員室(改修後)



改修前 2・3・4階トイレ(X6?7) 平面詳細図		改修後 2・3・4階トイレ(X6ー7) 平面詳細図		仕上げ表：男子・女子トイレ			
 <div data-bbox="198 1841 341 1971"><p>A面 D面展開方向B面 C面</p></div>	 <div data-bbox="1332 1841 1475 1971"><p>A面 D面展開方向B面 C面</p></div>	床	既設タイル(下地モルタル共)撤去 ※既存タイル:45口タイル ※下地(ア)15均しモルタル ウレタン樹脂防水(ア)20保護モルタル 乾式二重床(フリ-フロ-同等品) 耐水合板(ア)12 + 構造用合板(ア)15下地 防滑性・抗菌性ビニル床シート(トイレ用)(ア)2張 男子トイレ小便器前:耐水合板(ア)12 + 構造用合板(ア)15 下地 汚垂石(ア)10程度抗菌大判タイル張 PS:既設床(モルタル)のまま				
		巾木	100角タイル張(下地モルタル共)撤去後 新設壁下地の上防滑性・抗菌性ビニル床シート巻上げ (H=100)				
		腰壁	100角タイル(モルタル塗及びCB壁モルタル塗)撤去後、 RC壁:耐水石膏ボード(ア)9.5(直張工法)下地 けい酸カルシウム板(ア)6張 EPG塗(塩ビ)出隅縁 間仕切壁:LGS(W100) 耐水石膏ボード(ア)9.5下地 けい酸カルシウム板(ア)6張 EPG塗(塩ビ)出隅縁 クォースール(ア)100(24kg/m3)充填 面台下:LGS(W65) 耐水合板(ア)12下地 高強度メラミン不燃化粧板(ア)3張				
		壁	既存撤去:モルタル押え、AEP(外部用)塗撤去 下地調整材撤去後、モルタル塗撤去 RC壁:耐水石膏ボード(ア)9.5(直張工法)下地 けい酸カルシウム板(ア)6張 EPG塗(塩ビ)出隅縁 間仕切壁:LGS(W100) 耐水石膏ボード(ア)9.5下地 けい酸カルシウム板(ア)6張 EPG塗(塩ビ)出隅縁 クォースール(ア)100(24kg/m3)充填 PS:解体撤去後 LGS(65) 耐水石膏ボード(ア)9.5張				
天井	既存撤去 ※(ア)9吸音テックス貼(撤去) 撤去後LGS(19形)下地 化粧石膏ボード(ア)9.5張(準不燃) PS:既存RC		廻り縁	天井高			
備考	ビクトサイン トイレ-ス(男女フ-ス, 掃除用具入, 隔て壁共) 巾木タイプ H60 面台(ホ-ストフォーム) 棚板(メラミン化粧板フラッシュ(ア)25) 掃除用具ハ-イ サッシ木製額縁25×85(取替) SOP塗 三方枠:ステンレスSUS304(ア)1.5×25×225 HL 床見切り:ステンレスSUS304(ア)2.0 HL W=40 床下点検口 600角(1階のみ) 既存撤去 ハ-ーション(テラ-) (男女フ-ス) 撤去 面台(テラ-フ-ロック) 撤去 掃除用具入撤去 手洗い撤去 床点検口450角(1階)						

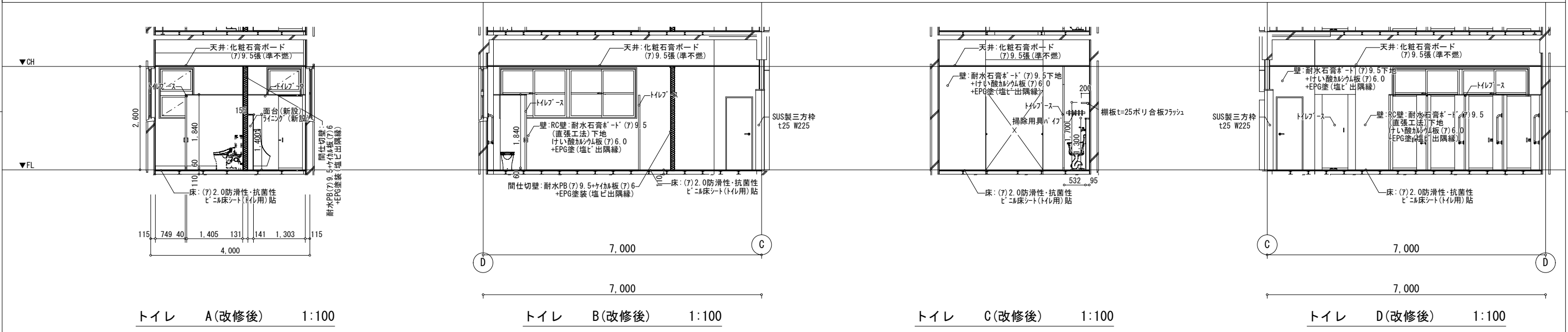
一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号 株式会社ixrea 一級建築士 第 331861 号 吉田 浩司	星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事		
	トイレ(2・3・4階X6-7) 平面群 細図(改修前・改修後)	A3:1:100, 1:50	A-72
		鹿児島市建設局建築部建築課	

展開図 トイレ(改修前)

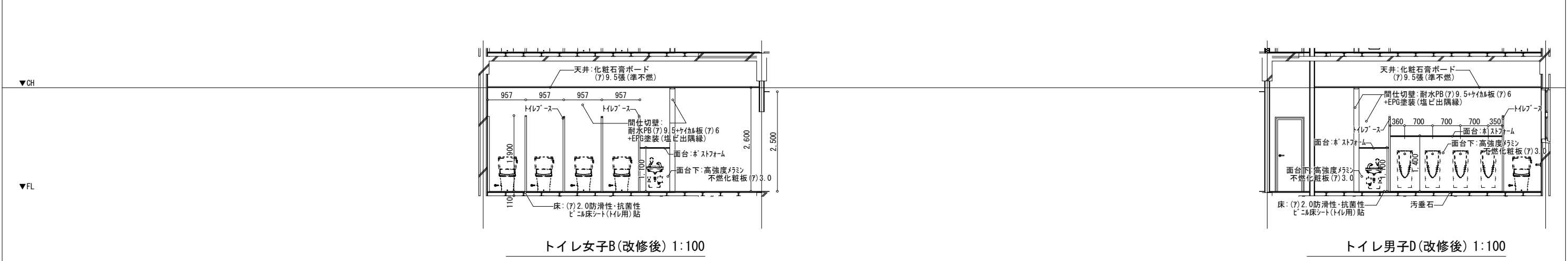


トイレ D(改修前) 1:100

展開図 トイレ(改修後)

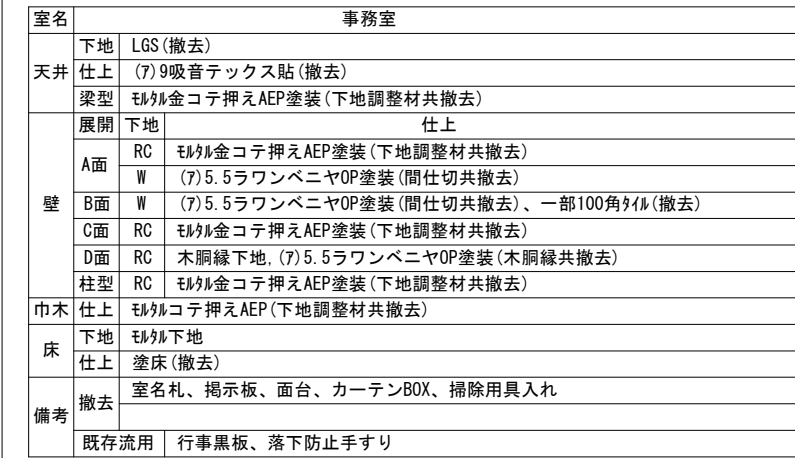
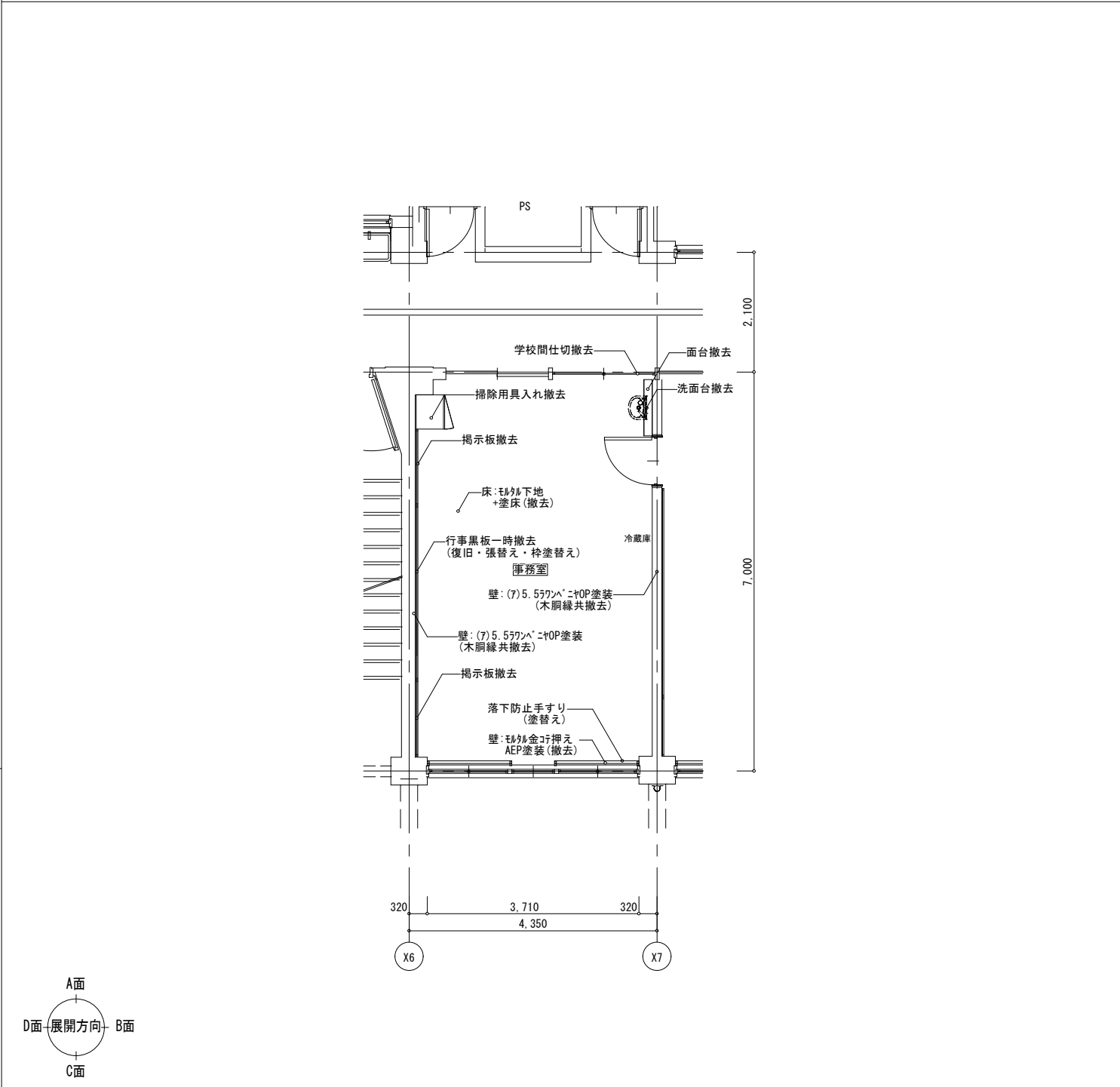


トイレ D(改修後) 1:100

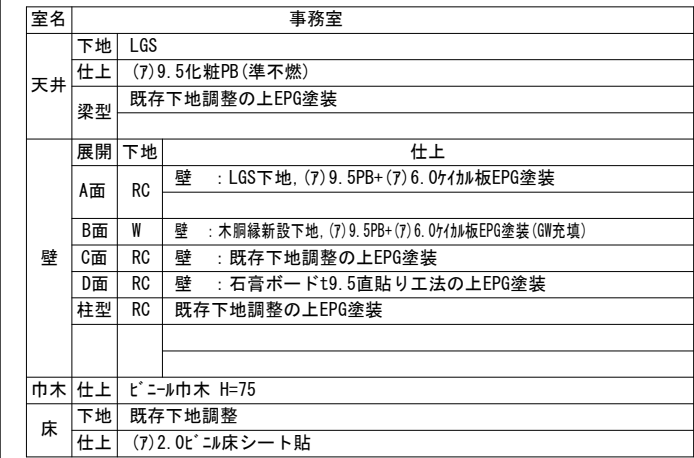
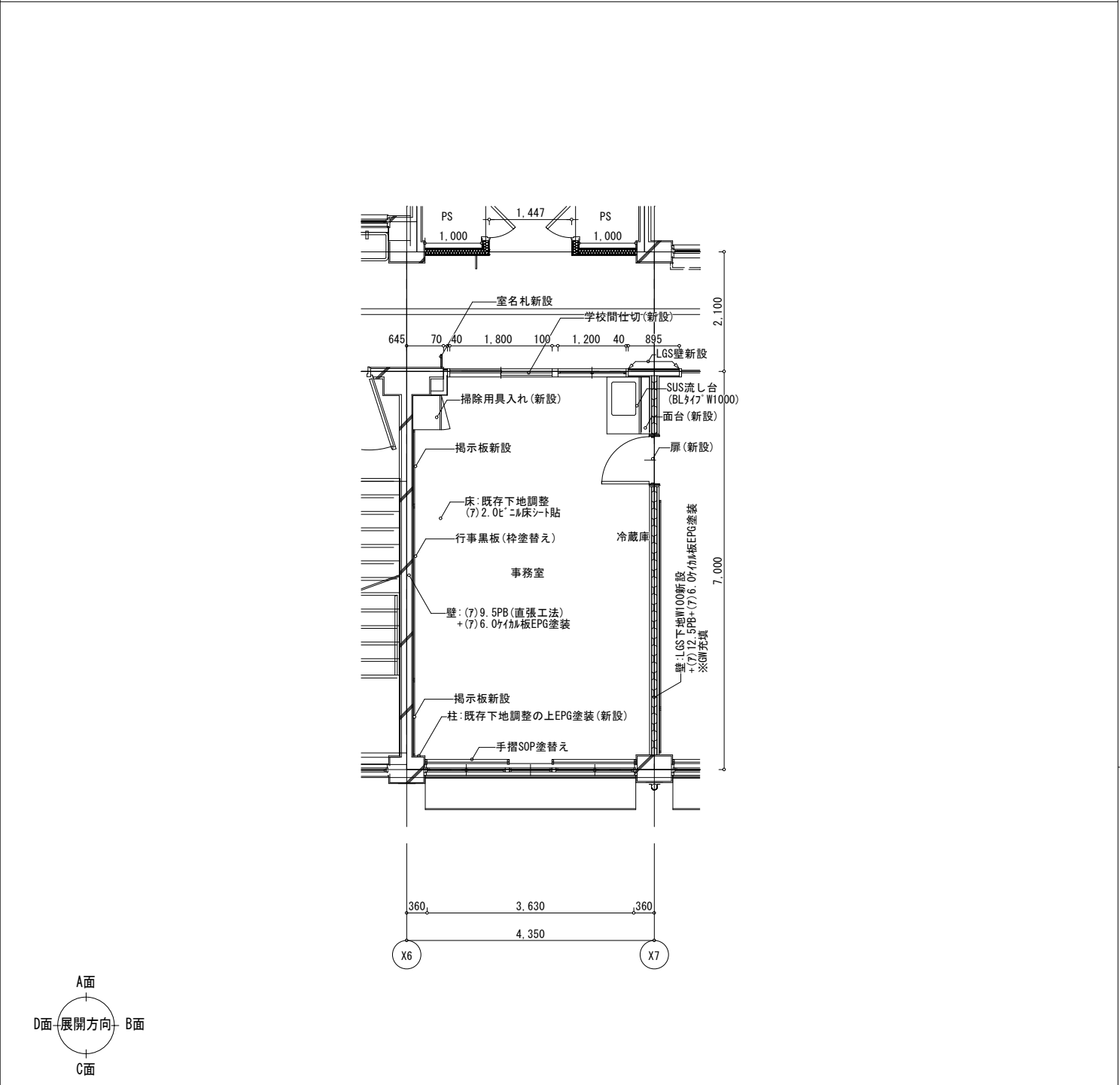


トイレ男子D(改修後) 1:100

改修前 事務室 平面詳細図

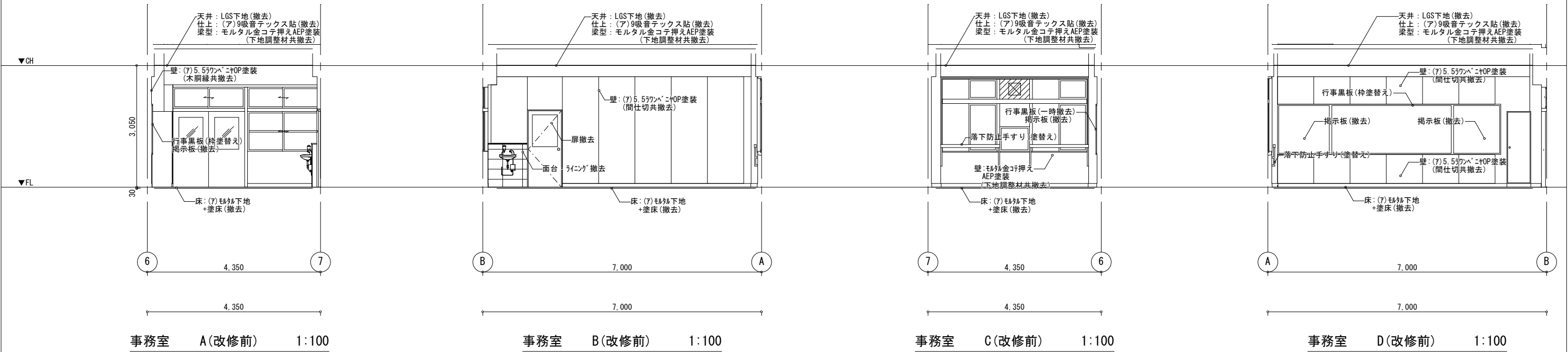


改修後 事務室 平面詳細図

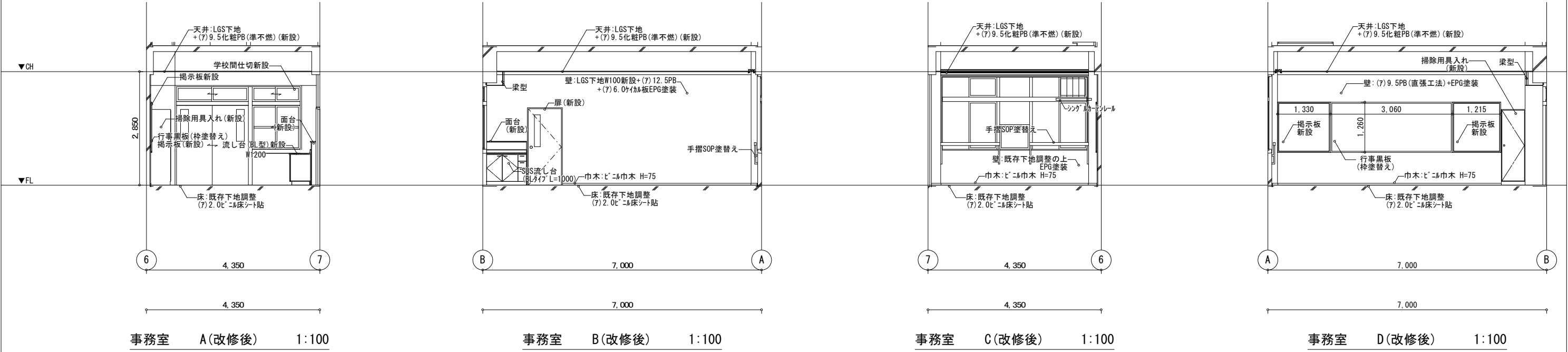


一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号 株式会社ixrea 一級建築士 第 331861 号 吉田 浩司	星亜西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事	
	事務室 平面詳細図(改修前・改修後)	A3:1:100
	鹿児島市建設局建築部建築課	

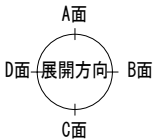
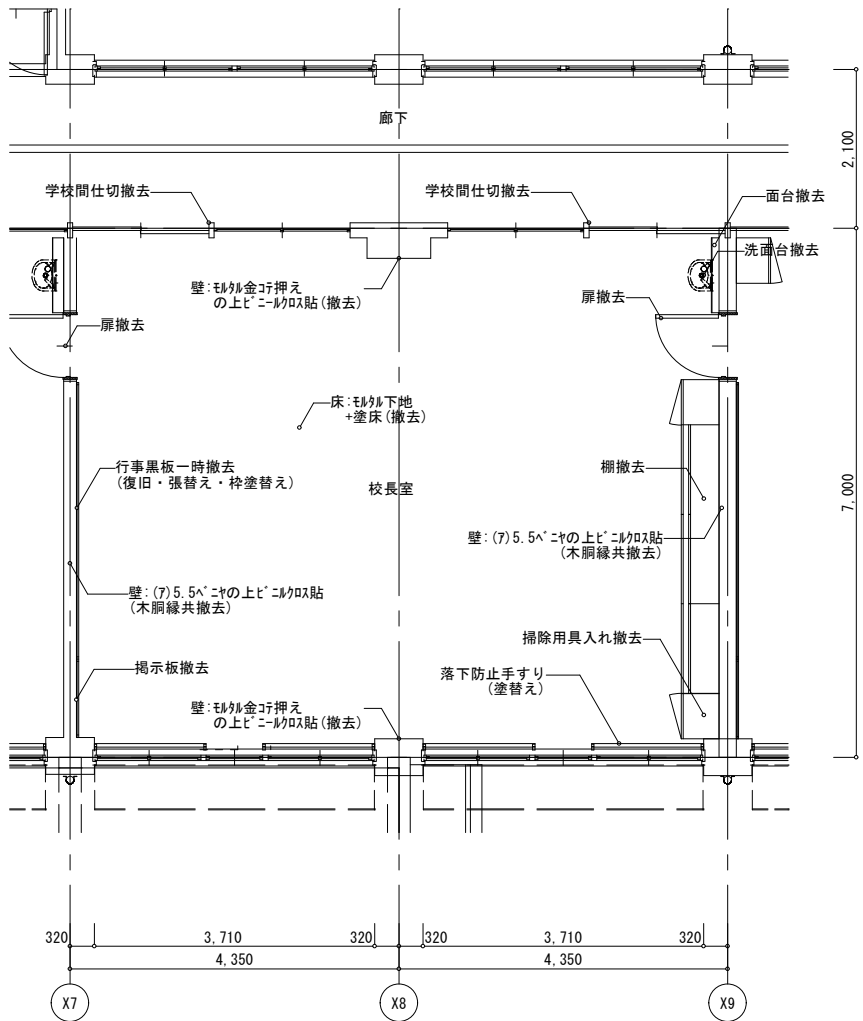
展開図 事務室(改修前)



展開図 事務室(改修後)

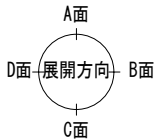
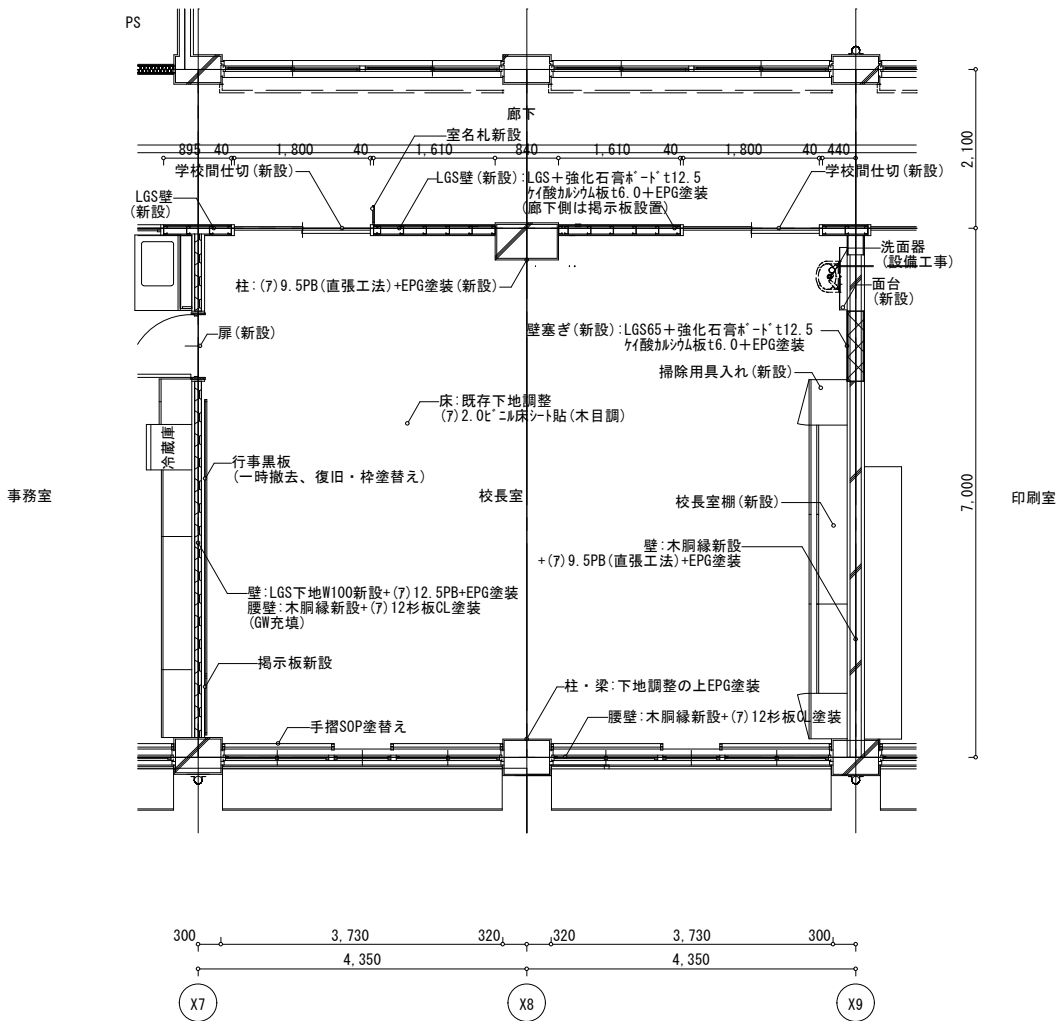


改修前 校長室 平面詳細図



室名	校長室	
天井	下地	LGS(撤去)
	仕上	(7)9吸音テックス貼(撤去)
	梁型	モルタルコテ押えAEP塗装(下地調整材共撤去)
壁	展開	下地 仕上
	A面	RC モルタルコテ押えの上ビニルクロス貼、学校間仕切
	W	(7)5.5ベニヤの上ビニルクロス貼(間仕切共撤去)
	B面	RC 木胴縁下地, (7)5.5ベニヤの上ビニルクロス貼(木胴縁共撤去)、一部100角タイル(撤去)
	C面	RC モルタルコテ押えの上ビニルクロス貼
	D面	W (7)5.5ベニヤの上ビニルクロス貼(間仕切共撤去)
	柱型	RC モルタルコテ押えの上ビニルクロス貼
巾木	仕上	モルタルコテ押えAEP(下地調整材共撤去)
床	下地	モルタル下地
	仕上	塗床(撤去)
備考	撤去	室名札、掲示板、面台、カーテンBOX、棚、掃除容疑入れ、ロッカー
	既存流用	行事黒板、落下防止手すり

改修後 校長室 平面詳細図



室名	校長室	
天井	下地	LGS
	仕上	(7)9.5化粧PB(準不燃)
	梁型	既存下地調整の上EPG塗装
壁	展開	下地 仕上
	A面	RC 壁 : 下地調整の上EPG塗装
	W	腰壁 : 木胴縁新設下地, (7)12杉板CL塗装
	LGS	LGS下地+強化石膏ボードt12.5+珪酸カルシウム板t9.5+EPG塗装
	B面	RC 壁 : (7)9.5PB(直張工法)+EPG塗装
	C面	RC 壁 : (7)9.5PB(直張工法)+EPG塗装
	D面	W 壁 : LGSW100新設, (7)12.5PB+EPG塗装
	柱型	RC 下地調整の上EPG塗装
	腰壁	木胴縁新設下地, (7)12杉板CL塗装
巾木	仕上	木製巾木 H=90 CL塗装
床	下地	既存下地調整
	仕上	(7)2.0ベニヤ床シート貼(木目調)

備考		
備品	新設	室名札、校長室棚、掲示板、面台、洗面器(設備工事)
		アルミ製カーテンボックス、シングルカーテンレール、壁に木製額受(校長写真用)
	流用	行事黒板(一時撤去、復旧・枠塗替え)
		落下防止手すり(塗替え)

